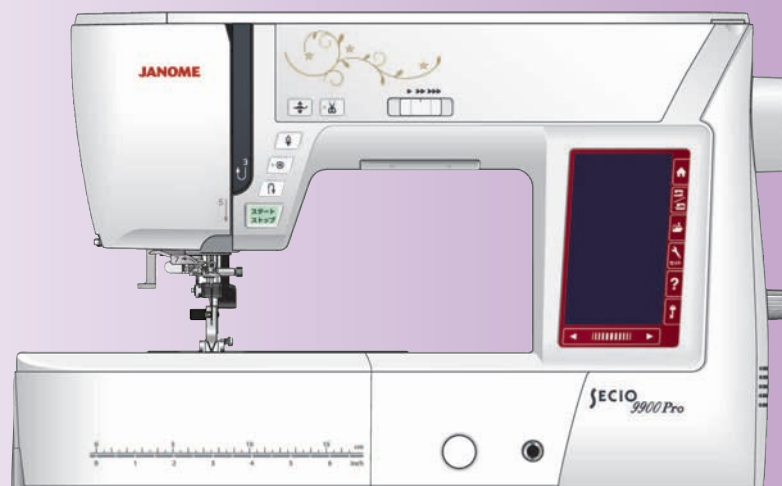




取扱説明書













JANOME






安全上のご注意














- ◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、お使いになる方やほかの人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- ◆お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- ◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY.

危害・損害の程度を表わす表示	 警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	 注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
-----------------------	---	---

本文中の図記号の意味		▲ 記号は、気を付けていただきたい「注意」の内容です。 図の中には具体的な注意内容を表示しています。(左図の場合は一般的な注意)
		⊘ 記号は、行ってはいけない「禁止」の内容です。 図の中には具体的な禁止内容を表示しています。(左図の場合は分解禁止)
		● 記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 図の中には具体的な指示内容を表示しています。(左図の場合は一般的な強制)

	警告 感電・火災の原因となります。
	ストープ、アイロンの近くなど温度の高いところでは使用しないでください。 ミシンの使用温度は 5℃～35℃です。
	スプレー製品などを使用した部屋や、引火しやすい物の近くでは使用しないでください。
	電源コードやフットコントローラーのコードについて、以下の行為は行わないでください。 <ul style="list-style-type: none"> 傷つける 加工する はさみ込む たばねる 引っ張る 無理に曲げたり、ねじったりする 重い物をのせる 高温部に近づける 電源コード、フットコントローラーのコードおよびプラグが破損した場合は、使用しないでください。
	一般家庭用、交流電源 100 V でご使用ください。
	電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。
	以下のようなときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 <ul style="list-style-type: none"> ミシンのそばを離れるとき ミシンを使用したあと ミシン使用中に停電したとき

	注意 感電・火災・けがの原因となります。
	分解はしないでください。
	ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針・はずみ車・天秤などすべての動いている部分に手を近づけないでください。
	曲がった針や先のつぶれた針は、ご使用にならないでください。
	ミシンの通風口はふさがらないでください。

	注意 感電・火災・けがの原因となります。
	ぬい途中に布や刺しゅう枠を無理に引っ張ったり、押ししたりしないでください。
	このミシンを使用するときは、付属の専用電源コードを使用してください。 付属の専用電源コードは、このミシン以外の電気製品には使用しないでください。
	フットコントローラーの上に物をのせないでください。 また、ご使用の際は、周辺に糸くずやほこりがないことを確認してください。
	お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全に注意してください。
	直線ぬい針板が取り付けられている場合、および取り付けられている押さえの種類によっては、電源スイッチを切った状態でははずみ車をまわすと、針が針板や押さえにあたる場合がありますので、注意してください。
	ミシンを持ち運ぶときは、片手で手さげハンドルを持ち、必ずもう一方の手でミシンをささえてください。
	プラグ受けに、糸くずやほこりがたまらないようにしてください。
	針および押さえは、確実に固定してください。 また、押さえは、ぬいに合ったものをご使用ください。
	電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず電源プラグを持って抜いてください。
	以下のことを行うときは、ロックキーを押してミシンをロック状態にしてください。 <ul style="list-style-type: none"> 押さえ、アタッチメントを交換するとき 上糸、下糸をセットするとき 針、針板を交換するとき
	ミシンのお手入れを行うときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
	ミシンに以下の異常があるときは速やかに使用を停止し、まず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にて点検・修理・調整をお受けください。 <ul style="list-style-type: none"> 正常に作動しないとき 水にぬれたとき 落下などにより破損したとき 異常な臭い・音がするとき 電源コード・プラグ類が破損、劣化したとき

目次

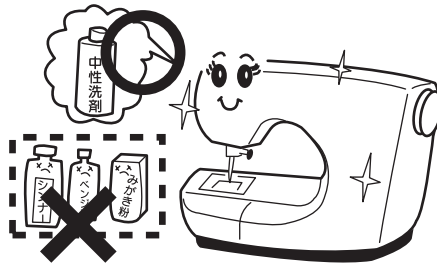
◎ お取り扱いについてのお願い.....	3	● HP：プロフェッショナル直線押さえ・プロフェッショナル直線針板（左針位置専用）の使い方.....	48
◎ 各部のなまえ.....	4	● ジグザグぬい.....	49
◎ 標準付属品と収納場所.....	5 ~ 9	★ じつようぬい 8、9：ジグザグぬい.....	49
● 刺しゅうユニットケース.....	5	★ じつようぬい 10：つくろいぬい.....	49
● 標準付属品.....	6 ~ 7	● ふちかがりぬい.....	50 ~ 51
● 標準付属品収納場所.....	8	★ じつようぬい 10：トリコットぬい.....	50
● 補助テーブル.....	9	★ じつようぬい 13：かがりぬい 1.....	50
● フリーアームの使い方.....	9	★ じつようぬい 14：ニットステッチ.....	50
◎ 操作方法.....	10 ~ 24	★ じつようぬい 15：かがりぬい 2.....	51
● 電源のつなぎ方.....	10	★ じつようぬい 16：かがりぬい 3.....	51
★ スタート/ストップボタンを使用する場合.....	10	● その他のじつようぬい.....	52 ~ 53
★ フットコントローラーを使用する場合.....	10	◎ ボタンホール・特殊模様.....	54 ~ 68
● 速さの調整.....	11	● ボタンホール・特殊模様の画面.....	54
★ スピードコントロールつまみ.....	11	● ボタンホールの種類と用途.....	54 ~ 55
★ フットコントローラー.....	11	● ボタンホール 1：スクエアボタンホール.....	56 ~ 58
● 操作ボタン.....	12 ~ 13	★ ボタンホールの調整画面.....	59
● 画面（タッチパネル）.....	14 ~ 15	● ボタンホール安定板の使い方.....	60
● 押さえの外し方、付け方.....	16	● ボタンホール 2：メモリーボタンホール（スクエアボタンホール）.....	61 ~ 62
● 押さえホルダーの外し方、付け方.....	17	● その他のボタンホール.....	63
● 上送り押さえの付け方、外し方.....	18 ~ 19	★ ボタンホール 3、4：片ラウンド、両ラウンドボタンホール.....	63
● その他押さえの交換.....	19 ~ 20	★ ボタンホール 5 ~ 7：キーホールボタンホール.....	63
★ PD-H：フリーキルト押さえ.....	19	★ ボタンホール 8、10：ニットボタンホール.....	63
★ HP：プロフェッショナル直線押さえ.....	20	★ ボタンホール 9：ニットボタンホール.....	63
★ P：刺しゅう押さえ.....	20	● ボタンホール 11：たまぶちボタンホール.....	64 ~ 65
★ PC-1、PC-2：カウチング押さえ.....	20	● 芯入りボタンホール.....	66
● 針板の外し方、付け方.....	21	● 特殊ぬい.....	67
● 針の取りかえ方.....	22	● ボタンホール 13：つくろいぬい（ダーニング）.....	67 ~ 68
● 布に適した糸や針を選ぶ目安.....	22	● ボタンホール 15、16：アイレット.....	68
● 押さえ上げ.....	23	◎ 飾りぬい.....	69 ~ 79
● ニーリフト.....	23	● 飾りぬいの画面.....	69 ~ 74
● 送り歯ドロップつまみ.....	24	● かざりもよう 1 グループ.....	75
● 面板レンズ.....	24	★ スモッキング.....	75
◎ めう前の準備.....	25 ~ 30	★ スカラップ.....	75
● 下糸の準備.....	25 ~ 27	● キルトグループ.....	76
★ ボビンの取り出し.....	25	★ キルティングガイドの使い方.....	76
★ 糸こまのセット.....	25	★ キルト模様 1 ~ 3.....	76
★ 補助糸立て棒の使い方.....	25	★ 針板角度目盛りの使い方.....	76
★ 下糸巻き.....	26	★ キルト模様 54、55：手ぬい風キルト.....	76
★ ボビンのセット.....	27	● サテングループ.....	77
● 上糸かけ.....	28	★ 模様の長さ調整機能（エロンゲーション）.....	77
● 糸通し.....	29	● 模様の先端を細くする（テーパリング）.....	78
● 下糸を針板の上に引き出す場合.....	30	● ユーザー作成模様グループ.....	79
◎ 通常ぬい.....	31 ~ 53	◎ 模様組み合わせモード.....	80 ~ 89
● 通常ぬい模様.....	31	● 模様組み合わせモードの画面.....	80
● じつようぬいの画面.....	32 ~ 33	● 模様組み合わせぬいの例.....	81
★ 設定キー（通常ぬいモード）.....	32 ~ 33	● 反転キーの使い方.....	82
● じつようぬいの調整画面.....	34 ~ 36	★ 左右・上下反転のぬい方（組み合わせモード時）.....	82
● ピボットぬい設定.....	36	★ 左右・上下反転のぬい方（通常モード時）.....	83
● じつようぬいの調整値の保存.....	37	● つなぎもようグループの使い方.....	84
● 布ガイド設定キー.....	38 ~ 39	● 模様の編集機能.....	85
● 直線ぬい.....	40 ~ 41	● 模様頭出しキーの使い方.....	86
★ 直線ぬい（中針位置）でぬう場合.....	40 ~ 41	● プレビュー機能.....	87
● 針板ガイド.....	42	● 組み合わせ模様の長さの確認.....	88 ~ 89
● コーナーリングガイド.....	42	◎ 文字ぬい.....	90 ~ 95
● 直線針板の使い方.....	43	● 文字ぬいの画面.....	90 ~ 91
● 直線ぬいの種類.....	44 ~ 46	★ 模様選択画面.....	91
★ じつようぬい 1：直線ぬい（中針位置）.....	44	● 文字ぬいの例.....	92 ~ 93
★ じつようぬい 2：自動返しぬい.....	44	● 文字ぬい時の糸調子調整.....	94
★ じつようぬい 3：自動止めぬい.....	44	★ 文字ごとに糸調子調整を行う.....	94
★ じつようぬい 4：直線ぬい（左針位置）.....	45	★ 全ての文字に同じ糸調子の値を適応する（統一糸調子調整）.....	94
★ じつようぬい 5：三重ぬい.....	45	● 文字高さの縮小.....	94
★ じつようぬい 6、7：伸縮ぬい（ニットステッチ）.....	45	● スペース模様.....	95
★ じつようぬい 11：しつけぬい.....	46		
● 上送り押さえの使い方.....	46 ~ 47		

◎ 模様データの保存・呼び出し	95 ~ 99	★ ボーダー 1 と文字の組み合わせ	157
● 模様データの保存	95 ~ 97	★ 文字の削除・挿入	158
● 模様データの呼び出し	98 ~ 99	● 刺しゅう実行画面	159 ~ 167
◎ 用途ぬい	100 ~ 129	★ 機能キー	159
● 用途ぬいの模様選択画面	100	★ 刺しゅう模様情報	159
● 用途ぬいの種類	100 ~ 101	★ 針前進 / 後進キー	160
● 地ぬい	101	★ 針ジャンプキー	160
● ふちかがり	102	★ 十字マーク	160
● まつりぬい	103 ~ 104	★ 模様表示切りかえキー	160
● シェルトック	105	★ 刺しゅう範囲確認キー	161 ~ 162
● 三つ巻きぬい	106	★ 糸色 / ジョグ切りかえキー	162
● ファスナー付け	107 ~ 109	★ 位置 / 角度微調整キー	163
● コンシールファスナー付け (押さえオプション)	109 ~ 111	★ 糸色確認キー	164
● ギャザー	112	★ 調整キー	164
● しつけ	112 ~ 113	★ キャリッジ移動キー	165
● ボタンつけ	113 ~ 115	★ 刺しゅう押さえ変更キー	166
★ 普通のボタンつけのぬい方	114	★ 模様ぬい	167
★ 根巻きボタンつけのぬい方	115	● 刺しゅう模様を編集する	168 ~ 178
● かんぬき止め	116	★ 刺しゅう枠の選択	168
● アップリケ	117 ~ 118	★ 刺しゅうデザインの呼び出し	168
● パッチワーク	119 ~ 120	★ 刺しゅう編集画面	169
★ 針板角度目盛りの使い方	120	★ 編集する模様の選択	169
● キルティング	121 ~ 129	★ 模様の移動	169
★ 直線ぬい (上送り押さえ使用)	121	★ 編集画面を拡大する	170
★ とじぬい	122	★ 模様をコピーする	170
★ フリーキルト	123	★ 模様の削除	171
★ 各種フリーキルト押さえの特長	123	★ 模様のを大きさをかえる	171
★ フリーキルト「直線ぬい 1」のぬい方	124	★ 模様を回転させる	172
★ QC : フリーキルト押さえ (丸穴) /		★ 模様を反転させる	172
QO : フリーキルト押さえ (前あき) /		★ 文字を円弧 (アーク) 状に配置する	173
QV : フリーキルト押さえ (透明) の取り付け方	124	★ ぬい順序を変更する	174
★ フリーキルト「直線ぬい 2」のぬい方	125	★ 模様を画面中央に配置する	174
★ フリーキルト「ジグザグぬい 2」のぬい方	126	★ コーナーレイアウト	174
★ 1 針停止ぬい	127	★ 模様や背景の色を変更する	175
★ フリーキルト押さえ高さの調整	127	★ 模様のグループ化	176
★ 刺し子風ステッチ	127	★ 同色をまとめて刺しゅうする	177
★ 手ぬい風キルトぬい	128	★ 単色で刺しゅうする	178
★ バリアブル ZZ (可変ジグザグ)	128 ~ 129	● レース刺しゅうデザイン	178 ~ 185
★ ジグザグのぬい幅の上限を設定	129	★ 布地用デザインのガイドライン	180
◎ 2 本針ぬい	130 ~ 131	★ 溶ける芯地用デザイン RE20a の模様 1	181 ~ 182
◎ ミシンの設定	132 ~ 141	★ 溶ける芯地用デザイン RE20a 模様 1	
● ミシン設定モード	132	の連結	182 ~ 185
● 共通設定	132 ~ 135	● フリーアーム刺しゅう枠 (FA10a) の使い方	186 ~ 187
● 通常ぬい設定	136 ~ 139	★ フリーアーム刺しゅう	186 ~ 187
● 言語設定	140	● カウチングデザインのぬい方	188 ~ 190
● 模様の形の調整 (送り調整ねじ)	141	★ 水溶性芯地を使いカウチングデザイン	
◎ 刺しゅう	142 ~ 190	SQ14a の模様 3 をぬう	190
● 刺しゅうの準備	142 ~ 150	◎ 刺しゅうぬい設定	191 ~ 195
★ 刺しゅうユニットの取り付け方	142	● 刺しゅうぬい設定モード	191 ~ 195
★ キャリッジアームの開放	143	◎ 刺しゅうデータの保存・呼び出し	196 ~ 199
★ 刺しゅうユニットの取り外し方	144	● 刺しゅうデータの保存	196
★ 刺しゅう押さえの取り付け	145	● 刺しゅうデータの呼び出し	197 ~ 198
★ 針の交換	145	★ ファイルの属性	198
★ 針板の交換	145	● PC リンク	199
★ 刺しゅう糸	146	◎ ミシンのお手入れ	200 ~ 202
★ 刺しゅう枠とテンプレート	147	● かまと送り歯、糸切り部の掃除	200
★ 芯地	148	● 糸道の掃除	201
★ 刺しゅう枠に布を張る	149	● 糸ガイド内側の掃除	202
★ 刺しゅう枠のキャリッジ取り付け	150	◎ メッセージ画面一覧	203
★ ぬい始めの糸かけ	150	◎ ミシンの調子が悪いときの直し方	204 ~ 207
● ぬい方	151 ~ 158	◎ 模様一覧表	208 ~ 211
★ 内蔵模様の選択方法 (模様)	151	● 通常ぬい	208 ~ 209
★ 内蔵模様の選択方法 (文字)	152	● 通常ぬい文字	210 ~ 211
★ 設定キー	152 ~ 153	◎ 刺しゅう模様	212 ~ 221
★ 文字の組み合わせ	154	● 刺しゅう	212 ~ 217
★ 文字の色を変える	154	● 刺しゅう文字	218 ~ 221
★ ぬい原点キー	155		
★ 2- レター文字	156		

◎お取り扱いについてのお願い

◇ご使用の前に

- ① ほこりや油などでぬう布を汚さないように、使う前に乾いたやわらかい布でよくふいてください。
- ② シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。

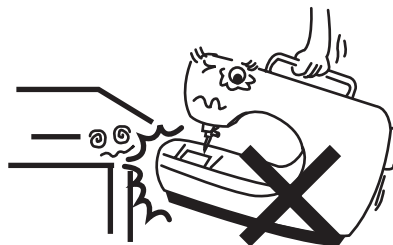


◇いつまでもご愛用いただくために

- ① 長時間日光に当てないでください。
- ② 湿気やほこりの多いところは避けてください。



- ③ 落としたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。
ミシンを持ち運ぶときは、片手で手さげハンドルを持ち、必ずもう一方の手でミシンをささえてください。



◇修理・調整についてのご案内

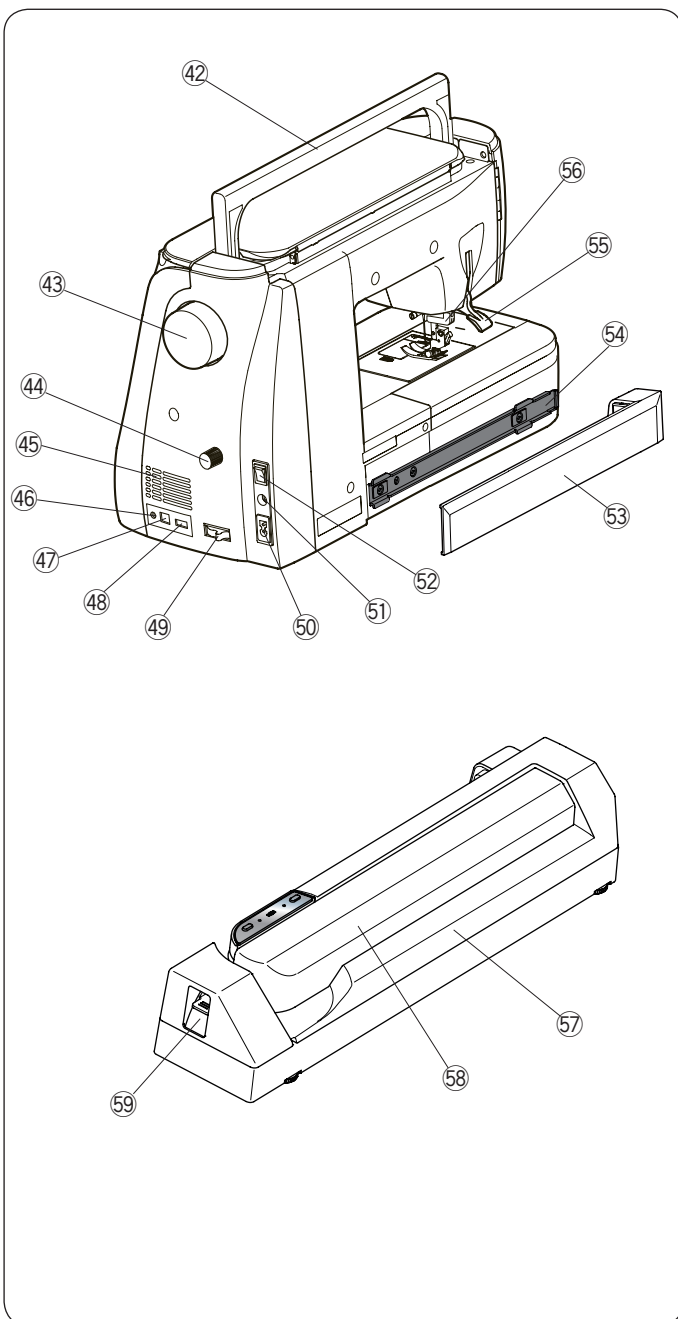
万一不調になったり故障が生じたりしたときは、「ミシンの調子が悪いときの直し方」(204～207ページ)によって、点検・調整を行ってください。

◎各部のなまえ

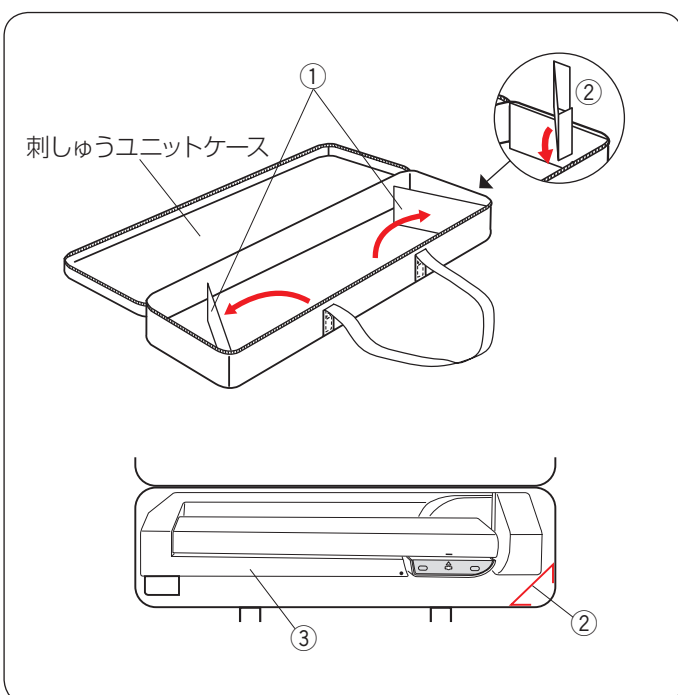
- ① 天びん
- ② 早見板
- ③ 天板
- ④ タッチペンホルダー
- ⑤ 小物収納場所
- ⑥ 糸切り（下糸巻き用）
- ⑦ 糸巻き軸
- ⑧ 糸切りホルダー
- ⑨ 補助糸立て棒取り付け穴
- ⑩ 糸立て棒
- ⑪ 糸こま押さえ（大）
- ⑫ 面板
- ⑬ 糸切り・糸押さえ
- ⑭ 補助テーブル（アクセサリー入れ）
- ⑮ 針板開放レバー
- ⑯ スタート/ストップボタン
- ⑰ 返しぬいボタン
- ⑱ 止めぬいボタン
- ⑲ 上下停針ボタン
- ⑳ 押さえ上下移動ボタン
- ㉑ 糸切りボタン
- ㉒ 送り調整ねじ（ふた付）
- ㉓ ニーリフト取り付け穴
- ㉔ スピードコントロールつまみ
- ㉕ 画面（タッチパネル）
- ㉖ アーム糸案内
- ㉗ 針止めねじ
- ㉘ 針棒糸かけ
- ㉙ 針（14番）
- ㉚ A：基本押さえ
- ㉛ 針板
- ㉜ 角板開放ボタン
- ㉝ 角板
- ㉞ カッター（下糸切り用）
- ㉟ 送り歯
- ㊱ 押さえホルダー
- ㊲ 押さえホルダー止めねじ
- ㊳ レバー
- ㊴ 糸通しレバー
- ㊵ ボタンホール切りかえレバー
- ㊶ 糸ガイド

メモ：

- ミシンを持つときは、片手で手さげハンドルを持ち、もう片方の手でミシンをささえてください。
- 仕様や形状を予告なく変更する場合があります。



- ④② 手さげハンドル
- ④③ はずみ車
- ④④ 上送り調節ダイヤル
- ④⑤ 通風口
- ④⑥ 自動糸切り外部操作端子
- ④⑦ USB 差し込み口 (タイプ B)
- ④⑧ USB 差し込み口 (タイプ A)
- ④⑨ 送り歯ドロップつまみ
- ⑤① プラグ受け
- ⑤① フットコントローラープラグ受け
- ⑤② 電源スイッチ
- ⑤③ 刺しゅうユニット取り付け部カバー
- ⑤④ 刺しゅうユニット取り付け部
- ⑤⑤ 押さえ上げ
- ⑤⑥ 上送り装置
- ⑤⑦ 刺しゅうユニット
- ⑤⑧ キャリッジアーム
- ⑤⑨ キャリッジレバー



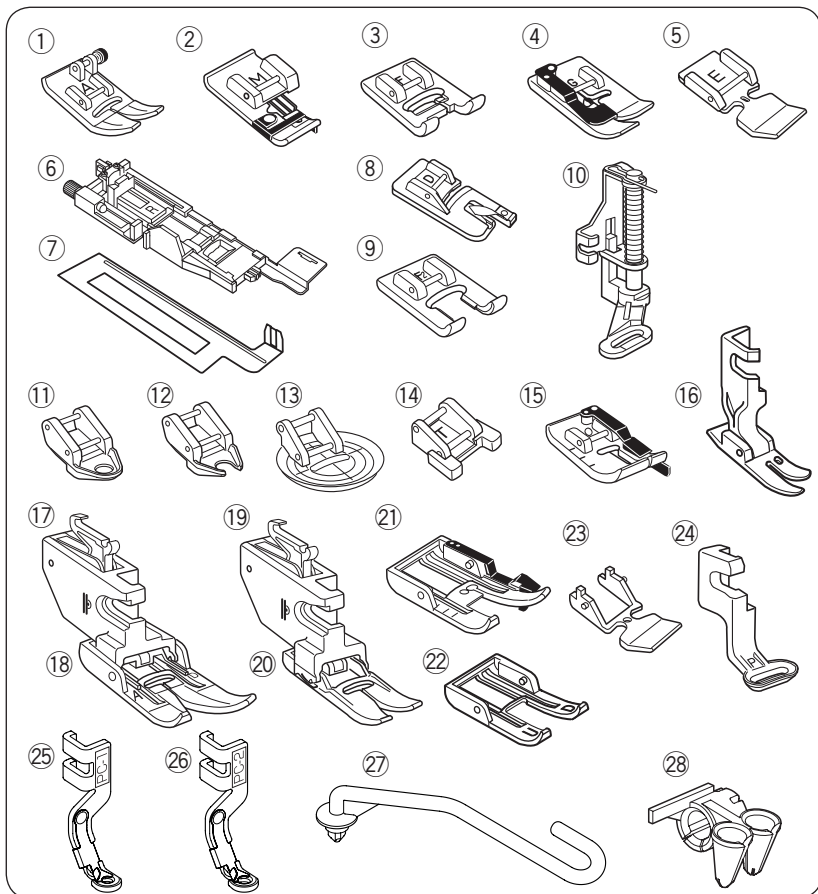
◎ 標準付属品と収納場所

● 刺しゅうユニットケース

【使い方】

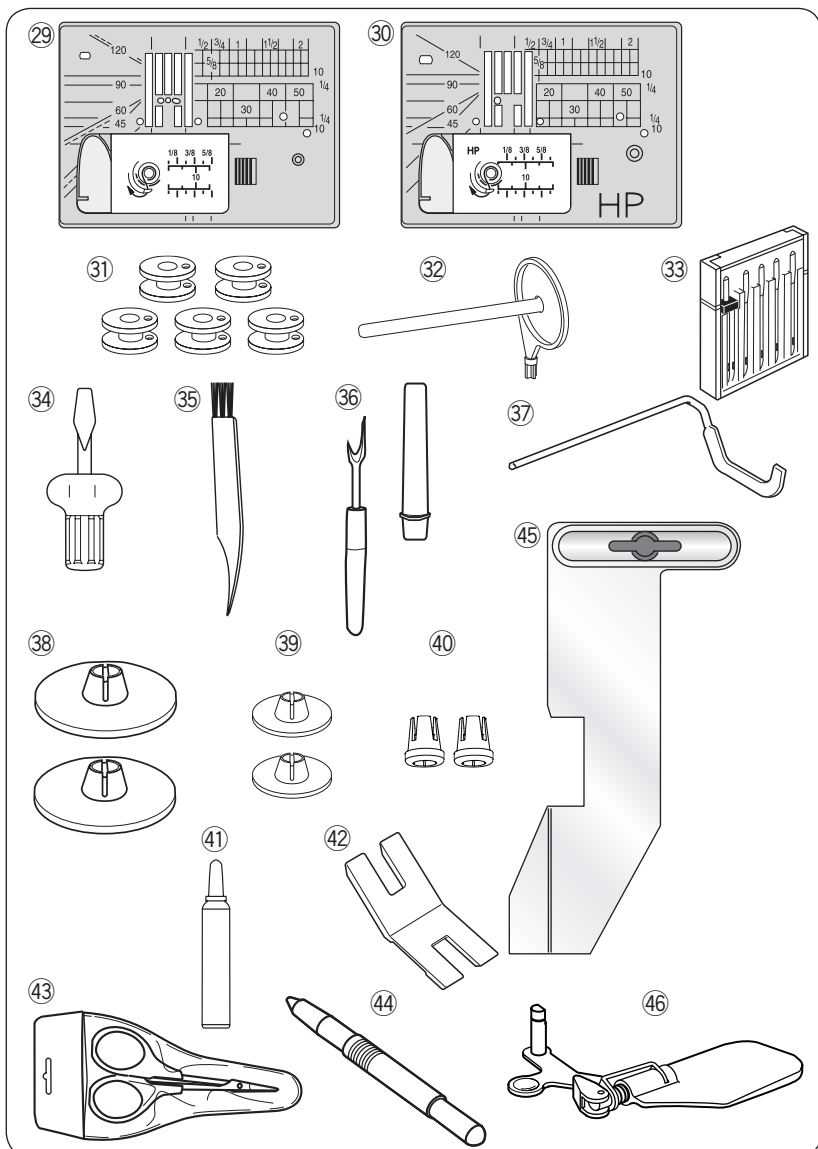
刺しゅうユニットケースをあけ、補強板①をひらきます。図のように仕切り板②を取り付けて、刺しゅうユニット③をケースの中に入れます。

仕切り板②が、刺しゅうユニット③を持ち運ぶときにケースの中で動くのを防ぎます。

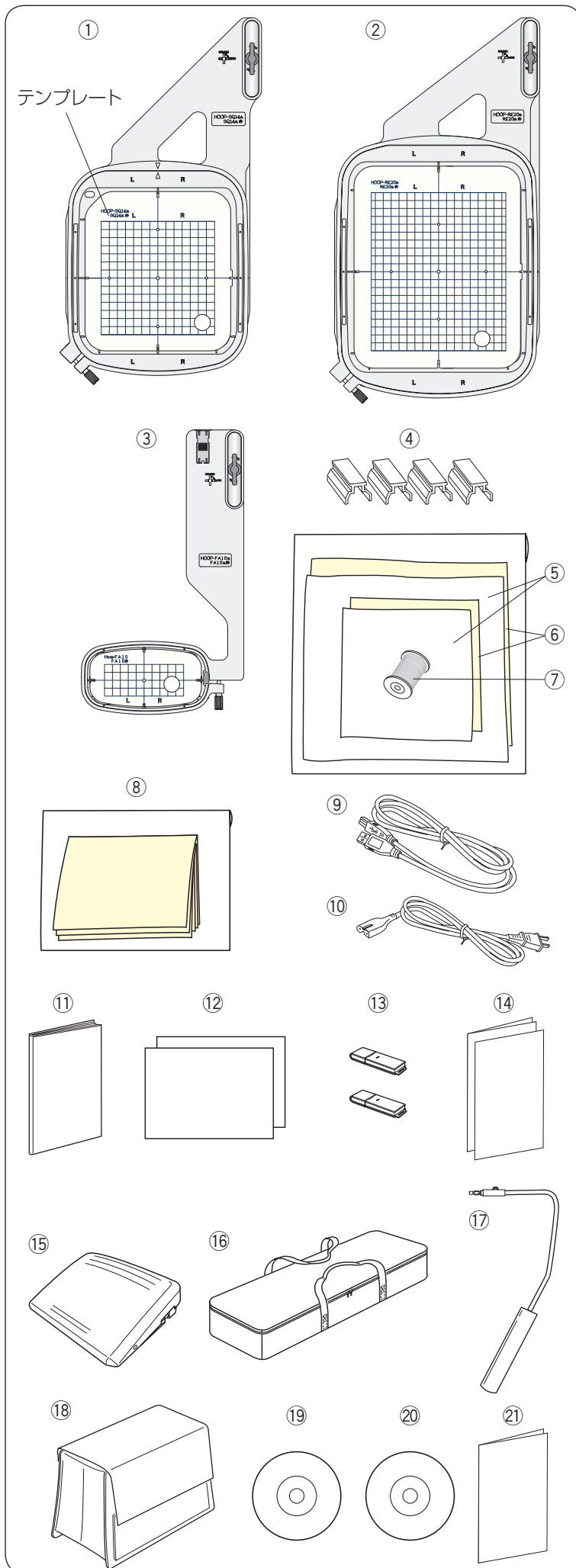


● 標準付属品

- ① A：基本押さえ
※ミシンの押さえホルダーに付いています。
- ② M：ふちかがり押さえ
- ③ F：サテン押さえ
- ④ G：まつりぬい押さえ
- ⑤ E：ファスナー押さえ
- ⑥ R：ボタンホール押さえ
- ⑦ ボタンホール安定板
※⑥、⑦補助テーブルに収納されています。
- ⑧ D：三つ巻き押さえ
- ⑨ F2：クラフト押さえ
- ⑩ PD-H：フリーキルト押さえ
- ⑪ QC：フリーキルト押さえ（丸穴）
- ⑫ QO：フリーキルト押さえ（前あき）
- ⑬ QV：フリーキルト押さえ（透明）
- ⑭ T：ボタンつけ押さえ
- ⑮ O：パッチワーク押さえ
- ⑯ HP：プロフェッショナル直線押さえ
- ⑰ 上送り押さえホルダー（標準）
- ⑱ AD：上送り押さえ（標準）
※⑰、⑱補助テーブルに収納されています。
- ⑲ 上送り押さえホルダー（先引き）
- ⑳ VD：上送り押さえ（先引き）
- ㉑ OD：上送りパッチワーク押さえ
- ㉒ UD：上送りオープントー押さえ
- ㉓ ED：上送りファスナー押さえ
- ㉔ P：刺しゅう押さえ
- ㉕ PC-1：カウチング押さえ
- ㉖ PC-2：カウチング押さえ
- ㉗ 補助糸ガイド棒
- ㉘ 針止めひも案内



- ⑲ 直線針板
- ⑳ プロフェッショナル直線針板（左針位置専用）
- ㉑ ボビン（5個）
※1つはミシンに付いています。
- ㉒ 補助糸立て棒
- ㉓ 針ケース
 - ブルー針〔11番〕（2本）
 - レッド針〔14番〕（1本）
 - パープル針〔14番〕（1本）
 - 2本針（1本）
- ㉔ ドライバー
- ㉕ ミシンブラシ
- ㉖ シームリッパー
- ㉗ キルティングガイド
- ㉘ 糸こま押さえ（大）（2個）
※1つはミシンに付いています。
- ㉙ 糸こま押さえ（小）（2個）
- ㉚ 糸こま押さえ（特殊）（2個）
- ㉛ かま用クリーナー
- ㉜ ボタンつけプレート
- ㉝ はさみ
- ㉞ タッチペン
- ㉟ 布ガイド
- ㊱ 面板レンズ



● 標準付属品

- ① SQ14a 標準刺しゅう枠 (テンプレート付き)
- ② RE20a 大型刺しゅう枠 (テンプレート付き)
- ③ FA10a 小型刺しゅう枠 (テンプレート付き)
- ④ 刺しゅう布保持用マグネットクリップ (4個)
- ⑤ フェルト
- ⑥ 芯地
- ⑦ 刺しゅう下糸
- ⑧ 水溶性の芯地
- ⑨ USB ケーブル
- ⑩ 電源コード
- ⑪ 取扱説明書
- ⑫ 早見表
- ⑬ USB メモリ (刺しゅうデータ) (2個)
※ 刺しゅうデータの呼び出し (198 ページ参照)
- ⑭ USB 刺しゅうデータ説明ペラ
- ⑮ フットコントローラー
- ⑯ 刺しゅうユニットケース
- ⑰ ニーリフト
- ⑱ ミシンカバー
- ⑲ 説明 DVD
- ⑳ アクツールズS CD-ROM
- ㉑ アクツールズS インストールガイド

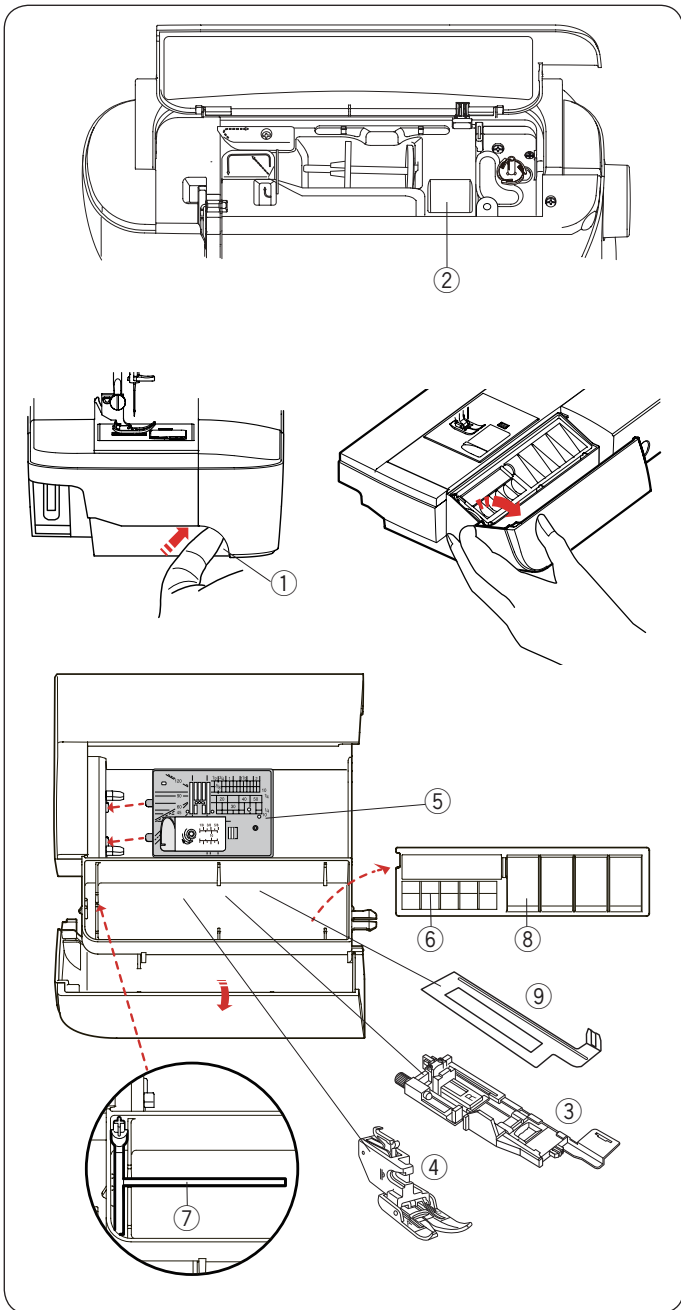
● 標準付属品収納場所

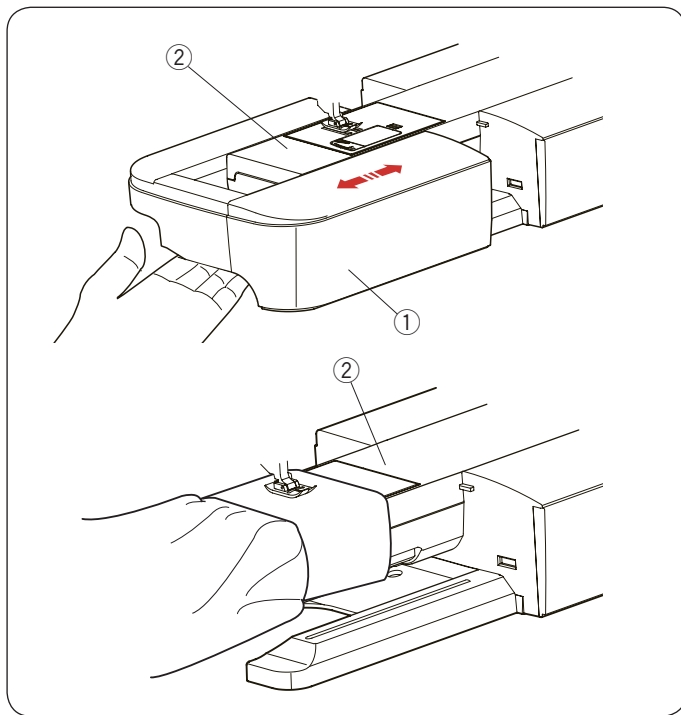
押さえや付属品は、天板内の小物収納場所や、補助テーブルの中に収納できます。

補助テーブル内のアクセサリ入れを使用する場合、補助テーブルの左側のくぼみ①に指をかけ、手前に引いて開けます。

- ② 小物収納場所
- ③ R：ボタンホール押さえ
- ④ AD：上送り押さえ（標準）
- ⑤ 直線針板
- ⑥ ボビン収納場所
- ⑦ 補助糸立て棒
- ⑧ 押さえ収納場所
- ⑨ ボタンホール安定板

※ 他のアクセサリは補助テーブルの中に収納できます。





● 補助テーブル

補助テーブル①を取り付けると、広いテーブルでぬうことができます。
また、フリーアーム②を使うときは、横に引き簡単に取り外すことができます。

補助テーブルの外し方：

補助テーブル①の下側に手をかけ、左に引いて外します。

補助テーブルの取り付け方：

フリーアーム②に沿わせて、補助テーブルを右に押し込んで取り付けます。

● フリーアームの使い方

補助テーブルを外すと、フリーアーム②になります。
そで口やすそなどをぬう場合や、袋物のくち端の始末に利用できます。

◎ 操作方法

● 電源のつなぎ方

⚠ 警告：

- 電源は、一般家庭用交流電源 100 V で使用してください。
ミシンを使わないときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電・火災の原因となります。
- 電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。
- ほこりなどが付着していると湿気などによって絶縁不良となり火災の原因となります。

★ スタート/ストップボタンを使用する場合

- ① 電源スイッチ ① を「OFF」(切) にします。
- ② 電源コードのプラグ ② をプラグ受け ③ に差し込みます。
- ③ 電源プラグ ④ をコンセント ⑤ に差し込みます。
- ④ 電源スイッチ ① を「ON」(入) にします。

メモ：

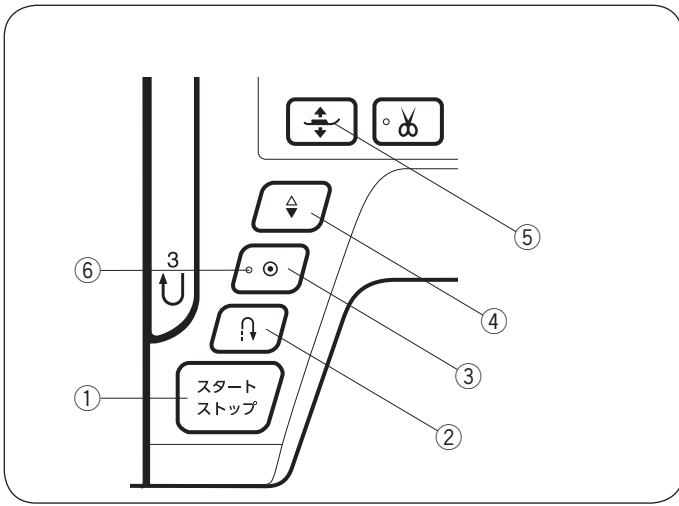
- 電源スイッチを入れると、ミシンの準備のための初期設定が数秒間行われます。初期設定中は針などが動きますので、ミシンに触れないでください。
- 付属の電源プラグを必ず使用してください。
- 電源スイッチの「ON」(入)、「OFF」(切) の操作は 5 秒以上間かくをあけてください。

★ フットコントローラーを使用する場合

- ① 電源スイッチ ① を「OFF」(切) にします。
- ② 電源コードのプラグ ② をプラグ受け ③ に差し込みます。
- ③ フットコントローラープラグ ④ をフットコントローラープラグ受け ⑤ に差し込みます。
- ④ 電源プラグ ⑥ をコンセント ⑦ に差し込みます。
- ⑤ 電源スイッチ ① を「ON」(入) にします。

メモ：

- フットコントローラーのコードの取り出し方と収納方法は 11 ページをごらんください。
- フットコントローラーを接続している場合、スタート/ストップボタンは使用できません。
- フットコントローラーは、モデルによってオプションになります。



● 操作ボタン

① スタート/ストップボタン

スタート/ストップボタンを押すと、ミシンはゆっくり動きはじめてからスピードコントロールつまみでセットした速さになります。(スロースタート機能)

もう一度押すとミシンは停止します。通常は針が下の位置で停止します。

メモ：

- ぬい途中でこのボタンを長押しするとミシンは低速になり、ボタンを離すと止まります。
- ボタンのランプ色は、ミシン停止中は緑、運転中は赤になります。
- ボタンを押してスタートさせるときおよび停止させるとき、指をはなさないで押し続けているあいだは低速で動きます。
- フットコントローラーを接続している場合、スタート/ストップボタンは使用できません。
- 動きはじめの速度(スロースタート機能)は、かえることができます。(136 ページ「スロースタート調節」参照)
- ミシンを停止したとき、通常は針が下の位置で停止しますが、上の位置で停止にも設定できます。(136 ページ「針停止位置」参照)

② 返しぬいボタン

• じつようぬい 、キルト

アップリケ 、つなぎもよう

かざりもよう 2 の が選択されている場合(直線針板模様含む)：

《ミシン停止中》(フットコントローラーを接続していないときのみ)

ボタンを押しているあいだは低速で返しぬいを行い、指をはなすとミシンは停止します。

《ミシン運転中》

ボタンを押しているあいだは返しぬいを行い、指をはなすと前進ぬいにもどります。

● その他の模様が選択されている場合：

ぬい途中で返しぬいボタンを押すと、その位置でほつれ止めの止めぬいを行い、自動的にミシンが停止します。ミシンが停止しているときに押すと、運転再開後、その位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

メモ：

じつようぬい 、ボタンホール を選択

した場合、返しぬいボタンは特殊な使い方になります。(44、61、67、116 各ページを参照)

③ 止めぬいボタン

• じつようぬい 、キルト

アップリケ 、つなぎもよう

かざりもよう 2 の が選択されている場合(直線針板模様含む)：

ぬい途中でボタンを押すと、その位置でほつれ止めの止めぬいをしてミシンが自動的に停止します。

ミシンが停止しているときに押すと、LED ⑥ が点滅します。ミシンをスタートさせると、その場でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。LED ⑥ が点灯しているときは使用できます。

● その他の模様が選択されている場合：

ぬい途中でボタンを押すと、模様を完成させたあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

ミシンが停止しているときに押すと、LED ⑥ が点滅します。ミシンをスタートさせると、模様を完成させたあと、止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

※ ぬう前にボタンを押しておく、模様を1つだけぬったあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。LED ⑥ が点滅します。

「通常ぬいオートストップ時の糸切り」を「ON」に設定すると、ほつれ止めの止めぬいをしたあと、自動的に糸を切ります。(139 ページ参照)

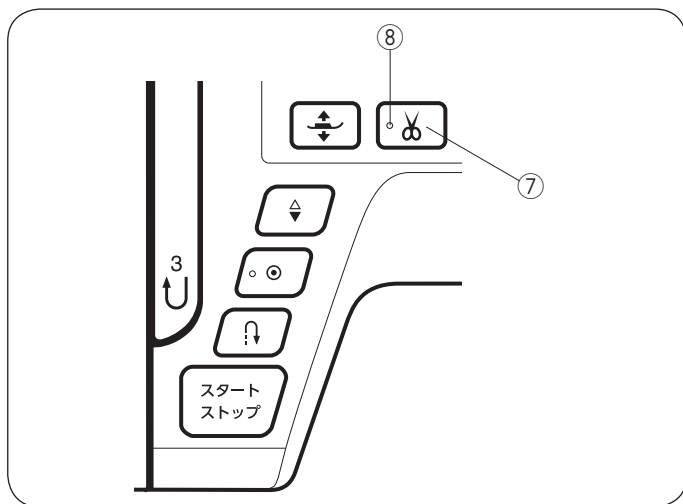
④ 上下停針ボタン

ミシンが停止しているときにボタンを押すと針の位置が上にあるときは下へ、下にあるときは上へ移動させることができます。

※ ミシンを停止したときの針位置の設定は、136 ページ「針停止位置」をごらんください。

⑤ 押さえ上下移動ボタン

ミシンが停止しているときに、押さえをあげたり下げたりします。



⑦ 糸切りボタン

ぬい終わったあとボタンを押すと、上糸と下糸を自動的に切ります。(自動糸切り)

糸を切ったあと、針は自動的に上の位置に移動します。
(41 ページ【ぬい終わり】参照)

糸切り後は下糸を針板の上に引きあげないで、そのままの状態ですぐにぬうことができます。

糸切り中は、LED ⑧ が点滅します。

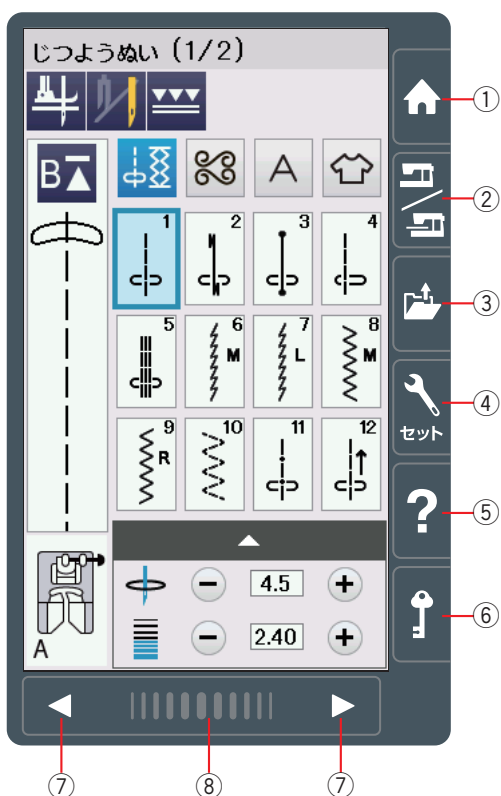
LED ⑧ が点灯しているときは使用できません。

※ 通常は、ぬい終わったあと糸切りボタンを押して上糸と下糸を切りますが、「通常ぬいオートストップ時の糸切り」を「ON」に設定すると、糸切りボタンを使用しないで、ぬい終わると同時に自動的に糸を切ることもできます。(139 ページ参照)

糸切りの注意事項：

- 以下の場合など LED ⑧ が点灯していないとき、糸切りボタンは使用できません。
 - － 電源をつけた直後。
 - － 押さえを押さえ上げであげたとき。
 - － 糸切りボタンを 3 回連続で押したとき。
- 30 番および 30 番より太い糸や特殊な糸を切る場合、2 本針ぬいで糸を切る場合、ミシンの面板上に付いている糸切りを使用してください。
(41 ページ「面版の糸切りの使い方」参照)
- 糸残りが少ない糸こまは使用しないでください。
糸がらみの原因となります。
- 糸切り部の掃除をときどき行ってください。
糸切り部に糸くすがたまと故障の原因となります。
(200 ページ参照)
- 糸が切れず糸がからんでしまった場合、ロックキーでミシンをロックしてから針板を外し、からんでいる糸を取り除いてください。(200 ページ参照)

〔電源投入時の通常ぬいモードの画面〕



● 画面（タッチパネル）

⚠ 注意：

画面のキーは付属のタッチペンか指で押してください。画面を鉛筆、ドライバーなどの硬いものや先の尖ったもので押さないでください。（タッチペンを使うことをおすすめします。）

① ホームキー

目的の様子が属している模様グループを選ぶときに使います。ホーム画面が表示されます。

【ホーム画面】

5つの模様グループ分けされたキー（じつようぬい / ボタンホール / アップリケ～ユーザー作成模様 / もじぬい / 用途選択）を押して、模様を選びます。

※ もとの画面の上に重ねてホーム画面が表示されます。

※ 閉じるキーを押すと前の画面にもどります。

② 通常ぬいモード / 刺しゅうモード切りかえキー

通常ぬいを行うか、刺しゅうを行うかを切りかえます。

③ ファイルオープンキー

ミシン本体や USB メモリに保存してある模様データを呼び出します。（98～99、197～198 ページ参照）

④ セットキー

ミシンの設定を変更できます。

共通設定（132～135 ページ参照）、通常ぬい設定（136～139 ページ参照）、刺しゅうぬい設定（191～195 ページ参照）、言語設定（140 ページ参照）があります。

⑤ ヘルプキー

ミシンの基本操作の画像説明ガイドを表示します。

⑥ ロックキー

押さえや針などの部品交換時、糸のセットを行うときなどに使います。ロックキーを押すと、押さえがさがった状態になります。

すべて（押さえ上下移動ボタンは除く）のボタンやキーの操作ができなくなり、ミシンも動きません。

現在設定されている状態を保持したまま安全に押さえや針の交換、糸のセットなどを行うことができます。

ロックを解除するにはもう一度ロックキーを押します。

※ 押さえや針、針板の交換、糸のセットなどを行うときに、ロック状態にしないで、電源スイッチを切った状態で行うと、押さえ上げで押さえのあげさができない場合があります。

⑦ ページキー

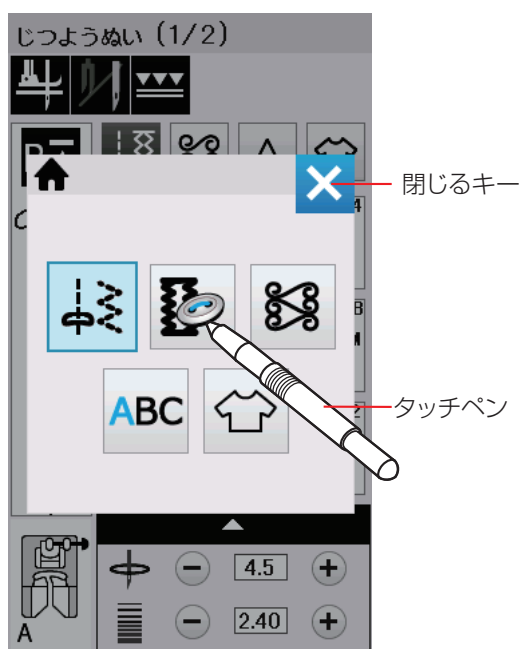
▶ キーを押すと次のページ、◀ キーを押すと前のページに移動します。

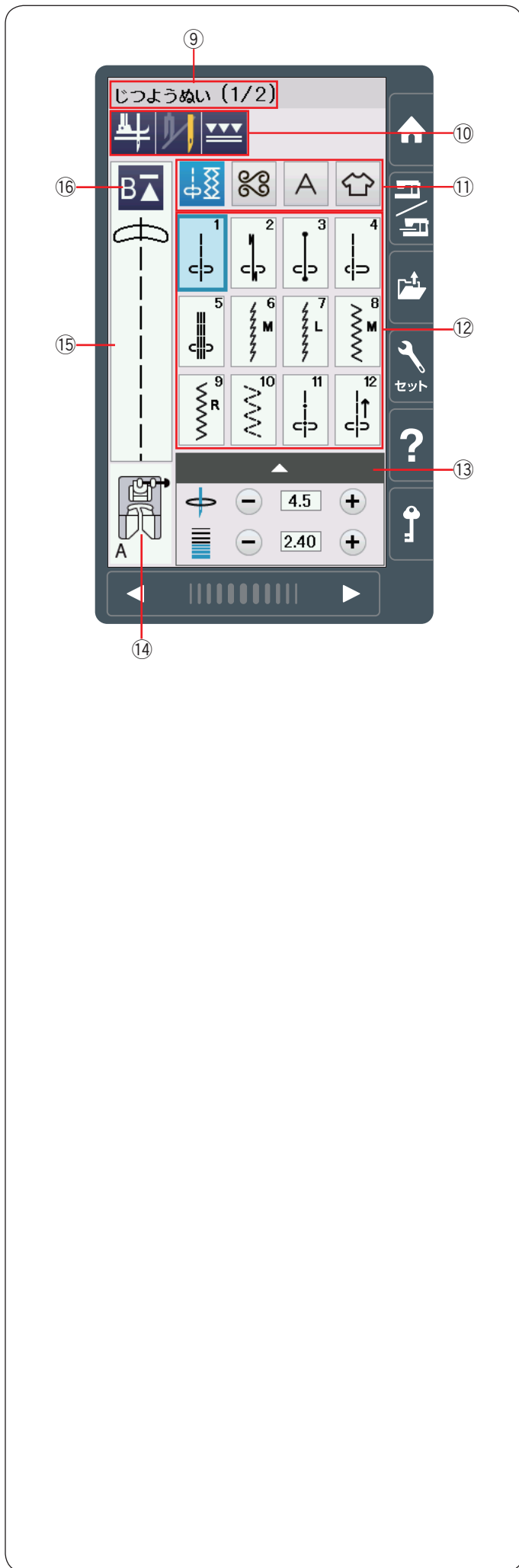
ページキーを押し続けるとページが連続でめくれます。

⑧ タッチバー

タッチバーを押しながら右側にスライドさせると次のページ、左側にスライドさせると前のページにかえることができます。

〔ホーム画面〕





⑨ 模様グループ名称とページ

選ばれている模様グループの名称とページが表示されます。

⑩ 設定キー

選ばれている模様を設定されているぬい条件をお好みのぬい条件に変更できます。(32～33 ページ参照)

⑪ 模様グループ選択キー

目的の模様が属している模様グループを選びます。(31 ページ参照)

⑫ 模様選択キー

模様を直接選んでぬうことができます。

⑬ 調整キー

選ばれている模様のぬい目の幅、あかさ、糸調子、押さえ圧の変更ができます。

模様によって、調整項目は異なります。(34～36 ページ参照)

⑭ 適正な押さえの表示

選択した模様の代表的なぬいに適した押さえが表示されます。

ぬい目的によって、使用する押さえは異なります。

⑮ イメージ表示部

選択した模様のぬいイメージが表示されます。

⑯ 模様頭出しキー

模様をぬっている途中でミシンを止めた場合、次にぬうときにその模様の最初からぬうことができます。

(86 ページ参照)

● 押さえの外し方、付け方

⚠ 注意：

- 押さえを交換する場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。
- 押さえは模様にあったものを使用してください。押さえが合っていないと針が押さえにあたり、けがの原因となります。

【押さえの外し方】

- 1 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を押して針をあげます。
ロックキー②を押してミシンをロックします。
(14 ページ参照)

- 2 押さえ上げ③をあげます。

※ 押さえ上下移動ボタンで押さえをあげると、このあと押さえ上げ③で押さえをさげることができません。

- 3 押さえホルダー④のレバー⑤をうしろ側から手前に押し、押さえ⑥を外します。

⚠ 注意：

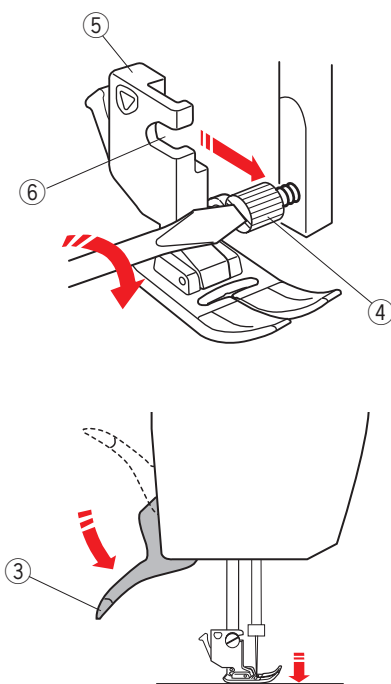
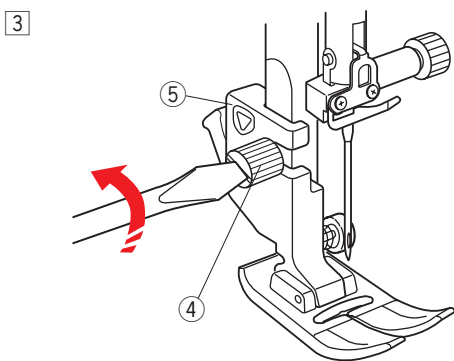
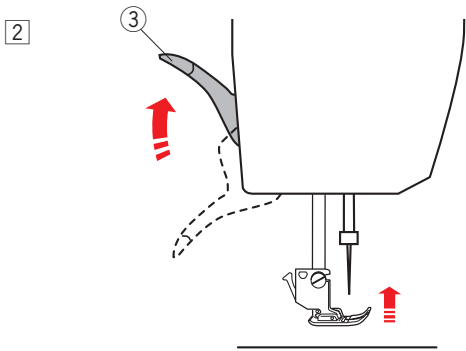
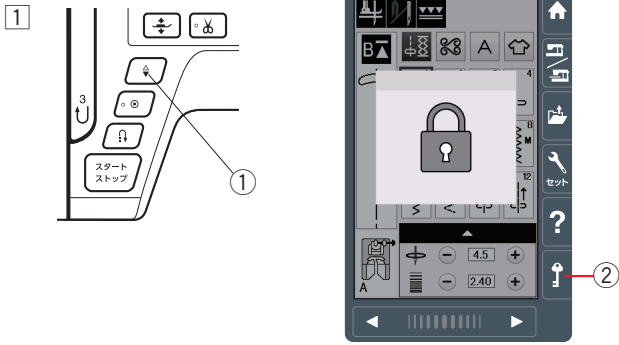
レバー⑤を上から押さないでください。
故障の原因となります。

【押さへの付け方】

交換する押さへのピン⑦を、押さえホルダーのみぞ⑧に合うように真下へおきます。

押さえ上げをゆっくりさげ、押さえ⑥を取り付けます。

※ 押さえは、模様にあったものを使用してください。
押さえには押さえ記号⑨が付いています。



● 押さえホルダーの外し方、付け方

上送り押さえやPD-H：フリーキルト押さえなどを使用する場合、押さえホルダーを外します。

⚠ 注意：

押さえホルダーの取り付け、取り外しを行う場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

【押さえホルダーの外し方】

- ① 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を押して針をあげます。
ロックキー②を押してミシンをロックします。
(14 ページ参照)
- ② 押さえ上げ③をあげます。

- ③ ドライバーで押さえホルダー止めねじ④を左にまわしてゆるめ、押さえホルダー⑤を外します。

【押さえホルダーの付け方】

メモ：

押さえホルダーは、押さえが付いた状態で取り付けてください。押さえが付いていないと正常な取り付けができません。

電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を押して針をあげます。

ロックキー②を押してミシンをロックし、押さえ上げ③をあげます。

※ 押さえ上下移動ボタンで押さえをあげると、このあと押さえ上げで押さえをさげることができません。

押さえホルダーのみぞ⑥を、うしろ側から押さえホルダー止めねじ④に合わせ、押さえホルダー⑤を仮止めます。

押さえ上げ③をゆっくりさげます。はずみ車を手前にまわし、針をいちばん下までさげます。

押さえホルダー止めねじ④を一度少しゆるめてから、押さえが針板に押し付けられた状態で押さえホルダー止めねじ④を右にまわしてドライバーでしっかりしめます。

● 上送り押さえの付け方、外し方

⚠ 注意：

上送り押さえの取り付け、取り外しを行う場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

メモ：

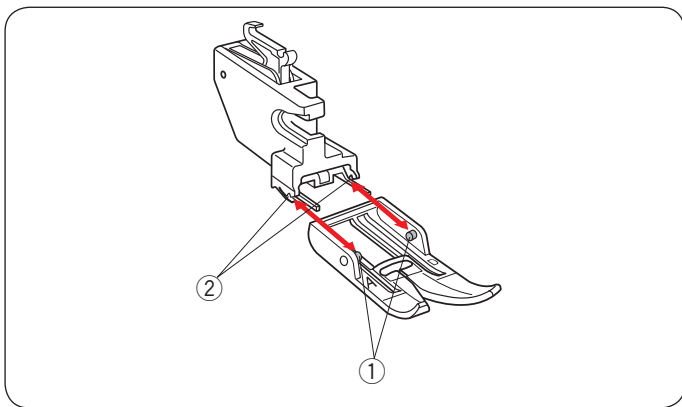
上送り押さえホルダーは、押さえが付いた状態で取り付けてください。押さえが付いていないと正常な取り付けができません。

【上送り押さえの付け方】

- 1 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を押して針をあげます。
ロックキー②を押してミシンをロックし（14ページ参照）、押さえ上げ⑧をあげます。
※ 押さえ上下移動ボタンで押さえをあげると、このあと手順④で押さえあげで押さえをさげることができません。
ドライバーで押さえホルダー止めねじ④を左にまわしてゆるめ、押さえホルダーを外します。（17ページ参照）
- 2 上送り押さえホルダーのみぞ③を押さえホルダー止めねじ④に合わせ、押さえホルダー止めねじ④を上送り押さえホルダー⑤にふれる位置まで指で右にまわし、上送り押さえホルダー⑤を仮止めします。
- 3 上送り押さえホルダー⑤のフック部⑥をうしろ側から手前に「カチン」と音がして止まるまでしっかりと押し付けます。
※ 上送り押さえホルダー⑤のフック部⑥が上送り取り付けピン⑦にしっかりと押し付けられた状態になっていないと、上送りが正常にはたらかせません。
- 4 押さえ上げ⑧をゆっくりさげます。
はずみ車を手前にまわし、針をいちばん下までさげます。
- 5 押さえホルダー止めねじ④を一度少しゆるめ、上送り押さえが針板に押し付けられた状態で、ドライバーでしっかりしめます。

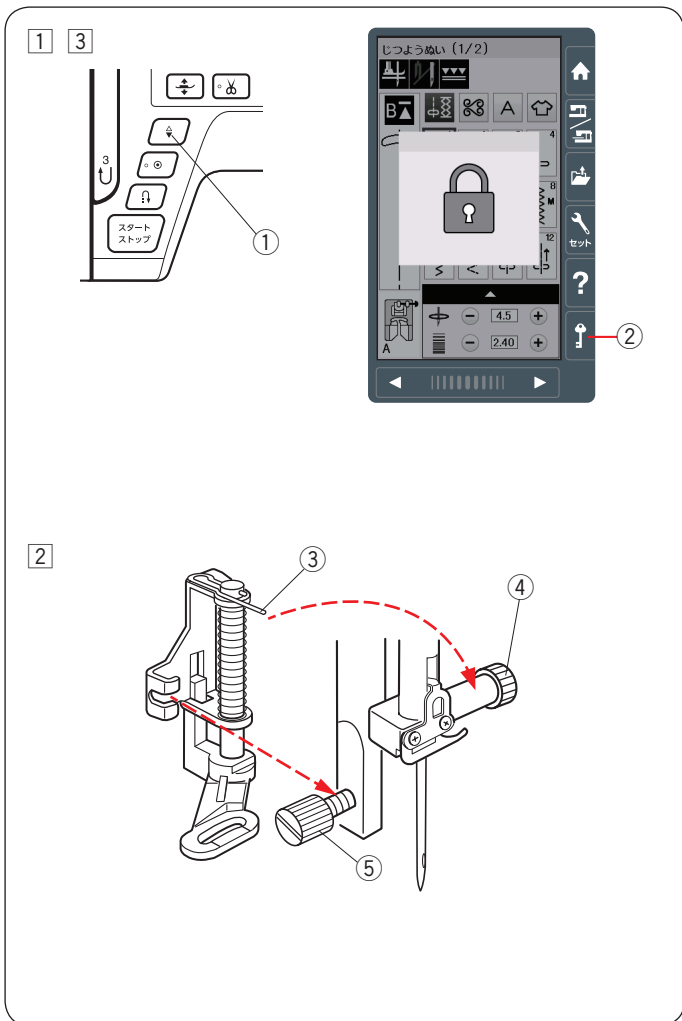
【上送り押さえの外し方】

上送り押さえホルダーを外すときは、通常の押さえホルダーを外す場合と同じ方法（17ページ【押さえホルダーの外し方】参照）で針と押さえを上げ、押さえホルダー止めねじをゆるめてから上送り押さえホルダーをうしろ側に引いて外してください。



【上送り押さえの交換】

取り外す場合、押さえを手前に引いて取り外します。
取り付ける場合、押さえのピン①を押さえホルダーのみぞ②に差し込み、「カチッ」と音がするまで押し込みます。



● その他押さえの交換

⚠ 注意：

押さえの取り付け、取り外しを行う場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

★ PD-H：フリーキルト押さえ

- ① 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を押して針をあげます。
ロックキー②を押してミシンをロックし（14ページ参照）、押さえ上げをあげます。
ドライバーで押さえホルダー止めねじ⑤を左にまわしてゆるめ、押さえホルダーを外します。
（17ページ参照）
- ② 針と押さえ上げがあがっている状態で、PD-H：フリーキルト押さえのピン③を針止め④の上にのせます。
押さえのみぞを、うしろ側から押さえホルダー止めねじ⑤に合わせ、ドライバーでしっかりしめます。

メモ：

取り付け後、押さえが傾いていないことを確認してください。針が押さえにあたり、けがの原因となります。

- ③ ロックキー②を押して、ロック状態を解除します。
- ※ 取り外すときは、電源スイッチを入れた状態でロックキーを押してミシンをロックします。
針と押さえ上げをあげ、押さえホルダー止めねじをドライバーでゆるめ、押さえを取り外します。

★ HP：プロフェッショナル直線押さえ

- ① 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を押して針をあげます。
ロックキー②を押してミシンをロックし（14ページ参照）、押さえ上げ⑤をあげます。
- ② ドライバーで押さえホルダー止めねじ③を左にまわしてゆるめ、押さえホルダーを外します。
（17ページ参照）

- ③ 押さえ棒④にHP：プロフェッショナル直線押さえを図のように取り付けます。
押さえホルダー止めねじ③を軽くしめ、押さえを仮止めしておきます。

- ④ 押さえ上げ⑤をゆっくりさげます。
はずみ車を手前にまわし、針をいちばん下までさげます。

- ⑤ 押さえホルダー止めねじ③を一度少しゆるめます。
押さえが針板に押し付けられた状態で、押さえホルダー止めねじ③をドライバーでしっかりしめます。

- ⑥ ロックキー②を押して、ロック状態を解除します。

※ 取り外すときは、電源スイッチを入れた状態でロックキー②を押してミシンをロックします。
針と押さえ上げ⑤をあげ、押さえホルダー止めねじ③をドライバーでゆるめ、押さえを取り外します。

★ P：刺しゅう押さえ

P：刺しゅう押さえを押さえ棒のうしろから取り付けます。（145ページ参照）

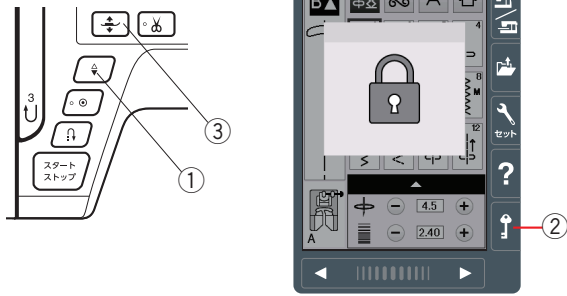
押さえホルダー止めねじ①をドライバーでしっかりとしめます。

★ PC-1、PC-2：カウチング押さえ

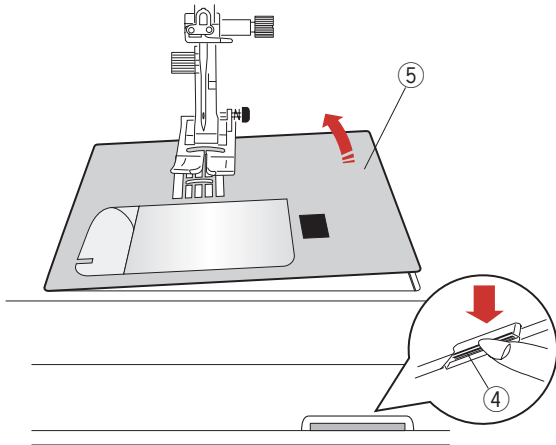
PC-1、PC-2 カウチング押さえを、押さえ棒の前から取り付けます。

押さえホルダー止めねじ①をドライバーでしっかりとしめます。

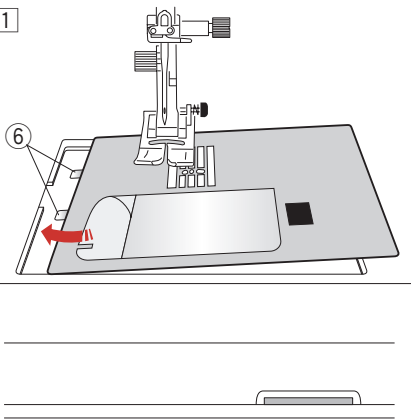
1



2



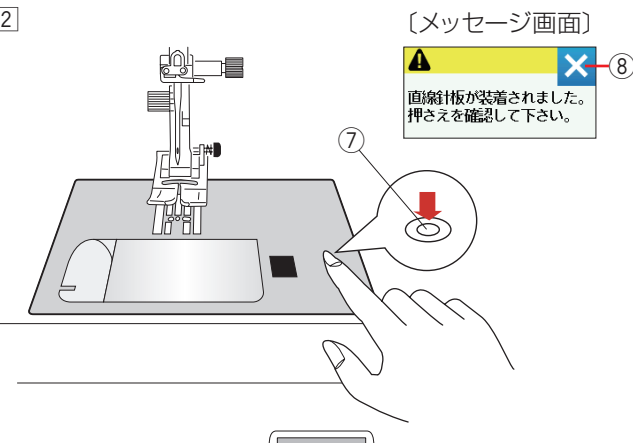
1



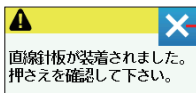
〔警告メッセージ〕



2



〔メッセージ画面〕



● 針板の外し方、付け方

⚠ 注意：

針板の交換を行う場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

メモ：

- 直線針板を取り付けると、直線針板でぬえない模様は選択できなくなります。
- プロフェッショナル直線針板（左針位置専用）は、付属のHP：プロフェッショナル直線押さえと一緒に使います。（48 ページ参照）

【針板の外し方】

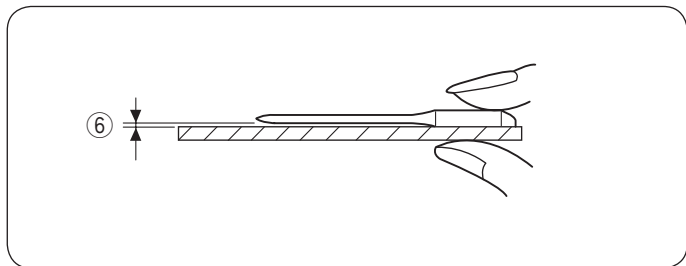
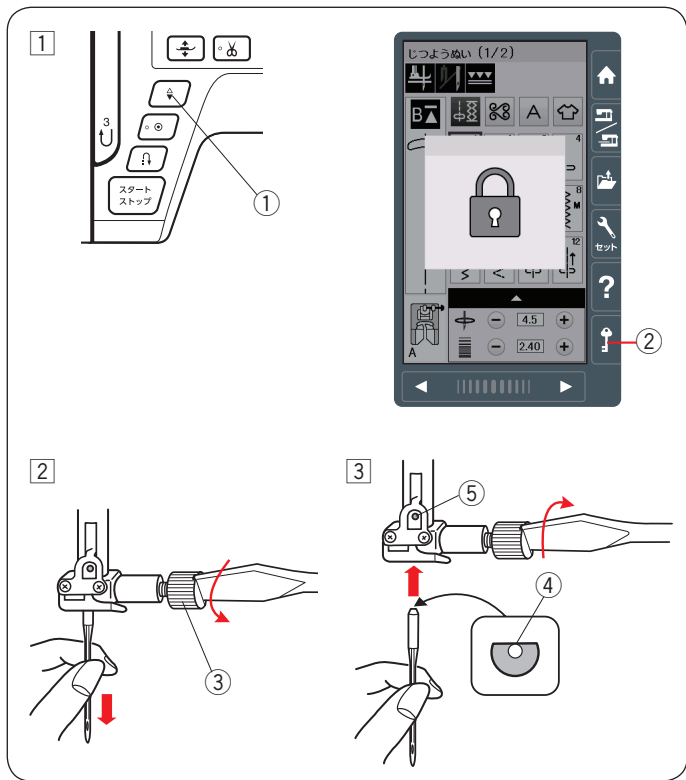
- 1 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を押して針をあげます。
ロックキー②を押してミシンをロックします。
(14 ページ参照)
押さえ上下移動ボタン③を押し、押さえをあげます。
※ 押さえをあげる時、押さえ上げであげるよりも押さえ上下移動ボタン③であげるほうが高くあがり、針板が取り外しやすくなります。
- 2 補助テーブルを左に引いて外します。
フリーアーム中央の下にある針板開放レバー④をさげて、針板⑤を外します。

【針板の付け方】

- 1 ミシンの針板取り付け部左側に針板の2つのガイド⑥を入れます。
※ ミシンの電源スイッチが入っている場合、針板が外れているあいだ、針板が外れていることを示す警告メッセージ画面が表示されます。
針板を取り付けたとき、警告メッセージ画面が消えることを確認してください。消えない場合、もう一度取り付け直してください。
- 2 針板右側にある「◎」マーク⑦が付いている場所を「パチン」と音がするまで指でしっかりと押しつけて、針板を固定します。
※ 針板を取り付け後、押さえ確認のメッセージ画面が表示されます。押さえを確認したあと、閉じるキー⑧を押します。また、はずみ車を手で手前にゆっくりまわして、針が針板にあたらぬことを確認してください。
※ メッセージ画面が消えたら、ロックキー②を押してロックを解除します。

⚠ 注意：

ミシンの運転中、針板開放レバーは絶対に押さないでください。



● 針の取りかえ方



注意：

針を交換する場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

- ① 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を押して針をあげます。
ロックキー②を押してミシンをロックします。
(14 ページ参照)
押さえは、さがった状態のままにしておきます。
- ② 針止めねじ③を手前に1～2回まわしてゆるめ、針を外します。
- ③ 交換する針の平らな面④を向こう側に向け、差し込みます。
差し込むとき、針を停止ピン⑤にあたるまで押しあげます。針止めねじをドライバーでまわし、針をしっかり止めます。

※ 正しく針が付けられていないと、糸通しができないだけでなく、針がゆるんで針折れして危険です。

【針の調べ方】

針の状態を見るには、針の平らな面を針板などの平らなものに乗せます。

針と平らな面のすきま⑥が針先まで均等に見えるのが良い針です。

針先が曲がったり、つぶれたりしているものは使わないでください。

● 布に適した糸や針を選ぶ目安

【通常ぬいの場合】

布の種類		糸	針
うすい布	ローン ジョーゼット トリコット	ポリエステル 90 番	9 番～11 番 または ブルー針
普通の布	シーチング ジャージー 一般ウール地	絹糸 50 番、 綿糸 60 番、 ポリエステル、ナイロン 50 番～90 番	11 番～14 番 または ブルー針、レッド針、 パープル針
		綿糸 50 番	14 番 または レッド針、パープル針
厚い布	デニム ツイード コート地	絹糸 50 番 綿糸 40 番～50 番 ポリエステル 40 番～50 番	14 番～16 番 または レッド針、パープル針
		ポリエステル 30 番、 綿糸 30 番	16 番

※ ブルー針〔11 番〕、レッド針〔14 番〕、パープル針〔14 番〕は、標準付属品の針ケースに入っています。

※ 一般的に、うすい布には細い糸と細い針を、厚い布には太い糸と太い針を使用します。この表を目安に糸と針を選び、試しぬいをしてください。

※ 通常は、上糸と下糸は同じものを使用してください。

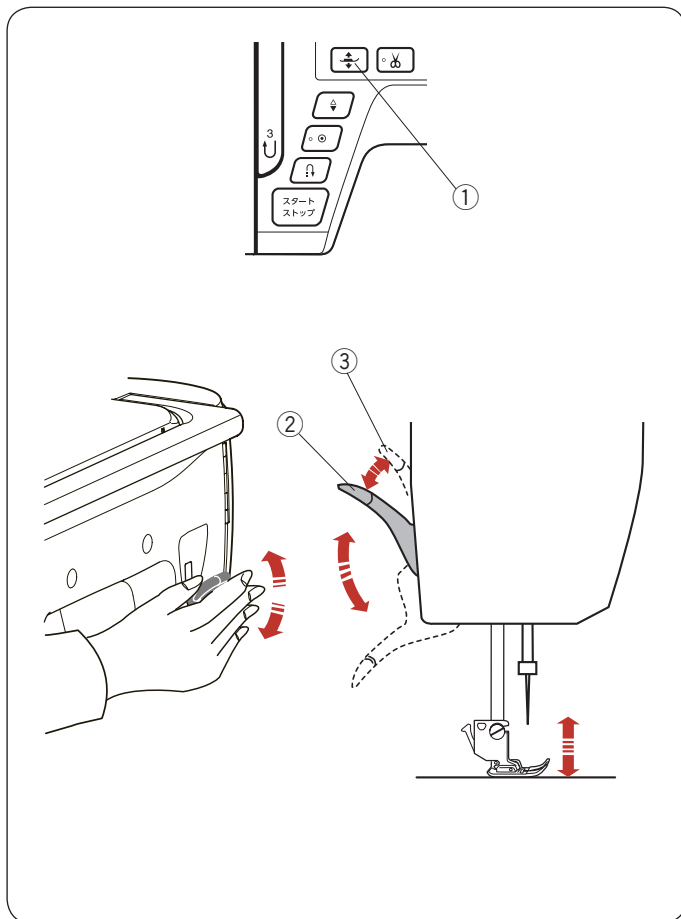
※ ブルー針（柄の部分が青色の針）およびパープル針（柄の部分が紫色の針）は、目とび防止の効果があります。

【刺しゅうの場合】

布の種類	糸	針
うすい布	ミシン刺しゅう糸	11 番 または ブルー針
普通の布、 ニット地		14 番 または レッド針
厚い布		

※ 刺しゅうには、刺しゅう専用の下糸を使用してください。

※ レッド針を使用して目とびしやすい場合、パープル（紫）針を使用してください。目とび防止の効果があります。



● 押さえ上げ

押さえ上げ②は、押さえを交換するときや、厚い布を入れるときなど特殊な場合に使います。

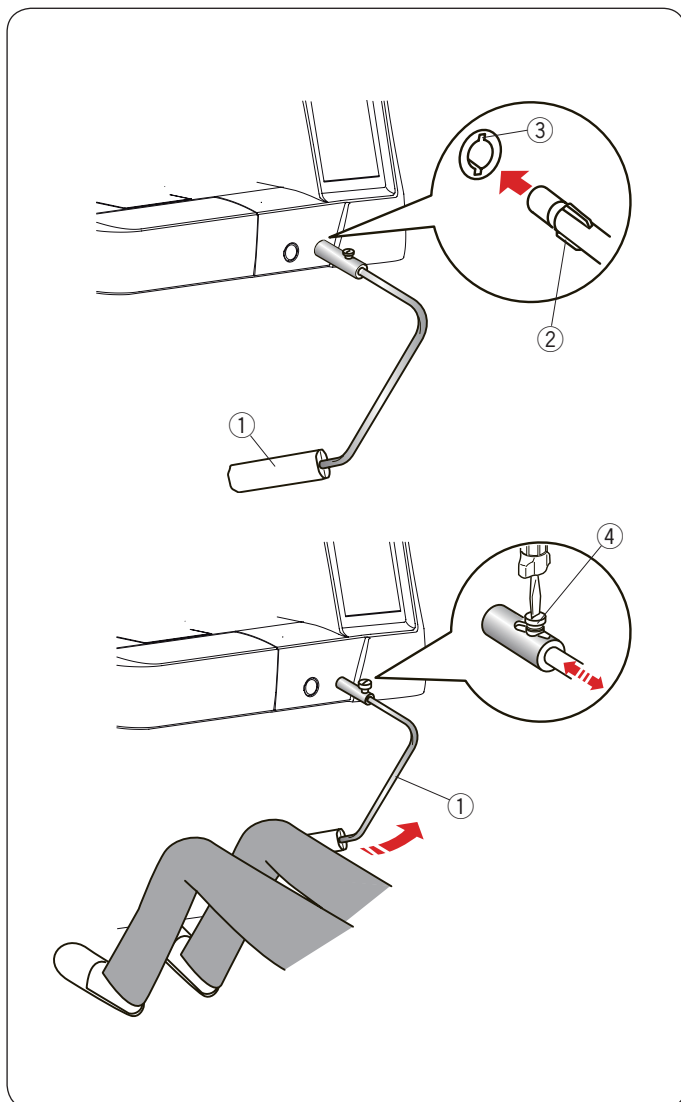
押さえ上下移動ボタン①、押さえ上げ②、もしくはニーリフトで、押さえのあげ下げを行います。

ニーリフトや押さえ上げ②を使用すると、押さえ上げを普通にあげて止まる位置②より7mm高くあげる③ことができます。

厚い布が入れやすくなります。

メモ：

- 押さえ上下移動ボタン①で押さえをあげた場合、押さえ上げ②で押さえをおろすことはできません。一度、押さえ上下移動ボタン①を押して押さを下げると、押さえ上げ②で押さを上下できるようになります。
- 通常、押さえのあげ下げには、押さえ上下移動ボタン①を使用します。押さえ上げ②を使用すると、ミシンがスタートしなかったり、自動糸切りができなかったりする場合があります。
- 押さを一番高くあげた状態ではすみ車をまわしたり、上下停針ボタン①を押したりしないでください。



● ニーリフト

ニーリフトを取り付けると、押さえ上下移動ボタンを使わず、ひざで押さえのあげ下げができます。

パッチワークや、キルトをぬうときにとても便利です。

ニーリフトを使用したバリエブルZZ（可変ジグザグ）は128～129ページをごらんください。

【ニーリフトの取り付け】

ニーリフト①の凸部②を取り付け穴の凹部③に合わせ、差し込みます。

【ニーリフトの角度調整】

ねじ④をゆるめて、ニーリフト①を出し入れし、角度を調整します。ねじ④をしめ、お好みの角度でニーリフト①を固定してください。

【ニーリフトの使い方】

ニーリフトをひざで右側に押しと押さえがあがり（2段階）、もどすと押さえがさがります。

※ ぬっている途中、ニーリフトには触れないよう注意してください。

● 送り歯ドロップつまみ

送り歯ドロップつまみで送り歯を常時さげた状態にし、布送り機能をなしにすることができます。

しつけぬいやボタンつけ、フリーキルティングなどを行うときに使用します。

送り歯②をさげるには、送り歯ドロップつまみ①を手前の方向に引きます。

送り歯②をあげるには、送り歯ドロップつまみ①を〔送り歯をあげる位置〕にもどします。

※ 送り歯をさげた場合、ぬい終わったら送り歯ドロップつまみ①を〔送り歯をあげる位置〕にもどし、はずみ車を手で手前にまわして送り歯があがることを確認してください。

メモ：

送り歯をさげてミシンをスタートさせると画面にメッセージ画面が表示されます。

送り歯を確認したあと、閉じるキー③を押してミシンをスタートさせると、送り歯をさげた状態で運転することができます。

● 面板レンズ

面板レンズをミシンに取り付けると針元が大きく見えるので、細かいぬい作業などに便利です。

警告：

- 面板レンズで太陽光などの強い光を見ないでください。目を損傷するおそれがあります。
- 面板レンズを直射日光などの強い光が当たる場所に放置しないでください。火災の原因となります。

注意：

面板レンズは、ぶついたり、過度な力を加えたりしないでください。けが・破損の原因となります。

【面板レンズの付け方】

① 面板レンズのつまみ①を持ち、図のように面板レンズを正面に向けた位置で、面板レンズの取り付け軸②をミシンの取り付け穴③に止まるまで押し込み取り付けます。

② 見やすい角度に調整します。

③ 面板レンズを使わない場合、レンズ部分を横に回転させたり、レンズだけを取り外したりすることもできます。

【面板レンズの外し方】

取り外す場合、レンズを正面に向けた位置で面板レンズのつまみ①を下側にさげます。

◎ぬう前の準備

●下糸の準備

ナイロン透明糸およびメタリック糸を、下糸に使用しないでください。

★ボビンの取り出し

押さえ上げをあげ、角板開放ボタン①を右へずらして角板②を外します。

ボビン③を取り出します。

お願い：

- ボビンは当社専用のプラスチックボビンを使用してください。(お買い上げの販売店へご相談ください。)
- 金属ボビンは使用しないでください。釜にマグネットが使用されているため、糸調子の不具合や、故障の原因となります。

★糸こまのセット

糸立て棒③をおこします。糸の端④が糸こま②の下から手前に出るように糸こま②を糸立て棒③に入れます。糸こま押さえ(大)①を糸こま②にしっかりと押しつけ、糸こまを押さえます。

普通の糸こまには糸こま押さえ(大)①を、小さい糸こまには、糸こま押さえ(小)⑤を使います。

メモ：

レジロンなど伸縮性の糸を使用する場合、市販の糸こまネット⑥の使用をおすすめします。糸外れや糸のよじれ防止効果があります。糸こまネットは、糸こまの大きさに合わせて折り曲げるか、切って使用してください。

下記の長さの糸こまを固定する場合、特殊糸こま押さえ⑦を使用します。

サイズは以下の通りです：

糸こまの芯の直径が9.5 mm～10.5 mmで、糸こまの長さが70 mm～75 mm。

糸こまの芯の穴の中に特殊糸こま押さえ⑦を図のようにしっかりと入れ、糸こまを押さえます。

※糸こまと糸こま押さえ(特殊)⑦のあいだには、すきまがないようにしてください。

★補助糸立て棒の使い方

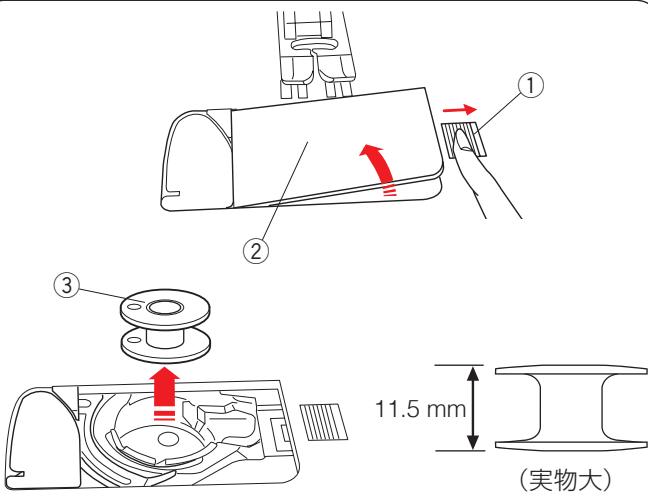
ぬいの途中で下糸巻きを行いたい場合、補助糸立て棒①を使います。(26ページ参照)

補助糸立て棒①を補助糸立て棒取り付け穴②に差し込みます。(正しい位置に差し込むと、補助糸立て棒①は回転せず、固定されます。)

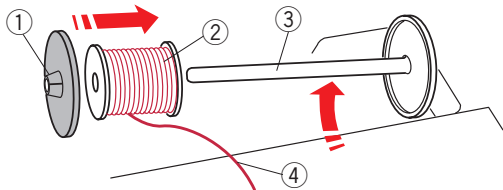
糸こま③を補助糸立て棒①に取り付け、糸こま押さえ(大)④で固定します。

メモ：

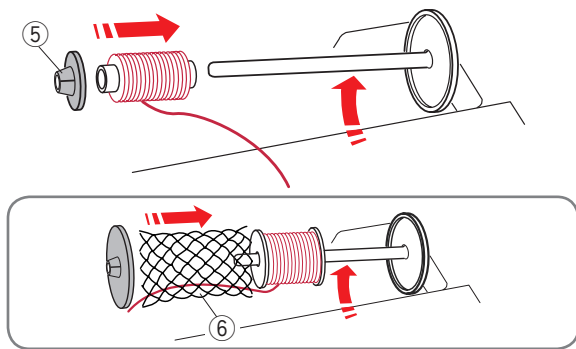
補助糸立て棒①は2本針ぬいをする場合にも使用します。(130ページ参照)



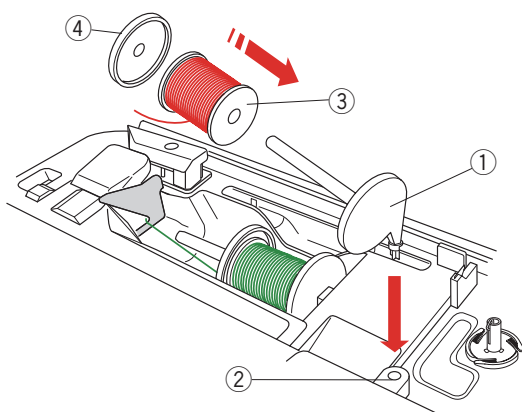
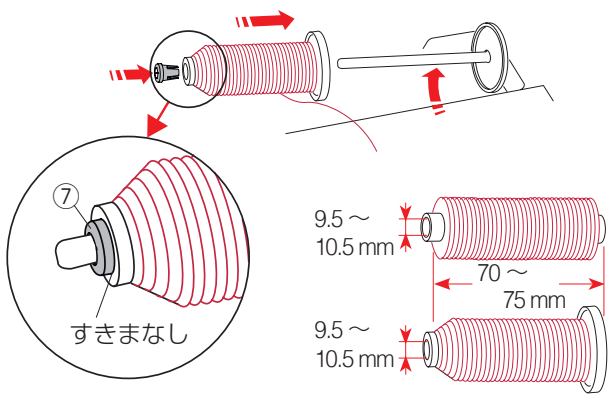
《普通の糸こまの場合》



《小さい糸こまの場合》



《特殊糸こまの場合》



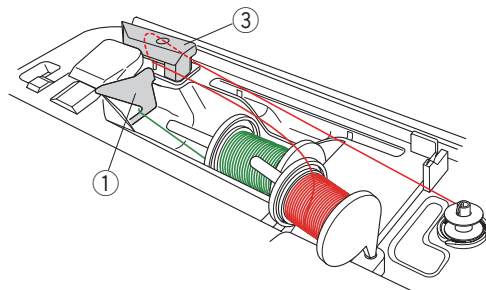
★ 下糸巻き

メモ：

下糸巻きのときは、スピードコントロールつまみを、最高速（いちばん右側の位置）にしてください。（11 ページ参照）

補助糸立て棒使用時の下糸巻き

補助糸立て棒を使用する場合、糸は糸かけ板①にかけず糸案内カバー（B）③にかけます。



- ① 糸こまから糸を引き出します。
糸を両手で持ち、糸かけ板①にかけます。
- ② 糸案内カバー（A）②の上から糸案内カバー（B）③の左うしろに糸をまわし、必ず強めに右に引き出します。
※ 糸を補助ばね④の下へ確実に通すために、糸こま側の糸を左手で持ち、引き出した糸を右手で強めに引いてください。補助ばね④の下を通していないと、糸巻き不良の原因となります。
- ③ 糸巻き軸⑤にボビン⑥を差し込みます。
- ④ 右に引き出した糸を左手で押さえ、右手で糸の端をボビンに右まわり（時計まわり）に4～5回巻きます。
- ⑤ ボビンに巻いた糸を糸切りホルダー⑦のみぞ⑧に入れて引き、糸を切ります。みぞ⑧は3カ所あり、中にカッターが内蔵されています。
- ⑥ ボビンをボビン押さえ⑨の方に押しつけます。
画面が「糸巻き中」の表示になります。
- ⑦ ミシンをスタートさせます。
- ⑧ ボビンが巻き終わると、自動的に回転が止まります。
ミシンを止め、ボビンを左側に押しもとの位置にもどします。
- ⑨ 糸巻き軸⑤からボビン⑥を外し、糸を糸切り（下糸巻き用）⑩で切ります。

メモ：

- 安全のため、ミシンは下糸巻きが始まってから約1分30秒後に自動的に止まります。
- ボビン（糸巻き軸）は必ずミシンを停止してから元の位置にもどしてください。

★ ポビンのセット

⚠ 注意：

ポビンを内がまにセットする場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

- 電源スイッチを入れた状態でロックキー ① を押し、ミシンをロックします。(14 ページ参照)
針がさがっている場合、はずみ車を手で手前にまわして針をあげ、押さえ上げをあげます。
ポビンから出る糸の端 ② が反時計まわりになるようにし、図のようにポビンを内がま ③ に入れます。
(ポビンから引き出される糸の状態の図が角板 ④ に表示されています。)

- ポビンが回転しないように、右手で押さえます。
糸の端を内がまの手前のみぞ ⑤ にかけます。
糸を左に引き、つもの ⑥ の下をくぐらせます。

※ 糸を各部に確実にかけるため、手順 ④ が終わるまで右手でポビンを押さえおきます。

- つもの下をくぐらせた糸を、矢印 1 の方向に引きあげて矢印 1 の右側のみぞ ⑦ に入れます。
糸が左側のみぞ ⑧ から出ているのを確認してください。

メモ：

手順 ② で、内がまの手前のみぞ ⑤ に糸がかかっていると、内がまの板ばね ⑨ のあいだに糸が入らず、ポビンから直接 1 と書いてある矢印の右側のみぞ ⑦ に通ってしまいます。(左図 B 参照)

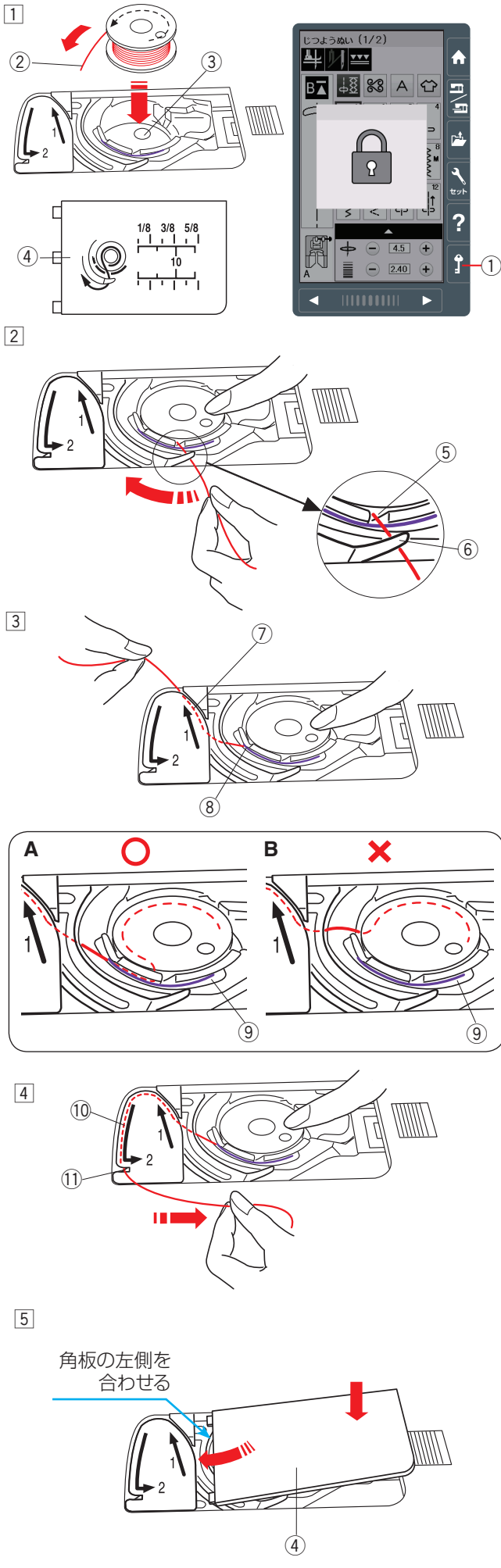
その場合は手順 ② からかけ直してください。正しくかけられていないと、ぬい不良の原因となります。

- みぞ ⑩ に沿って矢印 2 の方向に糸を通し、下側の Cutter (下糸切り用) ⑪ にかけて右に水平に引いて糸を切ります。

- 角板 ④ を左側から合わせて取り付けます。
角板を下へ押しミシンに取り付けます。

メモ：

- 通常は下糸を引き出さずにぬい始めることができます。
- ぬい始めに下糸を針板の上に引き出す必要がある場合、30 ページをごらんください。



● 上糸かけ



注意：

糸をかけるときは、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

メモ：

- 糸こまが外れるのを防ぐため、必ず糸こま押さえを使用してください。
- 上糸かけは、糸を各部に確実にかけるために、常に右手で糸こま側の糸を押さえながら、左手で強めに引いてかけてください。

電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタンを押し、針と天びんを上にあげます。

ロックキー①を押してミシンをロックします。
(14 ページ参照)

押さえはさげた状態になります。

※ ミシンがロックされていないと、糸が正しくかけられず、ぬい不良の原因となります。

糸を①から⑦の順にかけます。

① 糸こまから糸を引き出します。

糸を両手で持ち、糸かけ板②にかけます。

② 右手で糸こま側の糸を押さえ、糸案内カバー (A)③にかけます。

右のみぞ④に沿って糸をしっかりと引きます。

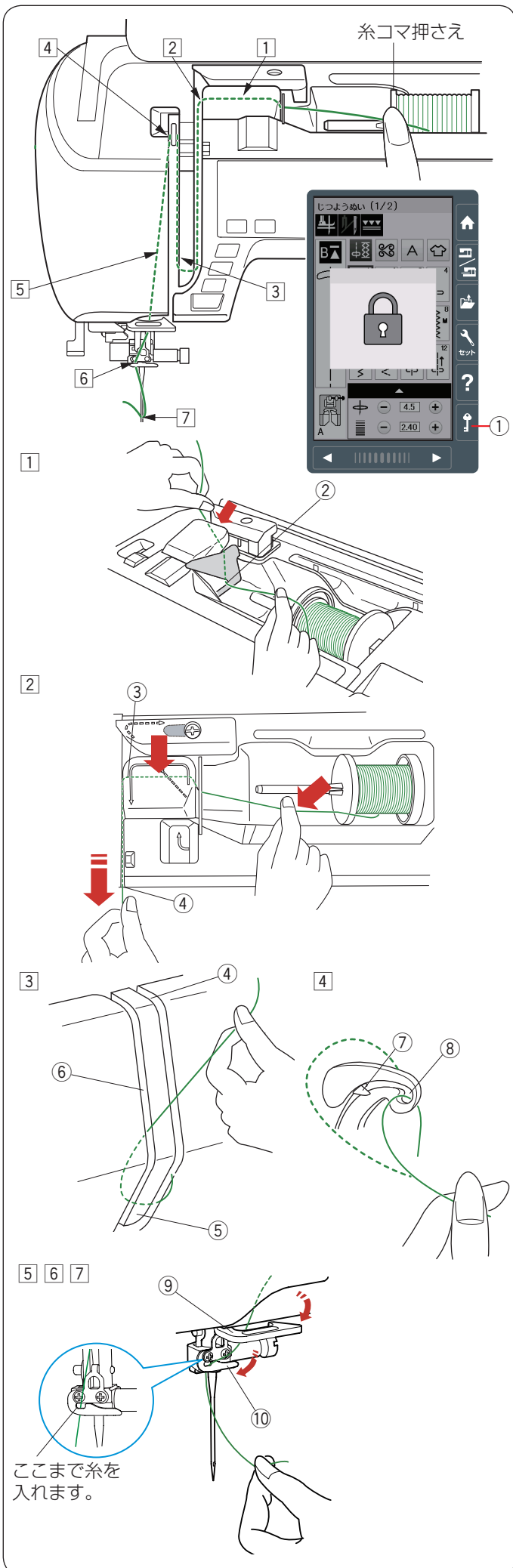
③ 糸を右のみぞ④から糸案内板⑤の下へくぐらせます。
糸を引き上げて左のみぞ⑥に通します。

④ 糸こま側の糸を押さえながら、天びんの右からうしろへまわして手前に引き、ばね⑦を通過させて糸穴⑧に入れ、まっすぐ下へおろします。

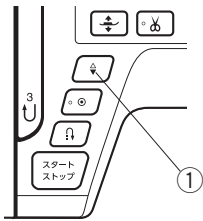
⑤ 糸をアーム糸案内⑨に右からかけます。

⑥ 糸を針棒糸かけ⑩に右からかけます。

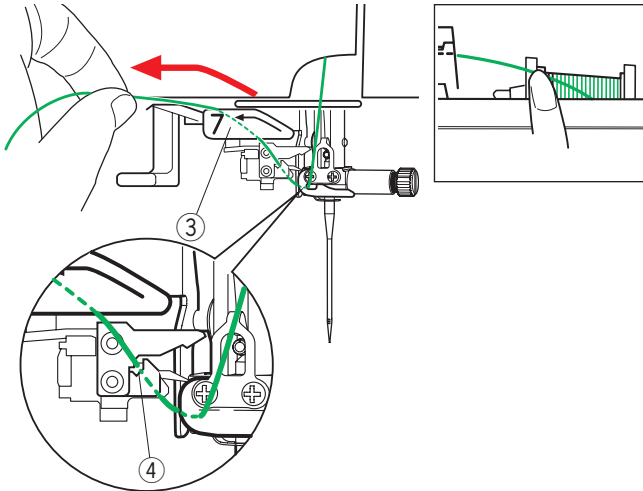
⑦ 糸通しを使い、針穴に糸を通します。
(29 ページ参照)



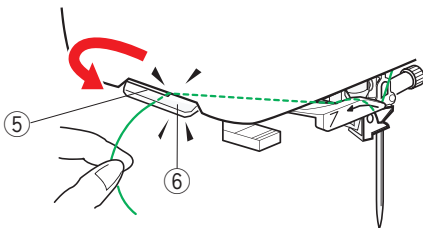
1



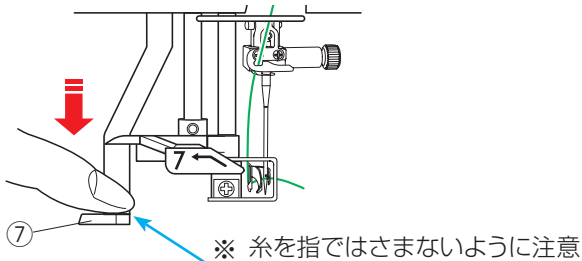
2



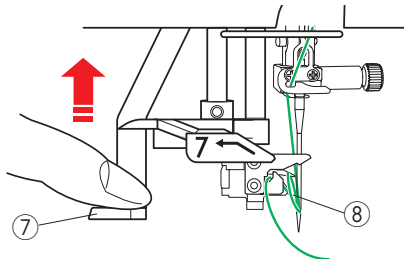
3



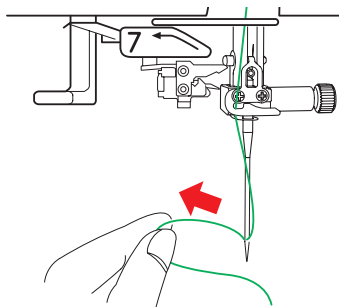
4



5



6



● 糸通し

⚠ 注意：

糸通しを使用する場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

メモ：

- 糸通しを使用する場合、針は 11 ~ 16 番を、糸の太さは 50 ~ 90 番を使用してください。
- 30 番より太い糸は使用しないでください。
- 2 本針の場合、糸通しは使用できません。

① 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を押して針をあげます。

ロックキー②を押し、ミシンをロックします。
(14 ページ参照)

押さえはさがった状態になります。

② 糸を糸ガイド③の上を通し、左に引きあげます。

※ 糸が糸通しのみぞ④を通っていることを確認します。

③ 引き上げた糸を、面板についている糸切り⑤に手前側から向こう側にかけて切ります。

糸が糸押さえ⑥で保持されます。

④ 糸通しレバー⑦を止まるまでさげます。

※ 糸通しレバー⑦をさげるときに、糸を指ではさまないように注意してください。

⑤ 糸通しレバー⑦を静かにもどすと、糸の輪⑧が引きあげられます。

⑥ 糸の輪⑧を糸通しから外し、糸の輪を向こう側に引いて、針穴から糸の端を引き出します。

メモ：

糸の輪⑧ができず、フックに引っかかってしまう場合、そのまま糸をうしろに引き出してください。

● 下糸を針板の上に引き出す場合

自動糸切り後やボビンを内がまにセットしたあとは、下糸を引きあげずにぬいをスタートすることができます。ただし、ギャザーやスモッキングなどをぬう場合に、ぬい始めの下糸を長くする必要があるときは、下記手順で下糸を針板の上に引き出します。

- 1 電源スイッチを入れた状態で、ロックキー①を押し、ミシンをロックします。(14ページ参照)

針がさがっている場合、はずみ車を手で手前にまわして針をあげ、押さえ上げをあげます。

ボビンを取り出します。

ボビンをもう一度内がまに入れ、27ページの手順①～③と同じ方法で下糸②を矢印1の方向に引きあげてみぞに入れたら、そのまま10cmほど向こう側に引き出しておき、角板③を取り付けます。

メモ：

下糸はカッター(糸切り)④で切らないでください。

- 2 針に上糸⑤を通し、押さえ上げをあげた状態で、上糸⑤の端を指で押さえます。

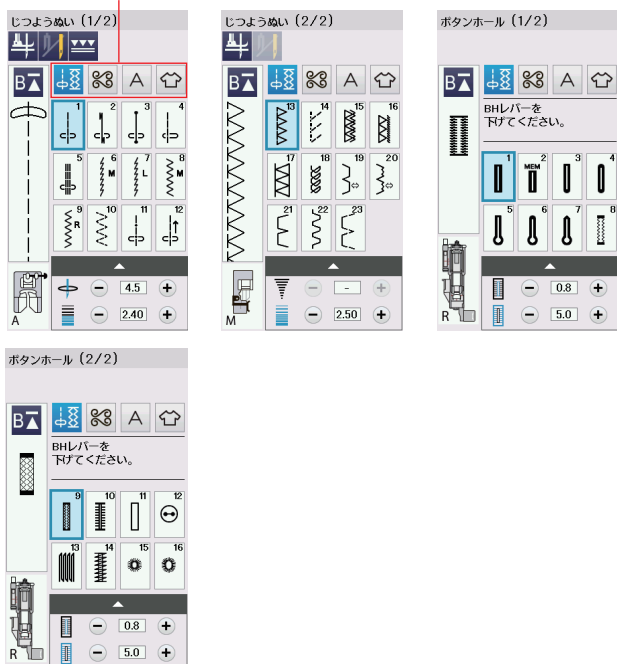
- 3 ロックキー①を押しロックを解除します。

上下停針ボタン⑥を押して針をさげ、もう一度押して針をあげます。

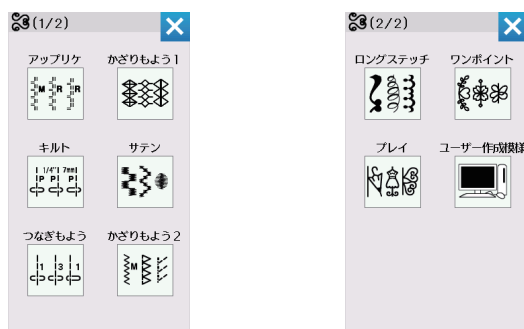
上糸⑤を軽く引くと下糸②の輪が引き出されます。

- 4 上糸⑤と下糸②を押さえの下からうしろ側に約10cmほど引き出して、そろえておきます。

① 模様グループ選択キー



②



③



④



◎ 通常ぬい

● 通常ぬい模様

通常ぬいモードは以下 4 つの模様グループに分かれています。

- ① じつようぬい、ボタンホールと特殊模様
- ② 飾りぬい、キルト模様
- ③ 文字ぬい
- ④ 用途選択

模様グループ選択キーのアイコンキーを押し、模様グループを選びます。

① じつようぬい、ボタンホールと特殊模様

じつようぬい、ボタンホールと特殊模様のグループを選ぶことができます。

② 飾りぬい、キルト模様

この模様グループには、以下の 10 のグループがあります。

- アップリケ
- かざりもよう 1
- キルト
- サテン
- つなぎもよう
- かざりもよう 2
- ロングステッチ
- ワンポイント
- プレイ
- ユーザー作成模様

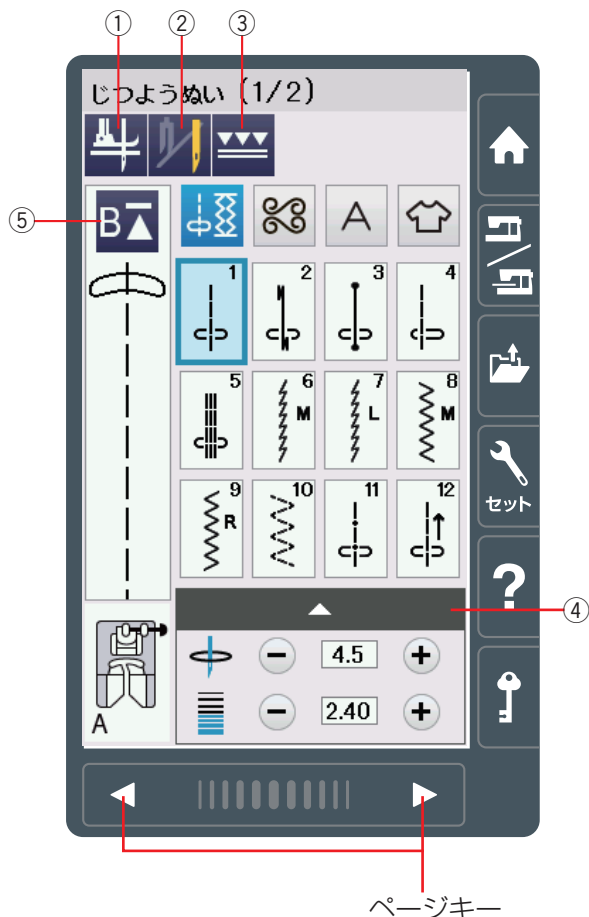
③ 文字ぬい

文字や文字の組み合わせをプログラムすることができます。

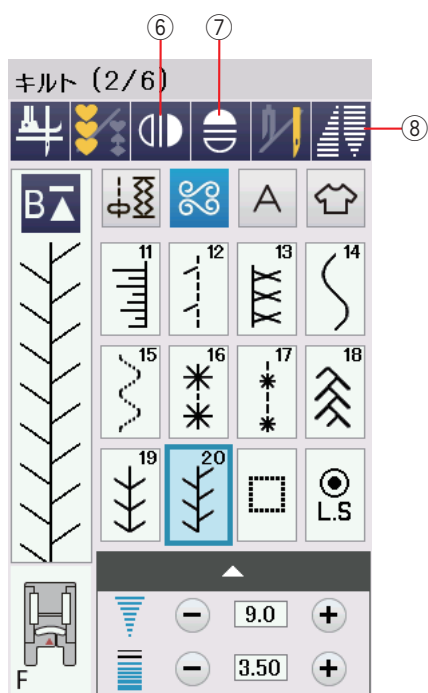
④ 用途選択

この模様グループでは、様々なぬい用途や布の種類に適したぬい模様を選ぶことができます。

〔じつようぬい模様選択画面〕 (1/2 ページ)



〔キルトグループ模様選択画面〕 (2/6 ページ)



● じつようぬいの画面

電源投入時はじつようぬいグループの模様選択画面になります。

じつようぬいグループには、23 個の模様 (模様番号 1 ~ 23) があり、2 つのページ (画面) に分かれています。(ページキーで選択)

じつようぬいグループの画面は、模様選択キー・設定キー・模様頭出しキーなどのキーと、選ばれている模様のぬい情報や設定状態が表示されています。

※ ぬい情報や設定状態の表示は、14 ~ 15 ページをごらんください。

★ 設定キー (通常ぬいモード)

模様を設定されているぬい条件をお好みのぬい条件に変更します。

選ばれている模様によっては、グレーになっていて使用できない設定キーがあります。

① ピボットぬい設定キー

ピボットぬいを行う場合に押します。(36 ページ参照)

ピボットぬい設定をすると、ミシンを止めたときに針が布にささり、押さえがあがった状態になります。

ぬい方向をかえてぬうときに、自分で押さえをあげる必要がなく、ぬい位置もずれず、きれいにぬうことができます。

② 2本針ぬい切りかえキー

付属の 2 本針を使用して 2 本針ぬいを行う場合に押します。(131 ページ参照)

③ 上送りぬい切りかえキー

付属の上送り押さえを使用して上送りぬいを行う場合に押し、上送りぬいに設定します。

(46 ~ 47 ページ参照)

④ 調整キー

調整キーを押すと調整画面が全体表示されます。調整画面では、ぬい目の幅 (直線状模様の場合は針位置)、ぬい目のあかさ、糸調子の設定値の変更や、押さえ圧の設定などを行うことができます。(34 ~ 36 ページ参照)

⑤ 模様頭出しキー

模様をぬっている途中でミシンを止めた場合、次にぬうときにその模様の最初からぬうことができます。

一度押しと現在ぬいかけの模様を最初からぬい直します。二度押しと現在ぬっている組み合わせ模様の先頭の模様からぬい直します。(86 ページ参照)

⑥ 左右反転キー

選択した模様を左右反転させてぬうことができます。(82 ~ 83 ページ参照)

⑦ 上下反転キー

選択した模様を上下反転させてぬうことができます。

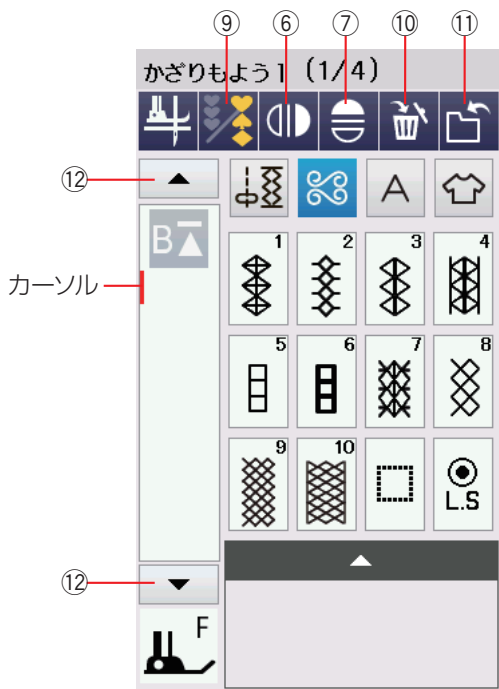
上下反転できない模様のキーはグレーになり選択できなくなります。(82 ~ 83 ページ参照)

⑧ テーパリングキー

テーパリングキーを押すと、テーパリング角度選択画面が表示されます。

テーパリング設定できない模様のキーはグレーになり選択できなくなります。(78 ページ参照)

〔かざりもよう 1 模様選択画面〕 (1/4 ページ)
 (模様組み合わせモード)



⑨ 模様組み合わせせキー

お好みの模様を組み合わせせてぬう場合に押します。模様組み合わせモードとなります。(80 ページ参照)
 左右反転キー ⑥、上下反転キー ⑦、削除キー ⑩、保存キー ⑪、カーソル移動キー ⑫ が表示されます。

⑩ 削除キー

カーソルの付いている模様を削除します。カーソルはカーソル移動キー ⑫ で移動させます。模様を組み合わせた状態でカーソルが最後の模様の外側にある場合、最後の模様が削除されます。(85 ページ参照)

⑪ 保存キー

組み合わせた模様をミシンや USB メモリに保存できます。(95 ~ 96 ページ参照)

⑫ カーソル移動キー

カーソルを移動させて、組み合わせた模様の中から変更したい模様(場所)を選ぶことができます。(85 ページ参照)

〔文字ぬい ブロック体の模様選択画面〕 (1/5 ページ)



⑬ 文字高さ切りかえキー

文字の高さを約 2/3 にし、文字を小さく(低く)することができます。(94 ページ参照)

⑭ 大文字・小文字切りかえキー

大文字と小文字を切りかえます。模様選択キーの表示も同時に切りかわります。(91 ページ参照)

〔文字ぬい 明朝体の模様選択画面〕 (1/3 ページ)



メモ:

ひらがな・カタカナ切りかえキー ⑮ と横書き・縦書き切りかえキー ⑯ は明朝体(9mm)、まるもじ(9mm)を選択した場合には表示されます。

⑮ ひらがな・カタカナ切りかえキー

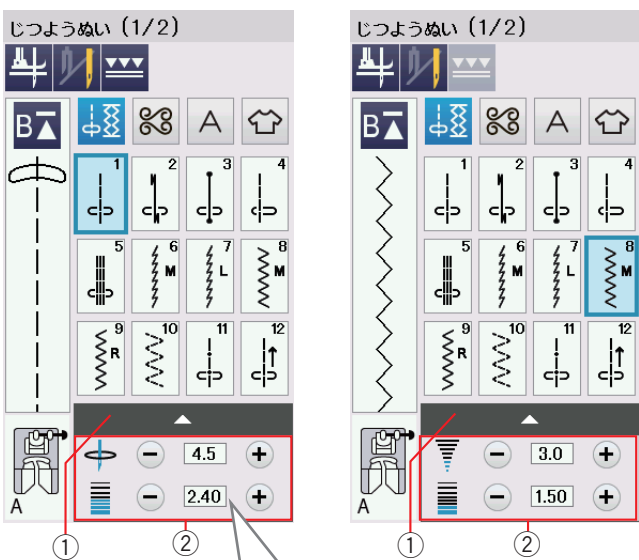
ひらがなとカタカナを切りかえます。模様選択キーの表示も同時に切りかわります。(91 ページ参照)

⑯ 横書き・縦書き切りかえキー

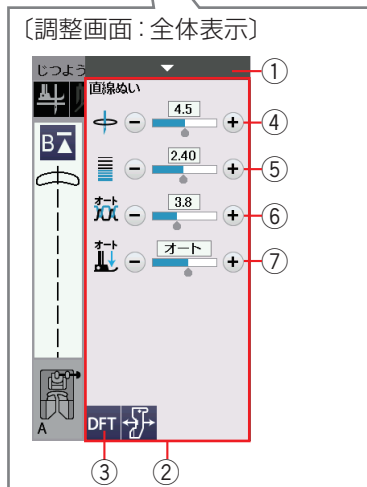
横書きと縦書きを切りかえます。(91 ページ参照)

〔調整画面：直線模様の例〕

〔調整画面：ジグザグ模様の例〕



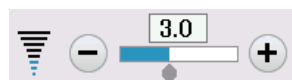
〔調整画面：全体表示〕



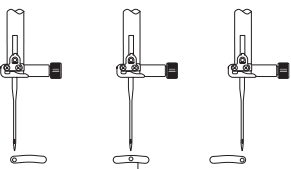
④ 直線ぬいの場合



④ ジグザグぬいの場合

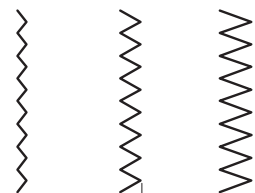


(-) (4.5) (+)



針板の穴

(-) (3.0) (+)

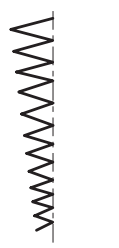
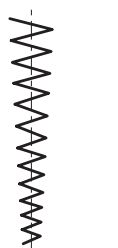
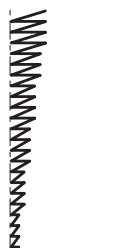


ぬい目の幅

模様 の例
(左針位置基準)

模様 の例
(中針位置基準)

模様 の例
(右針位置基準)



● じつようぬいの調整画面

模様選択画面の調整キー①を押すと、調整画面②が全体表示されます。ぬい目の幅（直線状模様の場合は針位置）④、ぬい目のあかさ⑤、糸調子⑥、押さえ圧⑦を変更できます。

変更したい項目の「+」もしくは「-」キーを押します。

初期化キー③を押すと初期の設定値にもどります。

調整キー①をもう一度押すと調整画面②が小さくなります。

④ ぬい目の幅の調整キー

【直線ぬいの場合】

針位置をかえることができます。

- 「+」キーを押すと針が右に移動します。
- 「-」キーを押すと針が左に移動します。

※ 直線状模様の場合、画面の数値は、左の針位置からの距離の目安が表示されています。(単位：mm)
左針位置が「0.0」、中針位置が「4.5」、右針位置が「9.0」になります。

※ 初期化キー③を押すと、オート値（電源を入れたときに自動的に設定されている値）にもどすことができます。

【ジグザグぬいの場合】

ぬい目の幅をかえることができます。

- 「+」キーを押すとぬい目の幅が広くなります。
- 「-」キーを押すとぬい目の幅がせまくなります。

※ 画面の数値は、ぬい目の幅の目安が表示されています。(単位：mm)

メモ：

• じつようぬい模様 の調整可能値は 0.0 ～ 9.0 です。

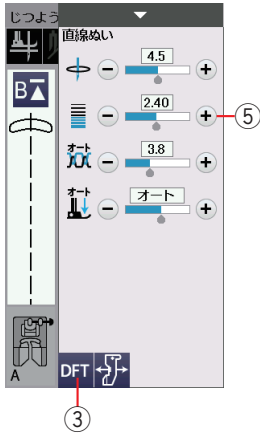
• じつようぬい模様 の調整可能値は 0.0 ～ 7.0 です。

ぬい目の幅の基準位置

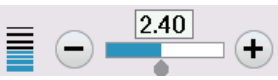
ミシン天板の早見板や模様選択キーのイラストの右に書かれている「L」、「M」、「R」は、ぬい目の幅をかえたときの基準位置です。

- 「L」：ぬい目の幅をかえたとき、左針位置を基準（固定）に右に幅が変化します。
- 「M」：ぬい目の幅をかえたとき、中針位置（中央）を基準（固定）に左右に幅が変化します。
- 「R」：ぬい目の幅をかえたとき、右針位置を基準（固定）に左に幅が変化します。

〔調整画面：全体表示〕



⑤ 直線ぬいの場合

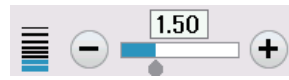


(-) (+)



ぬい目のあらかさ

⑤ ジグザグぬいの場合



(-) (+)



ぬい目のあらかさ

⑤ ぬい目のあらかさの調整キー

ぬい目のあらかさをかえることができます。

- 「+」キーを押すとぬい目があらかくなります。
- 「-」キーを押すとぬい目が細かくなります。




※ 初期化キー③を押すと、オート値（電源を入れたときに自動的に設定されている値）にもどすことができます。

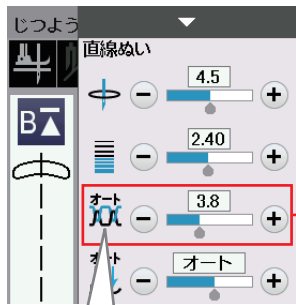
※ ぬい目のあらかさは、布や糸によってかわります。画面の数値は、ぬい目のあらかさの目安が表示されています。（単位：mm）

メモ：

じつようぬい模様  の調整可能値は 0.0 ～ 5.0、

じつようぬい模様  の調整可能値は 1.0 ～ 5.0、

じつようぬい模様    の調整可能値は 0.0 ～ 5.0 です。



糸調子が自動の場合



糸調子を調整した場合



⑥ 糸調子の調整キー

糸調子は選択した模様に合わせて、上糸と下糸がバランスよくぬえるよう自動的に設定されています。

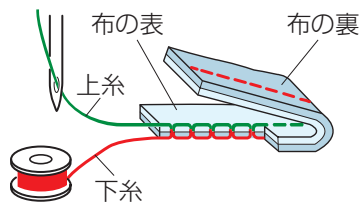
糸や布の種類、ぬい方などによって自動設定のままでは糸調子のバランスがとれない場合、糸調子調整キー⑥で調整します。

メモ：

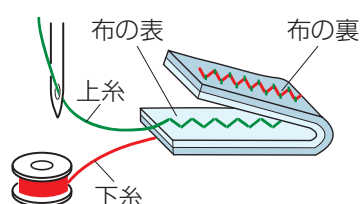
- 糸調子が正しく調整されていないと、ぬい目がきたなくなったり、布にしわがよったり、糸が切れたりします。
- 糸調子調整キーで調整した場合、画面のアイコン表示が「オート」から「マニュアル」にかわります。
- 模様ごとに自動セットされる糸調子（オート値）をすべての模様に対して全体的に強くしたり、弱くしたりできます。（136 ページ「糸調子」参照）

〔バランスのとれた糸調子〕

《直線ぬいの例》



《ジグザグぬいの例》

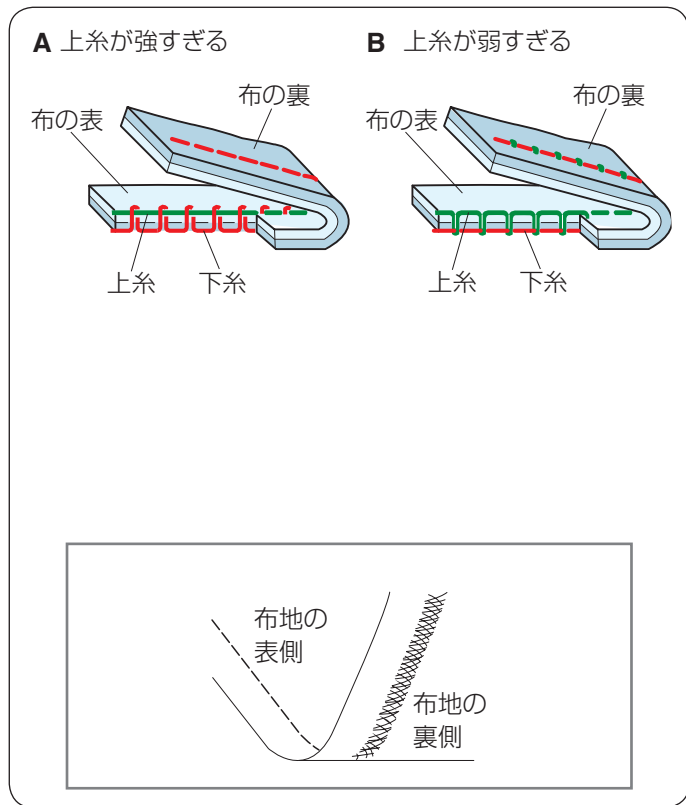


【バランスのとれた糸調子】

直線ぬいの場合、上糸と下糸が布のほぼ中央で交わりま

す。

ジグザグぬいの場合、布の裏側に上糸が少し出るくらいになります。



【上糸が強すぎる場合の調整】

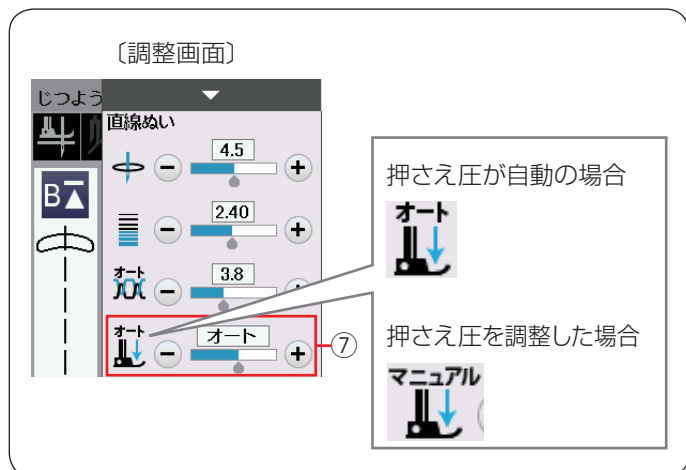
A 上糸が強すぎると下糸が布の表に引き出されます。
糸調子調整キーの「-」を押して数値を小さくします。

【上糸が弱すぎる場合の調整】

B 上糸が弱すぎると上糸が布の裏に引き出されます。
上糸が布の表でたるんだり、輪になったりする場合があります。
糸調子調整キーの「+」を押して数値を大きくします。

布地の裏がタオル地のような場合

図のように布地の表側は普通にぬえて、裏側がタオル地のようなになるのは、上糸の調子が弱い、上糸のかけ方がまちがっています。
上記で上糸を調整するか、上糸を正しくかけ直してください。（「上糸かけ」28 ページ参照）



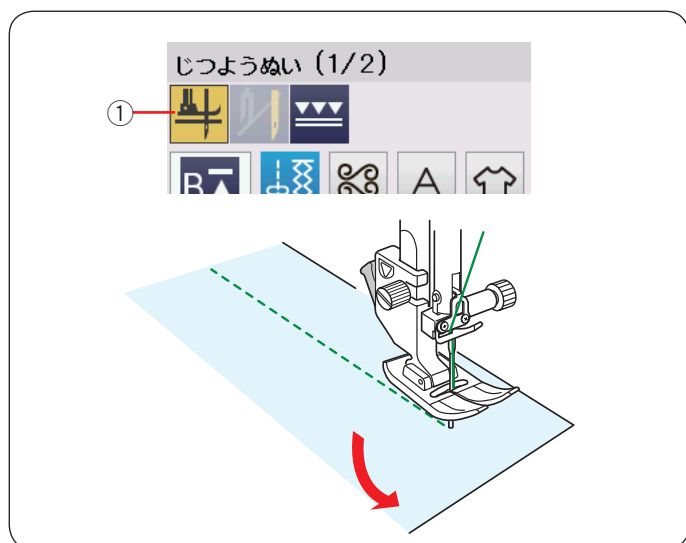
⑦ 押さえ圧調整キー

押さえ圧は選択した模様に合わせて自動的に設定されます。（「オート」表示）

布送りがスムーズでないときや、特殊なぬい方や布地の厚さによっては、「+」か「-」キーで押さえ圧を調整してください。

メモ：

- 一般的な押さえ圧が「オート」と表示されている場合、普通地、厚物地は「オート+1～+4」、薄物地や伸縮性の布地は「オート-1～-5」の範囲で調整してください。
- 押さえ圧調整キーで調整した場合、画面のアイコン表示が「オート」から「マニュアル」にかわります。



● ピボットぬい設定

ピボットぬい設定をすると、ミシンを止めたときに針が布にささり、押さえがあがった状態になります。

ぬい方向をかえてぬうときに、自分で押さえをあげる必要がなく、ぬい位置もずれずにきれいにぬうことができます。

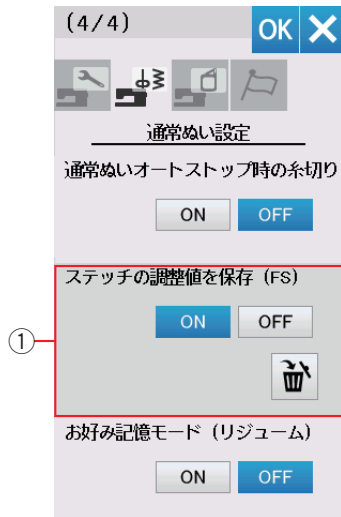
ピボットぬい設定キー①で、ピボットぬい設定のオン/オフを行います。

メモ：

通常ぬい設定モードで、ピボットぬい設定時の押さえの高さを調整することができます。（138 ページ「押さえ上げ高さ（ピボット）」参照）

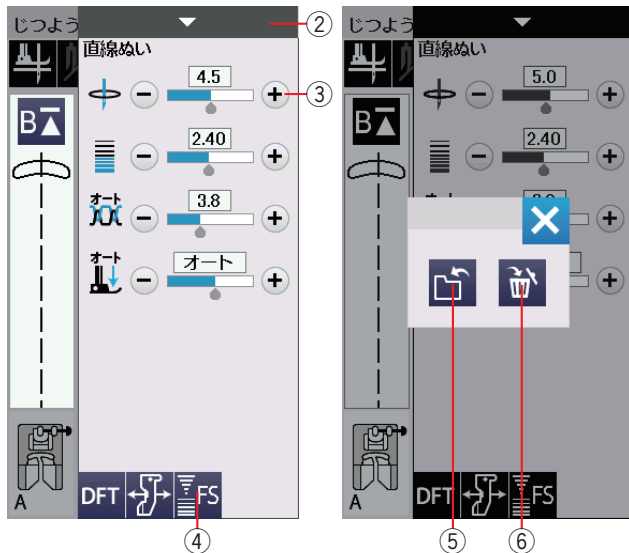
1

〔通常ぬい設定画面〕 (4/4 ページ)



2 〔調整画面〕

「ステッチの調整値を保存 (FS)」が「ON」に設定されている場合

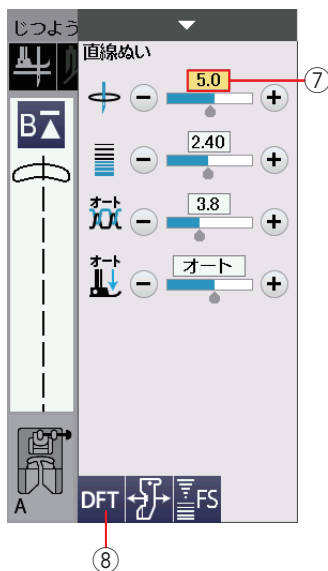


3

〔保存・削除画面〕

4

〔調整画面〕



● じつようぬいの調整値の保存

調整した、ぬい目の幅（針位置）、ぬい目のあらかさ、糸調子、押さえ圧など、選択した模様による設定内容をお好みのステッチ調整値（FS）として保存することができます。

「ステッチの調整値を保存（FS）」を「ON」①（139 ページ参照）に設定すると、ぬい目の幅（針位置）、ぬい目のあらかさ、糸調子、押さえ圧のオート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）をお好みの値に変更して保存することができます。

オート値をお好みの値に変更して保存しておく、その模様を選ぶだけで、保存した値でぬうことができます。

メモ：

- お好みステッチ調整は、ユーザー作成模様には適用することはできません。
- お好みステッチ調整は、文字ぬいモード時は使用できません。

変更した調整値の保存・削除方法

【保存する】

例：針位置の値を 4.5 から 5.0 に変更する。

- ① セットキーで「ステッチの調整値を保存 (FS)」① を「ON」に設定します。（139 ページ参照）

※ 初期の（購入時の設定）状態は「OFF」に設定されています。

- ② じつようぬい模様  を選びます。

調整キー ② を押し、調整画面を全体表示させます。お好みステッチ調整キー（FS）④ が調整画面に表示されます。

ぬい目の幅の調整キー ③ の「+」キーを押し、針位置を「4.5」から「5.0」に変更します。

お好みステッチ調整キー（FS）④ を押します。

- ③ もとの画面の上に重ねて保存・削除画面が表示されます。保存キー ⑤ を押し、お好みのステッチ調整値を保存します。

- ④ お好みステッチ調整で保存した調整値は、黄色 ⑦ で表示され、初期の状態から変更されていることを示します。

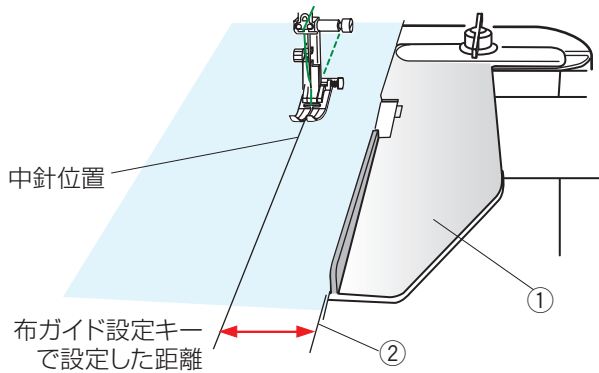
【削除する】

保存した調整値を削除するにはお好みステッチ調整キー（FS）④ を押し、保存・削除画面で削除キー ⑥ を押します。調整画面に切りかわり、数値を囲む黄色枠が消えます。

※ 調整値をオート値にもどす場合、初期化キー ⑧ を押します。

【変更した調整値の一括削除】

変更した全模様の調整値を一括して初期の状態（購入時の設定状態）にもどす方法は、139 ページ「ステッチの調整値を保存（FS）」をごらんください。



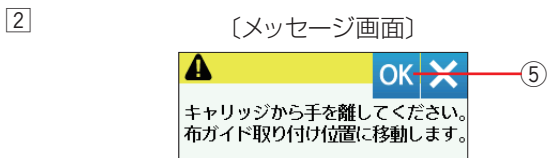
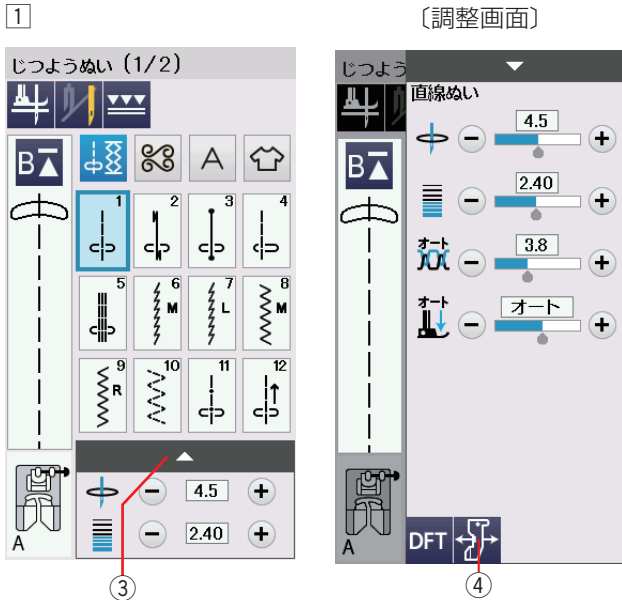
● 布ガイド設定キー

布ガイド①を使用するときに設定します。

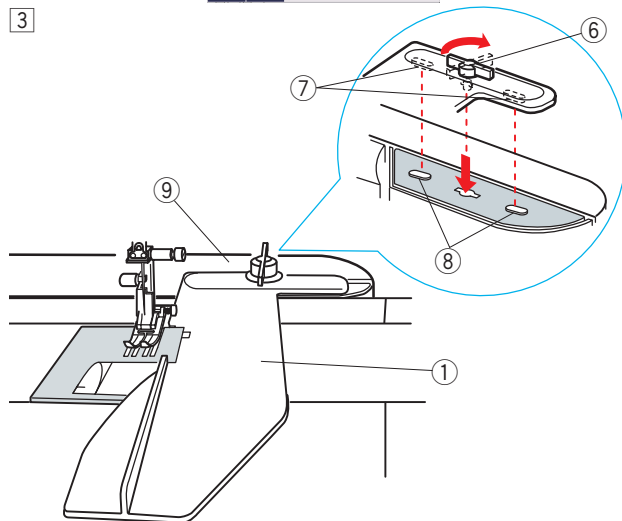
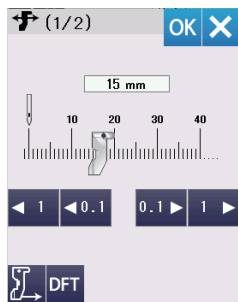
布ガイドを使用すると布端②からお好みの位置を正確にぬうことができます。

⚠ 注意：

- ミシンの左側にぶつかるものがないように十分なスペースを取ってください。
- ボタンホール押さえをミシンに取り付けている場合、布ガイドを使用しないでください。
- 布ガイド使用時は、補助テーブルを開くことはできません。



〔布ガイド設定画面〕



【布ガイドの取り付け方】

ミシンの電源を切り、ミシンに刺しゅうユニットを取り付けます。(142 ページ参照)

- ① ミシンの電源を入れ、調整キー③を押し、調整画面を全体表示させます。
布ガイド設定キー④を押します。

- ② メッセージ画面が表示されます。

OK キー⑤を押します。

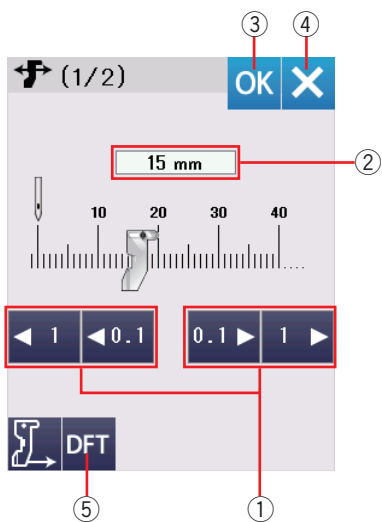
キャリッジが左に移動し、布ガイド設定画面が表示されます。

※ 電源投入時の布ガイドの位置は、15 mm に設定されています。

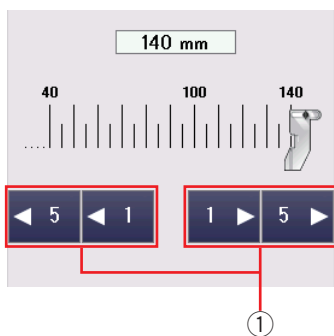
- ③ 布ガイド①のつまみ⑥を横に向け、布ガイドの凹部⑦をキャリッジ⑨の凸部⑧に合わせて差し込みます。
つまみ⑥を右方向にまわして縦に向け、布ガイド①を固定します。

1 2

〔布ガイド設定画面〕



〔40 mm 以上の設定画面例〕



【布ガイドの設定方法】

※ 電源投入時の布ガイドの位置は、15 mm に設定されています。

- 移動キー①（◀ 1 ◀ 0.1 または 0.1 ▶ 1 ▶ キー）を押し、布ガイドの位置（中針位置からの距離）②を変更します。
設定した位置に布ガイドが移動します。

メモ：

- 移動キー①は、40 mm の位置までは 0.1 mm と 1 mm 単位、40 mm 以上の位置では 1 mm と 5 mm 単位で変更できます。
- 閉じるキー④を押すと、布ガイドの位置を変更せずに模様選択画面にもどります。

- OK キー③を押します。

変更した値が確定されて調整画面にもどり、設定した布ガイドの位置でぬうことができます。

メモ：

- 布ガイド設定画面表示中は、ミシンをスタートできません。
- 設定値をオート値（15 mm）にもどす場合、初期化キー⑤を押し、OK キーを押します。
- 布ガイドの位置②を示す数値に対して、移動する布ガイドの実際の位置を調整する（少しずつ）ことができます。（137 ページ「布ガイド 初期位置調整」参照）
- 「布ガイドの取り付け方」の手順②で OK キーを押したときに移動する位置をオート値（15 mm）ではなく、前回最後に使用した位置にすることができます。（137 ページ「布ガイド 位置記憶」参照）

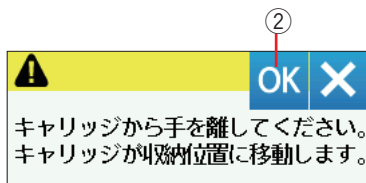
1

〔布ガイド設定画面〕



2

〔メッセージ画面〕



【布ガイドの終了方法】

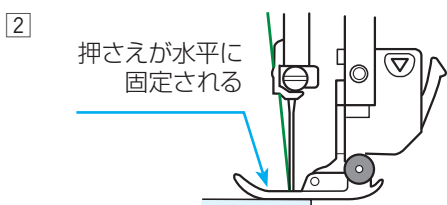
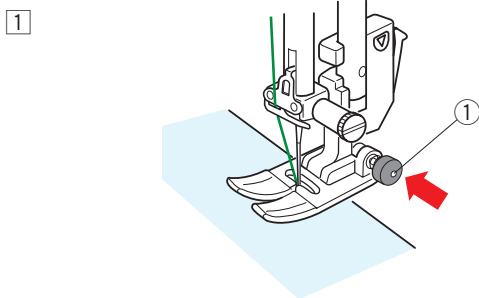
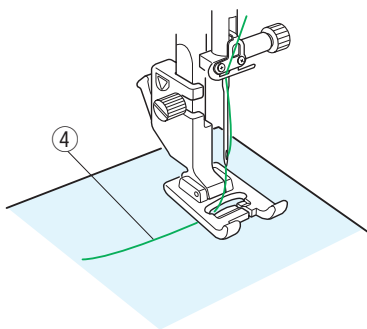
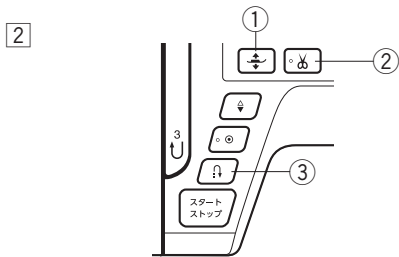
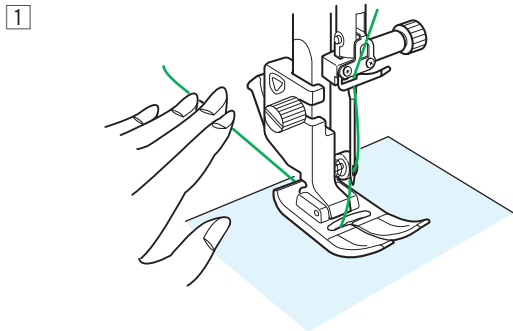
- 布ガイド設定画面の布ガイド収納キー①を押します。

- メッセージ画面が表示されます。
OK キー②を押します。

キャリッジが右に移動し、刺しゅうユニット着脱位置にもどります。

電源スイッチを切り、刺しゅうユニットから布ガイドを取り外し、ミシンから刺しゅうユニットを取り外します。（144 ページ参照）

〔じつようぬい模様選択画面〕 (1/2 ページ)



● 直線ぬい

じつようぬいの模様 1～5 は直線ぬいです。
模様選択キーを押してお好みの模様を選びます。

★ 直線ぬい (中針位置) でぬう場合

模様.....



押さえA: 基本押さえ



【ぬい始め】

① 上糸を押さえの下から向こう側に引き出した状態で布を入れ、糸と布を左手で押さえ、はずみ車を手で手前にまわして最初のぬい位置に針をさします。

② 押さえ上下移動ボタン①で押さえをさげ、ミシンをスタートさせ、ぬいます。

※ 下糸 (ボビン) をセットした直後および糸切りボタン②を使用して糸を切ったあとのぬい始めは、下糸を針板の上に引き出す必要はありませんが、上糸は必ず向こう側に引いて、押さえで押さえてください。

※ ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいボタン③を押します。

ぬい始めの糸の引き出し方

F: サテン押さえ、F2: クラフト押さえや R: ボタンホール押さえなどのように、押さえの向こう側 (うしろ側) の底があがっていて、糸を押さえる部分がない押さえの場合、ぬい始めの上糸④は横方向に引き出して押さえてください。(イラストは F: サテン押さえ)

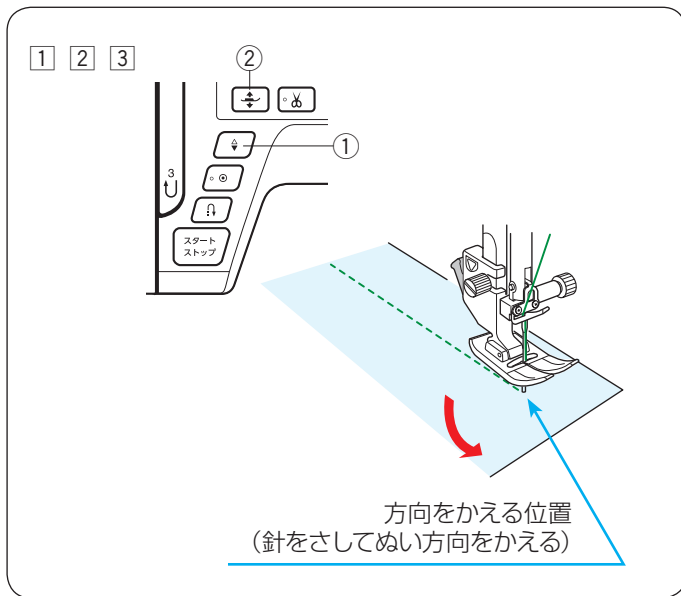
【厚手の布端のぬい始め】

A: 基本押さえの黒ボタン①を押した状態で押さえをさげると押さえが水平に固定されます。段差のある布をぬうときや、布の折り返しをぬうときに便利です。

① 最初のぬい位置に針をさし、A: 基本押さえの黒ボタン①を押し込みます。

② 黒ボタン①を押したまま、押さえをさげます。押さえが水平に固定され、段差をスムーズにぬい始めることができます。黒ボタン①から手をはなし、ぬい始めます。

※ ぬい始めると黒ボタンがもどり、押さえはもとの自由に動く状態になります。

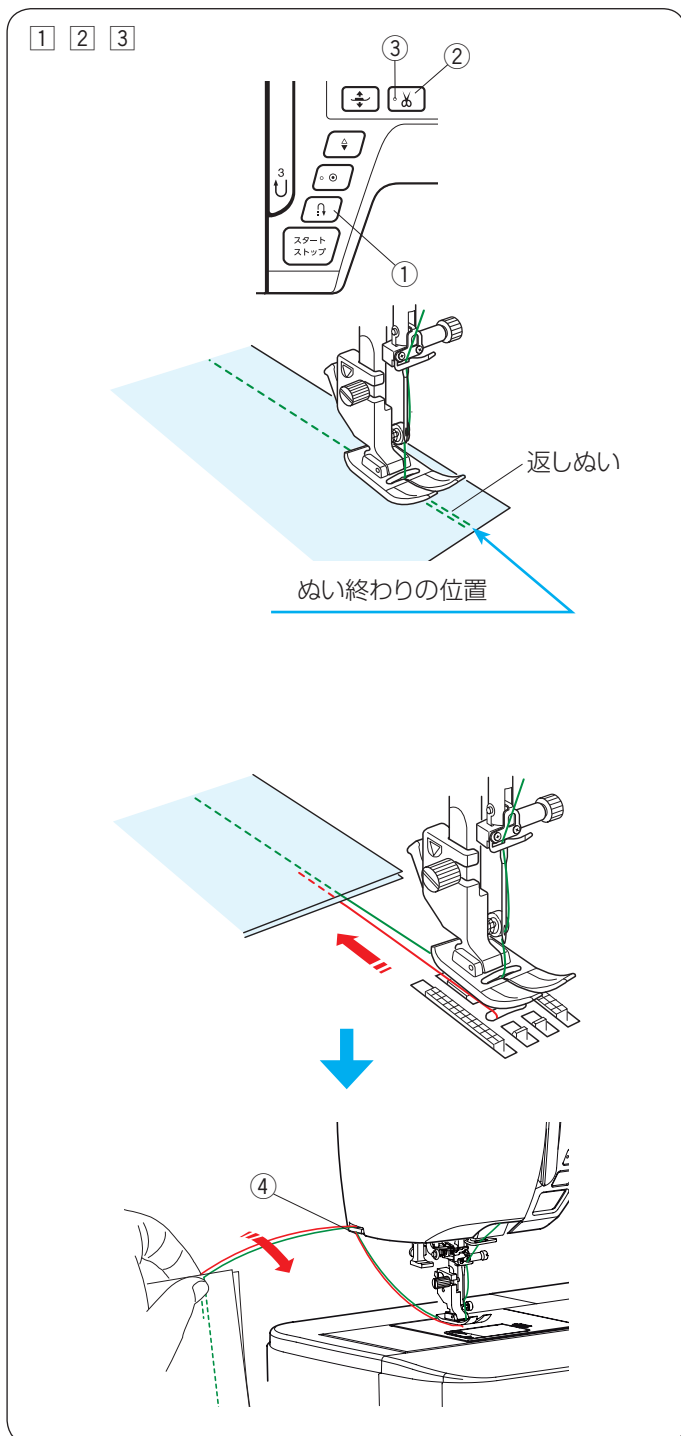


【ぬい方向の変更】



- ① 布の方向をかえる位置でミシンを停止します。
- ② 布に針がささっていない場合、上下停針ボタン①を押して針を布にさし、押さえ上下移動ボタン②で押さえをあげます。
※ 通常はミシンを停止すると、針が布にささった状態になっています。上の位置で停止にも設定できます。(136 ページ「針停止位置」参照)
- ③ 針を布にさしたままぬい方向をかえ、押さえ上下移動ボタン②で押さえをさげてぬい始めます。
※ ぬい位置がずれず、きれいにぬうことができます。

メモ：

ピボットぬい設定をすると、ミシンを止めたときに針が布にささり、押さえがあがった状態になります。(36 ページ参照)



【ぬい終わり】

- ① ぬい終わりの位置で返しぬいボタン①を押して数針返しぬいを行い、ミシンを停止します。
- ② 糸切りボタン②を押して糸を切ります。
※ 針と押さえがさがった状態のままでも、糸切りボタン②を押すと針と押さえは上の位置に移動します。
- ③ 布を向こう側に引き出します。
※ ぬい始めとぬい終わりのほつれ止めを自動的に行う自動返しぬい模様 、自動止めぬい模様  でぬっている場合、ぬい終わりの位置にきたら、返しぬいボタンを一度押すと、ミシンは返しぬいまたは止めぬいをして自動で止まります。(44 ページ参照)

メモ：

LED ③ が消えている場合、糸切りボタン②は使えません。

【面板の糸切りの使い方】

- 30 番および 30 番より太い糸や特殊な糸を切る場合、ミシンの面板に付いている糸切り④を使用してください。
- 針と押さえ上げをあげ、布を向こう側に引き出してから手前に返すようにして糸を切ります。

● 針板ガイド

針板には、布のぬい位置を決めるための便利なガイドが表示されています。布端をガイドラインに合わせると、布端から正確な位置をぬうことができます。

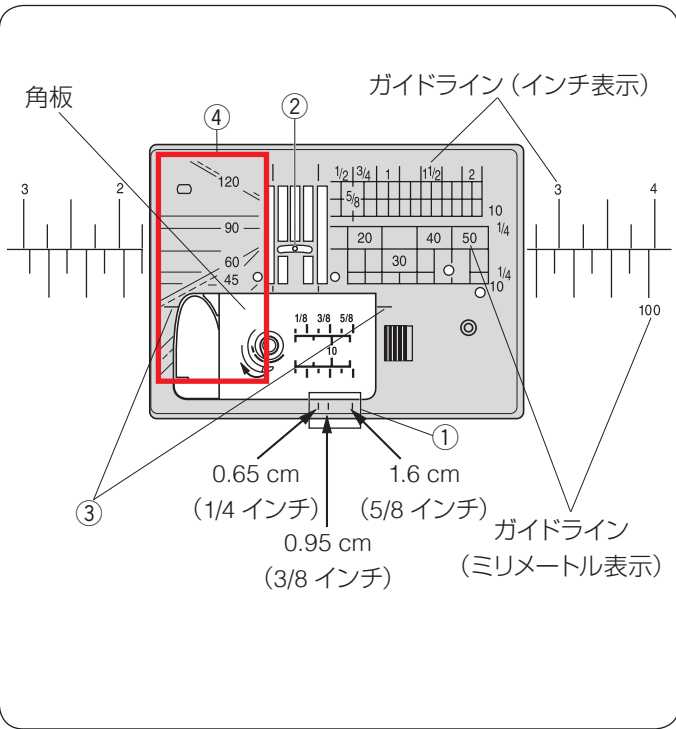
ガイドラインは角板およびミシンのフリーアームにも表示されています。

針板手前にはそれぞれ 0.65 cm (1/4 インチ)、0.95 cm (3/8 インチ)、1.6 cm (5/8 インチ) のところにガイドライン①があります。

ガイドラインの数字は、ぬい位置(針穴の中央②)からガイドラインまでの距離を「インチ」と「ミリメートル」で表示しています。

コーナリングガイド 1.6 cm (5/8 インチ) ③ は布を直角に回転させるのに非常に便利です。(下記「コーナリングガイド」参照)

角度目盛り④はパッチワークをするときに便利です。(76、120 ページ参照)

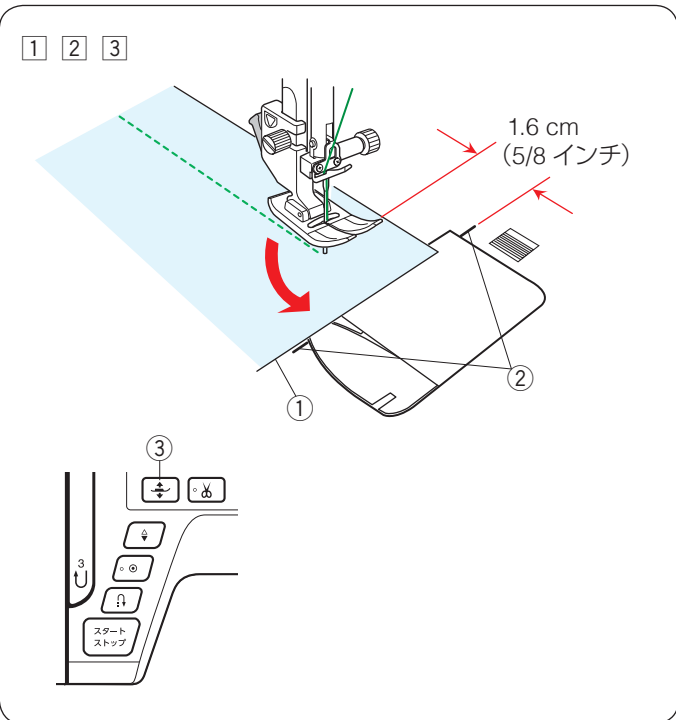


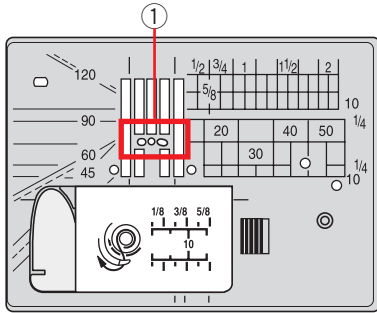
● コーナリングガイド

布端から 1.6 cm (5/8 インチ) のところで直角にぬい方向をかえるときに利用します。

ぬい方向をかえたあと布端から 1.6 cm (5/8 インチ) の位置をぬうことができます。

- 1 布端①がコーナリングガイド②のところに来たらミシンを停止します。
- 2 針を布にさした状態で押さえ上下移動ボタン③で押さえをあげ、布を直角に回転させます。布端が針板右側のガイドライン 1.6 cm (5/8 インチ) の位置に合います。
- 3 押さえ上下移動ボタン③で押さえを下げ、ミシンをスタートさせます。



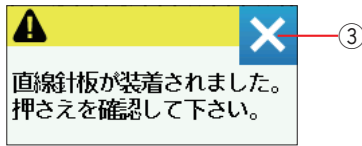


1



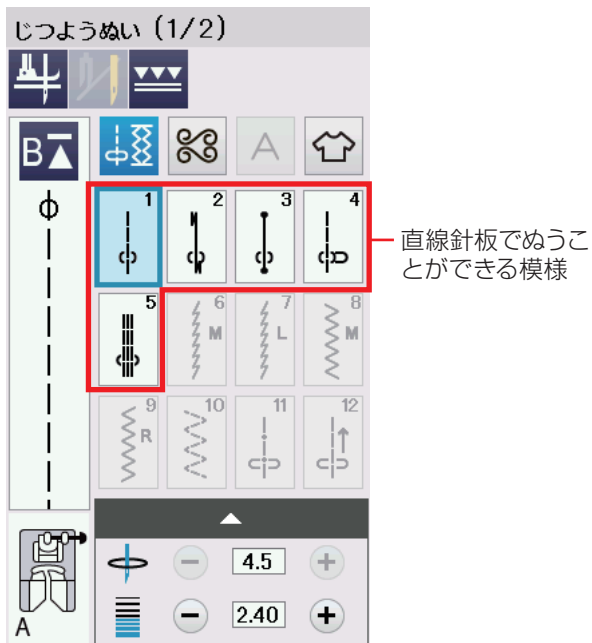
〔メッセージ画面〕

2



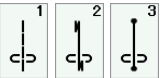
〔模様選択画面〕

3



● 直線針板の使い方

直線針板は、針の入る場所が3個の丸穴①になっています。針板の穴が小さい「直線針板」を使用すると、針が布にささるときのばたつきがおさえられ、ぬい目が美しく仕上がります。

直線ぬいの場合、じつようぬい  の模様を選び、直線針板でぬうことをおすすめします。

メモ：

- 針板の交換方法は、21ページをごらんください。
- ミシンの早見板の「直線針板（SS針板）」の様子は、じつようぬいグループとキルトグループにある模様と同じ模様です。



① ロックキー②を押し、ミシンをロックして直線針板に交換します。

(21ページ「針板の外し方、付け方」参照)


② メッセージ画面が表示されます。

正しい押さえが取り付けられているか確認し、メッセージ画面の閉じるキー③を押します。

③ 再度ロックキー②を押し、ロックを解除すると模様選択画面にもどり、ぬうことができます。

メモ：

- 直線針板が取り付けられているあいだは、じつようぬいグループ、キルトグループおよび用途選択グループの一部の模様しか選択できません。
- 直線針板で使用できない模様は、模様選択キーがグレーになり、選択できません。
- 用途選択グループは、100ページ「用途ぬい」をごらんください。
- 直線針板が取り付けられているあいだ、キルトグ

ループの  以外は調整画面のぬい目の幅調整キーで針位置を変更することはできません。

● 直線ぬいの種類

★ じつようぬい1：直線ぬい（中針位置）

ぬい合わせや三つ巻きぬいに使用します。

★ じつようぬい2：自動返しぬい

ぬい始めとぬい終わりにしっかりしたほつれ止め（返しぬい）を自動的に行うときに使います。

•ぬい始め

ミシンをスタートさせると、ぬい始めに自動的に数針返しぬいを行います。

•ぬい終わり（スタート/ストップボタン使用時）

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し（または運転したまま）、返しぬいボタン①を一度押します。

その位置から自動的に数針返しぬいを行ってミシンが停止します。

•ぬい終わり（フットコントローラー使用時）

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し（または運転したまま）、返しぬいボタン①を一度押します。

ミシンを停止してから返しぬいボタン①を押した場合、再度フットコントローラーを踏むと、その位置から自動的に数針返しぬいを行ってミシンが停止します。

運転したまま返しぬいボタン①を押した場合、その位置から自動的に数針返しぬいを行ってミシンが停止します。

★ じつようぬい3：自動止めぬい

ぬい始めとぬい終わりに目立たないほつれ止め（止めぬい）を自動的に行うときに使います。

•ぬい始め

ミシンをスタートさせると、ぬい始めに自動的に数針止めぬいを行います。

•ぬい終わり（スタート/ストップボタン使用時）

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し（または運転したまま）、返しぬいボタン①を一度押します。

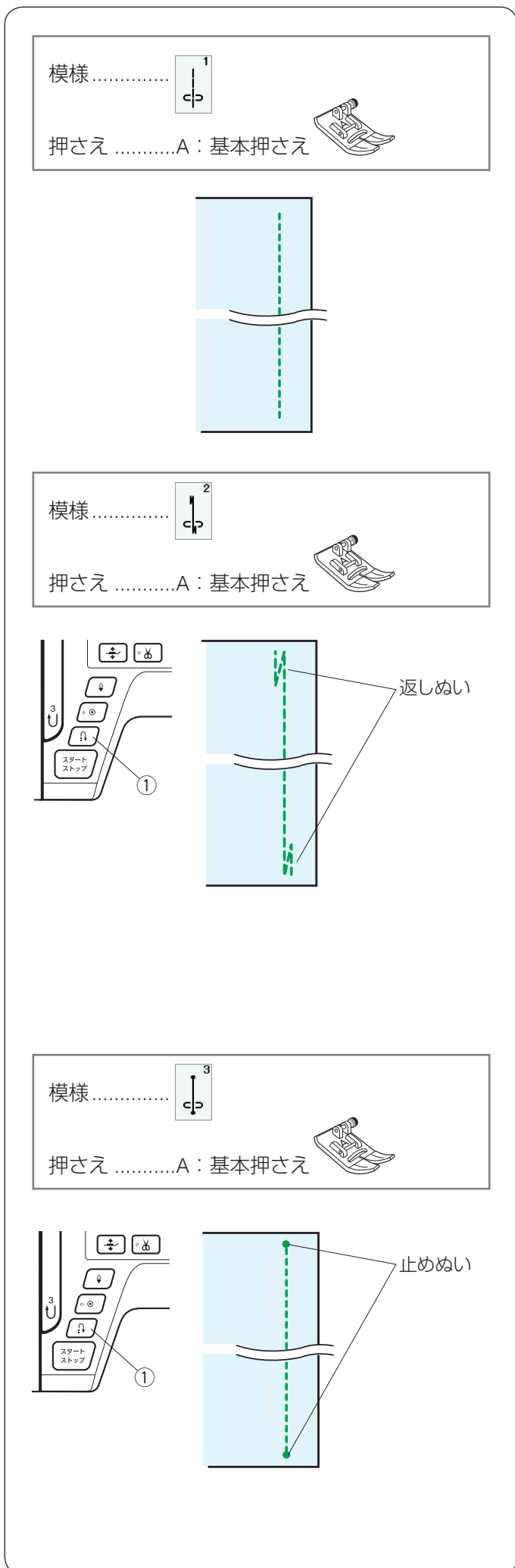
その位置で自動的に数針止めぬいを行ってミシンが停止します。


•ぬい終わり（フットコントローラー使用時）

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し（または運転したまま）、返しぬいボタン①を一度押します。

ミシンを停止してから返しぬいボタン①を押した場合、再度フットコントローラーを踏むと、その位置で自動的に数針止めぬいを行ってミシンが停止します。


運転したまま返しぬいボタン①を押した場合、その位置で自動的に数針止めぬいを行ってミシンが停止します。



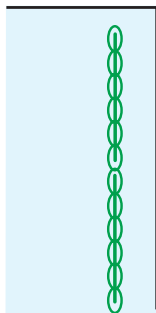
模様.....

押さえ.....A：基本押さえ



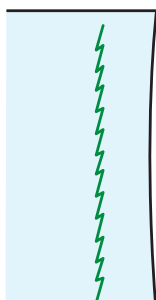
模様.....

押さえ.....A：基本押さえ



模様.....

押さえ.....A：基本押さえ



★ じつようぬい4：直線ぬい（左針位置）

端ぬいや、薄物ぬいに使います。



★ じつようぬい5：三重ぬい

伸縮性と強さの両方を合わせもつ丈夫なぬい目です。
厚い布や袋物、ズボンなどしっかりとぬい合わせたい場
所に使います。

★ じつようぬい6、7：伸縮ぬい（ニットステッチ）



布が伸びても糸が切れにくい伸縮性のあるぬい目で、ニッ
ト地のぬい合わせなどに使います。

布のぬい縮みやひきつれを防ぐことができます。
ぬいしろをきれいに割りたい場合にも使用できます。

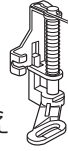
じつようぬい  は伸縮性のある布地や、薄い布地をぬ
い合わせるのに使います。通常は、じつようぬい 
を使用してください。

じつようぬい  は厚い布の場合に使います。

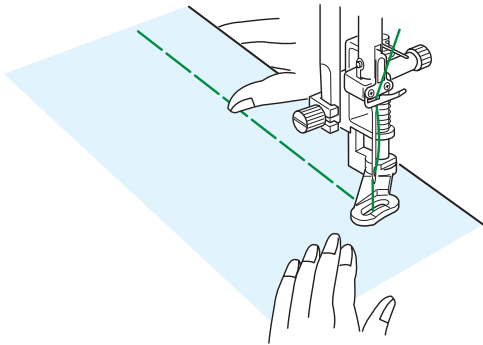
メモ：

- じつようぬい  の場合、調整画面のぬい目の
幅調整キーでの調整は、他の直線状模様と異なり、
ぬい位置（針位置）ではなく、ぬい目の幅の調整に
なります。
- ぬい目のイラストの右に書かれている「M」、「L」は、
ぬい目の幅をかえたときの基準位置です。
(34 ページ参照)

模様.....



押さえ PD-H：フリーキルト押さえ
※ 送り歯をさげる（24 ページ参照）



★ じつようぬい 11：しつけぬい

しつけぬいの模様は、ミシンをスタートさせても布は送られずに、1針ぬって停止します。（フットコントローラーの場合も、踏み続けていても1針ぬって停止します。）
ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。

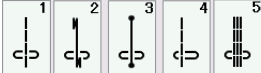
お好みの間かくを、1針ずつ手で布を移動させてぬうことができます。

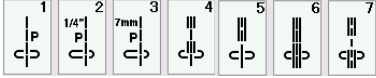
ぬい方は 113 ページ「●しつけ」の「マニュアル」の項目をごらんください。

● 上送り押さえの使い方

ポリ塩化ビニールなどでコーティングしてある素材など、上布と下布ですれやすい布地や革製品など送りにくい布地をぬう場合、上送り押さえを使用するときれいにぬうことができます。

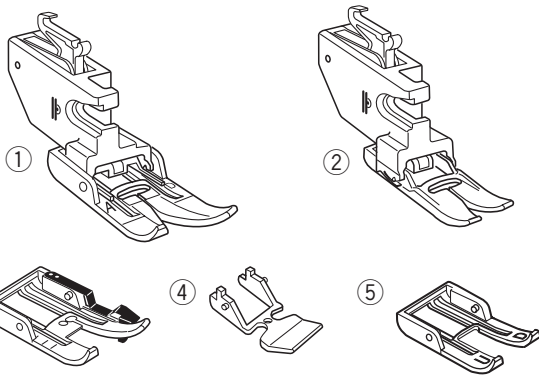
また重ね合わせた布地がずれるのを防ぎます。

じつようぬい模様 、キルト模様

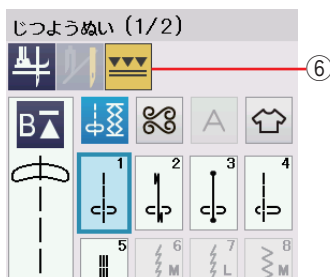
、用途ぬいの「地ぬい」、
「ファスナー」、「パッチワーク」、「キルトティング」の一部の模様は上送り押さえでぬうことができます。

以下の5種類の上送り押さえが標準で付属しています。

- ① **AD：上送り押さえ（標準）：**
標準的なぬいに使用します。
- ② **VD：上送り押さえ（先引き）：**
せまい部分をぬう場合に使用します。
- ③ **OD：上送りパッチワーク押さえ：**
1/4 インチのぬいしろをぬう場合に使用します。
- ④ **ED：上送りファスナー押さえ：**
ファスナーをつける場合に使用します。
- ⑤ **UD：上送りオーブントー押さえ：**
ぬいの手元がみやすい上送り押さえです。



〔じつようぬい模様選択画面〕

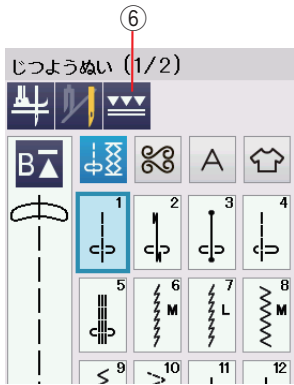


メモ：

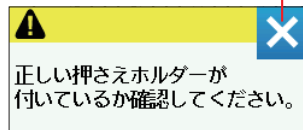
- 上送りぬい切りかえキー ⑥ が押されている場合、上送り押さえに適さない模様はグレーになり、選択できません。
- 上送り押さえに適さない模様を選択している場合、上送りぬい切りかえキー ⑥ はグレーになり、押せません。

1

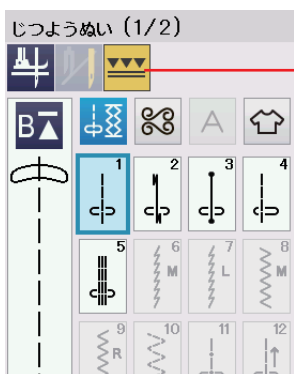
〔じつようぬい模様選択画面〕



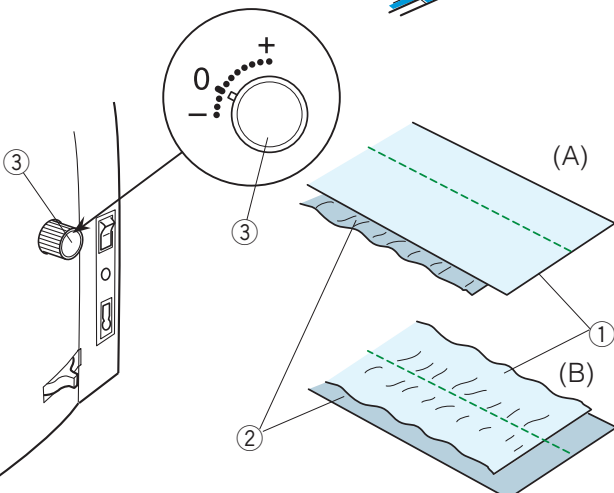
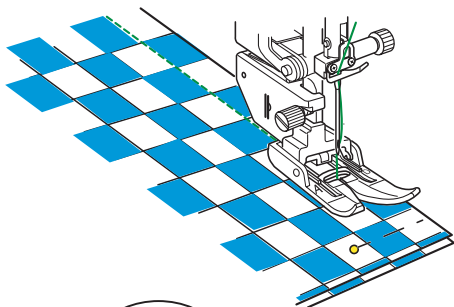
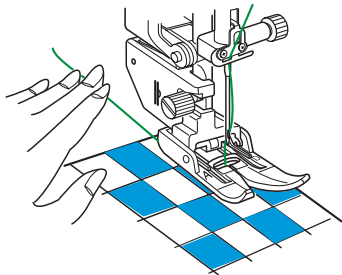
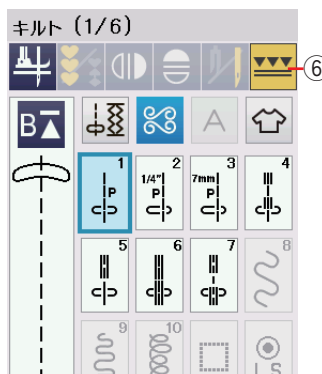
〔メッセージ画面〕



〔じつようぬい模様選択画面〕



〔模様選択画面：キルト〕



【準備】

- ① 上送りぬい切りかえキー ⑥ を押します。
メッセージ画面が表示されます。閉じるキー ⑦ を押します。
上送りぬい切りかえキー ⑥ が黄色になります。
- ② 上送り押さえホルダーと AD：上送り押さえ（標準）を取り付けます。
※ 上送り押さえホルダーの取り付けは、18 ページをごらんください。
※ 上送りぬいに設定されているあいだ、

じつようぬい模様

キルト模様

用途ぬいの「地ぬい」、「ファスナー」、「パッチワーク」、「キルトイング」の一部の模様以外を選ぶことができません。

- ※ 上送りぬいを解除する場合、上送りぬい切りかえキー ⑥ を押します。

【ぬい方】

上糸を押さえの下へ通して向こう側に引き出し、ぬい始めます。

- ※ しま模様や格子じま、プリント地をぬうときは、布地の端と最初のしまをぬい始めのところできちんとそろえ、ぬい目の線に直角にピンを止め、ぬいます。

【上布と下布がずれる場合】

上布 ① と下布 ② がずれる場合、上送り調節ダイヤル ③ をまわして調整します。

上送り調節ダイヤル ③ は「0」が基準ですが、布の種類に合わせて調整の変更が必要な場合があります。

使用する布の切れ端を使用して、送りバランスを確認します。

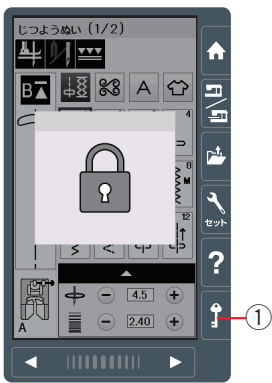
(A)：下布 ② にしわがよる場合、上送り調節ダイヤル ③ を「+」方向にまわします。

(B)：上布 ① にしわがよる場合、上送り調節ダイヤル ③ を「-」方向にまわします。

メモ：

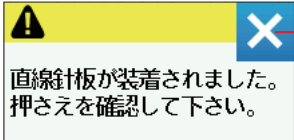
上送り押さえを使用しないときは、必ず上送り調節ダイヤルを「0」の位置にもどしてください。

1



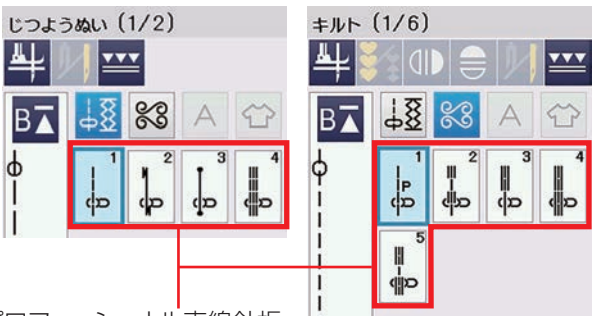
〔メッセージ画面〕

2



〔模様選択画面〕

3



プロフェッショナル直線針板
(左針位置専用)でぬうこと
ができる模様

● HP:プロフェッショナル直線押さえ・プロフェッショナル直線針板(左針位置専用)の使い方

HP:プロフェッショナル直線押さえは、付属のプロフェッショナル直線針板(左針位置専用)と一緒に使います。

針が布にささるときのばたつきがおさえられ、ぬい目が美しく仕上がります。

また、薄地のぬい縮みの防止にも適しています。

メモ:

- 押さえの取り付けは、20 ページをごらんください。
- 使用できる模様は、ミシンの早見板の「プロフェッショナル直線針板(HP 針板)」の模様です。これらは、じつようぬいグループとキルトグループにある模様と同じ模様です。



- 1 ロックキー ① を押し、ミシンをロックしてプロフェッショナル直線針板(左針位置専用)に交換します。(21 ページ「針板の外し方、付け方」参照)

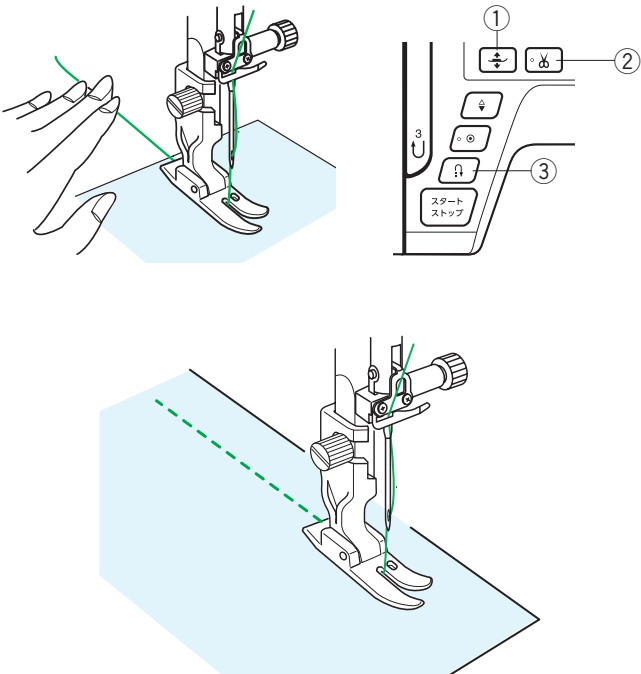
- 2 メッセージ画面が表示されます。正しい押さえが取り付けられているか確認し、メッセージ画面の閉じるキー ② を押します。

- 3 再度ロックキー ① を押し、ロックを解除すると模様選択画面にもどり、ぬうことができます。

メモ:

- プロフェッショナル直線針板(左針位置専用)が取り付けられているあいだは、じつようぬいグループおよびキルトグループの模様しか選択できません。
- プロフェッショナル直線針板(左針位置専用)が使用できない模様は、模様選択キーがグレーになり、選択できません。

1 2



【ぬい始め】

- 1 上糸を押さえの下から向こう側に引き出した状態で布を入れ、糸と布を左手で押さえ、はずみ車を手で手前にまわして最初のぬい位置に針をさします。

- 2 押さえ上下移動ボタン ① で押さえをさげ、ミシンをスタートさせ、ぬいます。

※ 下糸(ボビン)をセットした直後および糸切りボタン ② を使用して糸を切ったあとのぬい始めは、下糸を針板の上に引き出す必要はありませんが、上糸は必ず向こう側に引いて、押さえで押さえてください。

※ ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいボタン ③ を押します。

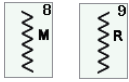
【ぬい終わり】

- 1 ぬい終わりの位置で返しぬいボタン ③ を押して数針返しぬいを行い、ミシンを停止します。

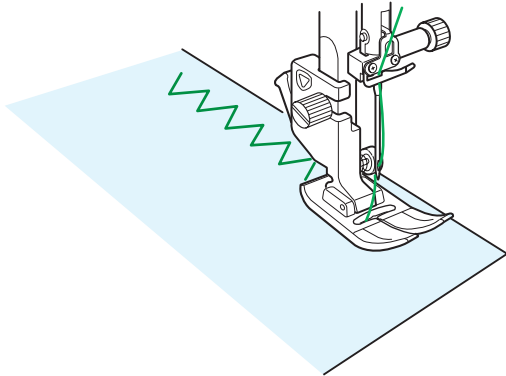
- 2 糸切りボタン ② を押して糸を切ります。

※ 針と押さえがさがった状態のままでも、糸切りボタン ② を押すと針と押さえは上の位置に移動します。

模様.....



押さえA：基本押さえ



模様.....

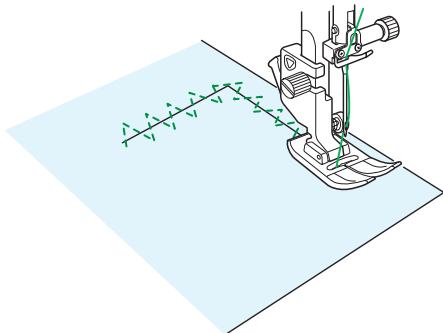


押さえA：基本押さえ

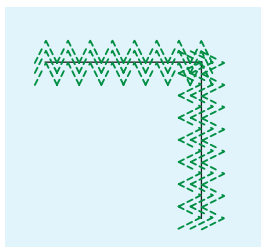


※ ぬい目のあらか調整キーでぬい目のあらかを「0.3」～「0.5」に設定します。

①



②



● ジグザグぬい

★ じつようぬい8、9：ジグザグぬい

たち目かがりなど、多目的に使えます。

ほとんどの布に使用できます。

ぬい目を細かくすればアップリケなどに使用できます。

★ じつようぬい10：つくろいぬい

破れや、ほつれている部分をつくろうのに使用します。


ぬい方：

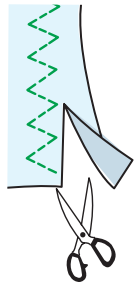
① ぬい目のあらかを「0.3」～「0.5」に設定し、
(35 ページ参照) ほつれた部分の布端をつき合わせ
てぬいます。


② 手順①でぬったぬい目をはさむように両側をぬいま
す。


※ ほつれ具合によって、裏側から別布をあててぬい
ます。

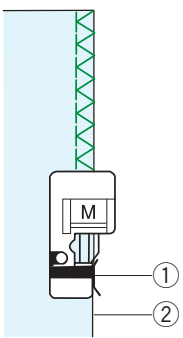
模様.....10


押さえ.....A：基本押さえ 




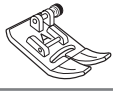
模様.....13

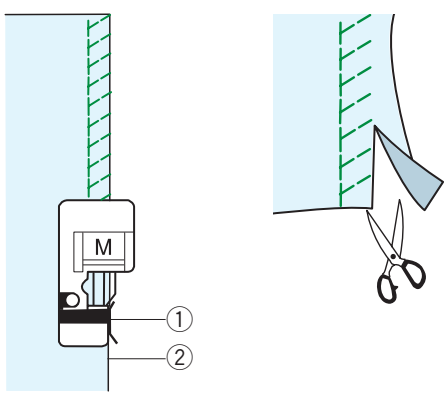
押さえ.....M：ふちかがり押さえ 



模様.....14

押さえ..... M：ふちかがり押さえ 

..... A：基本押さえ 



● ふちかがりぬい

★ じつようぬい 10：トリコットぬい

合成素材や、布のぬい縮みやひきつれがおきやすい伸縮性のある布の裁ち端の仕上げに使用します。
ぬいしろをすこし余分にとってぬいます。
ぬい終わったあとは、余分なところをぬい目の近くで切り落とします。

★ じつようぬい 13：かがりぬい 1

ブロード、シーチング、ローンなどの伸びない普通地や、平織り 2 枚に適しています。
地ぬいをかねたかがりぬいで、たち目のほつれ止めに使用します。
ぬいしろを割る必要がない場合に使用してください。

布端 ② を押さえのガイド ① にあててぬいます。

★ じつようぬい 14：ニットステッチ

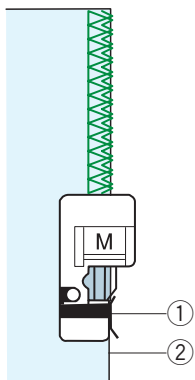
ジャージー、ニット、トリコットなど伸びる布地の端をかがるのに使用します。

M：ふちかがり押さえを使用する場合、布端 ② を押さえのガイド ① にあててぬいます。

A：基本押さえを使用する場合、ぬいしろを少し多めにとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。

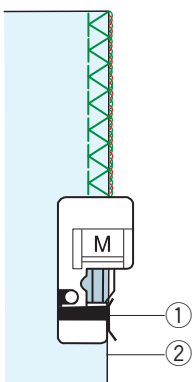
模様  15

押さえ M : ふちかがり押さえ



模様  16

押さえ M : ふちかがり押さえ



★ じつようぬい 15 : かがりぬい 2

リネンやギャバジンなどの普通の布や厚い布および、布端がほつれやすい布のたち目のほつれ止めに使用します。ほつれを防ぐため、二重に布端をかがります。

布端 ② を押さえのガイド ① にあててぬいます。

★ じつようぬい 16 : かがりぬい 3

リネン、ローンなどの普通の布や、布端がほつれやすい布のたち目のほつれ止めに使用します。オーバーロックのぬい目に似ています。



布端 ② を押さえのガイド ① にあててぬいます。

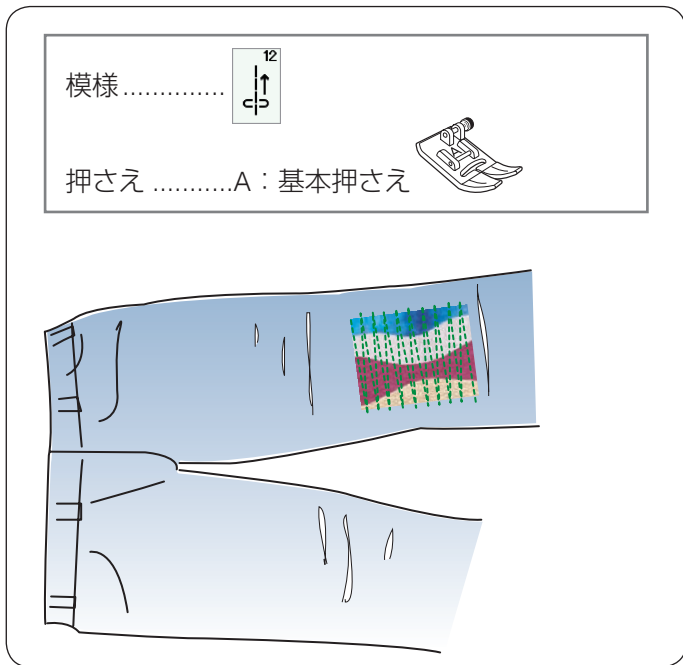
● その他のじつようぬい

【じつようぬい 12：バック直線ぬい】

直線ぬいを通常の布の進む方向と逆方向にぬう（バックぬい）ときに使用します。

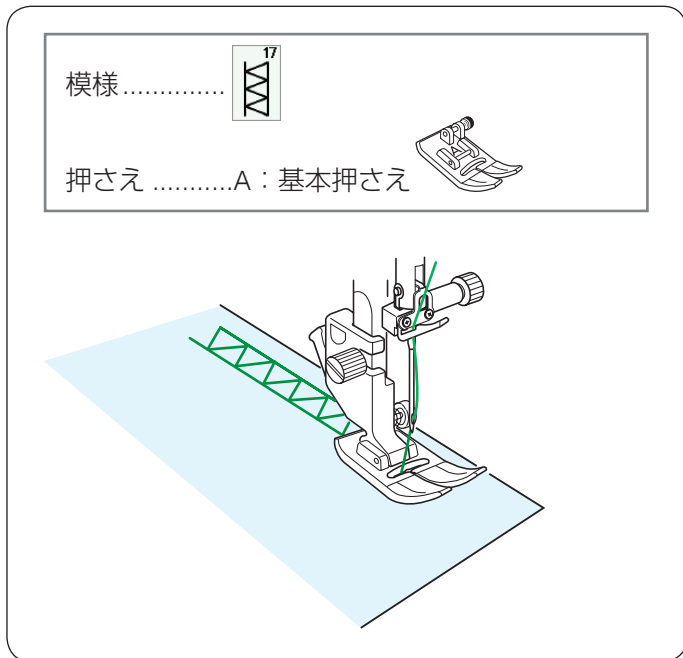
布を回転しにくいときの繰り返しの往復ぬいに便利です。返しぬいボタンを押さなくても、返しぬいができるので、両手で布を送ることができます。

模様  で必要なところまでぬい、模様  を選んで、もどる方向をぬいます。



【じつようぬい 17：ヘムステッチ】

ファゴティングや飾りぬいに使用します。

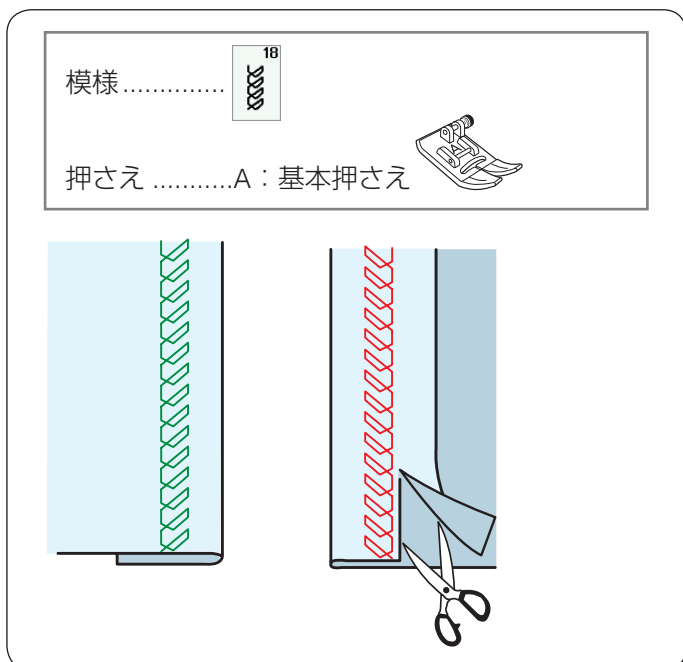


【じつようぬい 18：ニットステッチ 2】

布を折り、布の表を上 にします。

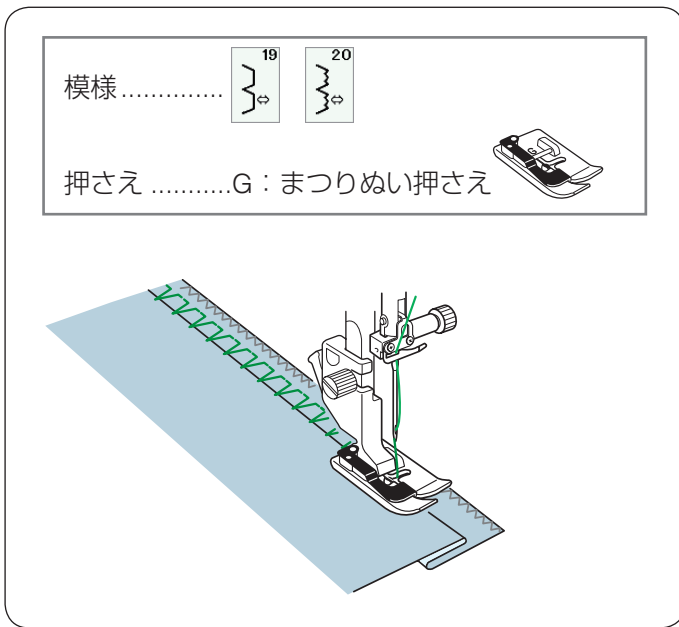
折り目に沿ってお好みの距離でぬいます。

裏側の余った布をぬい目近くで切りそろえます。



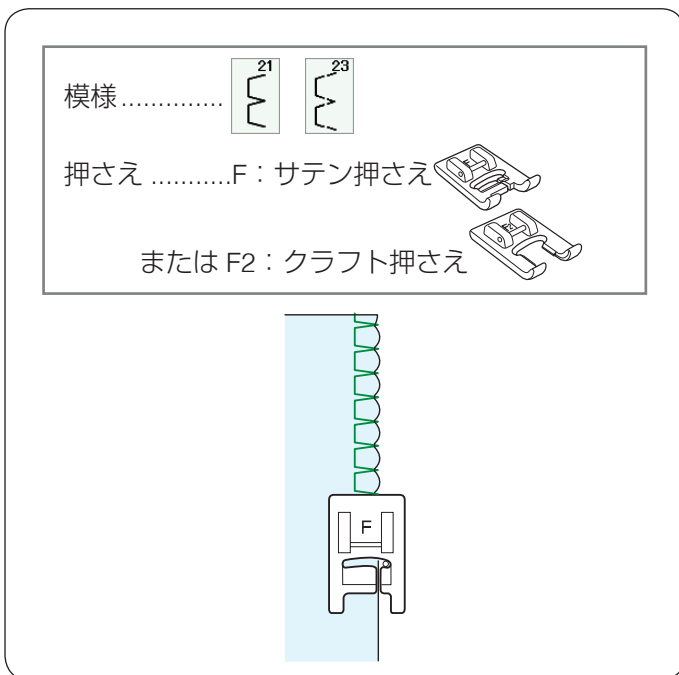
【じつようぬい 19、20：まつりぬい】

103 ページ「まつりぬい」をごらんください。



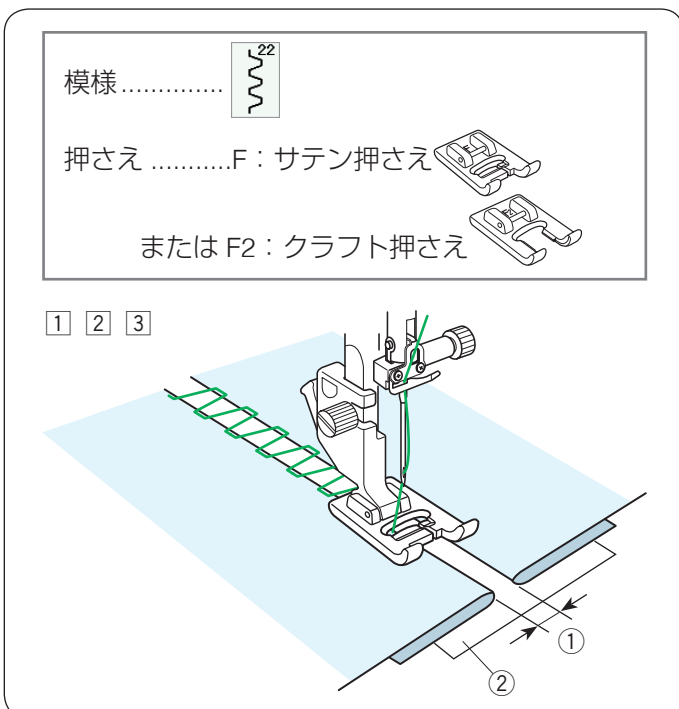
【じつようぬい 21、23：シェルタック】

105 ページをごらんください。



【じつようぬい 22：ファゴティング】

布端と布端の間かくをあけて、つなぎ合わせる場合に使用します。



ぬい方：

- ① 布端と布端の間かくを 0.5 ～ 0.6 cm ① あけて、下に
あて紙 ② を置きます。
- ② 布の表から、間かくの中央を中心にしてぬいます。
- ③ あて紙 ② を取ります。

◎ ボタンホール・特殊模様

● ボタンホール・特殊模様の画面

ホームキー①を押し、ホーム画面のボタンホールキー②を押すと、ボタンホールおよび特殊模様グループの模様選択画面になります。

ボタンホールおよび特殊模様グループは、16個の模様（模様番号1～16）があり、2つの画面（ページ）に分かれていて、ページキー③で選択できます。

ボタンホールおよび特殊模様グループの画面は、模様選択キーや調整キーなどのキーの他に、選ばれている模様に関するいくつかのぬい情報や設定状態が表示されています。

メモ：

- ぬい情報や設定状態の表示については、14～15ページをごらんください。
- 調整キー⑤を押すと、調整画面になります。調整画面の基本的な使い方については、34～36ページをごらんください。
- 特殊な使い方については、それぞれの模様の説明をごらんください。
- ボタンホールおよび特殊模様は、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。
- 模様頭出しキー④の使い方は、86ページをごらんください。
- 模様⑫のぬい方は、113～115ページをごらんください。



● ボタンホールの種類と用途

ボタンホール 1：スクエアボタンホール

普通の布から厚い布まで広く使われているボタンホールです。ボタンホールの長さは、R：ボタンホール押さえのボタン受け台に使用するボタンをはさみ込むと自動的に決まります。

ボタンホール 2：メモリーボタンホール（スクエアボタンホール）

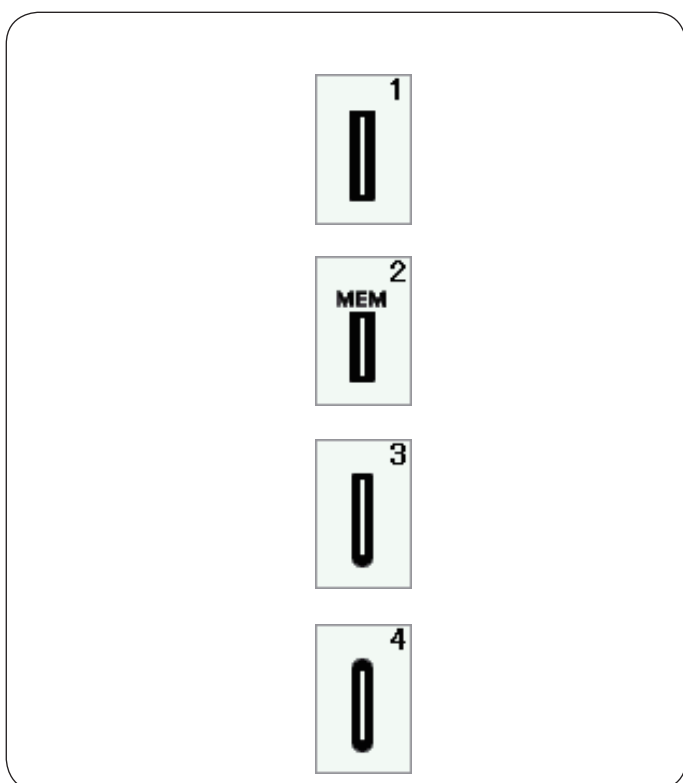
自分でボタンホールの長さを決めてぬうボタンホールです。2.5 cm 以上の長いボタンホールをぬえます。

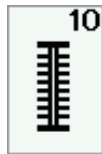
ボタンホール 3：片ラウンドボタンホール

薄い布から普通の布に使います。ブラウス、子供服でよく使われます。

ボタンホール 4：両ラウンドボタンホール

シルクのような薄い布に使います。





ボタンホール 5：キーホールボタンホール

普通の布から厚い布まで広く使われているボタンホールです。大きくて厚めのボタンに使います。

ボタンホール 6：ラウンドキーホールボタンホール

普通の布から厚い布まで広く使われているボタンホールです。大きくて厚めのボタンに使います。

ボタンホール 7：キーホールボタンホール (テーラーメイド)

ボタンホール 5、6と同じキーホールボタンホールですが、片方の口を補強したボタンホールです。

ボタンホール 8：ニットボタンホール

伸縮性のある布に使います。飾りボタンホールとしても使います。

ボタンホール 9：ニットボタンホール

伸縮性のある布に使います。飾りボタンホールとしても使います。

ボタンホール 10：ニットボタンホール




ヘアールーム模様のようなボタンホールです。

手ぬいのような見た目なので、飾りボタンホールとして最適です。薄い布用です。

ボタンホール 11：たまぶちボタンホール

たまぶちボタンホールを作る最初の工程になります。

メモ：

- 模様   のぬいかたはスクエアボタンホールと同様です。
- 模様  (メモリーボタンホール)を除くボタンホールは、R：ボタンホール押さえにボタンをセットするだけで自動的に最適な長さのボタンホールをぬうことができます。(ボタンホールの長さは、使用するボタンをボタンホール押さえのボタン受け台にはさみ込むと自動的に決まります。)
- ボタンの直径が 1.0 ～ 2.5 cm までのボタンホールができます。
- ボタンホールは、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)

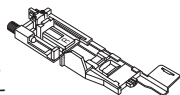
ボタンホールの注意事項

- 伸縮性のある布は、伸びないように裏に芯地を貼ってください。
- 厚物の段差や安定して布送りできない布などをぬうときは、ボタンホール安定板を使用してください。
- 使用する布の切れ端などで試しぬいをして、正しくぬえることを確認してください。
- ボタンホールをぬう場所に、必ずマーク (しるし) を付けてください。

模様.....



押さえ ...R: ボタンホール押さえ

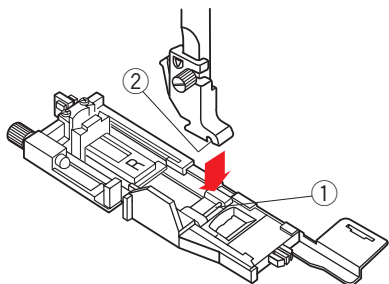


(模様選択画面)

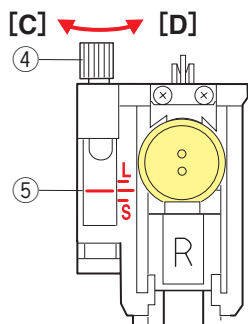
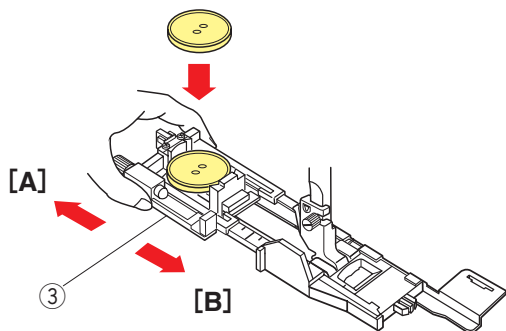


メッセージ

1



2



● ボタンホール 1: スクエアボタンホール

ボタンホールの長さは、R: ボタンホール押さえのボタン受け台へ使用するボタンをはさみ込むと自動的に決まります。

ボタンの直径が 1.0 ~ 2.5 cm までのボタンホールをぬうことができます。

ボタンホールを選択すると、ボタンホール切りかえレバーをおろすよう、画面 (タッチパネル) にメッセージが表示されます。

メモ:

- 厚い布、特定の布や糸を使用してボタンホールをぬうときなど、ボタンホールのサイズをかえる必要がある場合があります。使用する布の切れ端などで試しぬいをして、正しくぬえることを確認してください。
- 自動的に設定されるボタンホールの幅は一般的なボタン用です。
- 伸縮性のある布は、伸びないように裏に芯地を貼ってください。

【ボタンホールのぬい方】

1 押さえのピン①を押さえホルダーのみぞ②に入れて、R: ボタンホール押さえを取り付けます。

R: ボタンホール押さえを取り付けるとき、押さえ上げを高くあげた位置まで持ちあげると便利です。

2 R: ボタンホール押さえのボタン受け台③を[A]の方向へ引き、ボタンをのせます。

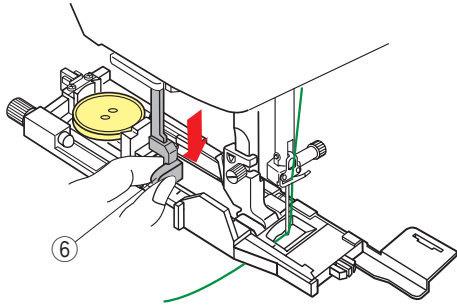
ボタン受け台③を[B]の方向にもどしてボタンをきつくはさみ込みます。

ボタンホール長さの微調整方法

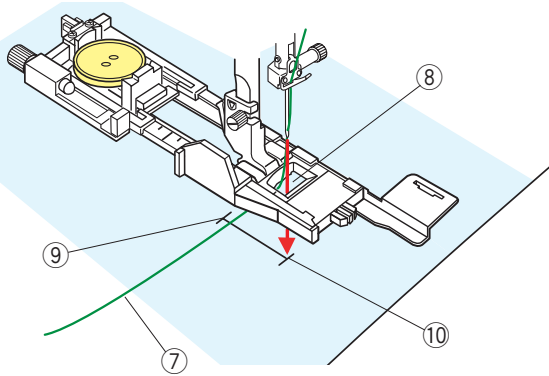
ボタンの長さを測り、必要であればボタンホールの長さを調整してください。

- ボタンホールの長さを長くするには、調整ねじ④を[C]の方向にまわして指示線⑤をL側にします。
- ボタンホールの長さを短くするには、調整ねじ④を[D]の方向にまわして指示線⑤をS側にします。
- ぬい終わったら、ねじはもとの位置⑤(指示線を目盛りの中央の位置)にもどしてください。

3



4



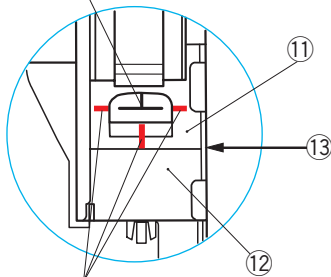
3 ボタンホール切りかえレバー（BHレバー）⑥ を止まるまでいっぱい引きさげます。

4 押さえをあげて上糸⑦を押さえの穴⑧から下へ通し、横に引き出します。

上糸⑦を横に引き出した状態で布を入れ、布に付けたマーク⑨のぬい始めの位置⑩に針をさし、押さえをさげます。

※ 押さえをさげるとき、押さえ前部のストッパーを向こう側に軽く押しつけた状態でさげ、ストッパーと押さえスライダースにすきまがつかないように注意してください。
（下記「ぬい始める前の確認」参照）

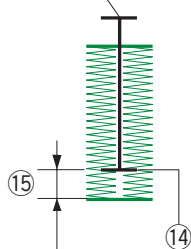
布に付けたマーク



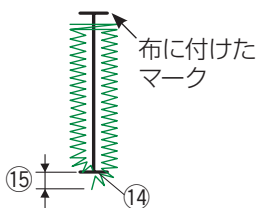
スタートマーク

※ ぬい位置を合わせるための目安のマークです。

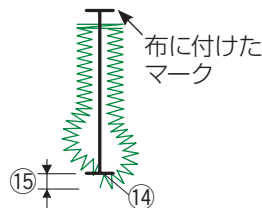
布に付けたマーク



〔片ラウンドボタンホールの場合〕



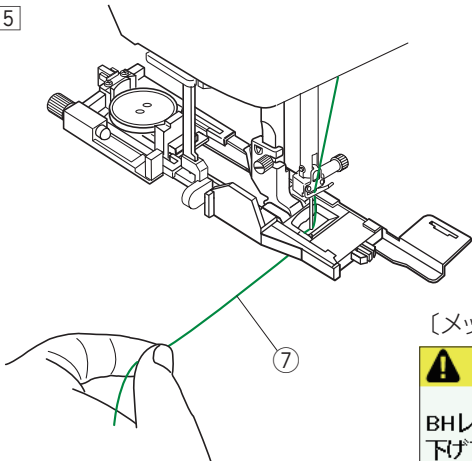
〔キーホールボタンホールの場合〕



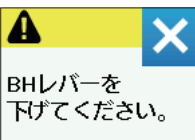
ぬい始める前の確認

押さえスライダー⑪とストッパー⑫のあいだにすきまがないこと⑬を確認してください。すきまがあるとぬい始めの位置⑭と、ぬい終わりの位置がずれる⑮ことがあります。

5



〔メッセージ画面〕

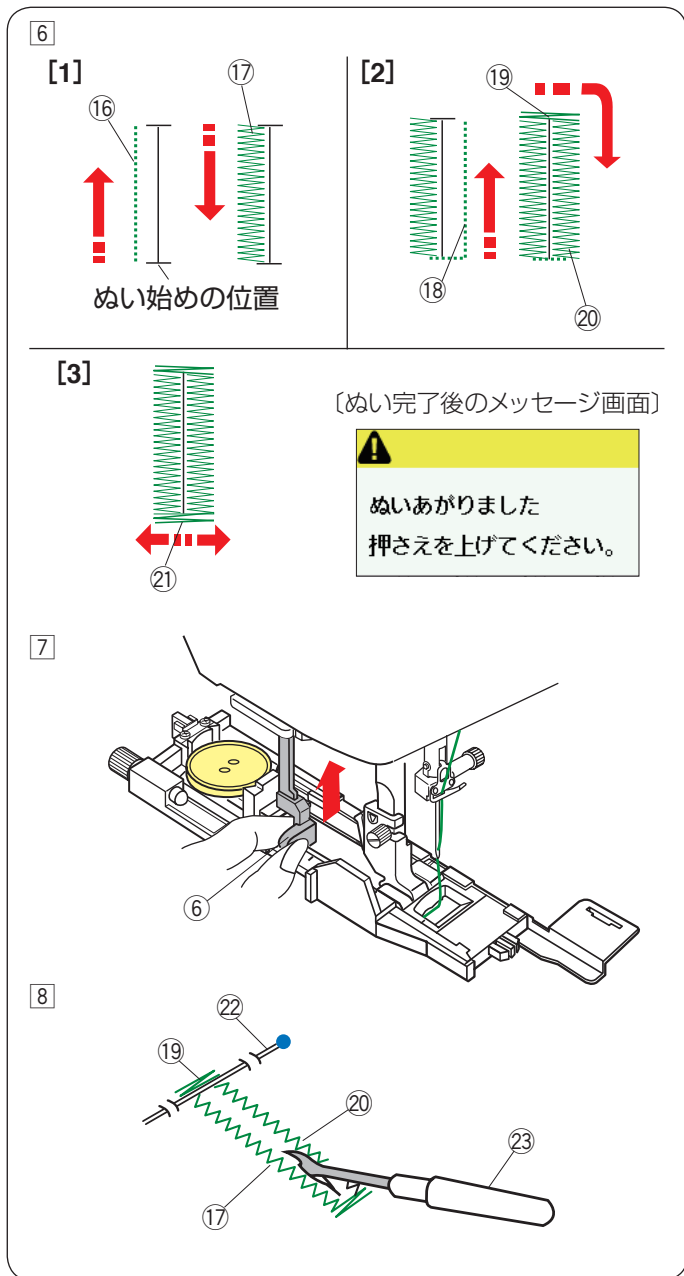


5 上糸⑦を左に軽く引いて持ち、ミシンをスタートさせます。ぬい始めから数針ぬったあと、糸から手をはなしてぬいます。

ボタンホールをぬい終わったところでほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

ボタンホール切りかえレバーをさげないでぬった場合

ボタンホール切りかえレバーをさげずにミシンをスタートさせると、何針かぬったのちミシンは停止し、画面にボタンホール切りかえレバーをさげるようにメッセージが表示されます。ボタンホール切りかえレバーを引きさげて、ミシンを再スタートさせてください。



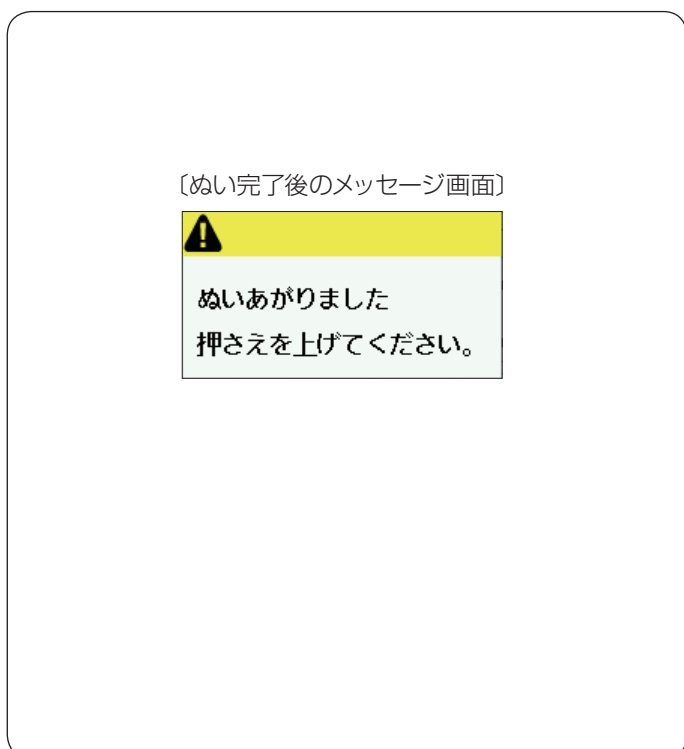
6 ボタンホールは下記の順番でぬいます。

- [1] 下ぬい⑬をし、左側のラインタック⑭をぬいます。
 [2] 下ぬい⑮をし、かんぬき⑯と右側のラインタック⑰をぬいます。
 [3] かんぬき⑱と止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。
 ぬい終わるとメッセージが表示されます。

※ ボタンホールの重ねぬいをする場合、そのままミシンをスタートさせぬいます。
 重ねぬいをしない場合、押さえ上下移動ボタンを押して押さえをあげます。(下記「ボタンホールの重ねぬい」参照)

7 ぬい終わったら、ボタンホール切りかえレバー⑥を止まるまでいっぱい押しあげてもどします。

8 かんぬき⑯の内側にまち針⑳をわたし、シームリッパー㉑で左右のラインタック⑭、⑰の糸を切らないよう、ボタン穴をあけます。



【ボタンホールの重ねぬい】

ボタンホールを重ねぬいすると、より頑丈なボタンホールができます。

ボタンホールをぬい終わったあと、「押さえを上げてください。」とメッセージが表示されますが、押さえをあげたり、ボタンホール切りかえレバーをあげたりせず、再度ミシンをスタートさせます。

ボタンホールの重ねぬいができます。

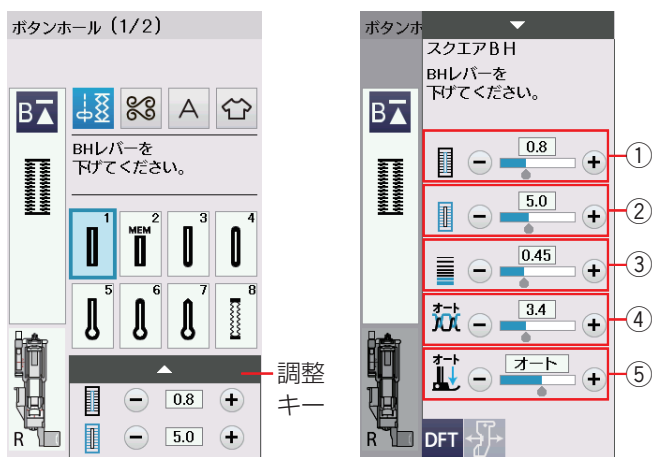
※ ボタンホールの重ねぬいで送りがつまるときには、ぬい目のあさを大きくしてぬってください。

メモ：

「通常ぬい設定」の「通常ぬいオートストップ時の糸切り」が「ON」に設定されている場合、糸切り後押さえがあがってしまい重ねぬいはできません。(139 ページ参照)

〔模様選択画面〕

〔調整画面〕



★ ボタンホールの調整画面

模様選択画面の調整キーを押すと、調整画面が表示されます。

① ボタン穴の幅調整キー

ボタン穴の幅（ボタンホールの中幅）をかえることができます。

② めい目の幅調整キー

ボタンホール全体の幅をかえることができます。

③ めい目のあかさ調整キー

めい目のあかさをかえることができます。

④ 糸調子調整キー

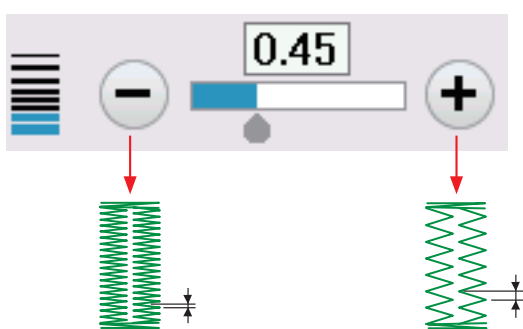
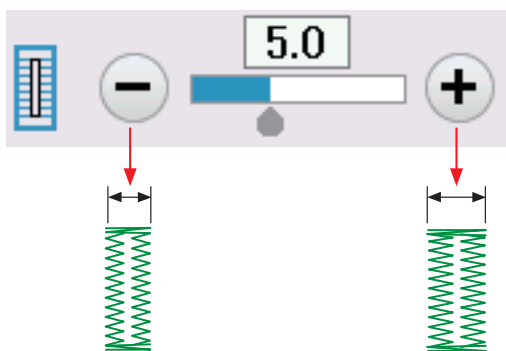
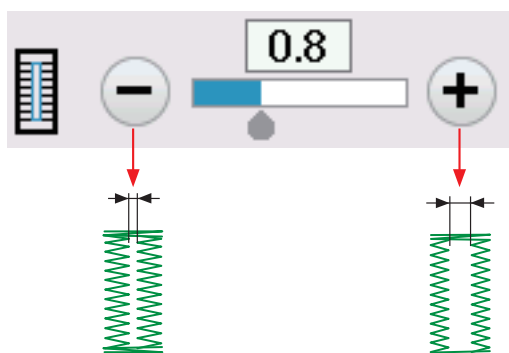
上糸と下糸の糸調子のバランスをかえることができます。

⑤ 押さえ圧調整キー

押さえ圧をかえることができます。

メモ：

調整画面の基本的な使い方は、34～36ページをごらんください。



① ボタン穴の幅をかえる

「+」を押すとボタン穴の幅が広がります。

「-」を押すとボタン穴の幅がせまく（細く）なります。

② めい目の幅（ボタンホールの幅）をかえる

「+」を押すとボタンホール全体の幅が広がります。

「-」を押すとボタンホール全体の幅がせまくなります。

③ めい目のあかさをかえる

「+」を押すとボタンホールのめい目があらかります。

「-」を押すとボタンホールのめい目が細かくなります。

メモ：

ボタンホールの穴の幅は0.2～2.0まで変更可能です。
 ボタンホール幅は2.6～9.0まで変更可能です。
 ボタンホールのめい目のあさは0.20～1.00まで変更可能です。

● ボタンホール安定板の使い方

厚い布の段差や安定して布送りできない布などをぬう場合、ボタンホール安定板を使用すると、布をスムーズに送ることができます。

① R：ボタンホール押さえ ① の取り付け穴 ② に、ボタンホール安定板 ④ のガイド ③ 部分を差し込みます。

② ボタンをボタン受け台にのせます。

ボタンホール安定板 ④ を組み付けた R：ボタンホール押さえ ① を、ミシンに取り付けます。

押さえをあげ、上糸 ⑥ を押さえの穴 ⑤ から下へ通し、ボタンホール押さえとボタンホール安定板のあいだから横に引き出します。

③ 上糸 ⑥ を横に引き出した状態でボタンホール押さえとボタンホール安定板のあいだに布を入れます。

はずみ車をまわし、ぬい始めの位置に針をさします。

メモ：

ぬいの手順はボタンホール 1：スクエアボタンホールと同じです。(56～59 ページ参照)

布がボタンホール切りかえレバーに触れて、うまくぬえない場合

弾力性のある厚い布（フリースなど）をぬう場合、布を送るときに浮きあがった布がボタンホール切りかえレバー ⑦ に触れて誤操作を起こし、正しい形にぬえないことがあります。

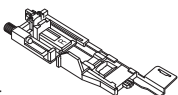
このような場合、布を送るときに布が浮きあがらないようにまち針 ⑧ で固定し、ボタンホール安定板 ④ を使用してぬってください。

模様.....

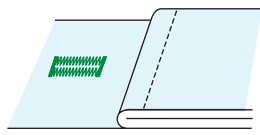


押さえ...R: ボタンホール押さえ

.....F: サテン押さえ



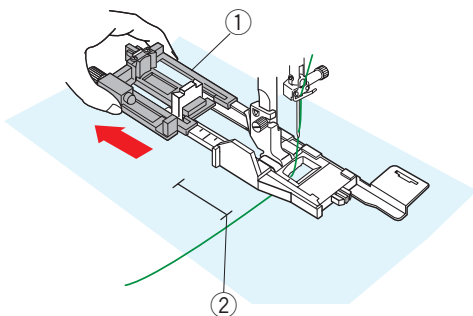
[段差近くの場合]



[ぬい始める前の画面のメッセージ]

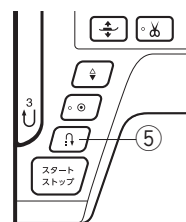
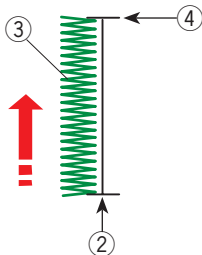
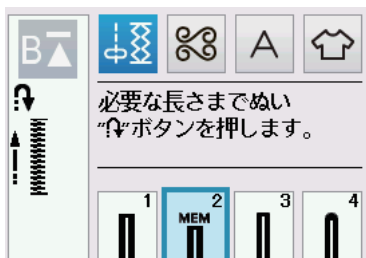


①



②

[ぬい中の画面のメッセージ]



● ボタンホール 2：メモリーボタンホール（スクエアボタンホール）

メモリーボタンホールは、ボタンホールの長さを自分で決めてぬうボタンホールです。

メモ：

- ボタンホール切りかえレバーは、さげないでぬいます。
- 2.5 cm 以上の長いボタンホールをぬう場合や、厚い布の段差近くをぬう場合など、R：ボタンホール押さえを使用できないときは F：サテン押さえを使用してください。
- ボタンホールの穴の幅は 0.2 ～ 2.0 まで変更できます。
- ボタンホール幅は 2.6 ～ 9.0 まで変更できます。
- ボタンホールのぬい目のあらかさは 0.20 ～ 1.00 まで変更できます。(59 ページ参照)

【ぬい方（R：ボタンホール押さえの例）】

- ① ボタン受け台（ボタンホルダー）① を向こう側にいっばいに引き出します。

ミシンにボタンホール押さえを取り付けます。
上糸を横に引き出した状態で布を入れ、布に付けたマークのぬい始めの位置 ② に針をさし、押さえをさげます。

※ ぬい始める前の上糸と布のセット方法はスクエアボタンホールと同じです。「ボタンホール 1：スクエアボタンホール」の手順 ① ④（56 ～ 57 ページ）をごらんください。（ボタンホール切りかえレバーはさげないでください。）

- ② 上糸を横に軽く引いて持ち、ミシンをスタートさせます。ぬい始めから数針ぬったあとは、糸から手をはなしてください。

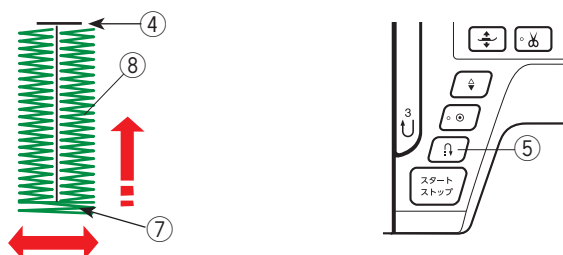
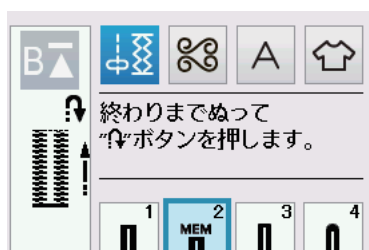
左側のラインタック ③ を必要な長さ ④ までぬったらミシンを停止し、返しぬいボタン ⑤ を押します。

③ [ぬい中の画面のメッセージ]



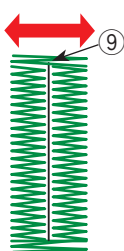
- ③ ミシンをスタートさせると、下ぬい⑥を行います。ぬい始めの位置②にもどったらミシンを停止し、返しぬいボタン⑤を押します。

④ [ぬい中の画面のメッセージ]

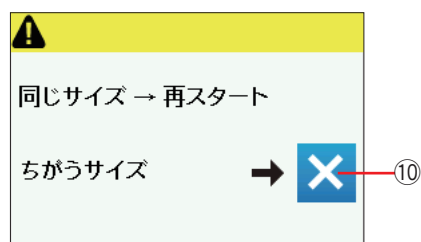


- ④ ミシンを再度スタートさせると、かんぬき⑦と右側のラインタック⑧がぬわれます。必要な長さの位置④にもどったらミシンを止め、返しぬいボタン⑤を押します。

⑤ [ぬい中の画面のメッセージ]



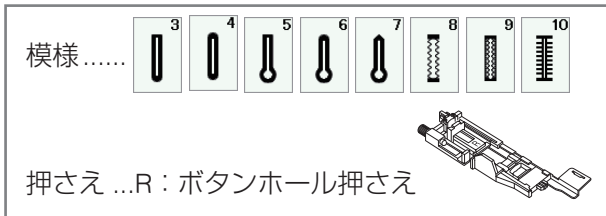
[ぬい完了後のメッセージ画面]



- ⑤ ミシンを再度スタートさせると、かんぬき⑨をぬい、止めぬいをしてミシンは自動的に止まります。ボタンホールぬいが終わると、画面にメッセージが表示されます。ミシンは、手順②～④でぬったボタンホールのサイズを記憶しています。
- 別の場所に同じサイズのボタンホールをぬう場合、この画面の状態のまま布の位置をかえてミシンを再スタートさせます。画面上のメッセージが消え、同じサイズのボタンホールが自動的にぬわれます。
 - 同じ長さのボタンホールをぬう必要がない場合、閉じるキー⑩を押してメッセージ画面を消すと、記憶しているボタンホールサイズは取り消されます。

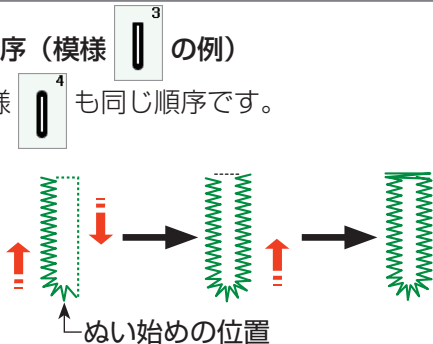
メモ：

- ボタンホールの穴の開け方は58ページをごらんください。
- ボタンホールが完成する前に押さえ上げをあげたり、頭だしキーを押したりすると、記憶しているボタンホールサイズは取り消されます。





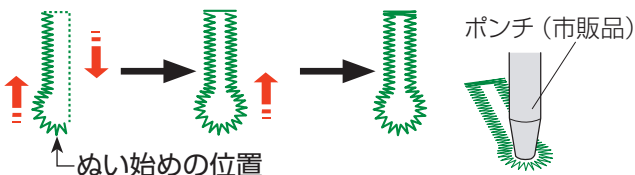
ぬい順序 (模様  の例)

※ 模様  も同じ順序です。

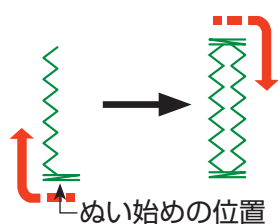


ぬい順序 (模様  の例)

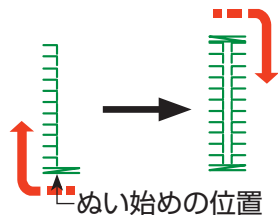
※ 模様   も同じ順序です。



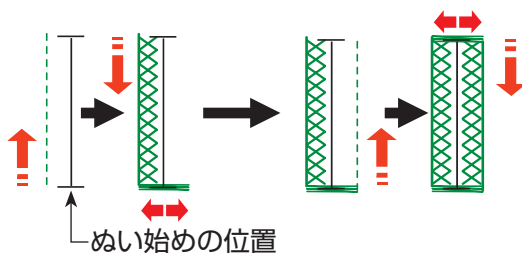
ぬい順序 (模様 )



ぬい順序 (模様 )



ぬい順序 (模様 )



● その他のボタンホール

★ ボタンホール 3、4：片ラウンド、両ラウンドボタンホール
ぬい方はボタンホール 1：スクエアボタンホールと同じです。(56～59 ページ参照)

メモ：

ボタンホールの穴の幅は 0.2～2.0 まで変更可能です。
ボタンホール幅は 2.6～9.0 まで変更可能です。
ボタンホールのぬい目のあさは 0.20～1.00 まで変更可能です。(59 ページ参照)

★ ボタンホール 5～7：キーホールボタンホール

ぬい方はボタンホール 1：スクエアボタンホールと同じです。(56～59 ページ参照)

キーホールボタンホールの穴は、ポンチ (市販品) で丸穴を開けてからシームリッパーで切り開いてください。

メモ：



ボタンホールの穴の幅は 0.2～2.0 まで変更可能です。
ボタンホール幅は 5.6～9.0 まで変更可能です。
ボタンホールのぬい目のあさは 0.20～1.00 まで変更可能です。(59 ページ参照)

★ ボタンホール 8、10：ニットボタンホール

ぬい方はボタンホール 1：スクエアボタンホールと同じです。(56～59 ページ参照)

メモ：

- ボタンホールの穴の幅は 0.2～2.0 まで変更可能です。ボタンホール幅は 2.6～9.0 まで変更可能です。

ボタンホールのぬい目のあさは模様  が 0.50
～1.00、模様  が 0.50～2.50 まで変更可能です。
(59 ページ参照)

- 左右のぬい目のあさがそろわないときは、141 ページをごらんください。

★ ボタンホール 9：ニットボタンホール

ぬい方はボタンホール 1：スクエアボタンホールと同じです。(56～59 ページ参照)

メモ：

- ボタンホールの穴の幅は 0.2～2.0 まで変更可能です。ボタンホール幅は 2.6～9.0 まで変更可能です。

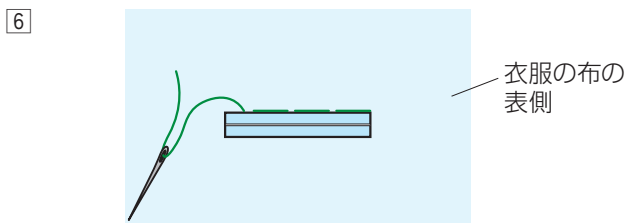
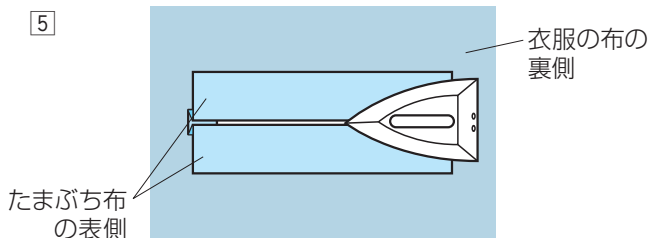
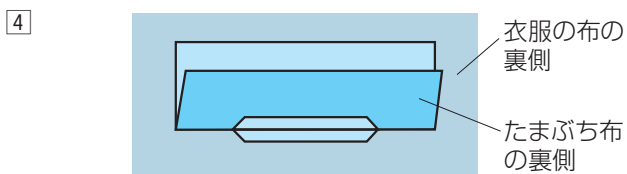
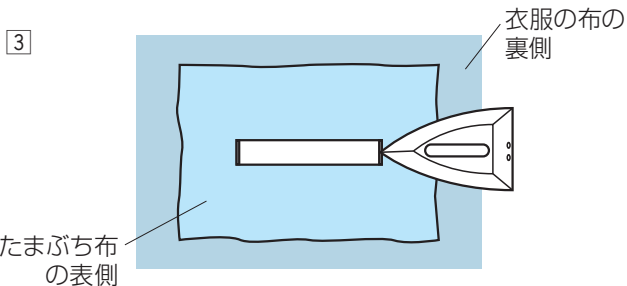
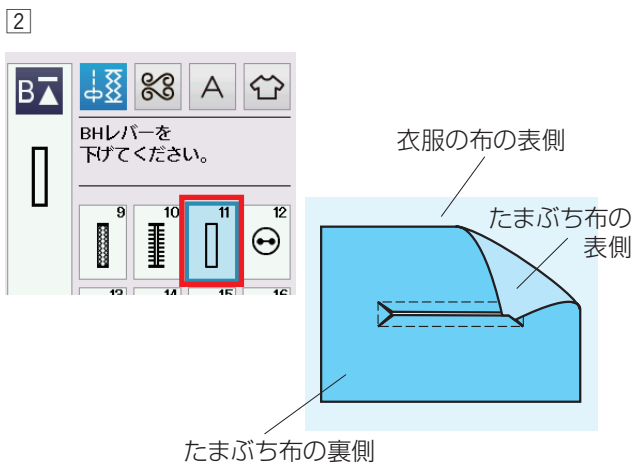
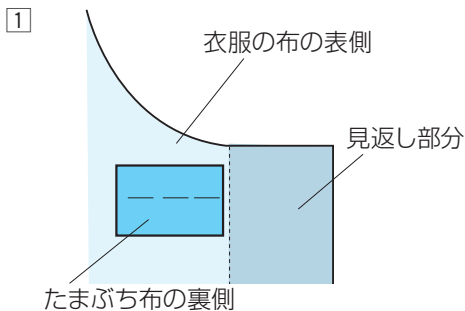
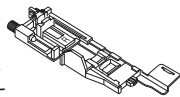
ボタンホールのぬい目のあさは 0.70～1.20 まで変更可能です。(59 ページ参照)

- 左右のぬい目のあさがそろわないときは、141 ページをごらんください。

模様.....



押さえ ...R：ボタンホール押さえ




● ボタンホール 11：たまぶちボタンホール

たまぶち布をぬいつけて、たまぶちボタンホールを作ります。

仕立ての衣服などに最適ですが、重ね合わせの部分が透けてしまうような薄くて繊細な布には向きません。

1 バイヤス地のたまぶち布の表側と、衣服の布の表側を合わせ、しつけぬいで止めます。

2 模様  を選択します。

ボタンホール押さえのボタン受け台にボタンをはさみ、ボタンホール切りかえレバーをさげてぬいます。
※ ぬい方はボタンホール 1：スクエアボタンホールと同じです。(56～59 ページ参照)

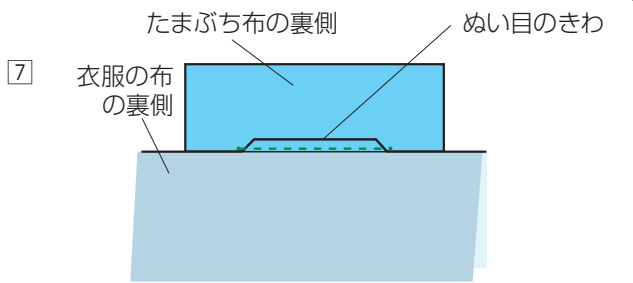
ぬい終わったら Y 字型に切り込みを入れ、たまぶち布を裏側に出します。

3 衣服の布の裏側にたまぶち布の表側全体が見えるまでたまぶち布を引き出します。
アイロンの先で角を整えます。

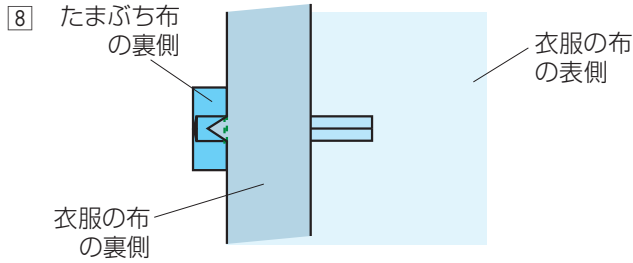
4 ぬいしろを正しく割ります。

5 アイロンで幅を整えます。

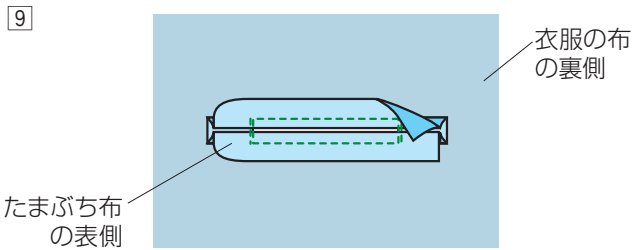
6 ぬい目にしつけをします。



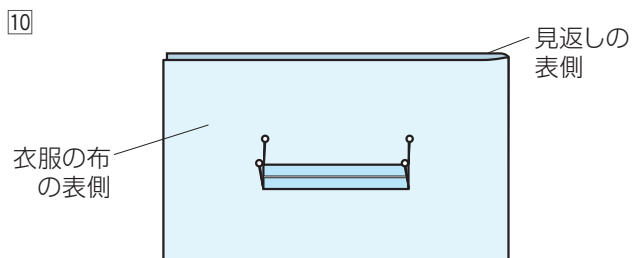
7 めい合わせためい目のきわをぬいます。



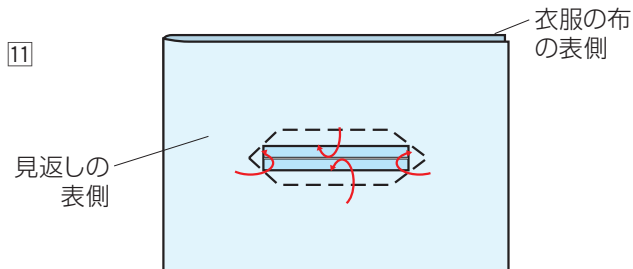
8 三角の布に三重にぬいます。



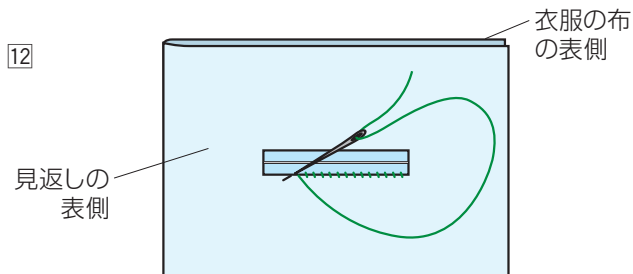
9 たまぶち布を穴から 1.0 ~ 1.5 cm にたち落とします。角は丸くたち落とします。



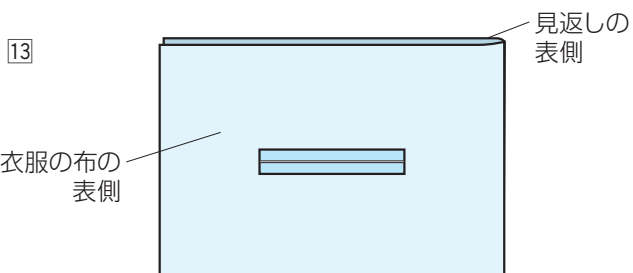
10 見返しに、図のようにピンでたまぶち穴の形のしるしをつけます。



11 見返しの表から手順 2 のように Y 字型に切り込みを入れて、できあがりの幅に折ります。切り込まれた布を見返しとたまぶち布のあいだに折り込みます。



12 あきぐちのまわりを図のように細かくまつります。

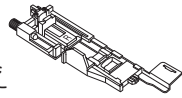


13 たまぶちボタンホールの完成です。

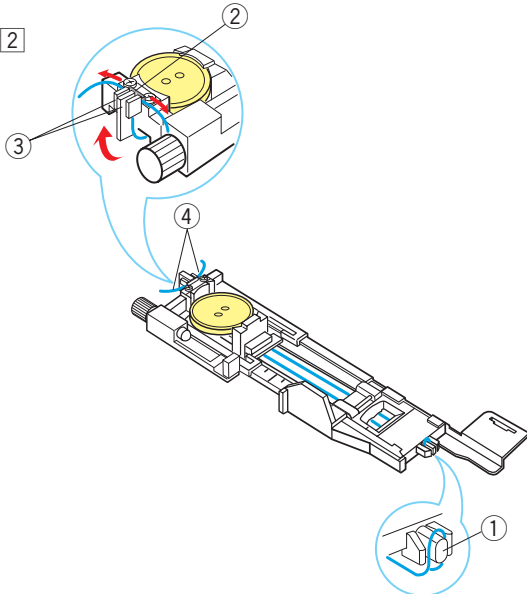
模様.....



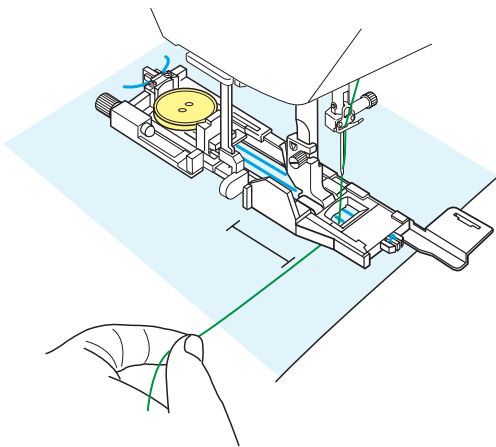
押さえ ...R: ボタンホール押さえ



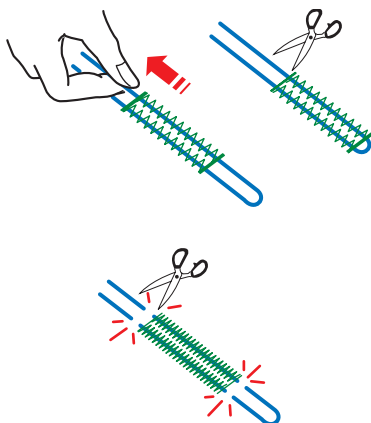
① ②



③



④



● 芯入りボタンホール

ぬい方はボタンホール 1: スクエアボタンホールと同じです。(56 ~ 59 ページ参照)

メモ:

- ボタンホール穴の幅は 0.8 以上に設定しないでください。
- 使用する芯糸の太さに合わせてぬい目の幅 (ボタンホールの全体の幅) およびボタン穴の幅 (ボタンホールの中幅) を調整してください。(59 ページ参照)
- ボタン穴の開け方は 58 ページをごらんください。
- 必要に応じて、安定板をボタンホール押さえに取り付けます。(60 ページ参照)

模様  を選択します。

- ① ボタンホール押さえのボタン受け台にボタンをはさみ込みます。

芯糸 ④ の一方の端をボタンホール押さえ後部の左側の切り込み ③ に入れ、横に引いて金属の板 ② のあいだにはさみ込んで固定します。

芯糸は、押さえの下から前に引き、輪にして押さえ前部のつ ① にかけます。

- ② つの ① にかけた芯糸を、押さえの下を通して押さえ後部の右側の切り込み ③ に入れ、横に引いて金属の板 ② のあいだにはさみ込んで固定します。

※ 芯糸 ④ は、たるみのないように強く張ってください。

- ③ ボタンホール 1: スクエアボタンホールと同じようにぬいます。(56 ~ 59 ページ参照)

- ④ ぬい終わったら芯糸を引いてたるみをなくし、余分な芯糸を切ります。


芯糸が引けない場合

左右どちらの芯糸も引けない場合、芯糸の両側を切ります。

● 特殊ぬい

模様 、、、 については 113、116、68 ページをごらんください。

● ボタンホール 13：つくろいぬい（ダーニング）

模様  は、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。

- ① R：ボタンホール押さえを取り付け、ボタン受け台①をいっぱい引き出します。
- ② 上糸を押さえの穴②から下へ通し、横に引き出します。
- ③ ぬい始めの位置③に針をさし、押さえ上下移動ボタン④を押して押さえをさげます。

- ④ ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいます。

※ 自動的に停止するまでぬうと、最大約 2 cm の長さをぬうことができます。（幅は約 0.9 cm）
2 cm より短い長さでぬう場合、下記「2 cm より短い長さでぬう場合」をごらんください。

- ⑤ 布の向きをかえてぬいを繰り返します。

【2 cm より短い長さでつくろいぬいをする場合】


最初に必要な長さ①までぬい、返しぬいボタン②を押します。

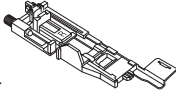
押した位置から折り返しますので、自動的にミシンが停止するまでぬいます。

ぬい終わると、メッセージ画面が表示されます。ミシンはぬった長さ（サイズ）を記憶しています。

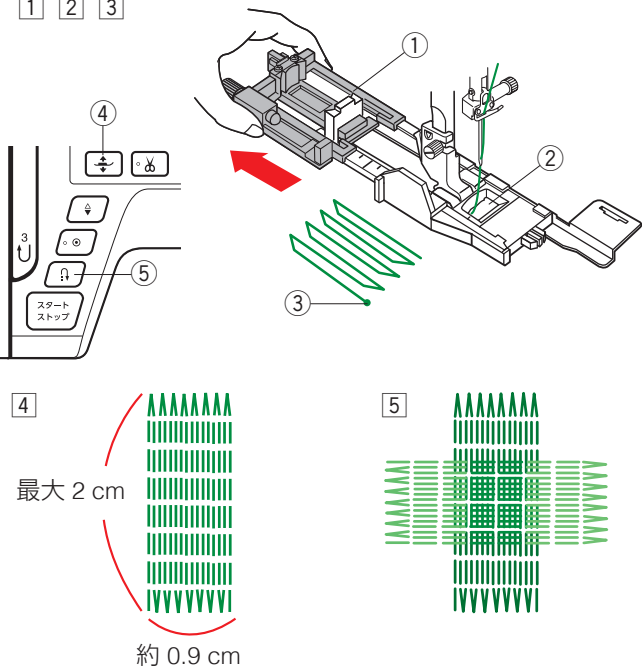
- 別の場所に同じ長さのものをぬう場合、この画面の状態のまま布の位置をかえてミシンをスタートさせます。返しぬいボタンを押さなくても同じ長さのものを自動的にぬってミシンは停止します。

- 同じ長さのものをぬう必要がない場合、閉じるキー③を押してメッセージ画面を消すと、記憶している長さは取り消されます。

模様..... 

押さえ...R：ボタンホール押さえ 

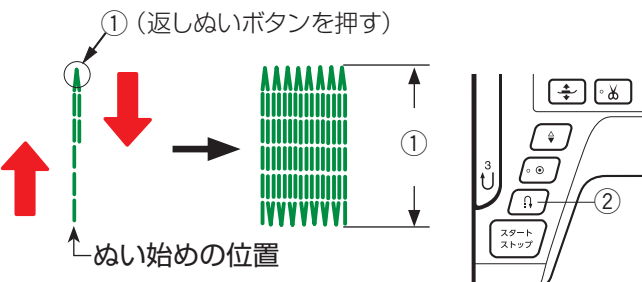
① ② ③



④ 最大 2 cm
約 0.9 cm


⑤


①（返しぬいボタンを押す）

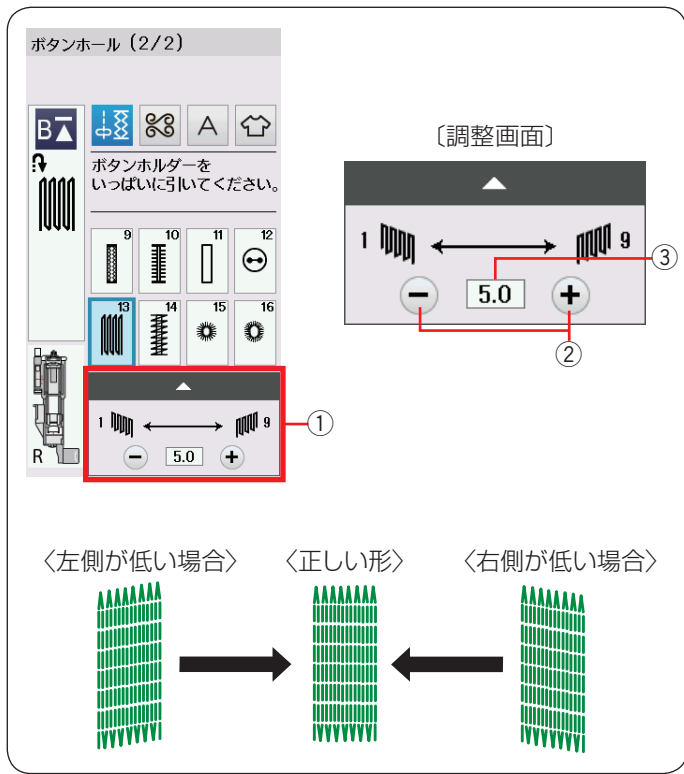


ぬい始めの位置

〔ぬい完了後のメッセージ画面〕

 同じサイズ → 再スタート

ちがうサイズ →  ③

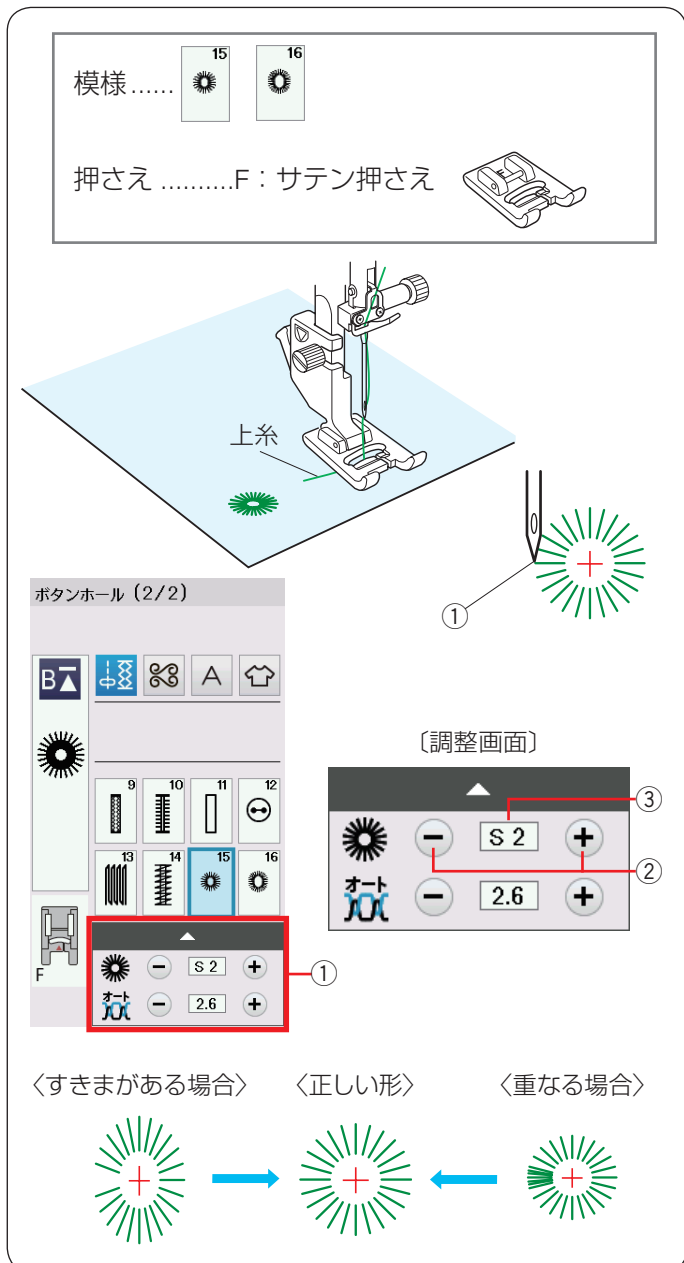


【形の整え方】

つくろいぬい（ダーニング）のぬい始め（左側）とぬい終わり（右側）の高さがそろわない場合、調整画面①の高さ調整キー②（「-」、「+」）で調整値③を変更します。

「1.0」～「9.0」の範囲で調整できます。（「5.0」はオート値）

- 左側が右側より低い場合、「-」キーを押します。（「1.0」～「4.0」）
- 右側が左側より低い場合、「+」キーを押します。（「6.0」～「9.0」）



● ボタンホール 15、16：アイレット

アイレットはベルトの穴などに使用します。

アイレット模様は、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。

【ぬい始め】

ぬい始めの上糸を押さえの下から横に引き出しておきます。

ぬい始めの位置①に針をさし、押さえ上下移動ボタンを押して、押さえをさげます。

ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいます。

メモ：

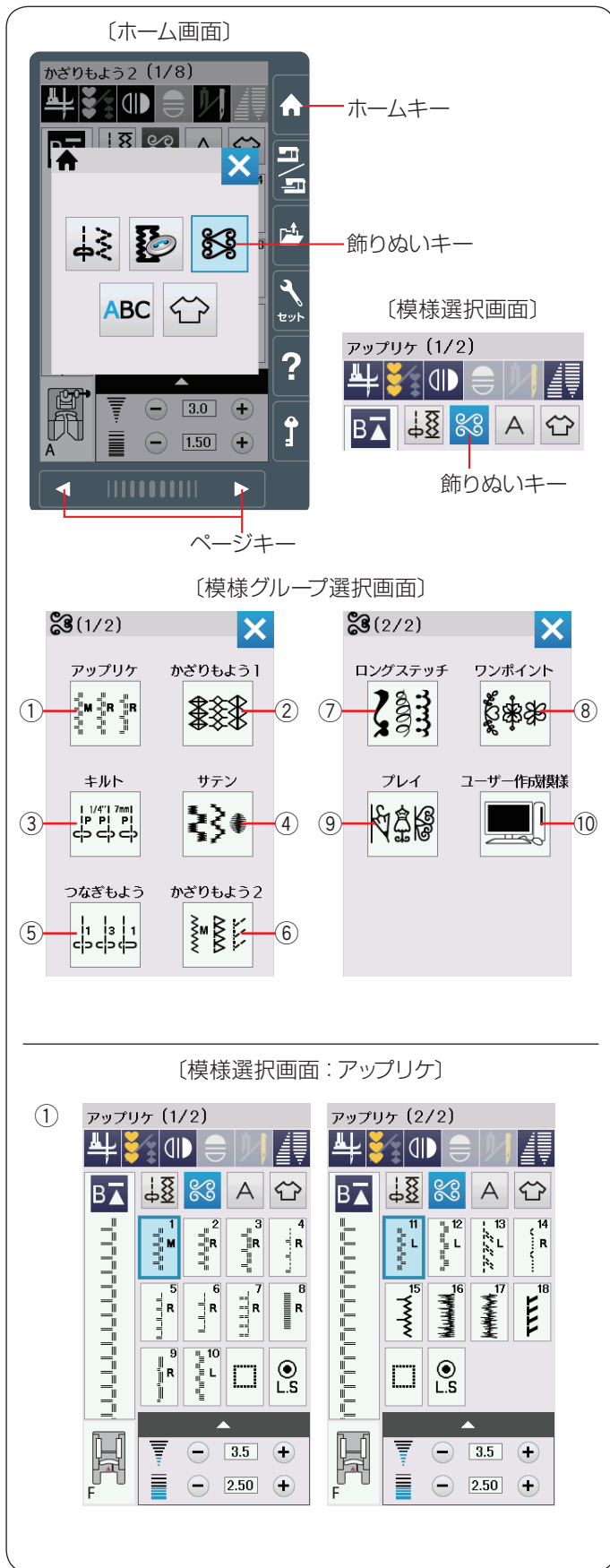
ぬい目の内側は、ポンチ（市販品）などで穴を開けます。ポンチの穴の大きさは、直径 0.25cm 以下のものを使用してください。

【形の整え方】

布によってアイレットの形がくずれる場合、調整画面①の形状調整キー②（「-」、「+」）で調整値③を変更します。

「S1」と「S3」で調整できます。（「S2」はオート値）

- ぬい目にすきまがある場合、「-」キーを押して「S1」にします。
- ぬい目が重なっている場合、「+」キーを押して「S3」にします。



◎ 飾りぬい

● 飾りぬいの画面

ホームキーを押して、ホーム画面の飾りぬいキーを押すと、飾りぬいの模様グループを選ぶ模様グループ選択画面になります。(模様選択画面の飾りぬいキーでも同じ画面が開きます。)

飾りぬいの模様グループには、10個のグループ(①～⑩)があります。これらの模様で、組み合わせ模様をつくることができます。

模様グループ選択画面で、グループを選択し、それぞれの模様選択画面を表示させます。

模様グループ選択画面は2つの画面(ページ)に分かれていて、ページキーで選択できます。

飾りぬいの模様グループの画面は、模様選択キーや調整キーなどのキーの他に、選ばれている模様に関するいくつかのぬい情報や設定状態が表示されています。(14～15ページ参照)

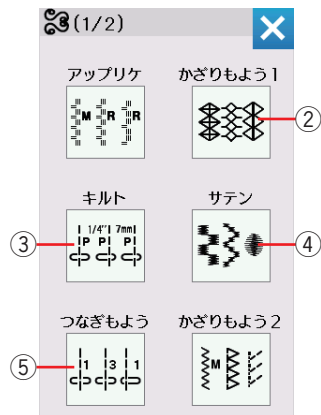
① アップリケグループ：2画面

アップリケなどに使用する模様のグループです。

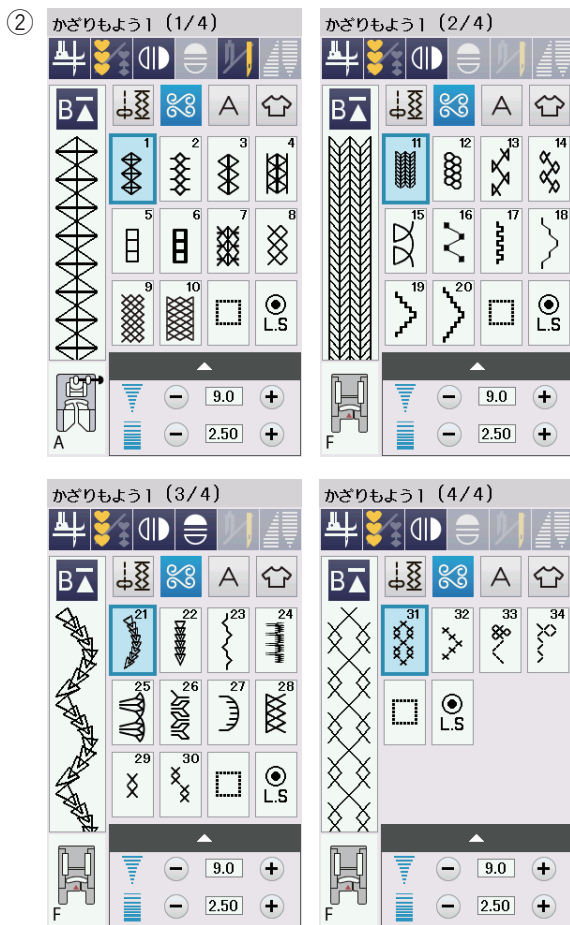
アップリケグループには、18個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

(117ページ参照)

〔模様グループ選択画面〕



〔模様選択画面：かざりもよう 1〕

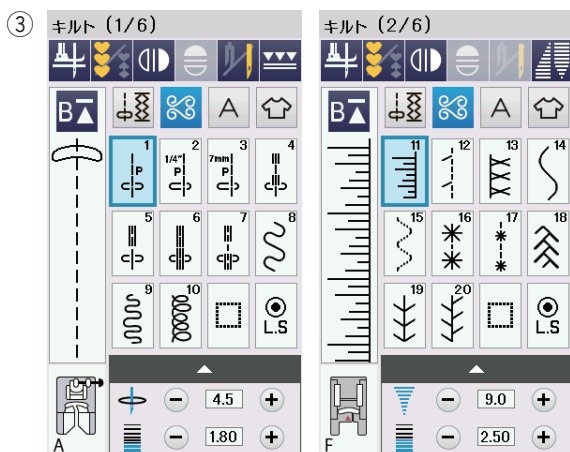


② かざりもよう 1 グループ：4 画面

伝統的な飾り模様のグループです。

かざりもよう 1 グループは、34 個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

〔模様選択画面：キルト〕



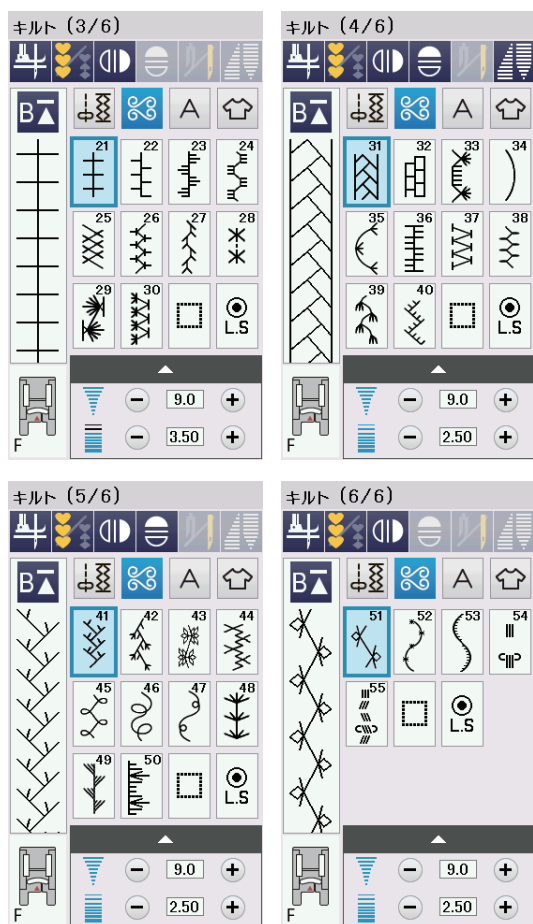
③ キルトグループ：6 画面

パッチワークやキルトなどに使用する模様のグループです。

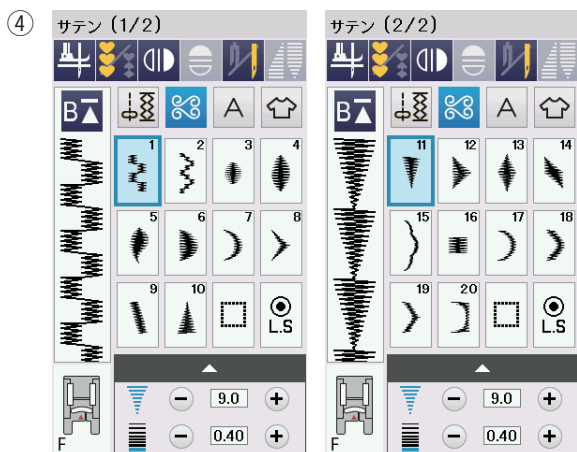
キルトグループは、55 個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

(76、121～129 ページ参照)

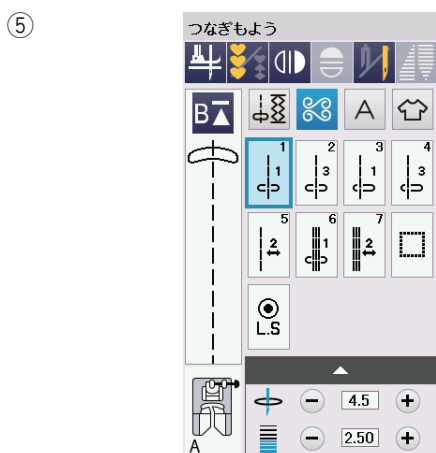
〔模様選択画面：キルト〕



〔模様選択画面：サテン〕



〔模様選択画面：つなぎもよう〕



④ サテングループ：2画面

サテン（ぬい目を密着させた）模様のグループです。サテングループは、20個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

サテングループの模様は模様の長さ調整機能（エロンゲーション機能）を使うと、ぬいのあらかはそのままで模様の長さを2～5倍にかえることができます。



（77ページ参照）

⑤ つなぎもようグループ：1画面

模様と模様を直線ぬいでつなぐ（間かくをあける）ためのぬいグループです。

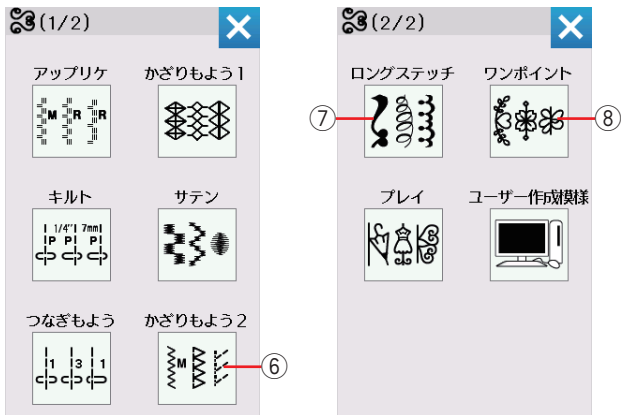
つなぎもようグループは、7個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

模様のとなりにある数字は、模様と模様をつなぐ直線ぬいの数です。

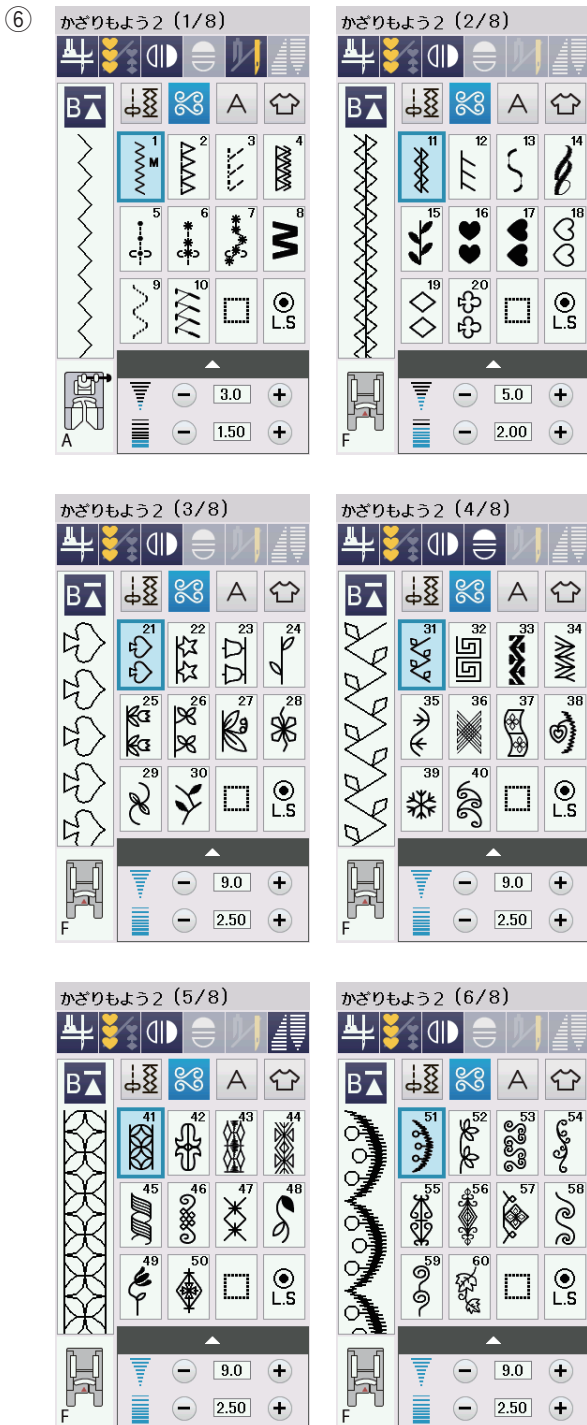
模様  と  は組み合わせ模様するとき、前に入力した模様の基線とぬい目のあらかを引き継ぎます。

（84ページ参照）

〔模様グループ選択画面〕



〔模様選択画面：かざりもよう2〕

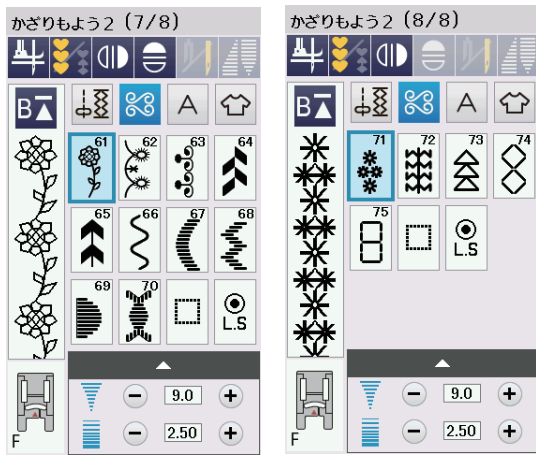


⑥ かざりもよう2グループ：8画面

装飾的な飾り模様のグループです。

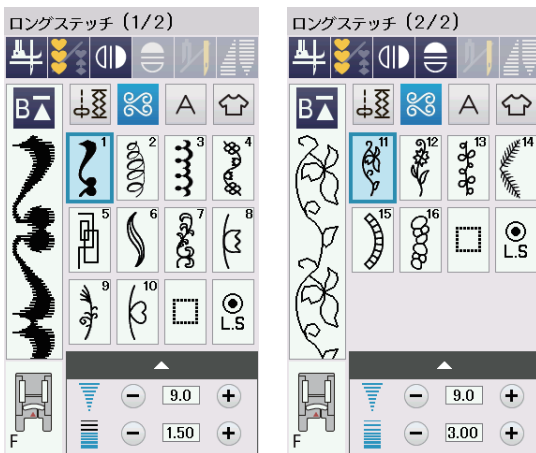
かざりもよう2グループは、75個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

〔模様選択画面：かざりもよう2〕



〔模様選択画面：ロングステッチ〕

⑦

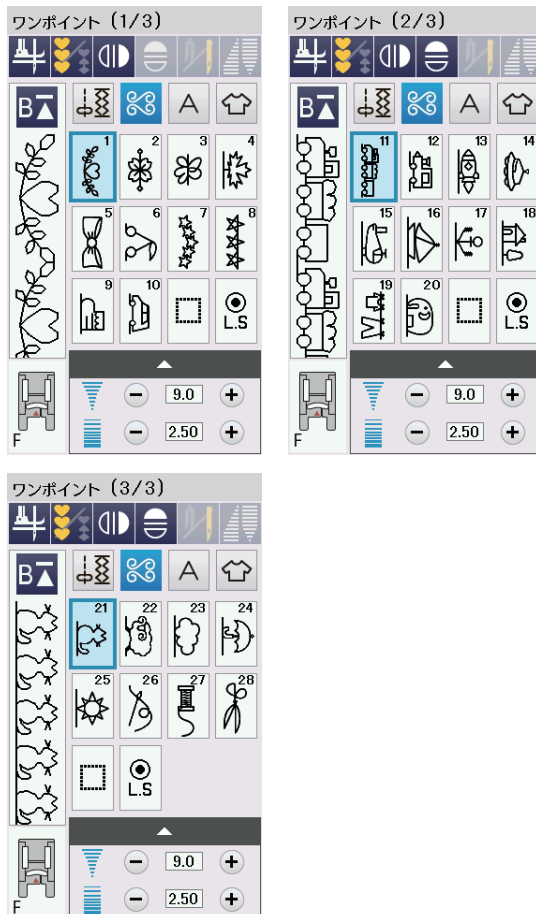


⑦ **ロングステッチグループ：2画面**

1つの模様の長さの長い装飾模様のグループです。
 ロングステッチグループは、16個の模様とスペース模様
 および自動止めぬい模様があります。
 衣服の飾りやボーダー飾りに最適です。

〔模様選択画面：ワンポイント〕

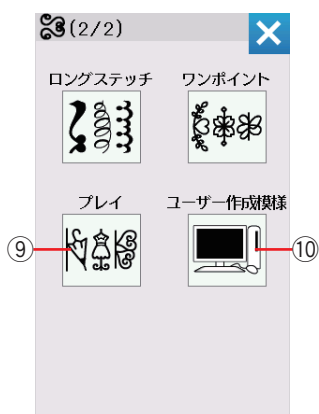
⑧



⑧ **ワンポイントグループ：3画面**

具象的な飾り（形がはっきりした）模様のグループです。
 ワンポイントグループは、28個の模様とスペース模様
 および自動止めぬい模様があります。

〔模様グループ選択画面〕



⑨ 〔模様選択画面：プレイ〕



⑨ プレイグループ：1画面

遊び心が入った飾り模様のグループです。

プレイグループは、8個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

⑩ 〔模様選択画面：ユーザー作成模様〕



⑩ ユーザー作成模様グループ

付属のアクュツールズS (CD-ROM) の「ステッチコンポーザー」で作成した模様を選択できます。

データの読み込みについては、79ページをごらんください。


※ 「ステッチコンポーザー」の使い方は、「ステッチコンポーザー」の画面にあるヘルプをごらんください。

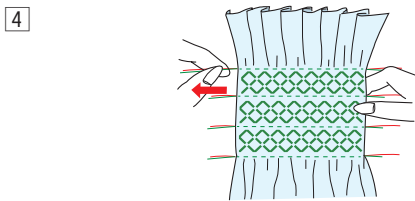
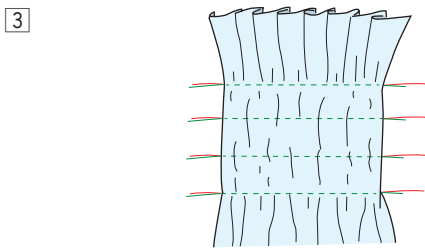
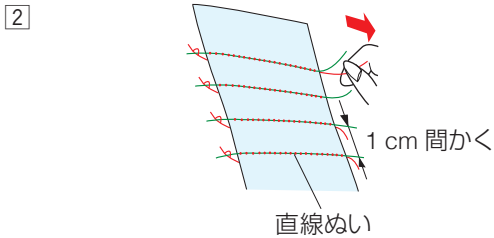
● かざりもよう 1 グループ

★ スモッキング

【模様 の例】

- ① 上糸と下糸を押さえの下から向こう側に約 10 cm ほど引き出しておきます。
※ 下糸を針板の上に引き出す方法は、30 ページ「下糸を針板の上に引き出す場合」をごらんください。
- ② 直線模様を選び、糸調子を「1」、ぬい目のあさを「3.0」～「5.0」に設定し、1 cm の間かくで数本平行に直線ぬいをします。(35 ページ参照)
- ③ 上糸と下糸を布の片側で結び、反対側から下糸を引いてひだをよせ、上糸と下糸を結びます。

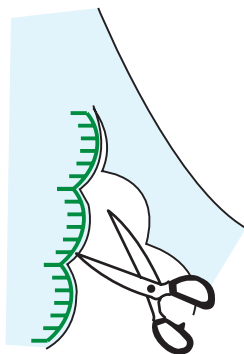
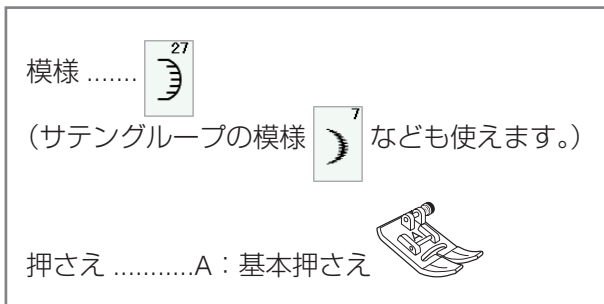
- ④ 模様  を選んで、直線ぬいと直線ぬいのあいだをぬいます。
模様をぬったあと直線ぬいの糸を抜き取ります。



★ スカラップ

【模様 の例】

布の表から布端を 1 cm くらい残してぬいます。
糸を切らないように外側の布を切り落とします。



● キルトグループ

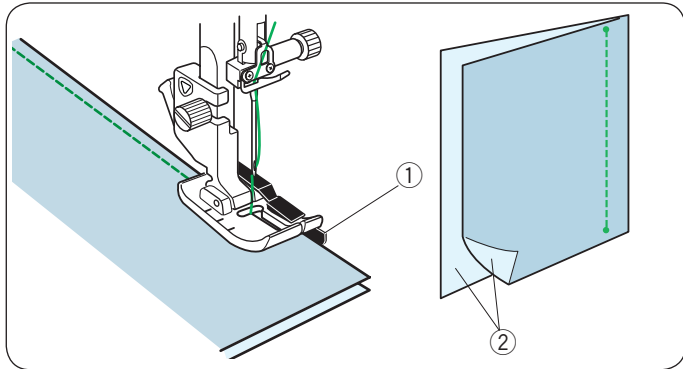
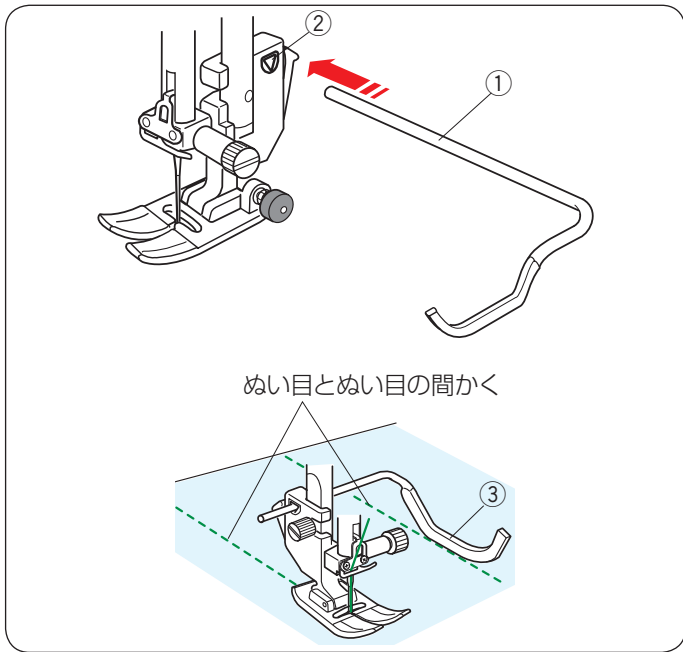
★ キルティングガイドの使い方

キルティングガイド①を使うと、前にぬったぬい目と平行に等間かくでぬうことができます。

押さえホルダーのうしろの取り付け穴②にキルティングガイド①を差し込みます。
針位置とキルティングガイド①のガイド部分③までの距離がぬう間かくになります。
キルティングガイドをスライドさせて、お好みの距離に調整してください。

既にあるぬい目にキルティングガイド①に沿わせながら平行な直線をぬいます。

※ 上送り押さえ使用時のキルティングガイドの使い方は、121ページをごらんください。



★ キルト模様 1～3

模様

1	2	3

 はパッチワークの地ぬいに使用します。

模様

2	3

 はそれぞれ○：パッチワーク押さえを使用

すると、1/4 インチ (6.5 mm)、7 mm のぬいしろが正確にぬえます。

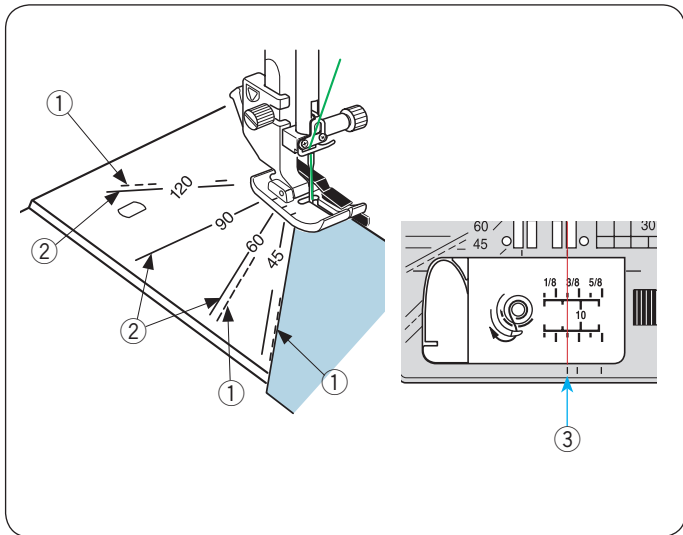
パッチワークに使用する布を中表②に合わせ、布端をガイド①に合わせてぬいます。

★ 針板角度目盛りの使い方

針板の角度目盛りを使うと、布に印をつけずにお好みの角度で簡単にぬえます。

針板の角度目盛りには、45、60、90、120 度の目盛りがついています。

○：パッチワーク押さえを使用する場合、図の様に点線①の角度目盛りに合わせてください。



メモ：

A：基本押さえを使用する場合、模様

1

 を選びます。

布は実線②の角度目盛りに合わせ、布の端は針板の1/4 インチガイドライン③に合わせてください。

★ キルト模様 54、55：手ぬい風キルト

模様

54	55

 は、手ぬい風のステッチ模様です。

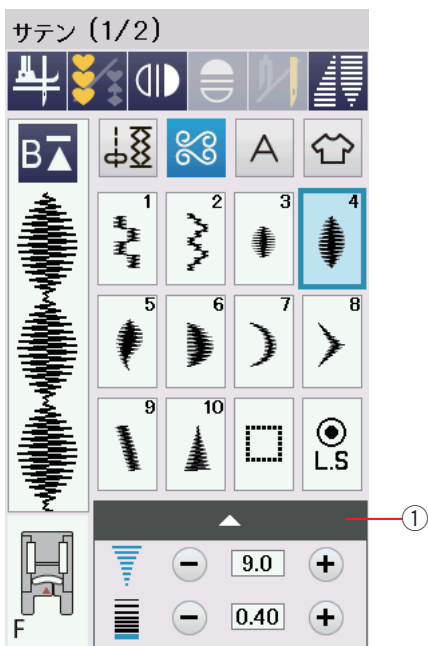
上糸に透明なナイロン糸、下糸に普通の糸を使用します。
針は 14～16 番を使用します。

下糸が布の表に引き出され、手ぬい風のステッチになります。

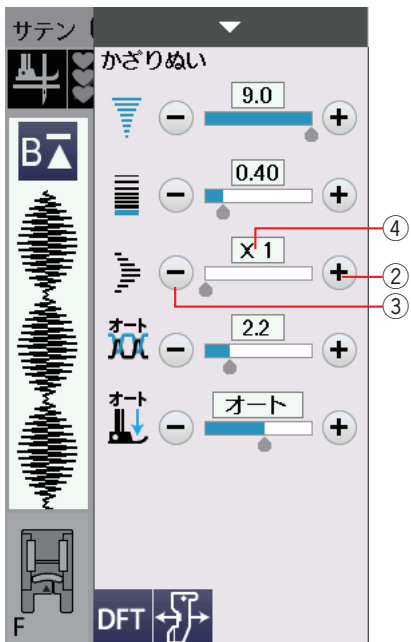


〔模様選択画面：サテングループ 1/2〕

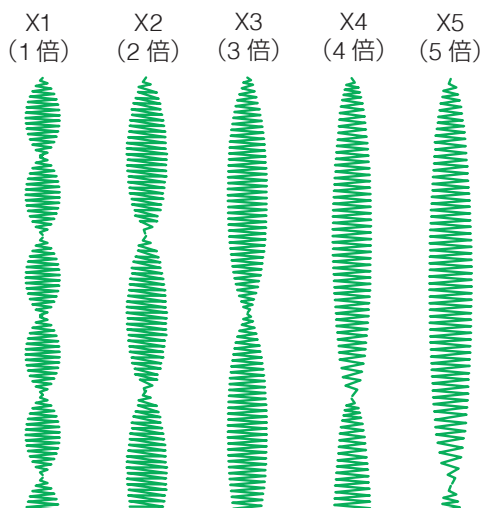
①



②



倍率と模様の長さ



● サテングループ

★ 模様の長さ調整機能（エロンゲーション）

サテングループの模様は他の飾りぬいの模様グループと異なり、ぬい目のあさをかえずに模様の長さを2～5倍にかえることができます。

エロンゲーション機能は、通常モードおよび模様組み合わせモードのどちらでも使えます。

メモ：

サテングループの模様はぬい目の細かい飾り模様（密着模様）です。布が縮む場合、裏に芯地を貼ってください。

【模様の長さの調整例】

① サテングループの模様  を選びます。

調整キー ① を押し、調整画面を全体表示させます。

② 調整キー（「+」キー ②、「-」キー ③）で模様の長さをかえます。

- 「+」キー ② を押し、模様を長くします。
- 「-」キー ③ を押し、模様を短くします。
- 模様の長さは元の長さの5倍までのばすことができます。
- 長さの倍率 ④ が表示されます。
- 模様の幅やぬい目のあさも変更できます。

設定した倍率でぬうことができます。

メモ：

- ぬい途中でミシンを止め、模様の長さを変更すると、模様は最初からぬい直されます。
- エロンゲーションとテーパリングは同時に設定できません。（78 ページ参照）

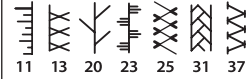
アップリケ



かざりもよう 1



キルト



サテン



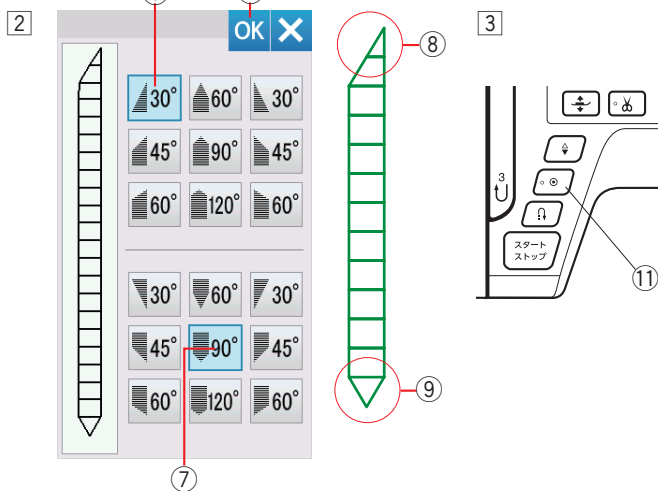
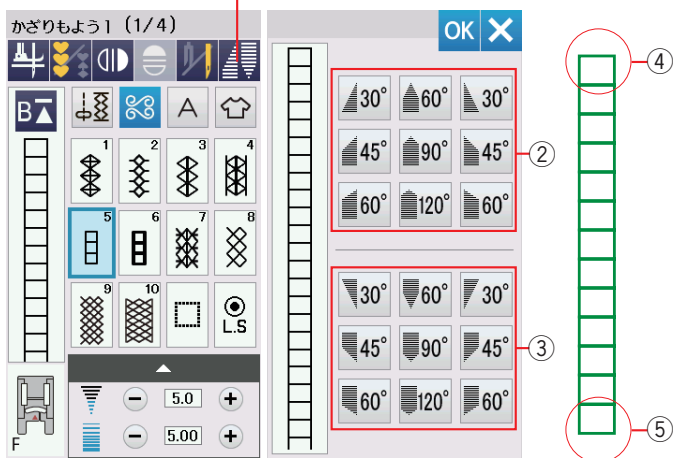
かざりもよう 2



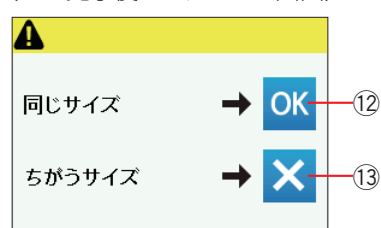
ロングステッチ



1 [模様選択画面] 2 [テーパリング角度
選択画面]



[ぬい完了後のメッセージ画面]





● 模様の先端を細くする（テーパリング）

飾りぬい模様の最初と最後を先細りにする機能です。模様の先端やコーナーを細くすることができます。テーパリングは左図のステッチで使用できます。

メモ：

- テーパリングは組み合わせ模様、2本針、上送り押さえ、直線針板使用時にはできません。
- テーパリングの長さは選択した模様や、テーパリングの形状によって異なります。余った布などで試しぬいをしてください。
- ぬい途中やミシンの停止中に、返しぬいボタンを押すとその場で止めぬいをして止まります。その場合、テーパリングの長さは記憶されません。
- ぬい途中でミシンを止め、ぬい目の幅や針位置、ぬいのあかさなどを変更すると、模様は最初からぬい直されます。

例： かざりもよう 1 グループの模様  をテーパリングする

1 模様  を選び、テーパリングキー ① を押します。

テーパリング角度選択画面が表示されます。

2 テーパリング角度選択画面で模様のぬい始めとぬい終わりにかけるテーパリングの形を選びます。

- 画面上半分のキー ② は模様のぬい始め ④ の形を選ぶキーです。
- 画面下半分のキー ③ は模様のぬい終わり ⑤ の形を選ぶキーです。
- キーの数字は、テーパリングの角度を示します。
- テーパリングの基準を左、中央、右から選ぶことができます。
- 模様のぬい始めとぬい終わりに別々の形状のテーパリングをかけることができます。

この例では、模様のぬい始め ⑧ に右 30° のキー ⑥ を選択、模様のぬい終わり ⑨ に中央 90° のキー ⑦ を選択します。

OK キー ⑩ を押してテーパリングをかけます。

3 ミシンをスタートさせ必要ところまでぬい、止めぬいボタン ⑪ を押します。

ぬい終わりにテーパリングがかかり、止めぬいをしてミシンが止まります。

【同じサイズのテーパリングぬい】


ぬい終わると、画面にメッセージが表示されます。

ぬったテーパリングの形はミシンに記憶されています。OK キー ⑫ を押すと、同じサイズのテーパリング模様がぬえます。

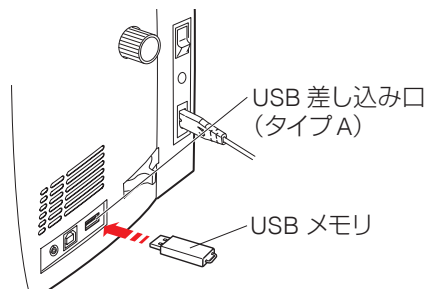
違うサイズでぬう場合、閉じるキー ⑬ を押します。

ミシンをスタートさせて必要ところまでぬい、止めぬいボタン ⑪ を押します。

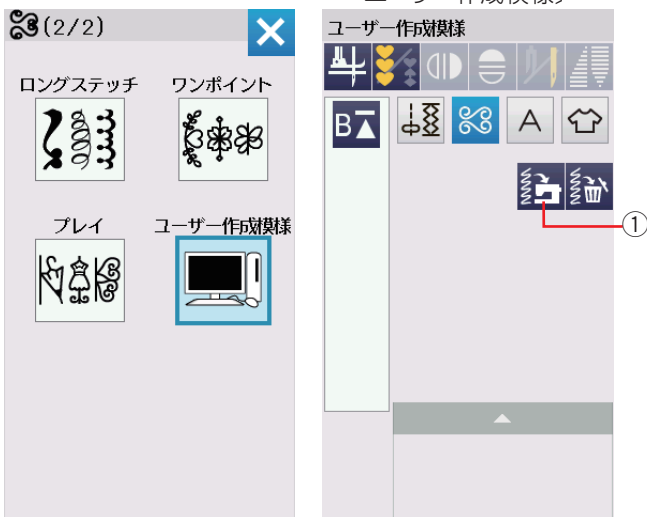
メモ：

テーパリング機能を解除する場合、同じ模様選択キー（例では ）を押します。

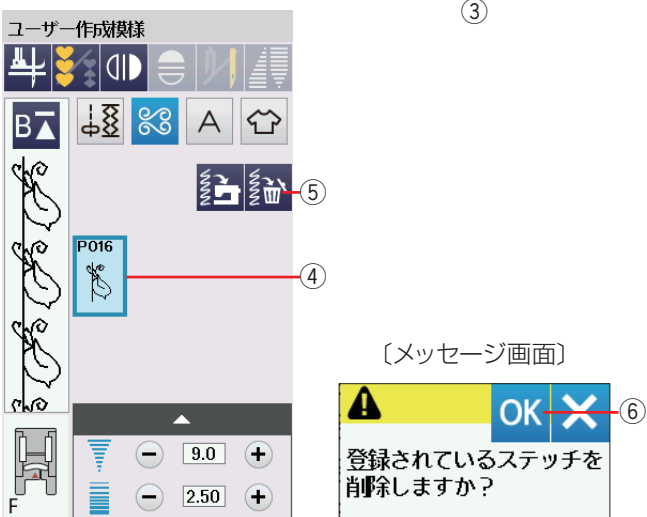
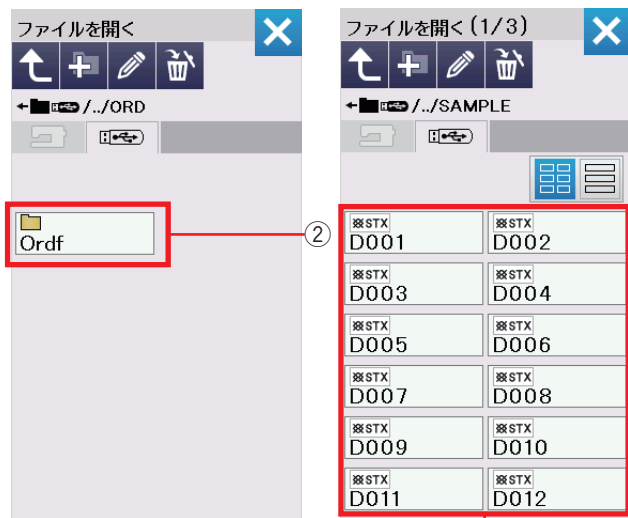
1



〔模様グループ選択画面〕

〔模様選択画面：
ユーザー作成模様〕

2



● ユーザー作成模様グループ

付属のアクセツールズS (CD-ROM) の「ステッチコンポーザー」で作成した模様データをミシン本体に読み込むと、ユーザー作成模様グループに保存されます。

【ユーザー作成模様の読み込み】

① 下記どちらかの方法で作成した模様データをミシン本体に読み込みます。

- 作成した模様を保存した USB メモリをミシン右側の USB 差し込み口 (タイプ A) に差し込み、読み込みキー ① を押します。

- 「アクセツールズS」をインストールしたパソコンとミシンを USB ケーブルでつなぎ「ステッチコンポーザー」からの操作で読み込みます。「ステッチコンポーザー」からの操作で読み込んだ場合、ユーザー作成模様グループに模様が登録されます。手順 ② は必要ありません。

(詳しくは、付属のアクセツールズS (CD-ROM) に含まれる「ステッチコンポーザー」のヘルプをごらんください。)

② 接続した USB メモリのフォルダーのリストが表示されます。

作成した模様データが保存されている場所 ② (例では「Ordf」フォルダー) を押すとファイルのリスト ③ が表示されます。

お好みのユーザー作成模様 (STX データ) を選択すると、ユーザー作成模様がミシンに登録され、模様選択キー ④ が作成されます。

他の内蔵模様と同様に、組み合わせ模様に組み込んだりぬったりできます。

※ 上の階層にもどる場合、 キーを押します。

※ 各キーの使い方は、96～97 ページをごらんください。

メモ：

- ユーザー作成模様は 40 個まで保存できます。
- ユーザー作成模様は、2 本針ぬいには対応していません。

【ユーザー作成模様の削除】

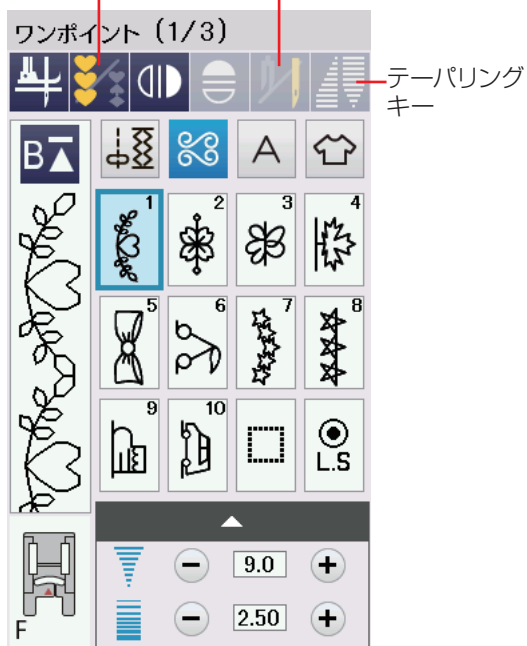
ユーザー作成模様を削除する場合、削除キー ⑤ を押し削除する模様を選びます。

メッセージ画面が表示されます。

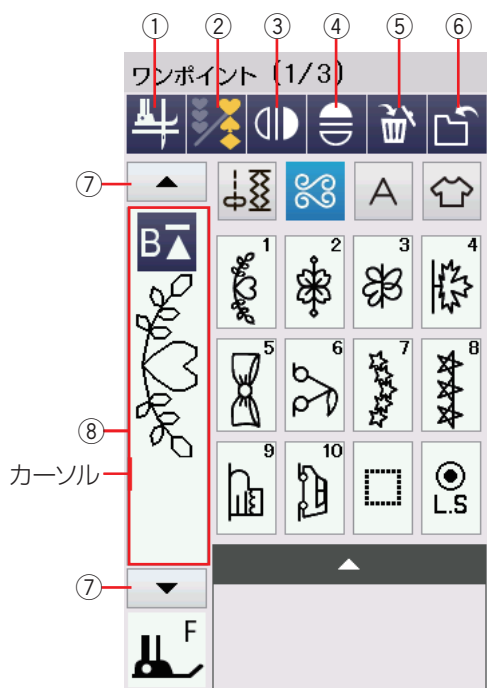
OK キー ⑥ を押して模様を削除します。

〔模様選択画面 / 通常モード〕

模様組み合わせキー 2本針ぬい切りかえキー



〔模様選択画面 / 模様組み合わせモード〕



◎ 模様組み合わせモード

飾りぬいと文字ぬいは模様を組み合わせでぬうことができます。

模様組み合わせキーを押すと、通常モードの模様選択画面から模様組み合わせモードの模様選択画面にかわります。

模様組み合わせモードに設定すると

- 通常モードでは選んだ模様1つだけを、繰り返し連続してぬいますが、模様組み合わせモードではお好みの模様を組み合わせでぬうことができます。
- 模様は最大100個まで組み合わせることができます。
- 組み合わせができる模様は、飾りぬいの模様グループと文字ぬいの模様グループです。文字ぬいの模様グループは、90ページをごらんください。
- 編集機能を使うと、組み合わせた模様の内容を変更できます。(85ページ参照)
- 組み合わせた模様をミシンやUSBメモリに保存できます。(95～96ページ参照)

● 模様組み合わせモードの画面

通常モードから模様組み合わせモードに切りかえると、2本針ぬい切りかえキー、テーパリングキー、上送りぬいキーがなくなり、削除キー⑤、保存キー⑥および組み合わせた模様を確認・選択するためのカーソル移動キー⑦が画面上に追加されます。

※ 模様組み合わせモードでは、2本針ぬい、テーパリングぬい、上送りぬいはできません。

① ピボットぬい設定キー

ピボットぬいを行うときに設定します。(36ページ参照)

② 模様組み合わせキー

通常モードと模様組み合わせモードを切りかえます。

③ 左右反転キー

選んだ模様の形を左右反転させます。

④ 上下反転キー

選んだ模様の形を上下反転させます。

⑤ 削除キー

カーソルの付いている模様を削除することができます。模様を組み合わせた状態でカーソルが最後の模様の下側にある場合、最後の模様を削除することができます。(85ページ参照)

⑥ 保存キー

組み合わせた模様をミシンやUSBメモリに保存できます。(95～96ページ参照)

⑦ カーソル移動キー

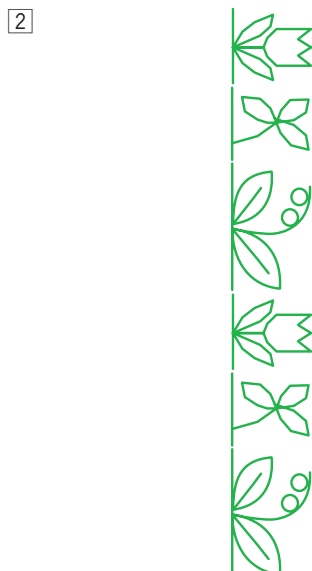
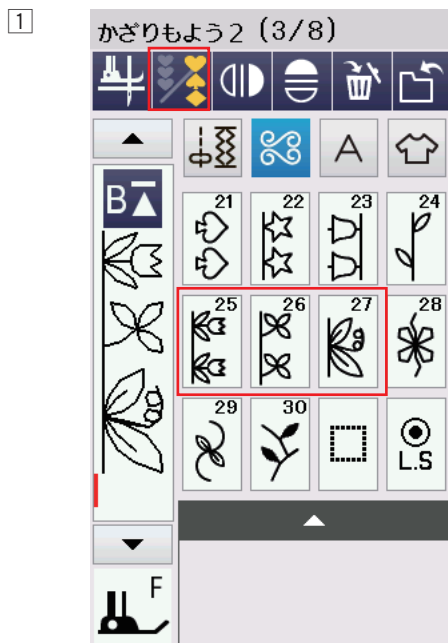
カーソルを移動させて、組み合わせた模様の中から変更したい模様(場所)を選ぶことができます。(85ページ参照)

⑧ 編集画面

組み合わせた模様が表示されます。




模様のすべてを一覧させたい場合、編集画面を押すとぬいイメージが全体表示されます。(87ページ参照)

〔模様選択画面 / 模様組み合わせモード〕



● 模様組み合わせぬいの例

① 模様組み合わせモードの状態、模様を3つ選びます。


(例ではかざりもよう2の   )

② ミシンをスタートさせると、3つの模様が繰り返しぬわれます。


ぬい終わりの模様の途中で止めぬいボタンを押すと、その模様を完成させたあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

※ 止めぬいボタンの使い方は12ページをごらんください。

模様 および模様 の使い方

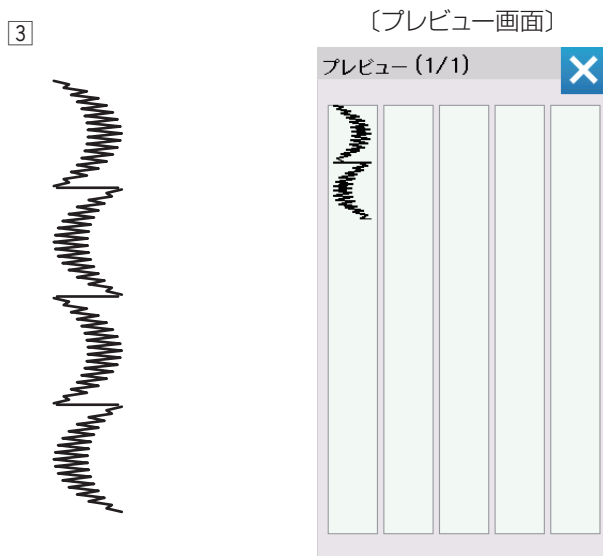
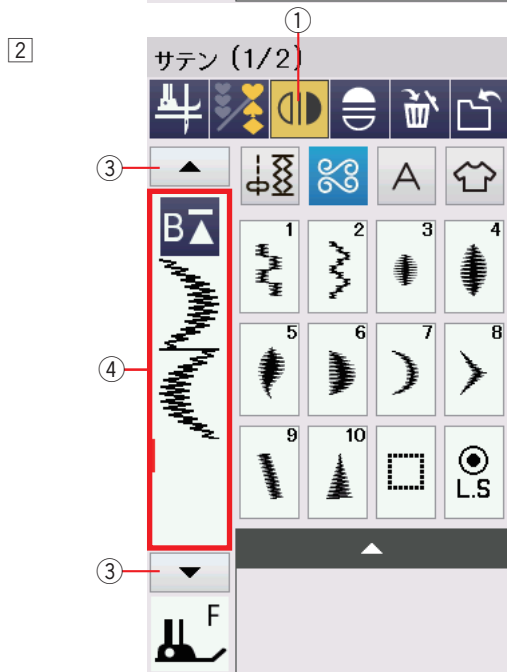
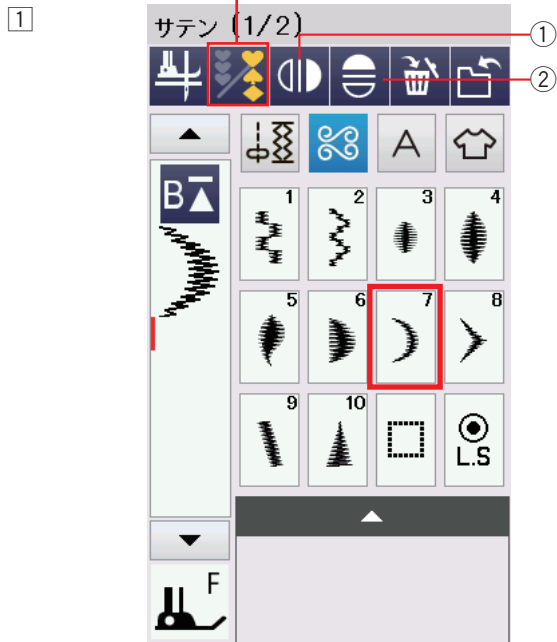
• 模様選択キー  は、スペース模様です。

1個につき約5mmの間かくをあけることができます。間かくの値は、調整画面のぬい目のあかさ調整キーで小さくできます。(左図は、各模様のあいだにスペース模様を1個組み合わせさせた例です。)

• 模様選択キー  は、自動止めぬい模様です。

模様を1つだけまたは複数組み合わせた最後に自動止めぬい模様を組み合わせると、模様を1つだけまたは組み合わせた模様の数だけぬったあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

模様組み合わせキー
(模様組み合わせモードの状態)

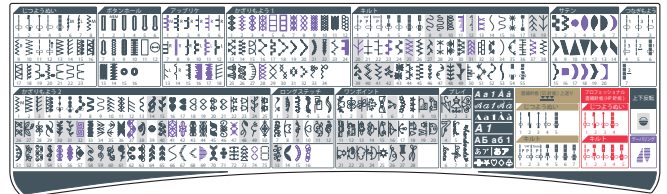


● 反転キーの使い方

左右反転キー①または上下反転キー②で、選んだ模様の形を左右または上下反転した形でぬうことができます。左右反転と上下反転を組み合わせることもできます。通常モードおよび模様組み合わせモードのどちらでも使用できます。


メモ：



上下反転できるのは、一部の模様のみです。ミシン天板の早見板で、薄いグレーがかかっている模様は上下反転可能な模様です。上下反転キーが押された状態で、反転できない模様を選ぶと、反転機能はキャンセルされ、上下反転キーの選択が解除されます。



通常モードで反転できない模様を選択した場合、左右反転キー①または上下反転キー②はグレーになり選択できません。

★ 左右・上下反転のぬい方 (組み合わせモード時)

例：サテン模様  を、通常の形と左右反転の形で交互にぬう場合

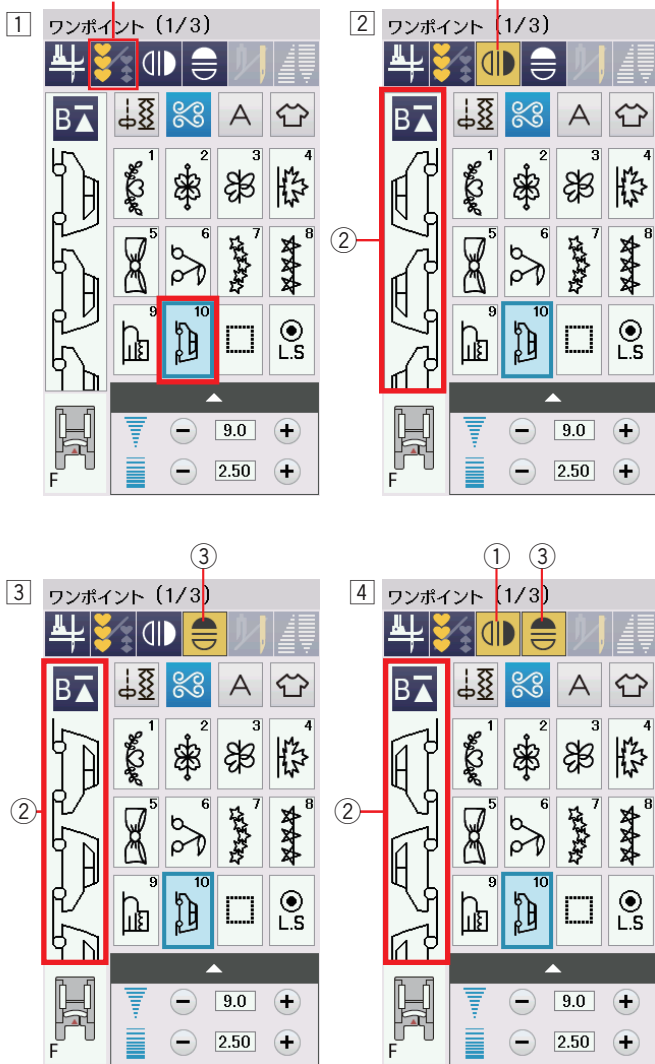
- ① 模様組み合わせモードの状態、サテン模様  を選びます。
- ② 左右反転キー①を押します。左右反転キー①が黄色になります。サテン模様  を選びます。
- ③ ミシンをスタートさせると、基本の形の模様と左右反転された模様を交互にくり返しぬいます。

※ ぬい終わりの模様の途中で止めぬいボタンを押すと、その模様を完成させたあとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。止めぬいボタンの使い方は 12 ページをごらんください。

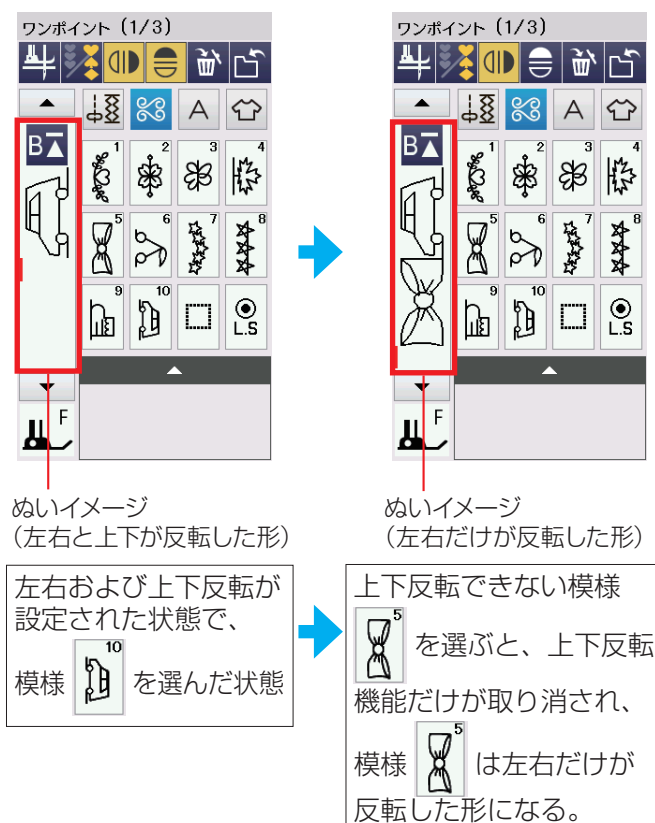
※ 反転をキャンセルする場合、左右反転キー①をもう一度押します。

※ 組み合わせた模様の全体を見るには、カーソル移動キー③を押して組み合わせ模様をスクロールさせるか、編集画面④を押し、ぬいイメージを全体表示させ確認 (プレビュー) できます。(87 ページ参照)


模様組み合わせキー
(通常モードの状態)



[組み合わせモードの例]



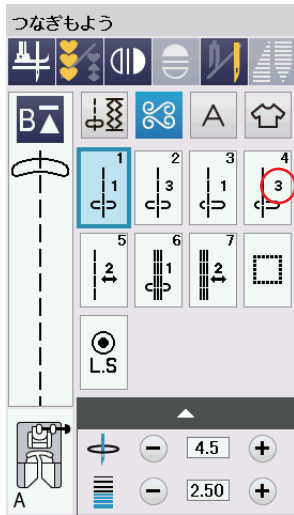
★ 左右・上下反転のぬい方 (通常モード時)

- ① 模様を選びます。(例ではワンポイント )
- ② 模様を左右反転した形でぬう場合、左右反転キー①を押します。
左右反転キー①が黄色で表示され、左右反転した形でぬうことができます。
ぬいイメージ画面②には左右反転されたぬいイメージが表示されます。
※ 左右反転キー①をもう一度押すと選択が解除され、通常の形にもどります。
- ③ 模様を上下反転した形でぬう場合、上下反転キー③を押します。
上下反転キー③が黄色で表示され、上下反転した形でぬうことができます。
ぬいイメージ画面②には上下反転されたぬいイメージが表示されます。
※ 上下反転キー③をもう一度押すと選択が解除され、通常の形にもどります。
- ④ 左右反転と上下反転を組み合わせた形で模様をぬう場合、左右反転キー①と上下反転キー③を押します。
両方のキーが黄色表示され、左右および上下反転した形でぬうことができます。
ぬいイメージ画面②には左右と上下が反転されたぬいイメージが表示されます。

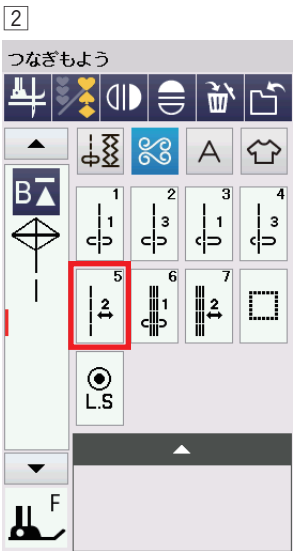
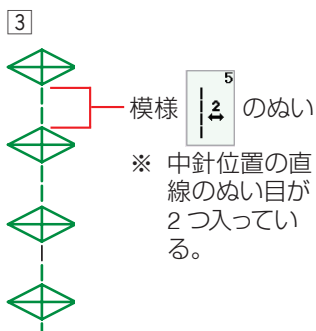
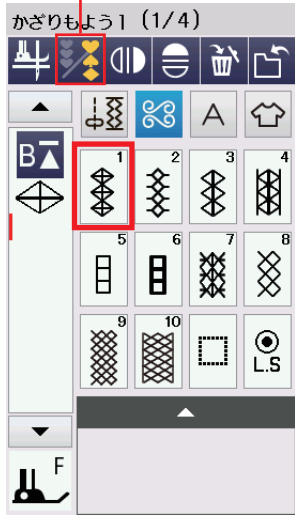
反転機能のご注意

- 通常モードおよび組み合わせモードで左右および上下反転キーを押すと、反転キーをもう一度押して反転を取り消すまで反転機能の設定は継続します。次の模様を選んでも反転した形になります。
- ただし、上下反転機能の場合、上下反転キーが押された状態で上下反転できない模様を選ぶと、上下反転機能が取り消されます。

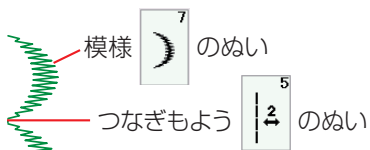
〔模様選択画面 / つなぎもようグループ〕



1 模様組み合わせキー
(模様組み合わせモードの状態)



(A)



※ 直線のぬい目が 2 つ入っているが、模様 7 のぬい目のあらかさが 0.4 mm と細かいため、ほとんど間かくがあかない。

(B)



※ 直線のぬい目が 1 つしか入っていないが、模様 1 のぬい目のあらかさが 2.5 mm あるため、間かくがあく。

● つなぎもようグループの使い方

つなぎもようグループの模様は、模様と模様の間かくを直線ぬいを使ってあけるときに使います。

つなぎもようグループの模様の右側の数字①(「1」、「2」、「3」)は、つなぎ模様を 1 つ組み合わせたとときのぬい目の数を示します。

メモ：

• 模様 は、針位置やぬい目の

あらかさのオート値(電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値)が設定されていて、オート値はぬい目の幅調整キーとぬい目のあらかさ調整キーでかえることができます。

• 模様 は、針位置やぬい目のあらかさのオー

ト値が設定されていません。針位置やぬい目のあらかさはつなぎ模様の 1 つ前の模様と同じ値になり、ぬい目の幅調整キーとぬい目のあらかさ調整キーでかえることはできません。(針位置は、前の模様のぬい終わりの針位置になります。)

例：模様組み合わせモードで、かざりもよう 1 グループ

の模様 のあいだに、つなぎもようグループの模様 を組み合わせ、間かくをあける場合

1 模様組み合わせモードの状態、かざりもよう 1 グループの模様 を選びます。

2 つなぎもようグループの模様 を選びます。

3 ミシンをスタートさせると、模様 の間かくがあいた状態でくり返しぬいます。

※ 模様と模様のあいだに、中針位置の直線のぬい目が 2 つ入ります。

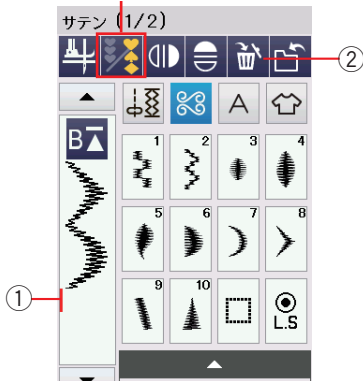
ぬい目のあらかさが細かい模様につなぎ模様を使う場合

• 例えば、サテングループの模様 のように、ぬい目の細かい模様の次につなぎもよう 、 を使うと、つなぎ模様のぬい目のあらかさは 1 つ前の模様のぬい目のあらかさと同じになるため、つなぎ模様のぬい目も細くなって、模様の間かくがほとんどあきません。(図 A)

• ぬい目のあらかさが細かい模様のあとにつなぎもようで間かくをあけたい場合、つなぎもよう

を使用してください。(図 B)

模様組み合わせキー
(模様組み合わせモードの状態)

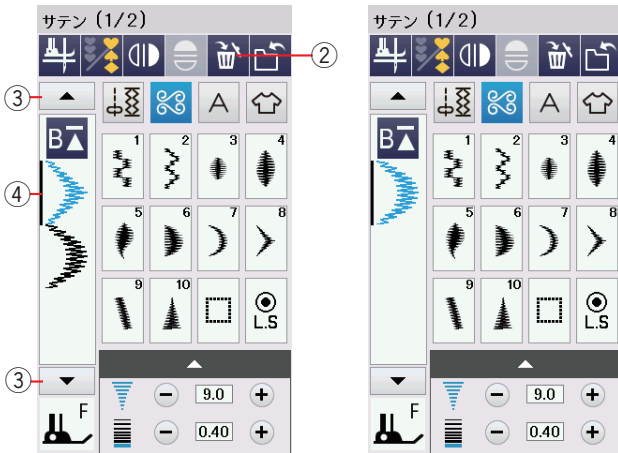


● 模様の編集機能

模様組み合わせモード設定中、編集機能を使うと、模様を組み合わせたあとでも、ぬったあとでも、組み合わせた模様の一部を削除したり、別の模様を追加したり、模様の形を反転させたり、模様のぬい目の幅やあかさなどの設定値を変更したりすることができます。

【模様の削除】

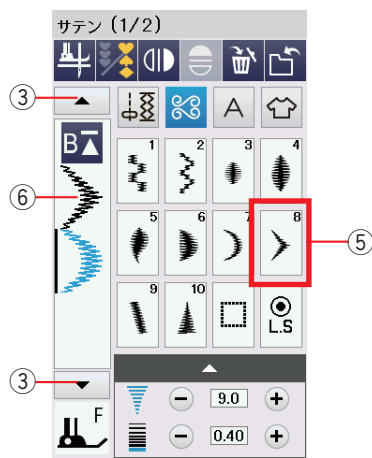
カーソル①の前の模様と、選択され青く表示されている模様は削除キー②を押して削除できます。



途中の模様を削除したい場合、カーソル移動キー③を押し、削除したい模様を選びます。

選択された模様④が青色にかかります。

削除キー②を押して削除します。



【模様の挿入】


カーソル移動キー③を押し、模様を挿入したい場所にカーソルを移動させます。

カーソルの付いている模様（青色の模様）の前に挿入したい模様⑤が追加⑥されます。

【模様のぬい目の幅やあかさなどを変更】

① 調整キー⑦を押し調整画面を全体表示させ、「-」キー⑧でぬい目の幅を「9.0」から「5.0」に変更します。

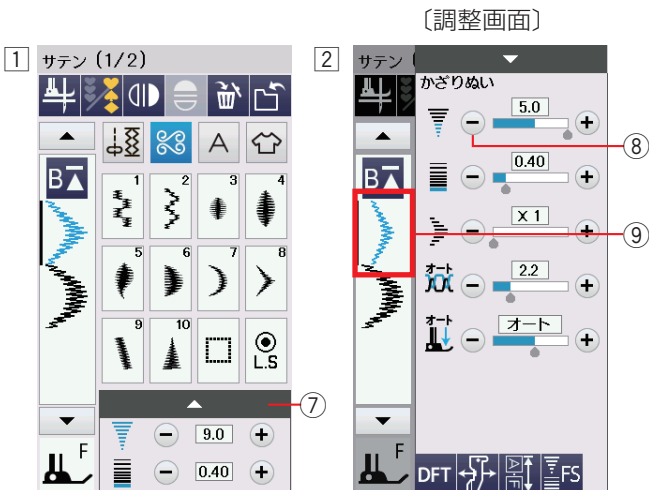
※ 調整画面の基本的な使い方は 34 ~ 36 ページをご覧ください。

② 模様  のぬい目の幅が変更され、編集画面の表示⑨もかわります。

※ 模様の設定値の変更や模様の削除は、カーソルの付いている模様（青色の模様）に対してできます。

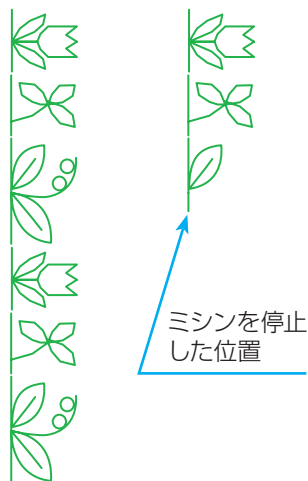
メモ：

押さえ圧は組み合わせ模様のそれぞれの模様別に適用することはできません。別々の押さえ圧をかけると、最後に設定した押さえ圧の数値が組み合わせ模様全体にかかります。

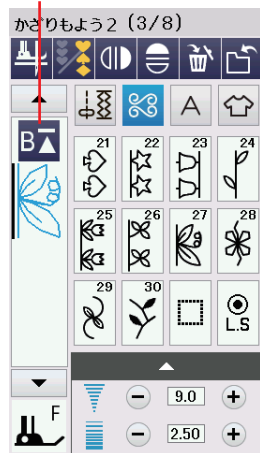


組み合わせた模様のぬいイメージ

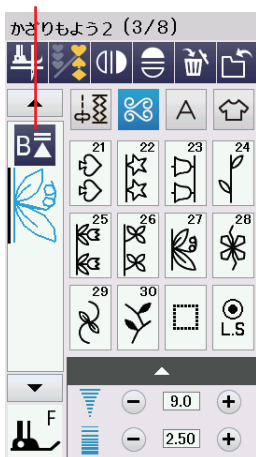
[ミシンを停止したときの画面]



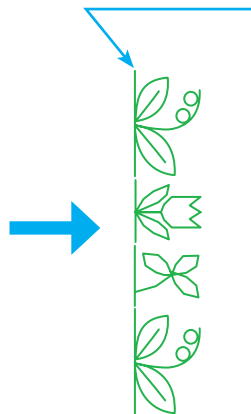
① 模様頭出しキー



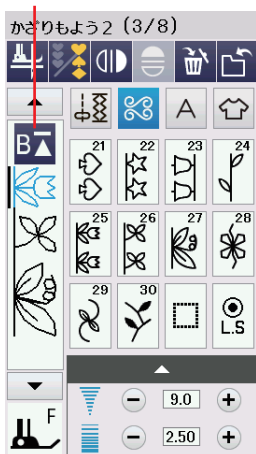
② 模様頭出しキー



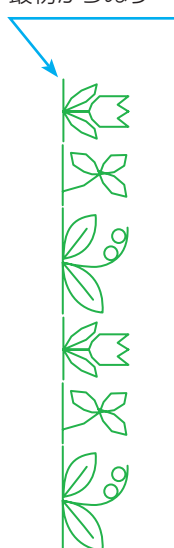
停止した模様
最初からぬう



③ 模様頭出しキー



組み合わせた模様
最初からぬう



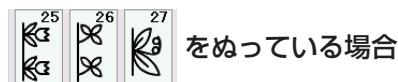
● 模様頭出しキーの使い方

模様頭出しキーを使うと、模様をぬっている途中でミシンを止めた場合、次にぬうときにその模様の最初からぬうことができます。

通常モードおよび模様組み合わせモードどちらでも使用できます。

模様組み合わせモード設定中は、ぬいかけた模様の最初または組み合わせ模様の最初のどちらからでもぬうことができます。

【例】模様組み合わせモードでかざりもよう2の



【ぬいかけた模様を最初からぬう場合】

① 組み合わせ模様のうち、ミシンが現在ぬっている途中の模様をぬい直したい場合、模様頭出しキーを押します。

② 模様頭出しキーの表示が **B** (三角形の上のバーが2本) にかわります。

ミシンをスタートさせると、途中で停止した模様(3番目の模様)の最初からぬい直します。

※ 模様頭出しキーの表示が **B** (三角形の上のバーが2本) の場合、ぬい途中の模様の最初からぬいます。

メモ：

組み合わせ模様の最初の模様でミシンを止めて模様頭出しキーを押すと、模様が一番最初からのぬい直しとなるため、三角形の上のバーの数はわかりません。

【組み合わせた模様の最初からぬう場合】

③ 上記の手順①で模様頭出しキーを押すと表示が **B** (三角形の上のバーが1本) にかわるので、もう1回模様頭出しキーを押します。

※ 模様頭出しキーを2回続けて押すと表示が **B** (三角形の上のバーが1本) にかわります。

④ ミシンをスタートさせると、組み合わせた模様の最初(1番目の模様)からぬいます。

※ 模様頭出しキーの表示が **B** (三角形の上のバーが1本) の場合、組み合わせ模様の最初の模様からぬい直します。

メモ：

自動糸切りをすると、ミシンは組み合わせ模様の最初の模様からぬい直します。

模様組み合わせキー
(模様組み合わせモードの状態)



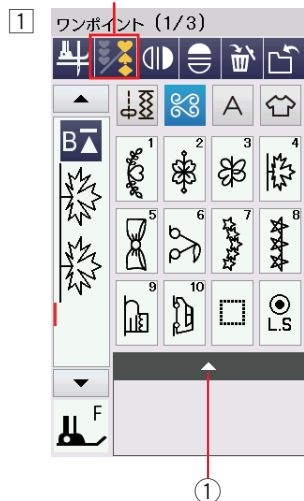
● プレビュー機能

組み合わせモード時、編集画面①を押すと、プレビュー画面が表示されます。

組み合わせた模様のぬいイメージの全体を確認（プレビュー）できます。

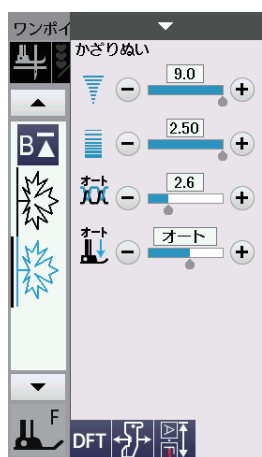
- ※ すべての模様が1ページ(1画面)で表示されない場合、次ページキー②を押して次のページ(画面)に切りかえます。
- ※ 確認が終わったら、閉じるキー③を押して模様選択画面にもどします。

模様組み合わせキー
(模様組み合わせモードの状態)



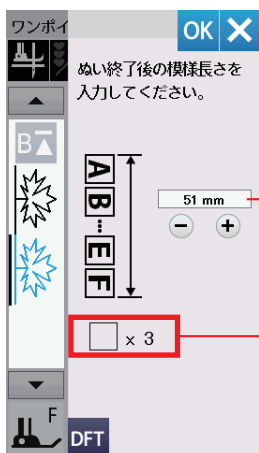
①

〔調整画面〕



②

〔模様の全長表示画面〕



組み合わせた
模様の全長
(目安)

組み合わせた
模様の数

● 組み合わせ模様の長さの確認

模様組み合わせモード中、模様を1つだけぬったときまたは組み合わせた模様をぬったときの全長(目安)を確認することができます。

模様をぬったときの全長は、布の種類や厚さ、ぬいの速さ、および模様の種類などのぬい条件で異なります。

同じようなぬい条件で一度試しぬいをして表示の数値を補正しておく、次回確認するときにも実際のぬい長さにより近い表示になります。

メモ：

一度補正すると、その補正值は、他の模様や他の組み合わせ模様(文字ぬいを含む)にも適用されます。また、ミシンの電源スイッチを切っても記憶されています。

補正後、ぬい条件が大きく異なるぬいで模様の全長を知りたい場合、再度、同じような条件で試しぬいをして数値を補正し直してください。

【模様全長表示機能の使い方】

例：ワンポイント模様  を3つ組み合わせた場合

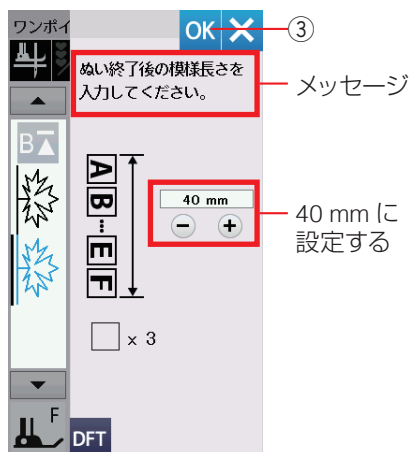
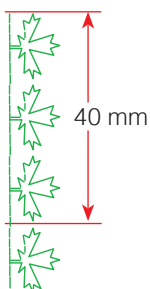
- ① 模様組み合わせモードの状態です調整キー①を押し、調整画面を全体表示させます。
調整画面の組み合わせ長さキー②を押します。

- ② 模様の全長表示画面が表示されます。
この画面で3つの模様の全長の目安(例では51 mm)を確認することができます。

③

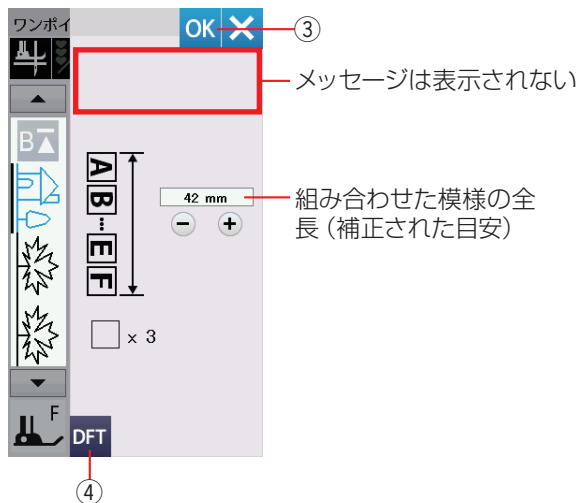
試しぬいの結果

3つの模様の実際の全長



④

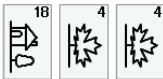
〔模様の実長表示画面（補正後）〕



③ 画面のメッセージにしたがい、同じぬい条件で試しぬいをし、3つの模様の実際の全長（例では40 mm）を「+」または「-」キーで入力し、OK キー ③ を押して確定します。

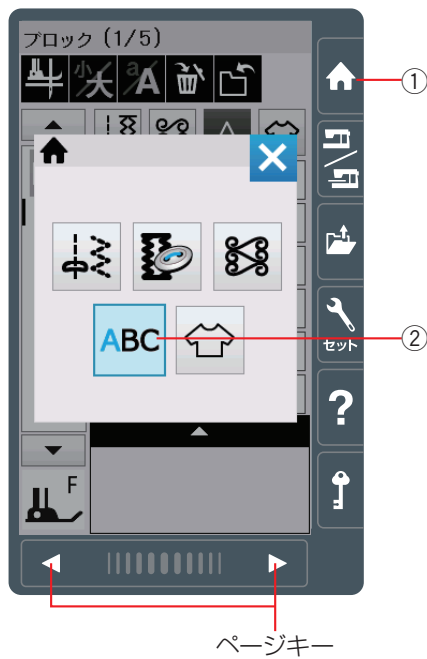
※ 補正した値を登録すると、他の模様や他の組み合わせ模様（文字ぬいを含む）にも適用されます。

④ 次回からは、同じ模様の場合でも、別の組み合わせ模様の場合でも、模様の実長表示画面を表示させると、実際のぬいにより近い全長（目安）が表示されます。このとき模様の実長表示画面は、補正されていることを示すためにメッセージの表示がありません。

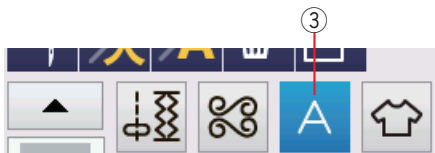
（左の画面例は、別の組み合わせ模様  で実長表示画面を表示させた場合）

※ 補正前の初期の状態（購入時の設定状態）にもどす場合、初期化キー ④ を押して OK キー ③ を押します。

〔ホーム画面〕



〔模様選択画面〕



〔書体選択画面〕



◎ 文字ぬい

● 文字ぬいの画面

文字ぬいでは、文字やアルファベットを組み合わせてぬうことができます。

ホームキー①を押して、ホーム画面の文字ぬいキー②を押すと、書体選択画面になります。(模様選択画面の文字ぬいキー③でも同じ画面が開きます。)

以下の書体キーを押し、お好みの書体を選びます。

④ ブロックキー

ブロック体(英字・数字・記号・ヨーロッパ文字、およびスペース模様3個)の模様選択画面が表示されます。ブロック体グループは、5つのページ(画面)に分かれていて、ページキーで選択できます。



※ 文字構成全体の高さ(枠)が最大9mmで、個々の文字サイズ(高さ)は9mmより小さくなります。

⑤ スクリプトキー

スクリプト体(英字・数字・記号・ヨーロッパ文字、およびスペース模様3個)の模様選択画面が表示されます。スクリプト体グループは、5つのページ(画面)に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字構成全体の高さ(枠)が最大9mmで、個々の文字サイズ(高さ)は9mmより小さくなります。
(上記ブロック体グループと同じ)

⑥ ブロードウェイキー

ブロードウェイ体(英字・数字・記号・ヨーロッパ文字、およびスペース模様3個)の模様選択画面が表示されます。

ブロードウェイ体グループは、5つのページ(画面)に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字構成全体の高さ(枠)が最大9mmで、個々の文字サイズ(高さ)は9mmより小さくなります。
(上記ブロック体グループと同じ)

⑦ ブロック(9mm)キー

ブロック体(英字の大文字・数字・記号、およびスペース模様3個)の模様選択画面が表示されます。

ブロック体(9mm)グループは、3つのページ(画面)に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字のサイズ(高さ)は最大9mmです。

⑧ キリル文字キー

キリル文字の大文字・数字・記号、およびスペース模様3個の模様選択画面が表示されます。

※ 文字構成全体の高さ(枠)が最大9mmで、個々の文字サイズ(高さ)は9mmより小さくなります。
(上記ブロック体グループと同じ)

⑨ 明朝体(9mm)キー

明朝体(ひらがな・カタカナ、およびスペース模様2個)の模様選択画面が表示されます。

明朝体(9mm)グループは、3つのページ(画面)に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字のサイズ(高さ)は最大9mmです。

⑩ まるもじ (9 mm) キー

まるもじ (ひらがな・カタカナ、およびスペース模様 2 個) の模様選択画面が表示されます。

まるもじ (9 mm) グループは、3 つのページ (画面) に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字のサイズ (高さ) は最大 9 mm です。

⑪ ワンポイントキー

ワンポイントの模様選択画面が表示されます。

ワンポイント模様は、26 個あります。



★ 模様選択画面

書体選択画面で書体を選ぶと、選んだ書体の模様選択画面になります。

模様選択画面が 2 つ以上のページ (画面) に分かれている場合、ページキーで選択できます。

模様選択画面は実用ぬい模様や飾りぬい模様の画面と同様、模様選択キー・設定キー・模様頭出しキーなどのキーと、選ばれている模様のぬい情報や設定状態が表示されています。

※ ぬい情報や設定状態の表示は、14 ~ 15 ページをごらんください。

① カーソル移動キー

カーソルを上下へ動かします。

② 編集画面

編集画面を押すと、組み合わせた文字の全体が表示されます。

③ 文字高さ切りかえキー

文字の高さを約 2/3 にし、文字を小さく (低く) することができます。

④ 大文字・小文字切りかえキー

大文字と小文字を切りかえます。画面の模様選択キーの表示も同時に切りかわります。

※ 明朝体 (9 mm)、まるもじ (9 mm) を選択した場合はアイコンの表示がかわり、ひらがなとカタカナを切りかえることができます。画面の模様選択キーの表示も同時に切りかわります。(④-2)

⑤ 削除キー

選択した文字やワンポイントを削除します。

⑥ 保存キー

組み合わせ文字を保存します。

⑦ 文字ぬいキー

書体選択画面を表示させます。

⑧ 調整キー

調整キーを押すと調整画面が全体表示されます。

※ 調整画面の基本的な使い方は、34 ~ 36 ページ「じつようぬいの調整画面」をごらんください。

⑨ 横書き・縦書き切りかえキー

横書きと縦書きを切りかえます。

明朝体 (9 mm)、まるもじ (9 mm) を選択した場合は表示されます。

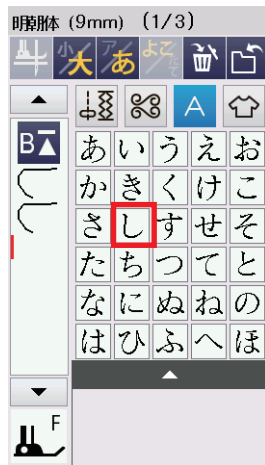
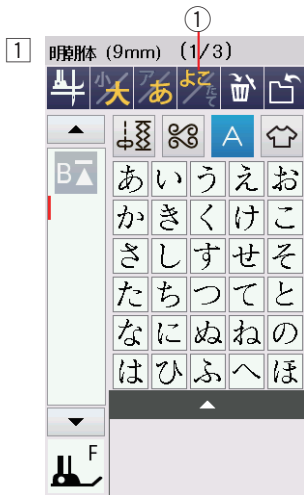
※ 横書きと縦書きを組み合わせることはできません。

● 文字ぬいの例

- 文字ぬいは、飾りぬいの模様組み合わせモードと同様、お好みの模様を組み合わせることでぬうことができます。
- 模様は、最大 100 個まで組み合わせることができます。(組み合わせる模様で異なります。)
- 組み合わせができる模様は、文字ぬいの模様グループと飾りぬいの模様グループです。
 - ※ 飾りぬいの模様グループは、69 ページをごらんください。
- 文字を 1 つだけまたは複数の文字を組み合わせる場合、最後の文字をぬって自動的にミシンは停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)ぬわれた文字のぬい始めとぬい終わりには、ほつれ止めの止めぬいが入っています。
 - ※ 文字と飾りぬい模様を組み合わせる場合、組み合わせた模様の最後が文字の場合、最後の文字をぬって自動的にミシンは停止します。組み合わせた模様の最後が文字以外の模様の場合、組み合わせた模様をくり返しぬいます。
- 編集機能を使うと、組み合わせた模様の内容を変更することができます。(85 ページ参照)
- 組み合わせた模様をミシンや USB メモリに保存することができます。(95 ~ 96 ページ参照)

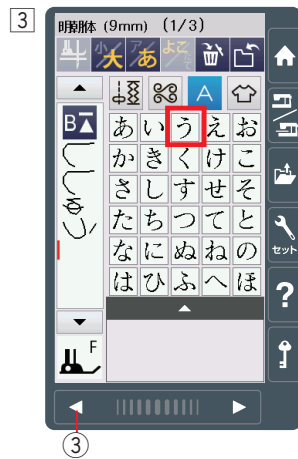
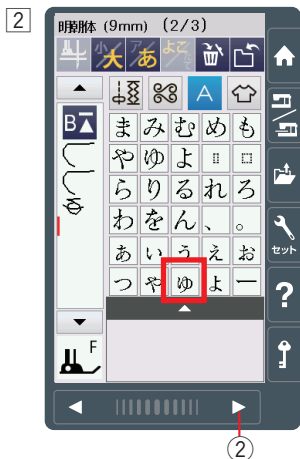
文字ぬいの注意事項

- 必ず同じ布地で試しぬいをしてください。
- 針は付属のブルー針 (柄の部分が青色の針)、押さえは F : サテン押さえを使用してください。
- 伸びる布地、薄手の布地などにぬう場合、布の裏に市販の芯地を貼るか、トレーシングペーパーや薄い紙を布の下に敷いてぬってください。
- 文字や記号を組み合わせる場合、隣り合う模様によっては間かくがせまくなったり、広くなったりすることがあります。気になる場合はスペース模様で調整してください。(95 ページ参照)



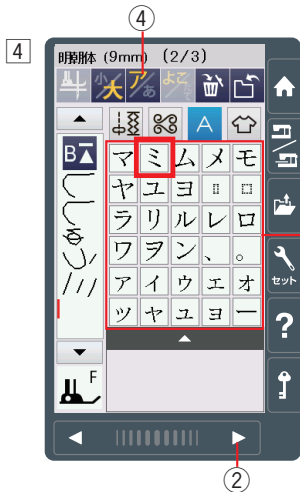
〔明朝体〕 (2/3 ページ)

〔明朝体〕 (1/3 ページ)

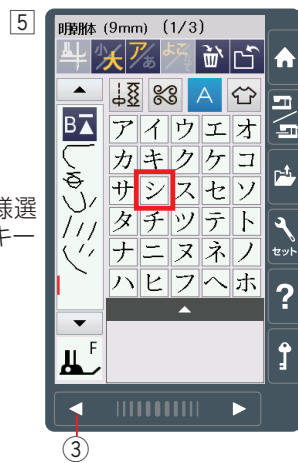


〔明朝体〕 (2/3 ページ)

〔明朝体〕 (1/3 ページ)

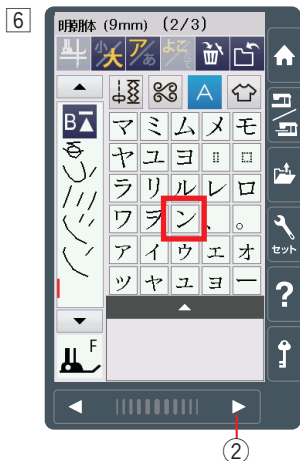


模様選択キー





〔明朝体〕 (2/3 ページ)

〔明朝体〕 (1/3 ページ)





【例】明朝体の横書きで文字「ししゅうミシン」をぬう

① 「明朝体 (9 mm)」 キーを押して明朝体の模様選択画面を表示させ、横書き・縦書き切りかえキー①が横書きの状態 () で、文字「し」を二度選びます。

※ 縦書きの場合、最初の文字を選ぶ前に、横書き・縦書き切りかえキー①を押して、キーの表示を  にします。

② 次ページキー②で2/3ページを表示させ、文字「ゆ」を選びます。

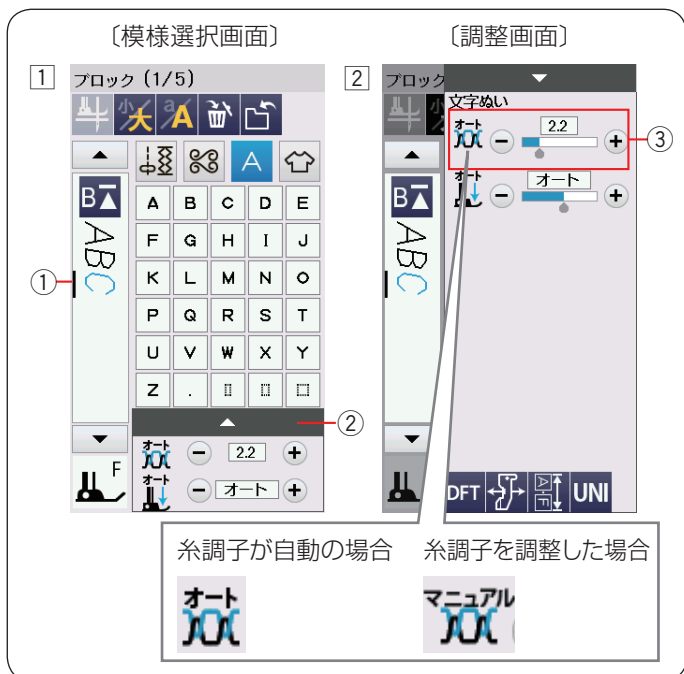
③ 前ページキー③で1/3ページを表示させ、文字「う」を選びます。

④ 次ページキー②で2/3ページを表示させ、ひらがな・カタカナ切りかえキー④を押し、キーの表示を  から  にかえ、文字「ミ」を選びます。

※ ひらがな・カタカナ切りかえキー④を押すと、画面の模様選択キーの表示もカタカナに切りかわります。

⑤ 前ページキー③で1/3ページを表示させ、文字「シ」を選びます。

⑥ 次ページキー②で2/3ページを表示させ、文字「ン」を選びます。
ミシンをスタートさせると、「ししゅうミシン」をぬったあと自動的にミシンは停止します。



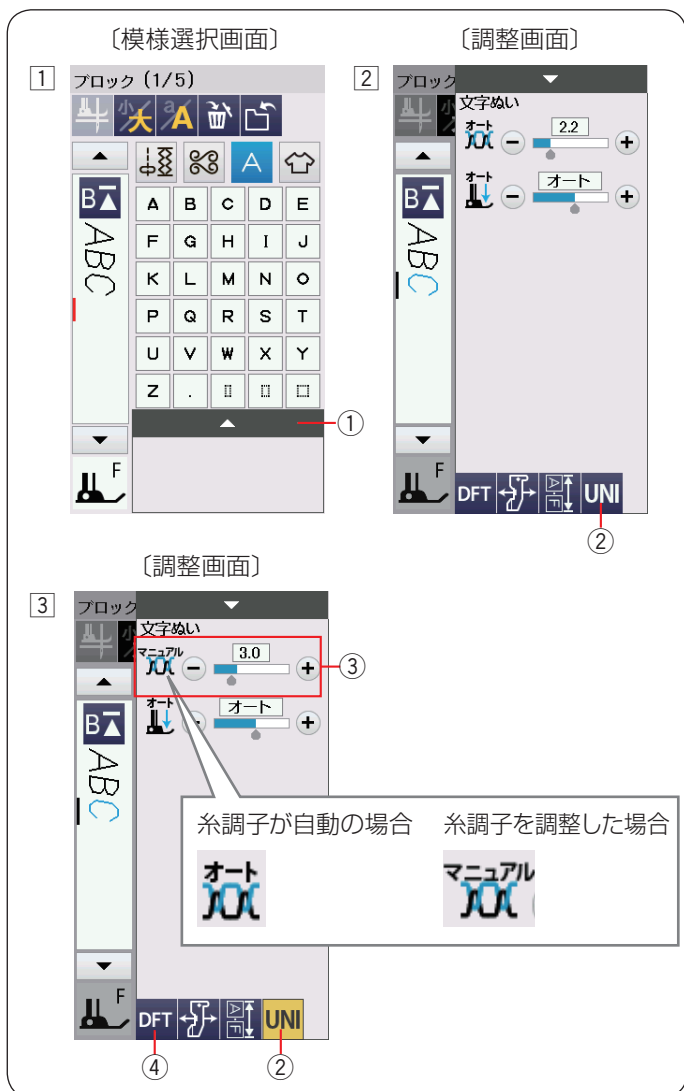
● 文字ぬい時の糸調子調整

糸調子は自動で調整されますが、ぬい条件によっては、手動で糸調子の調整をする必要がある場合があります。

★ 文字ごとに糸調子調整を行う

- それぞれの文字の糸調子を個別にかえたい場合、糸調子をかえたい文字をカーソル①で選択します。
調整キー②を押し、調整画面を全体表示させます。
- 糸調子調整③の「+」もしくは「-」キーを押し、各文字の糸調子を調整します。
※ 画面のアイコン表示が「オート」から「マニュアル」にかわります。

調整した糸調子の値は選択された各文字にそれぞれ適用されます。



★ 全ての文字に同じ糸調子の値を適用する (統一糸調子調整)

すべての組み合わせ模様の糸調子をオート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）と異なる別の統一した値に設定したいとき、飾りぬいの場合、調整画面の糸調子調整キーで模様ごとに設定する必要があります。

文字ぬいの場合、統一糸調子機能によって、組み合わせ模様（文字）ごとではなく、一括して統一した糸調子に設定することができます。

- 調整キー①を押し、調整画面を全体表示させます。
- 調整画面で統一糸調子キー②を押します。
統一糸調子キー②が黄色で表示されます。
- 糸調子調整③の「+」もしくは「-」キーを押し、糸調子を調整します。（例では3.0に変更）

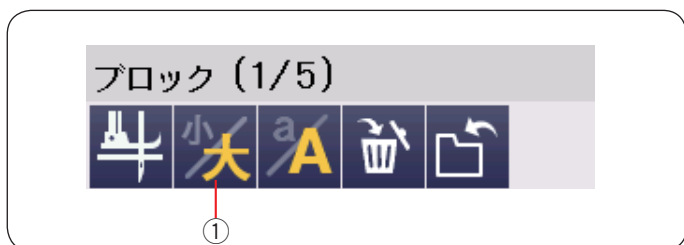
- 組み合わせた「ABC」すべての文字を糸調子「3.0」でぬうことができます。
- 画面のアイコン表示が「オート」から「マニュアル」にかわります。

※ 統一糸調子を解除する場合、調整画面で統一糸調子キー②を押します。統一糸調子機能の設定前の値にもどります。

メモ：

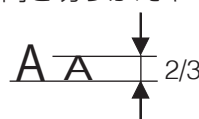
以下の場合も統一糸調子機能は解除されます。

- 組み合わせた文字をすべて削除したとき
- 文字ぬい以外の模様グループの模様を選んだとき

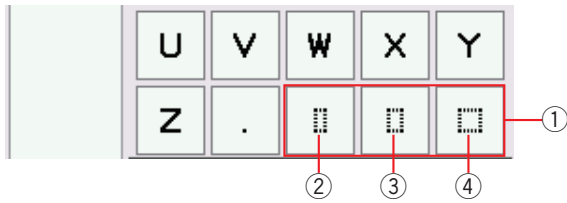


● 文字高さの縮小

文字の高さを小さくする（約2/3のサイズ）には、文字を選択して文字高さ切りかえキー①を押しします。



〔模様選択画面〕



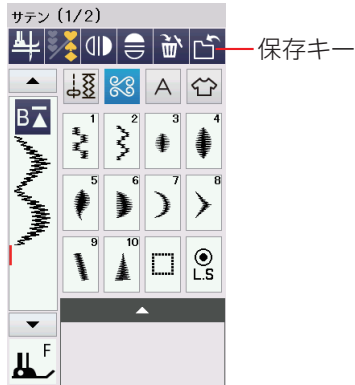
● スペース模様

文字ぬいでスペースを入力するには、模様選択画面のスペースキーから選びます。

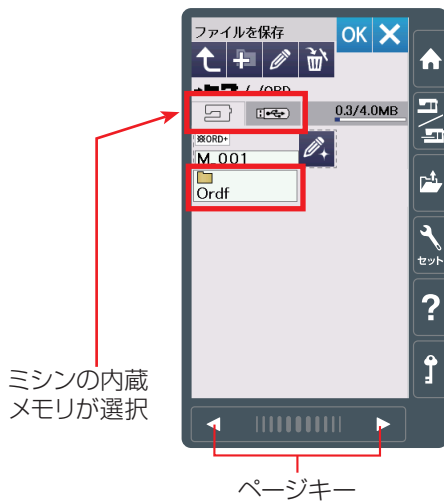
- ① スペースキー
- ② 小サイズのスペース (約 2.5 mm)
- ③ 中サイズのスペース (約 3.5 mm)
- ④ 大サイズのスペース (約 5 mm)

※ 上記スペースのサイズは、電源投入時の値です。
調整画面のぬい目のあかさ調整キーで設定値を変更すると、スペースのサイズはかわります。
(35 ページ参照)

① 〔模様選択画面 / 模様組み合わせモード〕

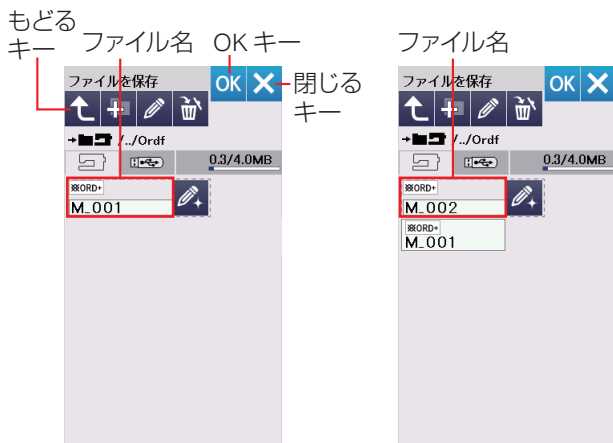


② 〔ファイルを保存画面〕



③ 〔ファイルを保存 (Ordf) 画面〕

何も保存されていない場合 すでに「M_001」がある場合



◎ 模様データの保存・呼び出し

組み合わせた模様データをミシンや USB メモリに保存し、いつでも呼び出してぬうことができます。

● 模様データの保存

メモ：

問題が起きたときのため、常に外部メディアにデータを保存してください。

⚠ 注意：

ミシンの内蔵メモリや USB メモリに模様データを保存中 (転送中) に電源スイッチを切ったり、USB メモリを抜いたりしないでください。
データが破損するおそれがあります。

【ミシンの内蔵メモリに保存する】

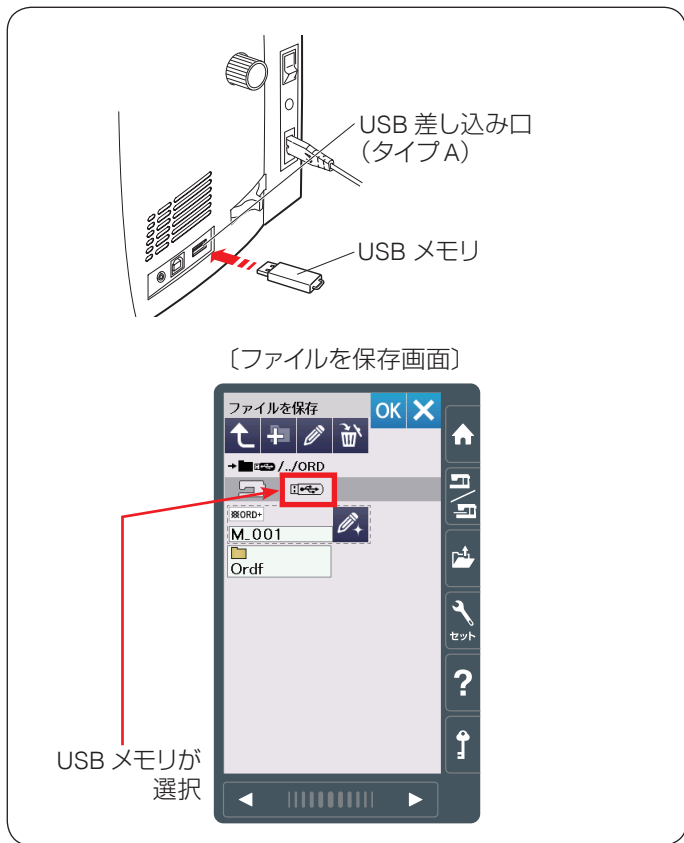
- ① 模様組み合わせモードで保存キーを押すと、「ファイルを保存」画面が表示されます。
 - ② ミシンに用意されているフォルダーに保存する場合、「ファイルを保存」画面の「Ordf」を押します。
- ※ 新しいフォルダーを作成して保存する場合、96 ページ【新規フォルダーの作成】をごらんください。
- ※ 手順 ② や ③ の画面で、フォルダーやファイルが 1 画面に表示しきれない数だけ保存されている場合、ページキーで次のページ (画面) を確認できます。

- ③ ミシンに用意されているファイル名「M_001」で保存する場合、「Ordf」画面の OK キーを押します。模様データがミシンに保存され、模様選択画面にもどります。


※ すでに「M_001」名で保存されているデータがある場合、自動的に番号が繰り上がり、「M_002」が表示されます。(番号は M_001 ~ 順番に割り当てられます。)

※ お好みのファイル名で保存する場合、97 ページ【名称変更キーの使い方】をごらんください。

※ もどるキーを押すと 1 つ前の「ファイルを保存」画面に、閉じるキーを押すとデータは保存されず、模様選択画面にもどります。




USBメモリに保存する場合

USBメモリに保存する場合、ミシン右側のUSB差し込み口(タイプA)にUSBメモリを差し込み、「ファイルを保存」画面でUSBメモリ  を選びます。
 ※ データの保存方法は、95ページ【ミシンの内蔵メモリに保存する】と同じです。



〔新規フォルダーの作成〕

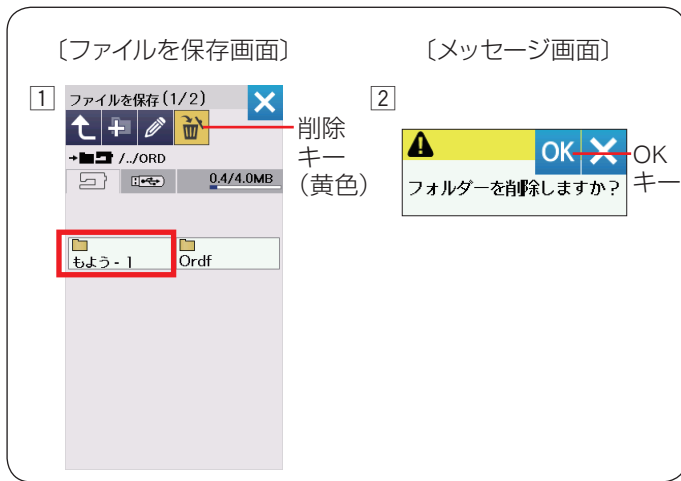
ミシンに用意されているフォルダーを使わないで好みのフォルダーを作成してデータを保存する場合、下記の手順で保存します。

- 95ページ【ミシンの内蔵メモリに保存する】手順②の「ファイルを保存」画面で新規フォルダーキー  を押し、「新規名称」画面を表示させ、文字キーで好みの名前(10文字以内)をつけます。(例では、「もよう-1」と入力)

- ※ 文字の入力中に修正したい場合、カーソル移動キーで取り消したい文字にカーソルを合わせ、削除キーで取り消します。
- ※ 文字の種類(アルファベット大文字・小文字、ひらがな、カタカナ)は、文字種切りかえキーで変更します。

OKキーを押し、再度「ファイルを保存」画面を表示させます。

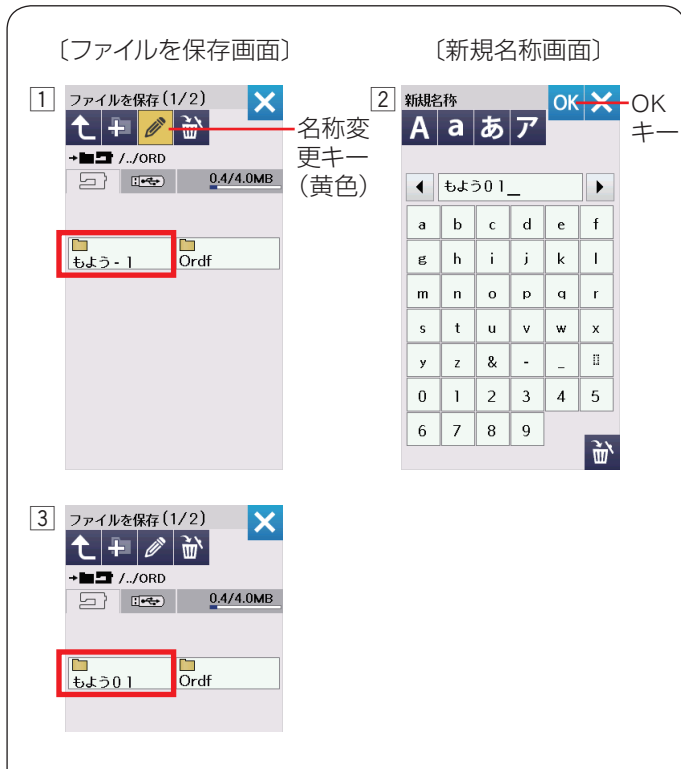
- 「ファイルを保存」画面に新規作成した「もよう-1」フォルダーが表示されます。「もよう-1」フォルダーを押し、「もよう-1」画面を表示させます。
- 「もよう-1」画面のOKキーを押すと、ファイル名「M_001」の模様データが「もよう-1」のフォルダーに保存され、模様選択画面にもどります。



【ファイル・フォルダーの削除】

不要になったフォルダーを削除できます。

- 「ファイルを保存」画面で削除キーを押し、キーの表示を黄色にかえます。
※ キーの色が黄色の状態ではフォルダーを削除することができます。
- 削除したいフォルダーもしくはファイルを選びます。(例では「もよう -1」フォルダー)
- メッセージ画面が表示されます。
OK キーを押して削除します。



【名称変更キーの使い方】

名称変更キーは、すでに作成されているフォルダーの名前の書きかえや、ミシンに用意されているファイル名「M_001」などを使わずに、お好みのファイル名を付けて保存するときに使います。

作成されているフォルダーの名前を変更する場合

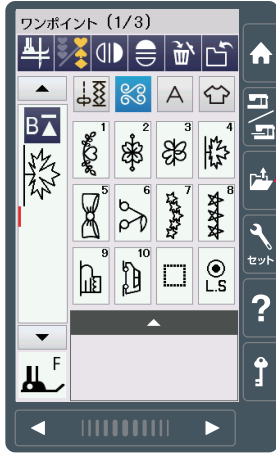
- 模様選択画面で保存キーを押すと、「ファイルを保存」画面が表示されます。「ファイルを保存」画面で名称変更キーを押し、キーの表示を黄色にかえます。名前を変更したいフォルダー（例では「もよう -1」）を選びます。
※ キーの色が黄色の状態ではフォルダーの名前をかえることができます。
- 「新規名称」画面が表示されます。
新しい名前を入力し、OK キーを押します。(例では「もよう01」)
- 再度「ファイルを保存」画面が表示され、フォルダー名が「もよう01」に変更されています。
※ 名前の入力方法は、前ページ【新規フォルダーの作成】の手順①をごらんください。



ファイルにお好みの名前を付けて保存する場合

- 例えば、95 ページ【ミシンの内蔵メモリに保存する】の手順③の「Ordf」画面のファイル名「M_001」をお好みのファイル名に書きかえる場合、「Ordf」画面の名称変更キーを押して「新規名称画面」を表示させます。
- 文字キーでお好みの名前（10文字以内）を付けて OK キーを押します。(例では「ABC」)
※ 名前の入力方法は、前ページ【新規フォルダーの作成】の手順①をごらんください。
- 再度「Ordf」画面が表示され、ファイル名が「ABC」に書きかえられているので、OK キーを押すとファイル名「ABC」にデータを保存することができます。

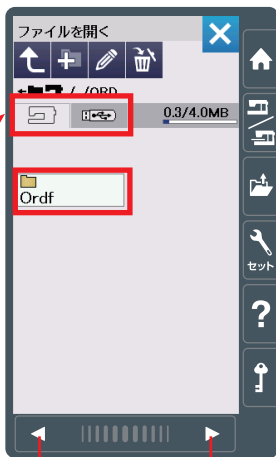
1



ファイル
オープン
キー

2

〔ファイルを開く画面〕



ミシンの内蔵メモリが
選択状態

ページキー


● 模様データの呼び出し

ミシンの内蔵メモリや USB メモリに保存した組み合わせ模様や文字を呼び出すことができます。

⚠ 注意：

ミシンの内蔵メモリや USB メモリから模様データを呼び出し中（転送中）に電源スイッチを切ったり、USB メモリを抜いたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

【ミシンの内蔵メモリから呼び出す】

- ① 通常ぬいの状態でファイルオープンキーを押すと、「ファイルを開く」画面が表示されます。
 - ② 「ファイルを開く」画面のフォルダーの中から呼び出したいファイル（模様データ）が入っているフォルダーを押します。
(例では )
- ※ フォルダーやファイルが 1 画面に表示しきれない数だけ保存されている場合、ページキーで次のページ（画面）を確認できます。
 - ※ 「Ordf」フォルダー以外のフォルダーを作成した場合、作成したフォルダーも表示されます。
 - ※ 新規フォルダーの作成、ファイル・フォルダーの削除、フォルダー名の変更方法については、96～97 ページをごらんください。

3


〔ファイルを開く (Ordf) 画面〕




3 「Ordf」画面のファイルの中から呼び出したいファイル（模様データ）を押すと、模様データを保存したときと同じ状態の模様選択画面が表示され、ぬうことができます。

※ フォルダやファイルが1画面に表示しきれない数だけ保存されている場合、ページキーで次のページ（画面）を確認できます。

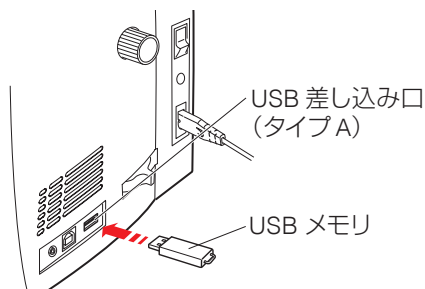
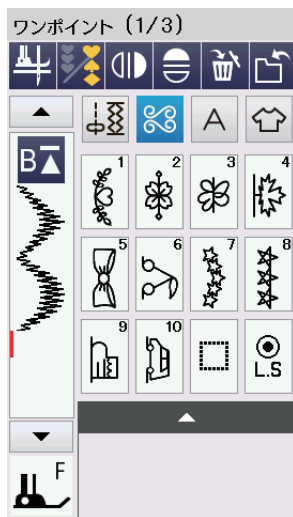
一覧表示キー①で、ファイルのリストの一覧表示のレイアウトを変更できます。

※ 一覧表示キー【A】 が選択されている場合、ファイルが2列で表示され、1ページに12個のファイルが表示できます。

※ 一覧表示キー【B】 が選択されている場合、ファイルが1列で表示され、1ページに6個のファイルが表示できます。

ファイル名が最大2行で表示されるので、パソコンなどで付けた長いファイル名を表示するときに便利です。


〔模様選択画面〕



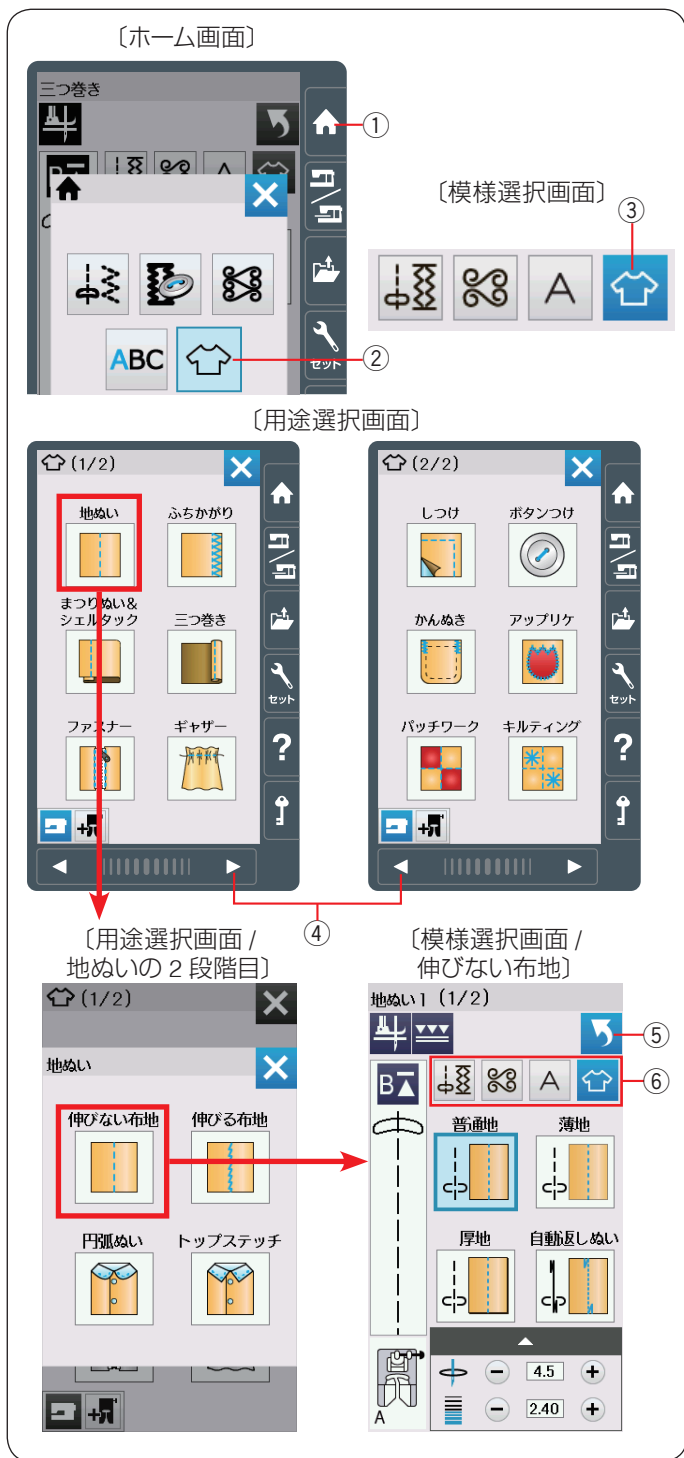
〔ファイルを開く画面〕



USB メモリから呼び出す場合

USB メモリに保存されている模様データを呼び出す場合、ミシン右側の USB 差し込み口（タイプ A）に USB メモリを差し込み、「ファイルを開く」画面の USB メモリ  を選びます。

※ データの呼び出し方法は、98 ページ【ミシンの内蔵メモリから呼び出す】と同じです。



◎用途ぬい

●用途ぬいの模様選択画面

ホームキー①を押して、ホーム画面の用途ぬいキー②を押すと、ぬいの用途に適した模様が直接選べる用途選択画面になります。(模様選択画面の用途ぬいキー③でも同じ画面が開きます。)

用途選択画面は2ページ(画面)で構成されています。ページキー④でページを切りかえます。

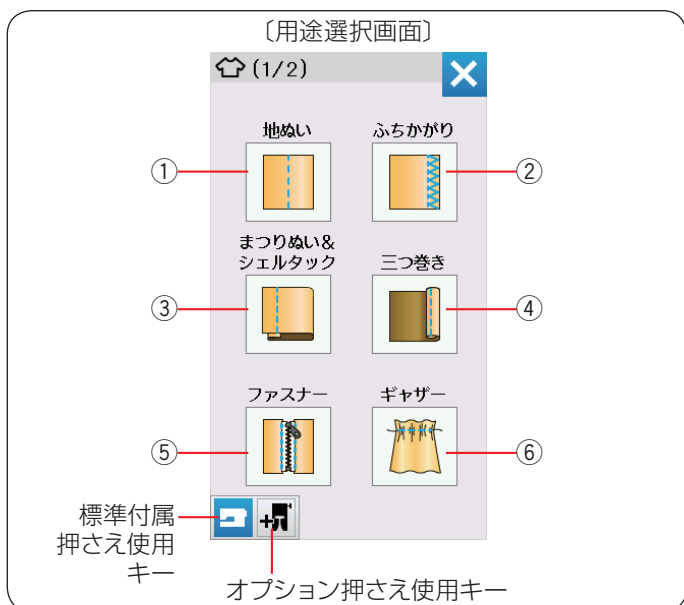
「地ぬい」、「まつりぬい&シェルタック」、「ファスナー」、「キルティング」の項目は、2段階の用途選択画面で構成されています。

用途選択キーを2回押すと模様選択画面になります。

メモ：

- 模様選択画面のもどりキー⑤を押すと、1つ前の用途選択画面にもどります。
- 用途選択のぬいが終わって、他の模様グループを選ぶ場合、ホームキー①または、模様選択画面の模様グループ選択キー⑥で目的の模様グループを選んでください。

※ 用途選択によって選んだ模様を設定されている「ぬい目の幅・ぬい目のあかさ・糸調子」などの値は、ぬいの用途に適した値になっています。

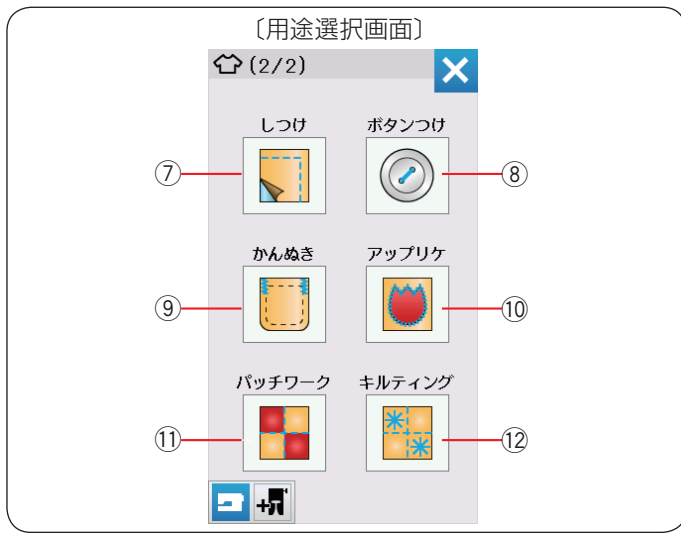


●用途ぬいの種類

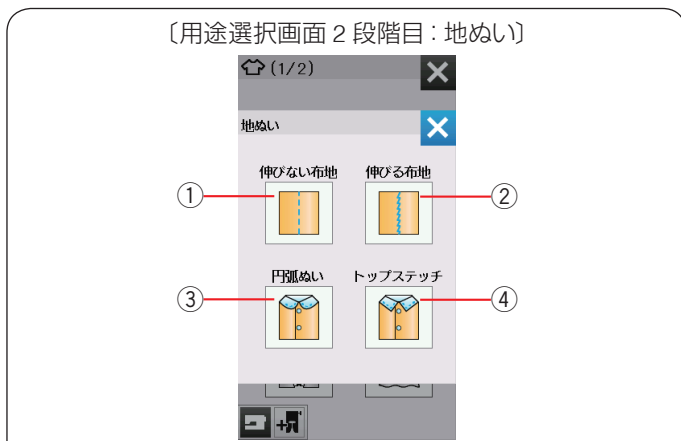
以下12種類のぬいの用途に適した模様を選ぶことができます。

※ 本項目は、標準付属押さえを使用する場合の説明です。オプション押さえを使用した用途ぬいの場合、オプション押さえ使用キーを押します。各押さえの使用方法については、オプション押さえの説明書をごらんください。


- ① 地ぬい
- ② ふちかがり
- ③ まつりぬい&シェルタック
- ④ 三つ巻き
- ⑤ ファスナー
- ⑥ ギャザー



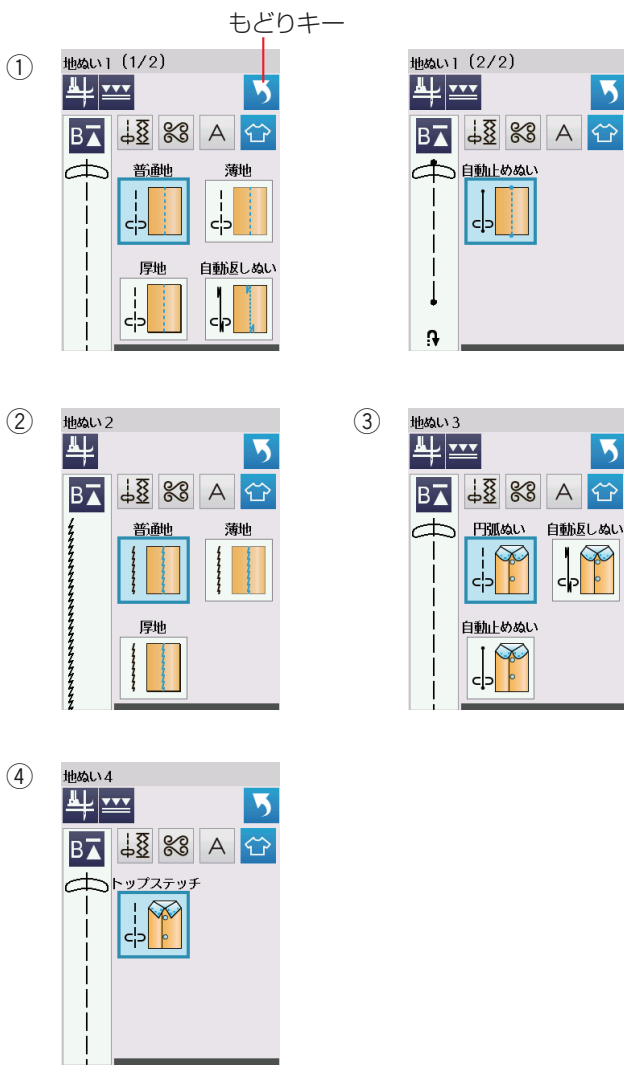
- ⑦ しつけ
- ⑧ ボタンつけ
- ⑨ かんぬき
- ⑩ アプリケ
- ⑪ パッチワーク
- ⑫ キルティング



● 地ぬい

 キーを押すと、4種類の用途選択画面になります。

4種類の中から目的のキーを押すと、それぞれの用途に適した模様選択画面になります。



① 伸びない布地 (地ぬい 1)

デニム、ブロード、シーチング、ローンなどの伸びない生地に適した5種類の模様が選べます。

もどりキーを押すと、1つ前の用途選択画面にもどります。

② 伸びる布地 (地ぬい 2)

ジャージー、ニット、トリコットなど伸縮する布地に適した3種類の模様が選べます。

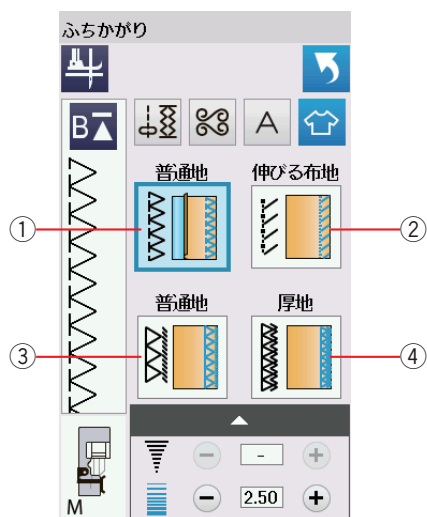
③ 円弧ぬい (地ぬい 3)

円弧ぬい(曲線のぬい合わせ)に適した3種類の模様が選べます。

④ トップステッチ (地ぬい 4)

太めの糸を使用するトップステッチに適した模様が選べます。

〔模様選択画面：ふちかがり〕

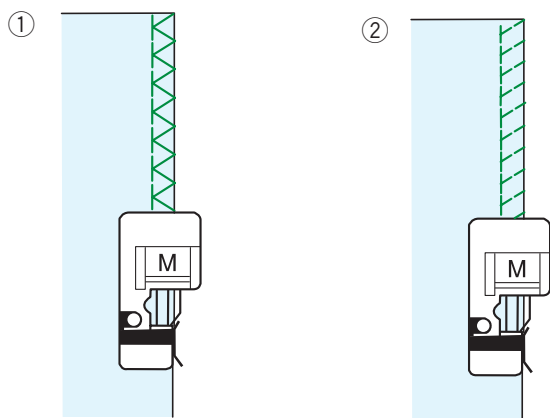


● ふちかがり



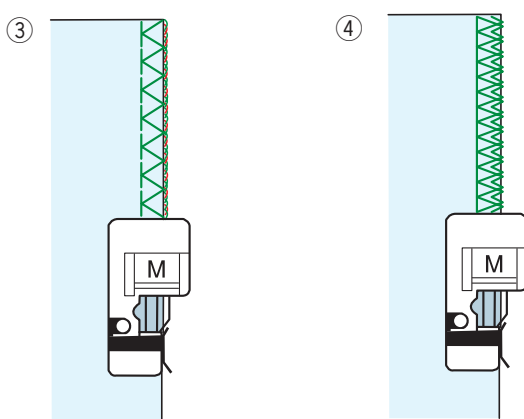
キーを押すと、以下4種類の模様が選択できます。

ぬい方は、50～51ページの「ふちかがりぬい」をごらんください。



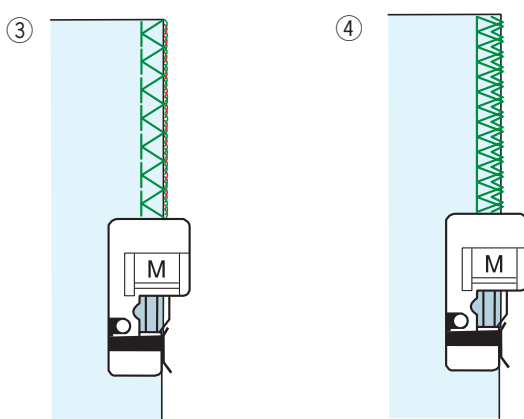
① 普通地

普通地、平織り2枚に適しています。
地ぬいをかねたかがりぬいで、たち目のほつれ止めに使用します。
ぬいしろを割る必要がない場合に使用してください。



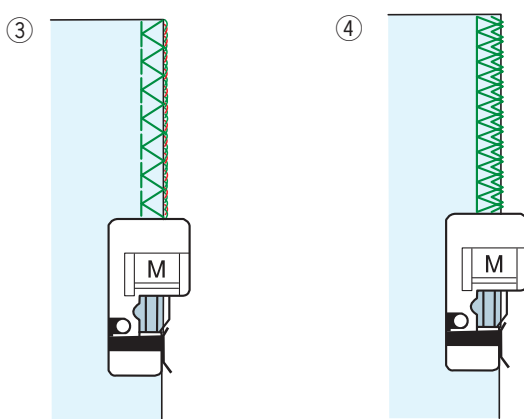
② 伸びる布地

伸縮性布地（ニット地など）のかがりぬいに使います。
A：基本押さえを使用する場合、布から適切なぬいしろをとってぬったあと、切りそろえるとよりきれいに仕上がります。（50ページ参照）



③ 普通地

布端がほつれやすい布のたち目のほつれ止めに使用します。オーバーロックのぬい目に似ています。



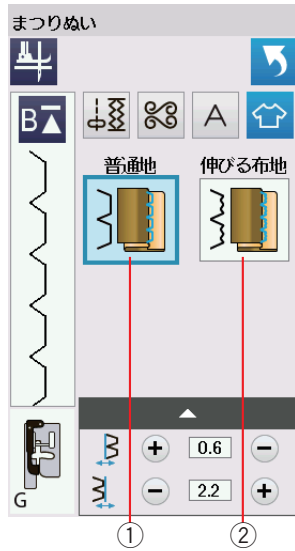
④ 厚地

普通の布や厚い布およびほつれやすい布のたち目のほつれ止めに使用します。

〔用途選択画面〕



〔模様選択画面：まつりぬい〕



● まつりぬい



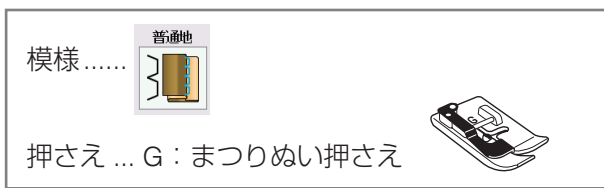
キーを押し、「まつりぬい」キーを押すと2種類の用途選択画面になります。
以下の2種類のまつりぬいから選択できます。

① 普通地

デニム、ブロード、シーチング、ローンなどの伸びない普通布をまつります。

② 伸びる布地

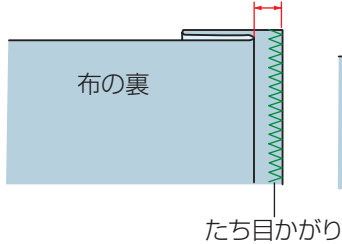
ジャージー、ニット、トリコットなどの伸びる布地をまつります。



①

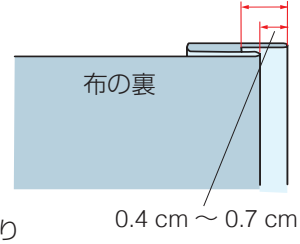
〈厚い布の場合〉

0.4 cm ~ 0.7 cm

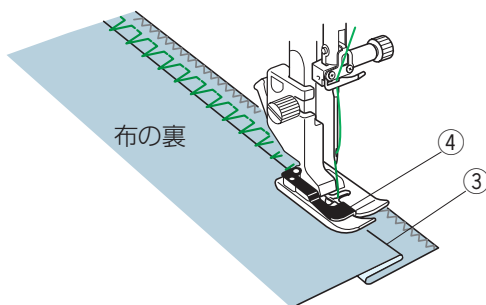


〈薄地～普通の布の場合〉

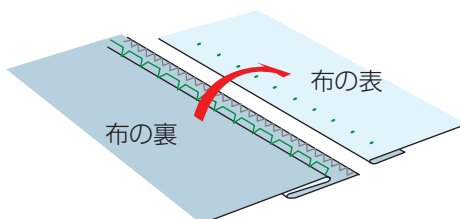
1 cm



②



③



【ぬい方：模様】の例

G：まつりぬい押さえを付けます。

① 図のように布を折ります。

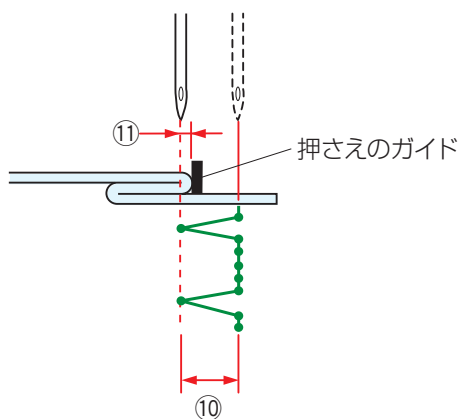
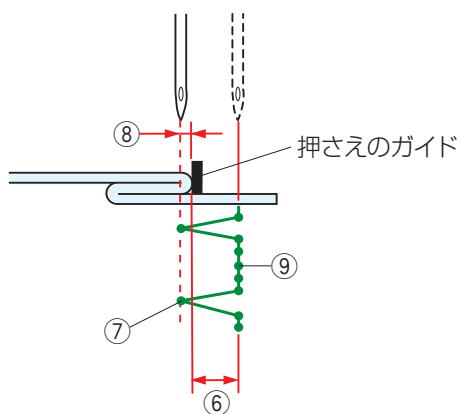
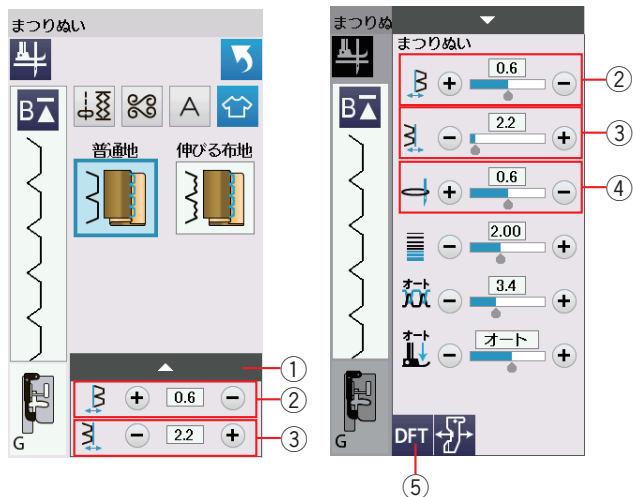
② 折り山③をガイド④に合わせてぬいます。

※ 針が折り山から外れない、また必要以上に針が折り山にかかりすぎないように、左針位置調整キーまたはぬい目の幅調整キーで左針位置（折り山側の針位置）を調整してください。
（104 ページ【針位置を調整する】参照）

③ ぬい終わったら布を表に広げます。

〔模様選択画面：まつりぬい〕

〔調整画面〕



【針位置を調整する】

左針位置調整キー②および右針位置調整キー③は、調整キー①を押して表示される調整画面にもあります。

どちらを使用しても同じ設定ができます。

調整画面の基本的な使い方は、34～36ページをご覧ください。

• 左針位置の調整

左側の針位置（折り山側の針位置）⑦をかえます。右側の針位置は固定なので、左に模様の幅が変化します。

- 左針位置調整キー②の「+」キーを押すと左針位置が左へ移動、「-」キーを押すと右へ移動します。
- 画面の数値は、押さえのガイドから左針位置⑦までの距離⑧を表示しています。（単位：mm）

• 右針位置の調整

右側の針位置⑨をかえます。左側の針位置は固定なので、右に模様の幅が変化します。

- 右針位置調整キー③の「+」キーを押すと右針位置が右へ移動、「-」キーを押すと左へ移動します。
- 画面の数値は、押さえのガイドから右針位置⑨までの距離⑥を表示しています。（単位：mm）

• 模様の位置の調整（針位置調整）

模様の幅（2.8mm）⑩をかえずに左側の針位置（折り山側の針位置）をかえます。

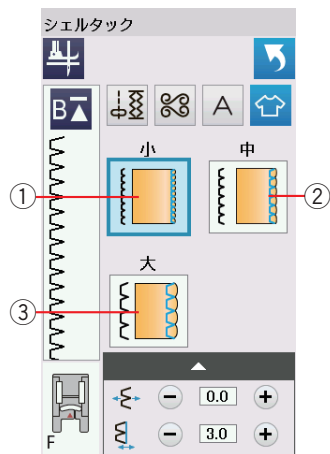
- 模様の位置調整キー④の「+」キーを押すと、針位置が左に移動します。（模様全体が左に移動）
- 模様の位置調整キー④の「-」キーを押すと、針位置が右に移動します。（模様全体が右に移動）
- 画面の数値は、押さえのガイドから左針位置までの距離⑪（折り山側の針位置）を表示しています。（単位：mm）

メモ：

変更した値をオート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）にもどす場合、調整画面の初期化キー⑤を押します。

〔用途選択画面〕

〔模様選択画面：シェルタック〕



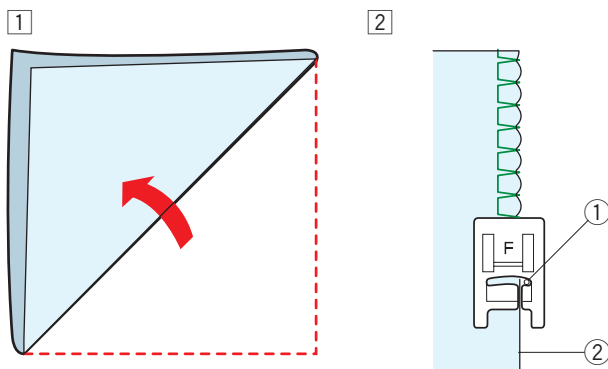
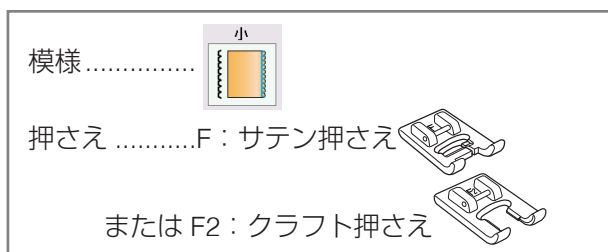
● シェルタック



キーを押し、「シェルタック」キーを押すと、3種類
の用途選択画面になります。

以下の3種類のシェルタックから選択できます。

- ① 小
細いサイズのシェルタックです。
- ② 中
中くらいのサイズのシェルタックです。
- ③ 大
普通のサイズのシェルタックです。



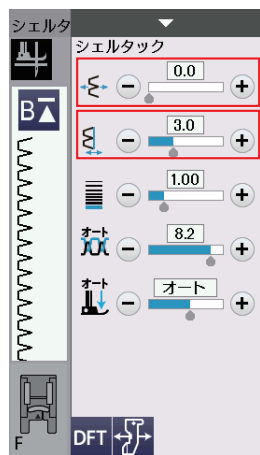
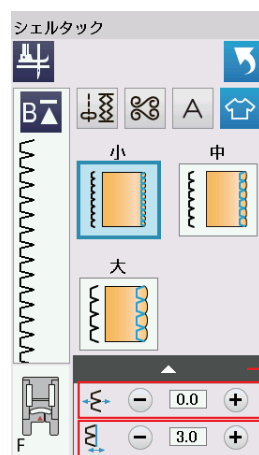
【ぬい方：模様 の例】

トリコットなど、薄い布に使用します。

- ① 布をバイヤスに2つ折りにします。
- ② 右の針位置①が布の折り山②のきわ（布の外側）に落ちるようにしてぬいます。
※ シェルタックをいくつか並べてぬう場合、最低 1.5 cm あいだをあけてください。

〔模様選択画面：シェルタック〕

〔調整画面〕



【シェルタックの位置を調整する】

模様位置調整キー②および右針位置調整キー③は、調整キー①を押して表示される調整画面にもあります。

どちらを使用しても同じ設定ができます。

調整画面の基本的な使い方は、34～36ページをご覧ください。

● 模様の位置の調整

模様の幅をかえず、模様のぬい位置を左右に移動させます。

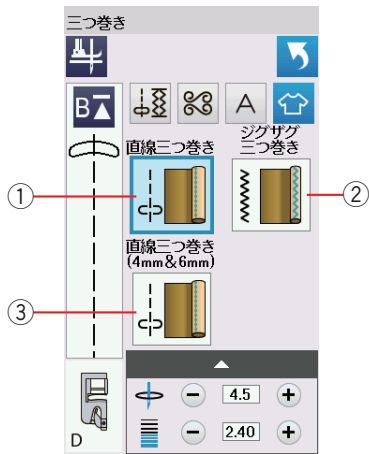
- 模様位置調整キー②の「+」キーを押すとシェルタックが右へ移動、「-」キーを押すと左へ移動します。

● 模様の幅の調整（右針位置調整）

右側の針位置をかえることができます。左側の針位置は固定なので、右に模様の幅が変化します。

- 右針位置調整キー③の「+」キーを押すと右針位置が右へ移動し、シェルタックの幅が広がります。
- 右針位置調整キー③の「-」キーを押すと左へ移動し、シェルタックの幅がせまくなります。

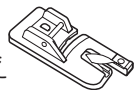
〔模様選択画面：三つ巻き〕



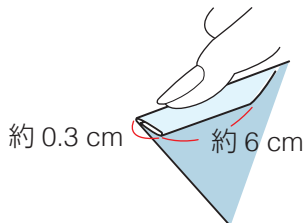
模様.....



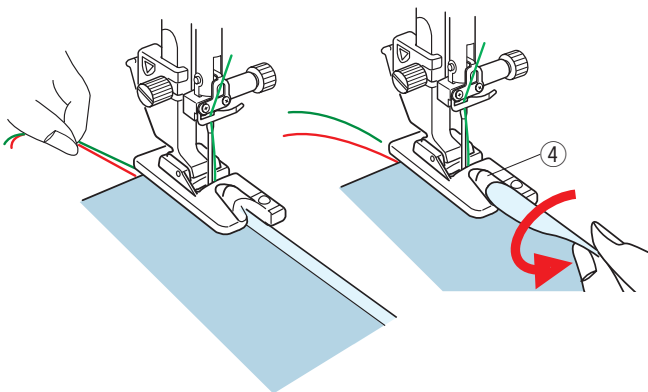
押さえ D：三つ巻き押さえ



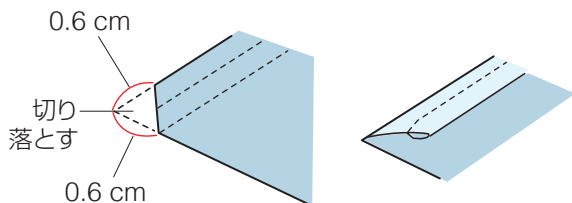
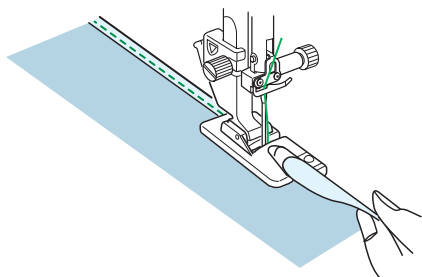
①



②



③



● 三つ巻きぬい



キーを押すと、以下の3種類の三つ巻きぬいから選択できます。

① 直線三つ巻き

直線で三つ巻きぬいをします。

② ジグザグ三つ巻き

細いジグザグぬいで三つ巻きぬいをします。

③ 直線三つ巻き (4 mm& 6 mm)

別売り (オプション) の D1、D2 押さえを使用した三つ巻きぬいです。

【ぬい方：模様  の例】

① D：三つ巻き押さえを付けます。

布端約 6 cm の長さを、約 0.3 cm の幅で三つ折りにします。

※ 折り目がつきにくい布は、アイロンで折り目をつけるとぬいやすくなります。

② ぬい始めの位置に針をおろし押さえをさげます。

上糸を向こう側に引っ張りながら 1～2 cm ぬってミシンを止めます。

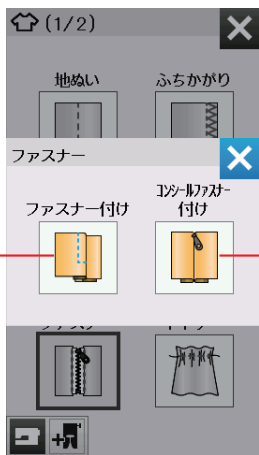
針が布にささった状態で押さえをあげ、布の三つ折りの部分を開いて、布端を押さえのうず④の中に巻き込みます。

③ 押さえをさげ、布端を立てて、左寄りに引きぎみに持ちあげながらぬいます。

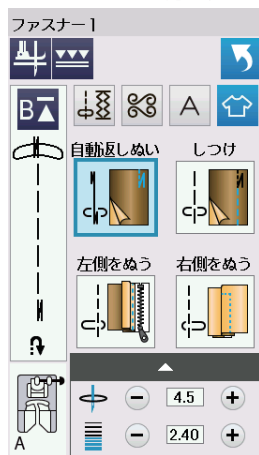
布端の始末

三つ巻きぬいの重なる角の部分は、厚みをうすくするため図のように布端を切り落として折り合わせます。

〔用途選択画面：ファスナー〕



〔模様選択画面 / ファスナー付け〕



● ファスナー付け



キーを押すと、2種類の用途選択画面になります。

2種類の中から目的のキーを押すと、それぞれの用途に適した模様選択画面になります。

① ファスナー付け

E：ファスナー押さえを使用してファスナーを付けます。

② コンシールファスナー付け

別売り（オプション）のZ：コンシールファスナー押さえを使用してファスナーを付けます。

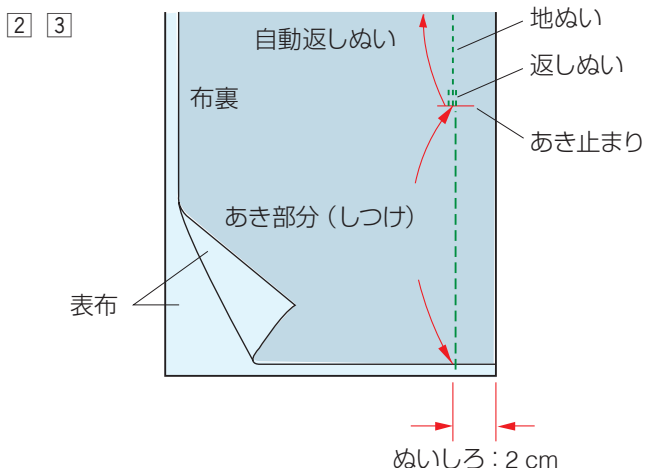
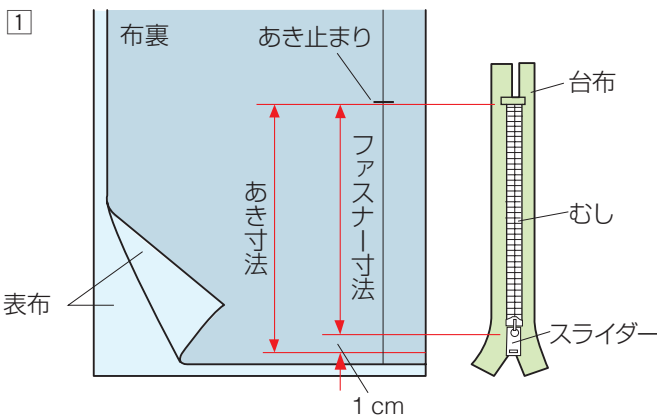
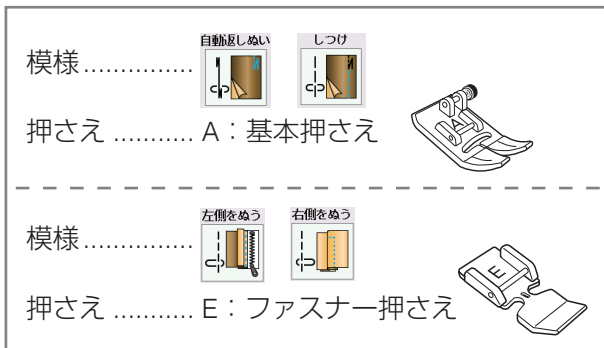
（109～111ページ参照）

【ぬい方：左脇あきのぬい方例】



キーを押し、模様選択画面を表示させます。


手順ごとにキーを押すと、手順に合わせて自動的にミシンの設定が変わります。



① ファスナーのあき寸法を確かめます。

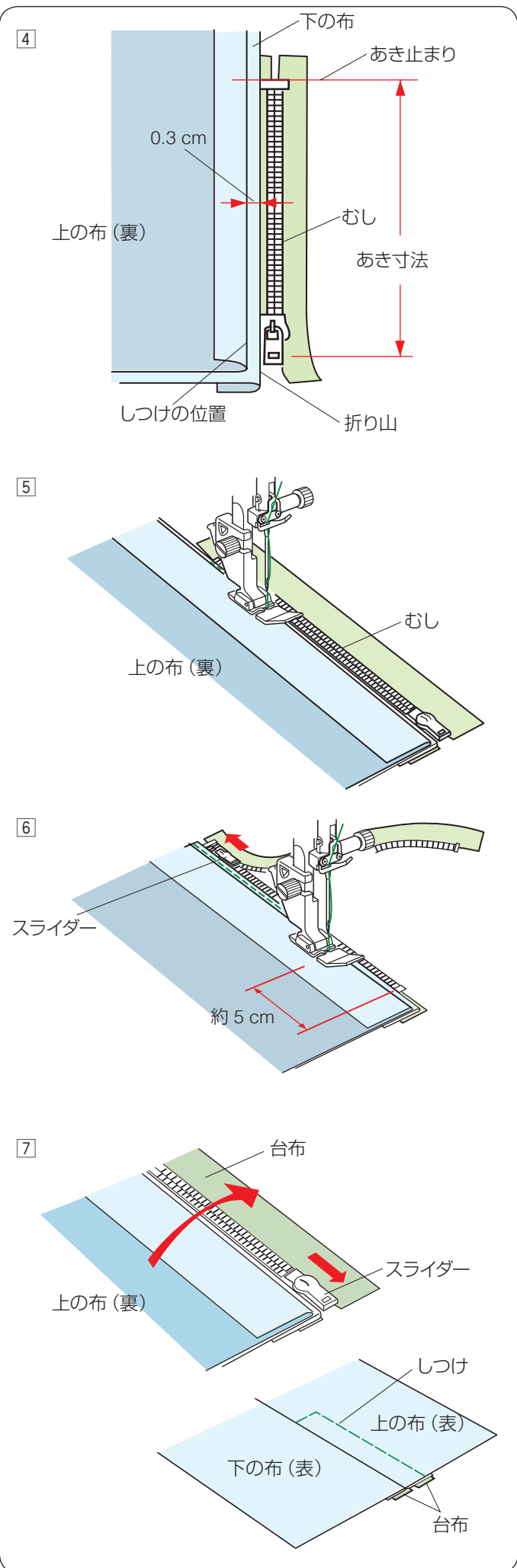
あき寸法は、ファスナー寸法に1 cm プラスした寸法です。

② 模様 を選び、A：基本押さえを付けます。布を中表に合わせ、2 cm のぬいしろであき止まりまで地ぬいをします。

※ 模様  は自動返しぬいです。

自動返しぬいのぬい方は、44ページをごらんください。

③ 模様 を選び、あき部分のしつけぬいをします。



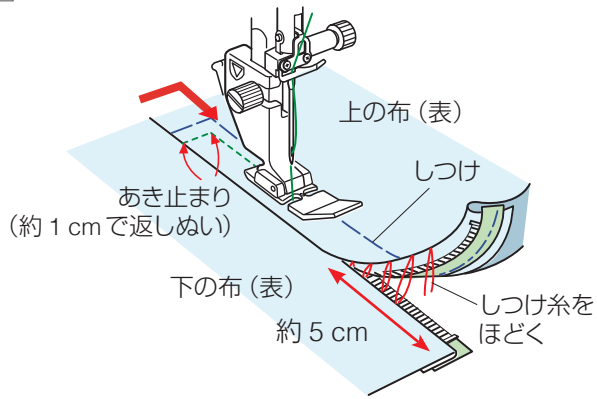
④ めいしろを割り、下の布のめいしろを0.3 cm 出してアイロンで折り目をつけ、折り山をむしのきわにあてます。

⑤ 模様 を選び、E：ファスナー押さえを付けます。
むしのきわを押さえの右側面にあて、あき止まりからファスナーの左側をぬいます。
※ めい始めは数針返しぬいをします。

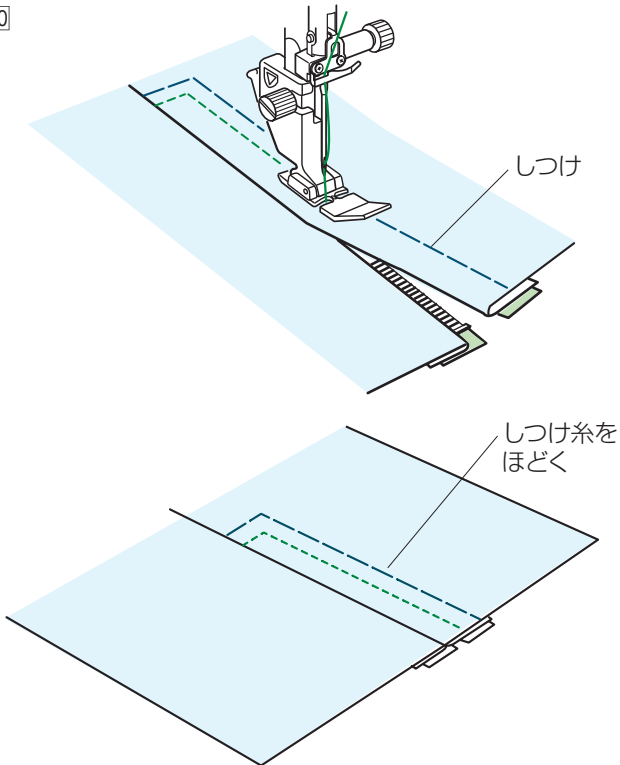
⑥ ファスナーの端から約5 cm 手前でミシンを止めます。
針を布にさした状態で押さえをあげ、スライダーを押さえの向こう側にずらしファスナーを開きます。
押さえをさげて残りの部分をぬいます。
※ めい終わりは数針返しぬいをします。

⑦ ファスナーを閉じ、スライダーを上にしたおし、上の布をファスナーの上にかぶせます。
模様 を選び A：基本押さえを付けます。
かぶせた布と台布をしつけぬいで止めます。

8 9



10



8 模様  を選び、E: ファスナー押さえを付けます。

上の布のあき止まりを約 1 cm ほど返しぬいして、むしのきわを押さえの左側面にあて、ファスナーの右側をぬいます。

9 ファスナーの上側を 5 cm ほど残したところでミシンを止めます。

針を布にさした状態で押さえをあげ、手順 3 でぬったしつけぬいの糸をほどこします。

ファスナーを開き、スライダを押さえの向こうにずらします。

10 押さえをさげて残りの部分をぬいます。

ぬい終わったらしつけぬい糸をほどこします。

● コンシールファスナー付け (押さえオプション)

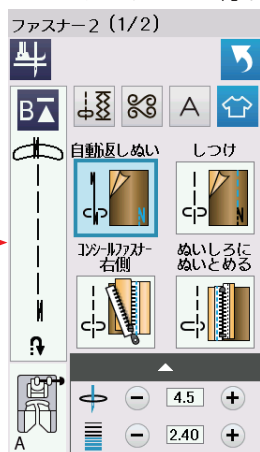
 キーを押し、模様選択画面を表示させます。

手順ごとにキーを押すと、手順に合わせて自動的にミシンの設定が変わります。

〔用途選択画面：ファスナー〕

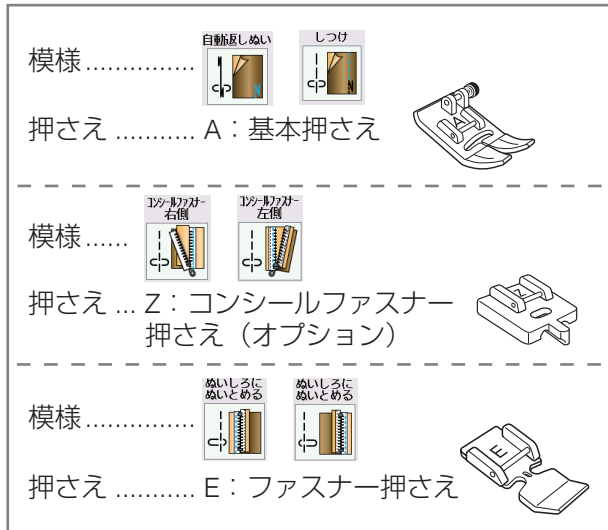


〔模様選択画面 / コンシールファスナー付け〕

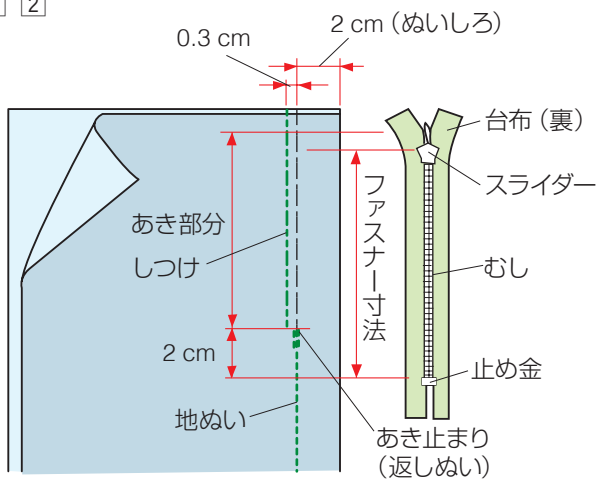



【ぬい方】

コンシールファスナーはあき寸法より 2 cm くらい長いものを準備します。




1 2




1 模様  を選び、A: 基本押さえを付けます。

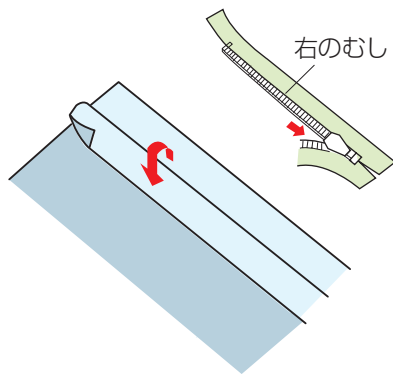
布を中表に合わせ 2 cm のぬいしろで、あき止まり (返しぬい) まで地ぬいをします。

※ 模様  は自動返しぬいです。

自動返しぬいのぬい方は、44 ページをごらんください。

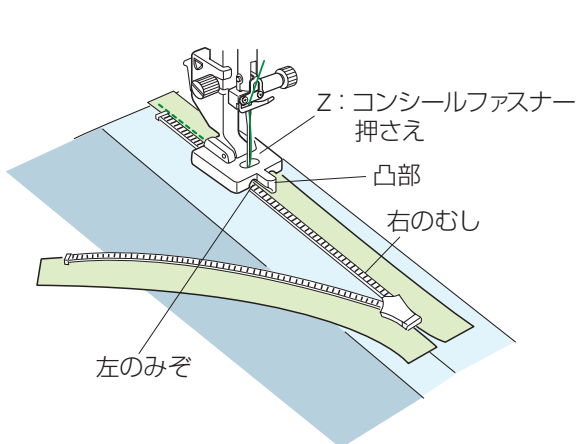
2 模様  を選び、あき部分を地ぬいから 0.3 cm 内側にしつけぬいをします。


3



3 ぬいしろの上側の布を身頃側へ折り返します。ファスナーを裏返しにセットし、ファスナーを開いて右のむしを折り山にあてておきます。

4



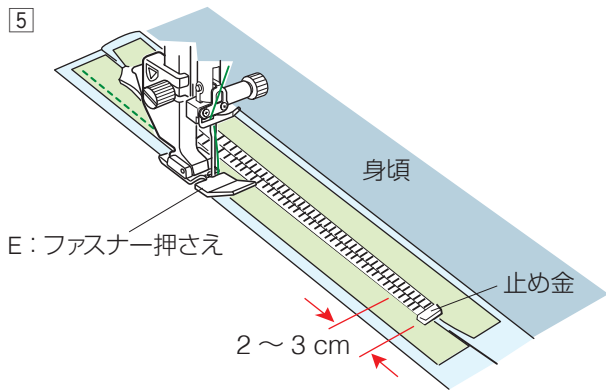
4 模様  を選び、Z: コンシールファスナー押さえを付けます。

右のむしをたてて、押さえの左のみぞにむしが入るように押さえをさげます。

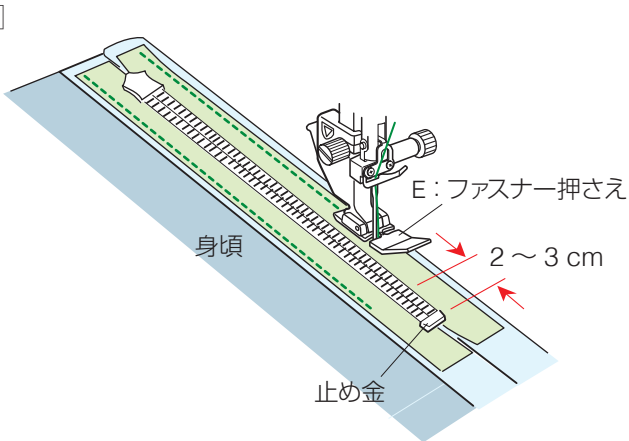
むしの部分を押さえの凸部にあてながら、あき止りまでぬいます。

※ ぬい始め、ぬい終わりのほつれ止めは数針返しぬいをします。

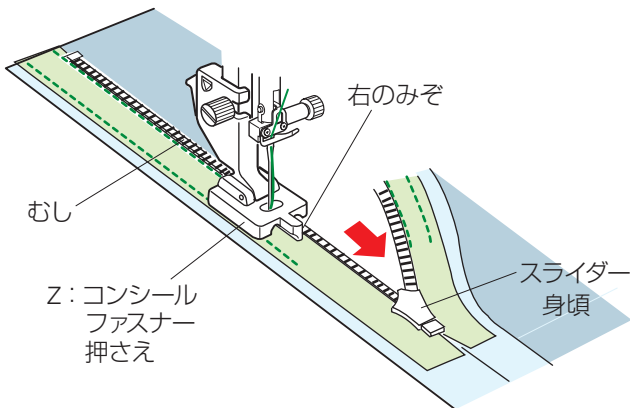
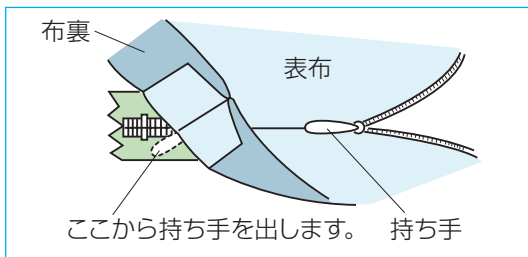
5



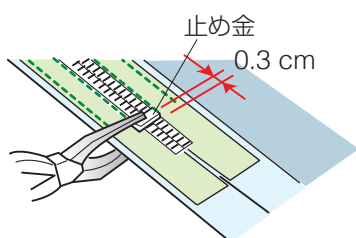
6




7





8



5 押さえをあげ、ファスナーを閉じます。

模様  を選び、Z: コンシールファスナー押さえを外し、E: ファスナー押さえをセットします。身頃を右側に折り返して、ぬいしろに左側の台布の端を止め金から2~3 cmのところまでぬい付けます。
※ ぬい始め、ぬい終わりのほつれ止めは数針返しぬいをします。

6 模様  を選び、身頃を左側に折り返して、ぬいしろに右側の台布の端を止め金から2~3 cmのところまでぬい付けます。
※ ぬい始め、ぬい終わりのほつれ止めは数針返しぬいをします。

7 模様  を選び、Z: コンシールファスナー押さえに付けかえます。手順②でぬったしつけ糸をほどき、スライダを止め金までおろします。表から持ち手を布とファスナーのあいだに入れるとスライダは止め金までさがります。身頃を右側に折り返します。左のむしを立てて押さえの右のみぞに入れ、手順④と同じ方法でぬっていきます。

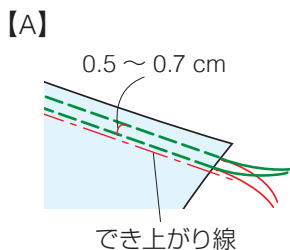
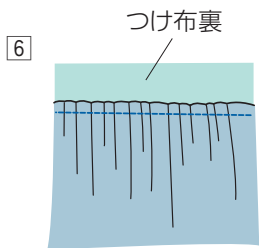
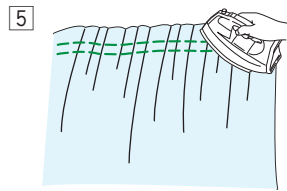
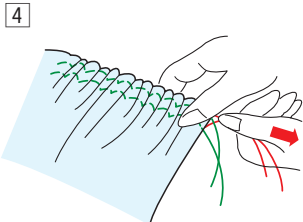
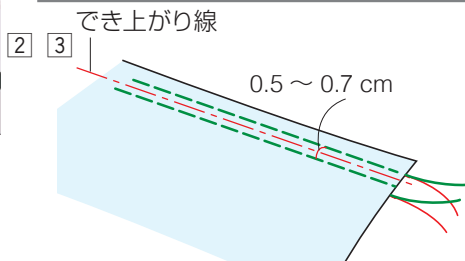
8 止め金をファスナーのあき止まりの位置より0.3 cm くらい上にペンチで固定します。

〔模様選択画面：ギャザー〕



① 模様..... (ギャザー)

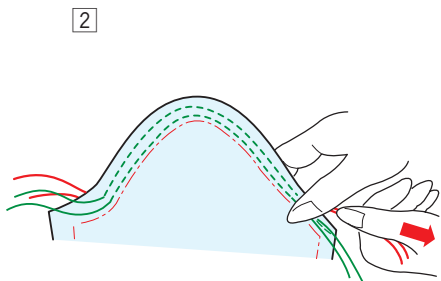
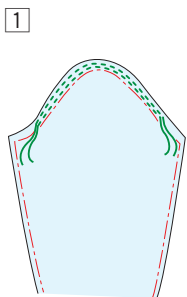
② 押さえ...A：基本押さえ



模様.....



押さえ.....A：基本押さえ



● ギャザー



キーを押すと、ギャザーに適した2種類の模様が選択できます。

【ぬい方：ギャザー模様 の例】

- ① 上糸と下糸を押さえの下から向こう側に約 10 cm ほど引き出しておきます。
※ 下糸を針板の上に引き出す方法は、30 ページ「下糸を針板の上に引き出す場合」をごらんください。
- ② 図のように、でき上がり線をはさんで、2 本平行にしつけをぬいます。
- ③ 押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を 5 cm くらい残して切ります。
※ 糸切りボタンで切らないでください。
- ④ ぬい始めの糸を結んでから、ぬい終わりの下糸を 2 本一緒に引いて、布を縮め、糸を結びます。
- ⑤ ギャザーを整え、アイロンがけします。
- ⑥ 通常ぬいの直線模様を選び、できあがり線をぬって、しつけを取ります。
※ しつけを取ったときの針穴が気になる場合は、できあがり線の上側に 2 本しつけをして、ギャザーを寄せます。(左図【A】参照)

【ぬい方：模様 の例】



上糸と下糸を押さえの下から向こう側に約 10 cm ほど引き出しておきます。

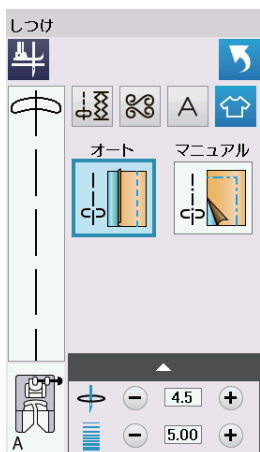
- ※ 下糸を針板の上に引き出す方法は、30 ページ「下糸を針板の上に引き出す場合」をごらんください。
- ① ぬいしろの部分に 0.5 ~ 0.7 cm の間かくで 2 本線を平行にぬいます。
 - ② 布を軽くつまみ、上糸をそのままにして下糸を両側から引き、まるみを付けます。
※ ひだがよらないように注意して糸を引いてください。

● しつけ



キーを押すと、しつけの模様選択画面になります。しつけに適した2種類の模様が選べます。

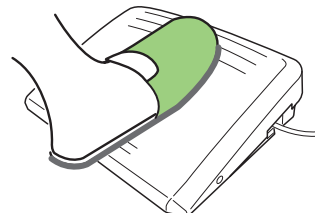
〔模様選択画面：しつけ〕

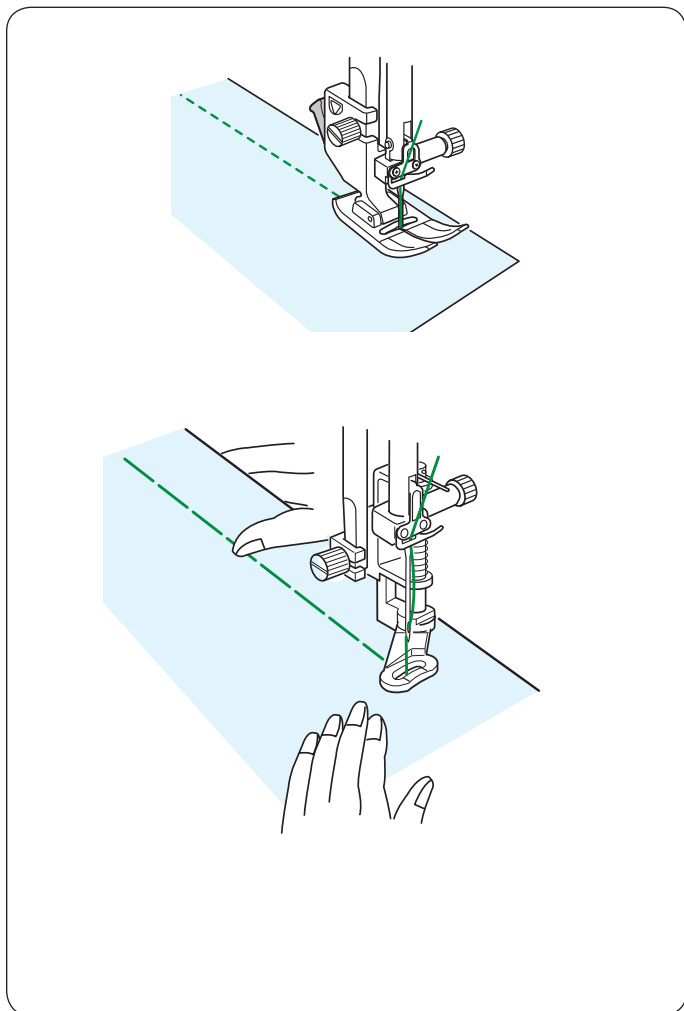


フットコントローラーの利用

しつけぬいは、フットコントローラーを使用すると両手が使えて便利です。

- ※ フットコントローラーは、モデルによってオプションになります。





オート

ファスナーの台布や衣服に使います。
ぬい目のあらかさが最大値（約 0.5 cm）の直線ぬいです。
あとで糸をほどこしやすいように、糸調子が弱く設定されています。

マニュアル

ミシンをスタートさせても、布は送られずに 1 針ごとに停止します。1 針ずつ手で布を移動させてお好みの間かくでぬうことができます。

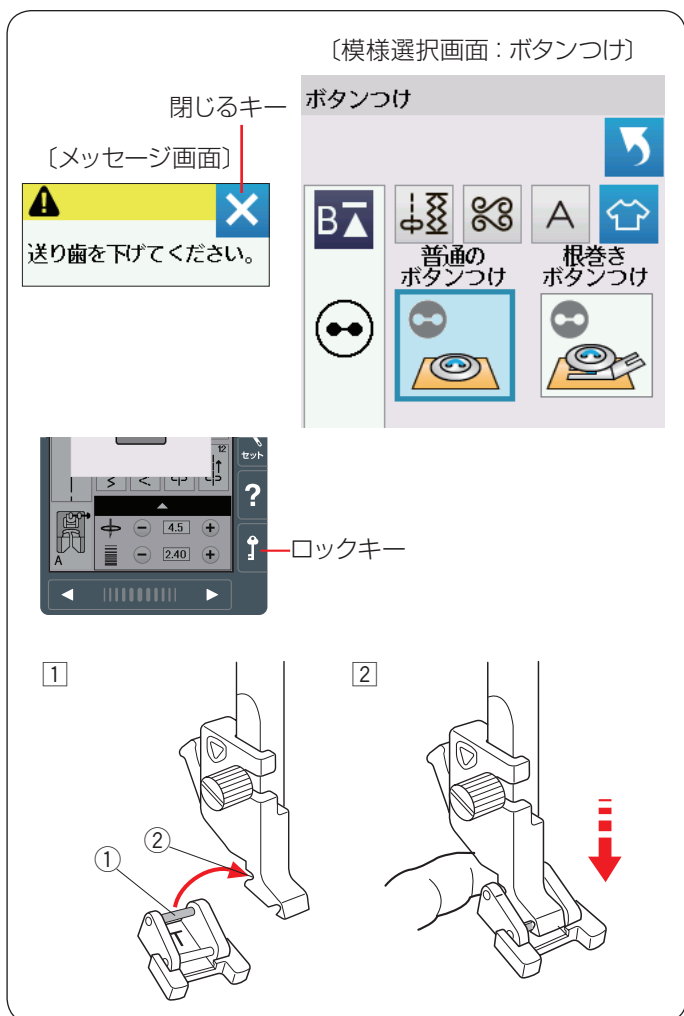
※ フットコントローラーを使用している場合も、踏み続けていても布は送られずに 1 針ごとに停止します。

【ぬい方】

PD-H：フリーキルト押さえを取り付け（19 ページ参照）、送り歯をさげます。（24 ページ参照）

押さえ上下移動ボタンで押さえをさげ、布を前後にピンと張ってぬいます。

1 針ぬってミシンが停止したら、ぬい目をつまんで布を向こう側に必要な長さだけ引き出し、繰り返しぬいます。



● ボタンつけ

ボタンつけ キーを押すと、ボタンつけの模様選択画面になります。

ボタンつけに適した 2 種類の模様が選択できます。

※ ボタンつけキーを押すと、「送り歯を下げてください。」のメッセージ画面が表示されます。送り歯をさげて、布送り機能がない状態でぬいます。（24 ページ参照）

⚠ 注意：

必ず針がボタンの左右の穴におりることを確認してください。ボタンに針があたると針が折れ、けがの原因となります。

【T：ボタンつけ押さえを取り付ける】

※ ロックキーを押してミシンをロックして押さえを交換します。（14 ページ参照）


※ 押さえの交換方法は、16 ページをごらんください。

① 押さえのうしろのピン ① を、押さえホルダーのうしろのみぞ ② にかけます。

② 押さえのうしろを軽くささえながら押さえ上げをさげて取り付けます。

ロックキーを押し、ロックを解除します。

★ 普通のボタンつけのぬい方

模様  はぬいが終了すると自動的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)

T: ボタンつけ押さえを取り付け (113 ページ参照)、送り歯をさげます。

① 「普通のボタンつけ」キー ① を押します。

② ボタンの左右の穴の間かくをはかり、模様選択画面の間かく調整キー ③ で、画面の数値の間かくと同じ値に設定します。

最大 7.0 mm、0.5 mm 単位で調整できます。

※ 間かく調整キー ③ は、調整キー ② を押して表示される調整画面にもあります。どちらを使用しても同じ設定ができます。

③ ボタンを押さえの下へ置き、はずみ車を手で手前にまわしてボタンの左の穴に針をさします。ボタンの左右の穴が真横になるようにして、押さえをさげます。

はずみ車を手で手前にまわし、針がボタンにあたらないで、ボタンの右の穴に入ることを確認します。

※ 針がボタンにあたる場合、間かく調整キーで調整してください。(左側の針位置は固定で、右側の針位置が移動します。)

④ ミシンをスタートさせると、必要な針数をぬったあと自動的にミシンは停止します。

押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を 10 ~ 20 cm 残して切ります。

※ 糸切りボタンで切らないでください。

⑤ ぬい始めの上糸と下糸をボタンのきわで、はさみで切ります。

ぬい終わりの上糸 ④ と下糸 ⑤ は、下糸 ⑤ を引いて上糸 ④ を布の裏側に引き出し、上糸と下糸を結んでから切ります。

模様.....



押さえT: ボタンつけ押さえ

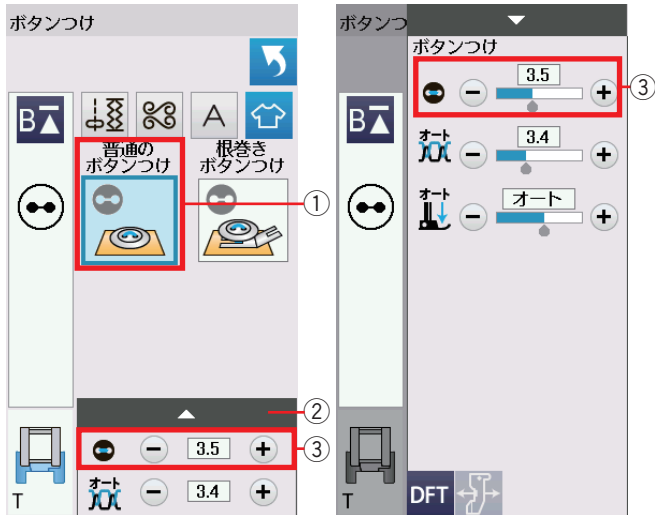
※ 送り歯をさげる (24 ページ参照)



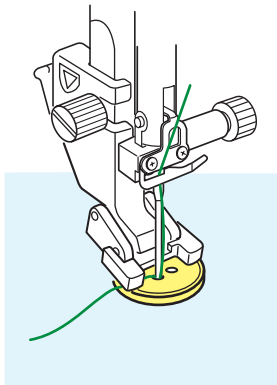
① ②

〔模様選択画面: ボタンつけ〕

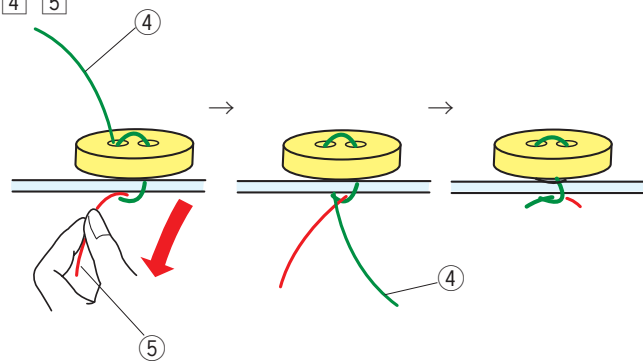
〔調整画面〕



③



④ ⑤



模様.....



押さえT: ボタンつけ押さえ

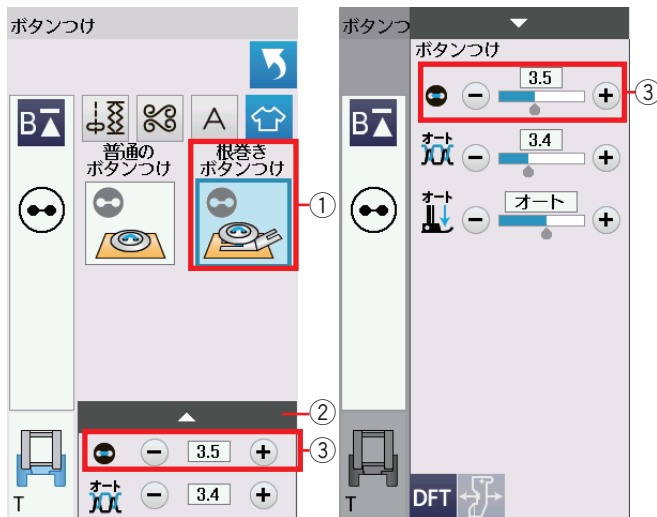
※ 送り歯をさげる (24 ページ参照)



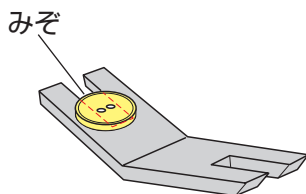
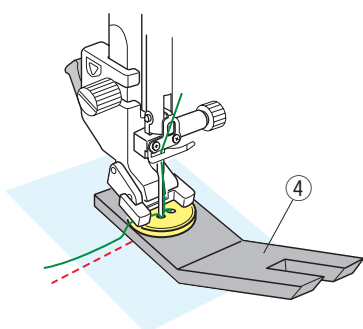
1 2

〔模様選択画面：ボタンつけ〕

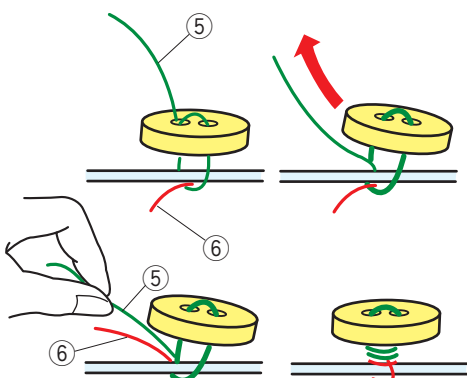
〔調整画面〕



3



4



★ 根巻きボタンつけのぬい方

根巻きボタンつけは、付属のボタンつけプレートを使用
してぬいます。

T: ボタンつけ押さえを取り付け (113 ページ参照)、送
り歯をさげます。

1 「根巻きボタンつけ」キー ① を押します。

2 ボタンの左右の穴の間かくをはかり、模様選択画面の
間かく調整キー ③ で、画面の数値を間かくと同じ値
に設定します。

最大 7.0 mm、0.5 mm 単位で調整できます。

※ 間かく調整キー ③ は、調整キー ② を押して表示
される調整画面にもあります。どちらを使用し
ても同じ設定ができます。

3 ボタンを押さえの下へ置き、はずみ車を手で手前にま
わしてボタンの左の穴に針をさします。

ボタンの下へボタンつけプレート ④ を差し込み、ボ
タンの左右の穴が真横になるようにして、押さえをさ
げます。

※ ボタンつけプレートはみぞの部分ボタン穴の下
になるように差し込みます。

※ ボタンつけプレートは、厚い方が 4.5 mm、うす
い方が 3 mm になっています。用途に合わせて選
んでください。

はずみ車を手前にまわして針を右側に移動させます。
間かく調整キー ③ (「+」もしくは「-」ボタン) で
針がボタンの右穴に入るように調整します。

左側の針位置は固定で、右側の針位置が移動します。
ボタンの左右の穴の間かくは最大 7.0 mm、0.5 mm
単位で調整できます。

ミシンが自動的に止まるまでぬいます。

押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を 10
~ 20 cm 残して切ります。

※ 糸切りボタンで切らないでください。

4 ぬい始めの上糸と下糸をボタンのきわで、はさみを
使って切ります。

ぬい終わりの上糸 ⑤ と下糸 ⑥ は、上糸 ⑤ をボタン
と布のあいだに引き出し、次にその上糸 ⑤ を引いて
下糸 ⑥ をボタンと布のあいだに引き出します。

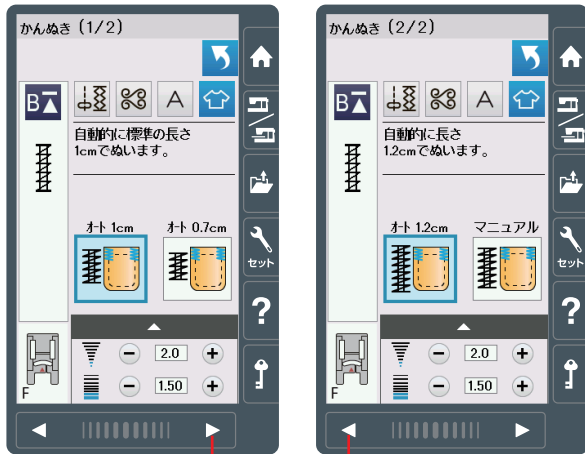
上糸と下糸を浮かせた足の部分にそれぞれ反対方向に
数回巻き付けて結びます。

メモ:

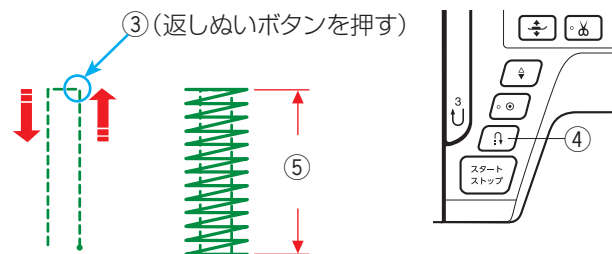
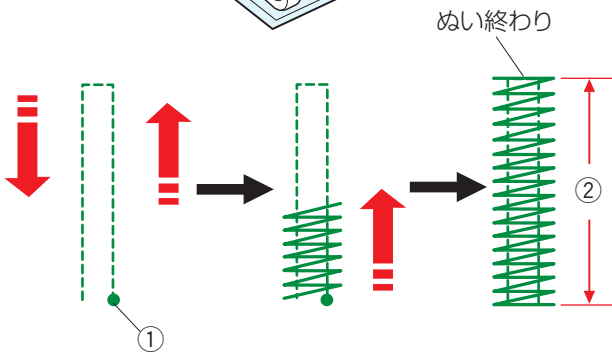
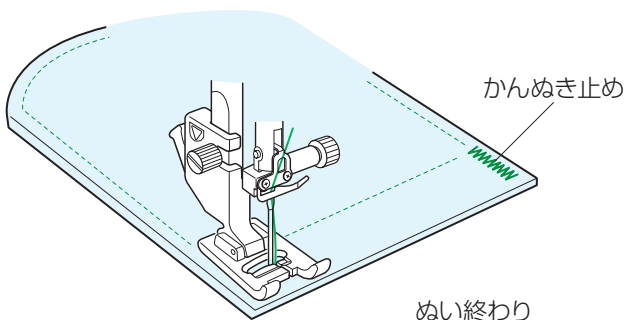
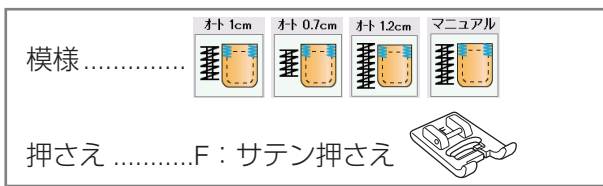
ボタンが厚すぎる場合、ボタンつけプレートは使用で
きません。

〔模様選択画面：かんぬき〕
(1/2 ページ)

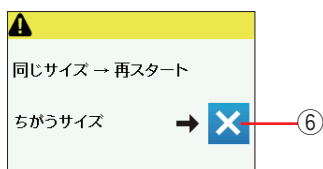
〔模様選択画面：かんぬき〕
(2/2 ページ)



ページキー




〔ぬい完了後のメッセージ画面〕






● かんぬき止め

かんぬき止めはポケットぐちなど、ぬい目に力がかかってほつれやすい部分などを補強します。


 キーを押すと、4 種類 (3 種類のオートかんぬき止めとマニュアルかんぬき止め) の模様を選べます。ページキーで画面を切りかえ模様を選択します。

F：サテン押さえを取り付けます。

【自動かんぬき止め】

模様    は、かんぬき止めの長さがそれぞれ 1 cm、0.7 cm、1.2 cm の固定値になっています。ぬい始めの位置 ① に針をおろし、ミシンをスタートさせます。選択した長さ ② がぬわれ、終わると自動的に止まります。

【マニュアルかんぬき止め】

模様  は、お好みの長さ (最大 1.5 cm) のかんぬき止めができます。ミシンをスタートさせ、必要な長さ ③ までぬい、返しぬいボタン ④ を押します。これでかんぬき止めの長さ ⑤ が決まります。ミシンが自動的に止まるまでぬいます。

メモ：

- マニュアルでぬえるかんぬき止めの長さは、最長 1.5 cm です。
- ぬい目の幅やあらかさは、調整画面のぬい目の幅調整キーとぬい目のあらかさ調整キーでかえることができます。(ぬい目のあらかさをかえると、自動でぬえる最大長さ「1.5 cm」もかわります。)

ぬい終わると、メッセージ画面が表示されます。ミシンはぬった長さ (サイズ) を記憶しています。

- 別の場所に同じ長さのかんぬきをぬう場合、この画面の状態のまま布の位置をかえてミシンをスタートさせます。返しぬいボタンを押さなくても同じ長さのかんぬきを自動的にぬってミシンは停止します。
- 違うサイズでぬう場合、閉じるキー ⑥ を押してメッセージ画面を消すと、記憶している長さは取り消されます。

〔模様選択画面：
アップリケ〕(1/2 ページ)

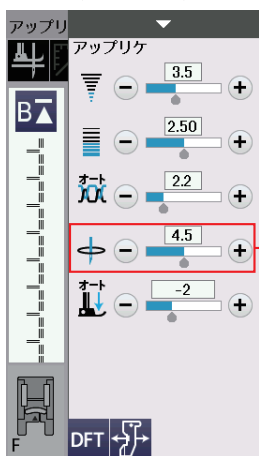


〔模様選択画面：
アップリケ〕(2/2 ページ)

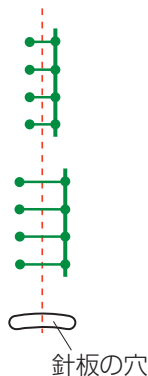


ページキー

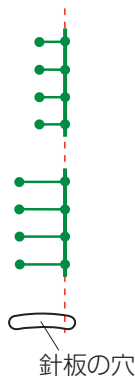
〔調整画面〕



M
(中針位置基準)



R
(右針位置基準)



● アップリケ

アップリケ



キーを押すと、6種類の模様を選べます。

ページキーで画面を切りかえ模様を選択します。

画面の模様選択キーに表示されている「M」、「R」は、ぬい目の幅をかえたときの基準位置です。

M: ぬい目の幅をかえたときに、中針位置（中央）を基準（固定）に左右に幅が変化します。

R: ぬい目の幅をかえたときに、右針位置を基準（固定）に左に幅が変化します。

アップリケの基準位置は、調整キー①を押して表示される調整画面の針位置調整キー②（「+」「-」キー）で調整できます。

ぬい幅は変わりません。



【ぬい方：模様 アップリケの例】

アップリケ布をのり付けするか、しつけで止めます。
模様の針位置が右のときに、アップリケ布の縁の外側に針が落ちるようにぬいます。


アップリケのコーナーでの回転


カーブのところや方向転換するところでは、アップリケ布の外側に針がささった位置でミシンを停止し、針をさしたまま押さえをあげて方向をかえるときれいに仕上がります。


※ ピボットぬい設定キー ① を押してピボットぬい設定をオンにすると便利です。(36 ページ参照)

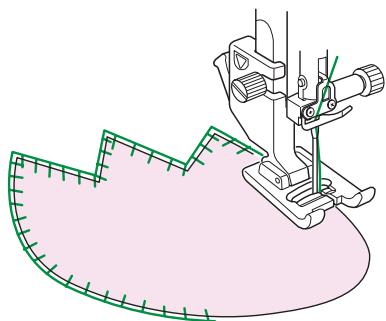
メモ：

アップリケの外側に針を落としたときにミシンを止めてください。

模様..... 

押さえF：サテン押さえ 


または F2：クラフト押さえ 




【模様選択画面：
アップリケ】(1/2 ページ)

① ②

アップリケ (1/2)

下位置停止状態 

上位置停止状態 

アップリケ アップリケ

ブランケットステッチ ブランケットステッチ

【針停止位置切りかえキーの使い方】

ミシンの設定で、針停止位置の設定が「上位置停止」に設定されていても、用途選択の6種類のアップリケ模様を選択すると、ミシンが停止したときの針位置は下位置になります。

ミシンを停止したときの針位置を上にした場合、模様選択画面の針停止位置切りかえキー ② を押して「上位置停止」状態にしてください。


※ ミシン設定の「針停止位置」は 136 ページをごらんください。


① ② ③


【模様選択画面：
アップリケ】(1/2 ページ)


③ ④

アップリケ (1/2)

通常の状態 

角ぬいの状態 

通常の状態 

角ぬいの状態 

アップリケ アップリケ

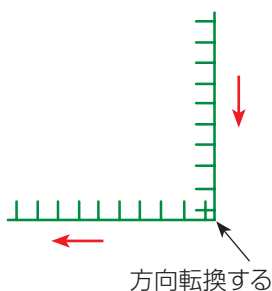
ブランケットステッチ ブランケットステッチ

【角ぬいキーの使い方】

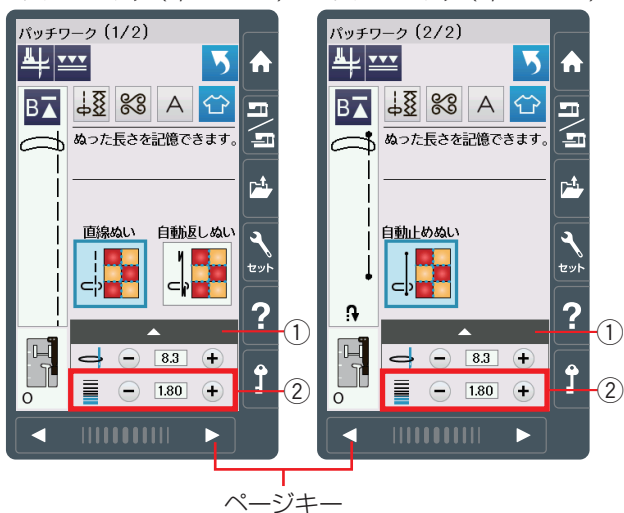
模様選択画面の角ぬいキー ③ を利用すると、角の部分で方向転換してから模様頭出しキー ④ によって模様を最初からぬっても、模様のぬい始めにほつれ止めの止めぬいが入らないので、模様をきれいにぬうことができます。

※ 模様頭出しキーの使い方は 86 ページをごらんください。

- ① 角ぬいキー ③ を押し、角ぬいの状態にします。(角ぬいの状態にすると、模様頭出しキー ④ の表示も角ぬい状態の表示にかわります。)
- ② 方向転換するところのアップリケ布の外側に針がささった位置でミシンを停止します。
- ③ 針をさしたまま押さえをあげて布の方向をかえ、模様頭出しキー ④ を押してからミシンをスタートさせます。



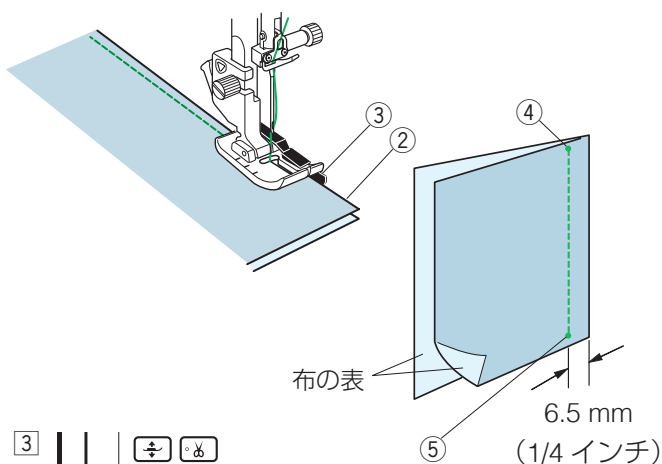
〔模様選択画面：パッチワーク (1/2 ページ) 模様選択画面：パッチワーク (2/2 ページ)〕



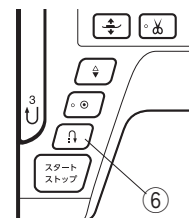
① 〔模様選択画面：パッチワーク (2/2 ページ)〕



②



③



● パッチワーク

パッチワークのピーシング (ぬい合わせ)

キーを押すと、パッチワーク (ピーシング) に適した 3 種類の模様が選べます。ページキーで画面を切りかえ模様を選択します。

ぬい目のあらかさはパッチワークのぬい合わせに最適な 1.8 mm に設定されていますが、ぬい目のあらかさ調整キー ② (「+」, 「-」キー) で変更できます。また調整キー ① を押して表示される調整画面でも変更できます。どちらを使用しても同じ設定ができます。

メモ：

- 3 種類の模様は、〇 : パッチワーク押さえを使い、6.5 mm (1/4 インチ) のぬいしろを正確にぬうことができます。

- 自動止めぬい、自動止めぬい、の模様はぬい始めと終わりに返しぬいおよび止めぬいを行います。(44 ページ参照)

- ピーシング用の模様は、キルトグループにもあります。(模様 $\begin{matrix} 1 \\ | \\ P \\ | \\ C \end{matrix}$ 、 $\begin{matrix} 2 \\ 1/4" \\ P \\ | \\ C \end{matrix}$ 、 $\begin{matrix} 3 \\ 7mm \\ P \\ | \\ C \end{matrix}$)

- キルト模様 $\begin{matrix} 2 \\ 1/4" \\ P \\ | \\ C \end{matrix}$ は、〇 : パッチワーク押さえを使うと、1/4 インチのぬいしろを正確にぬうことができます。

- キルト模様 $\begin{matrix} 3 \\ 7mm \\ P \\ | \\ C \end{matrix}$ は、〇 : パッチワーク押さえを使うと、7 mm のぬいしろを正確にぬうことができます。
- 直線針板を使用すると、針が布にささるときのばたつきがおさえられ、ぬい目が美しく仕上がります。

【ぬい方：模様 $\begin{matrix} \text{自動止めぬい} \\ | \\ C \end{matrix}$ の例】

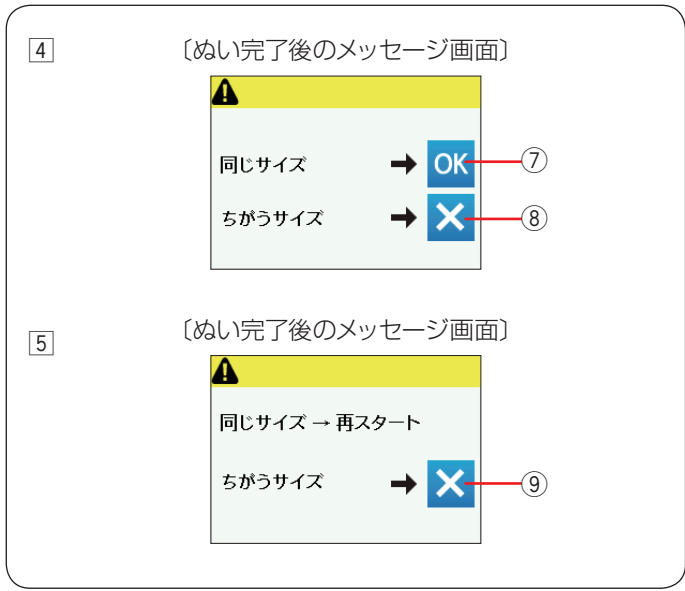
〇 : パッチワーク押さえを付けます。

① 「自動止めぬい」キー ① を押します。

② 布を中表に合わせ、布を押さえの下へ置き、布端 ② をガイド ③ に沿わせてぬいます。ぬい始めの位置 ④ からミシンをスタートさせ、ぬい終わりの位置 ⑤ でミシンを停止します。

③ 返しぬいボタン ⑥ を一度押します。

その位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。



④ ミシンを止めると、画面にメッセージが表示されます。OK キー ⑦ を押します。

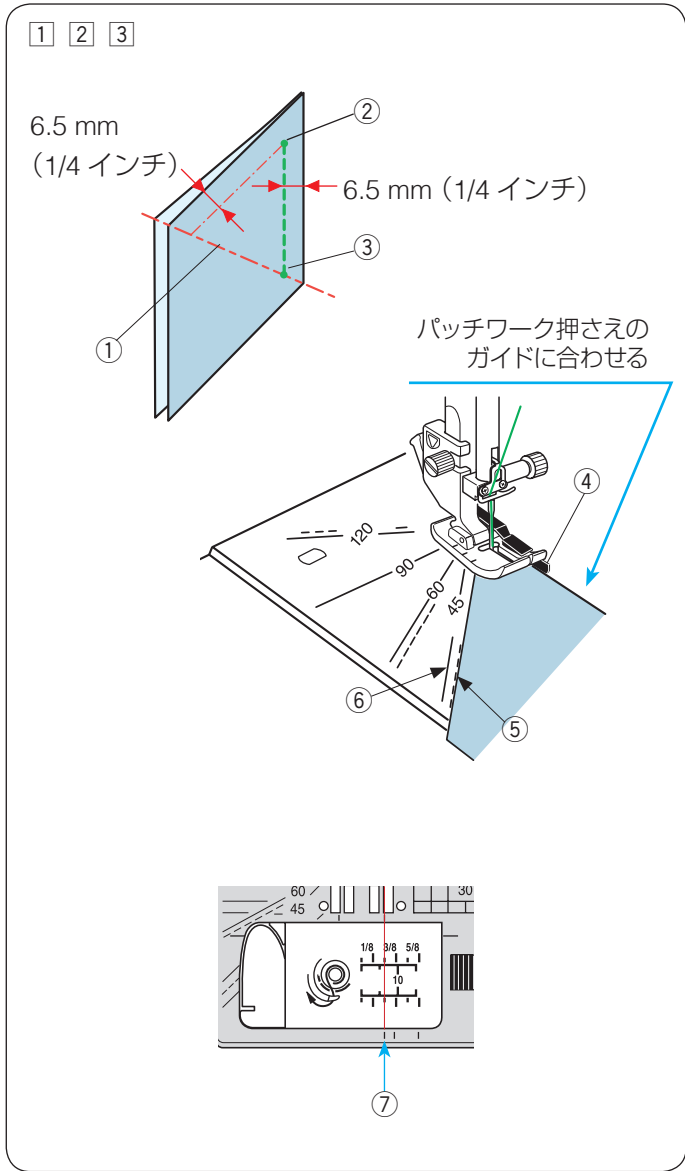
ぬった長さ（サイズ）が記憶され、ミシンをスタートさせるだけで、返しぬいボタンを押さなくても同じ長さを自動的にぬってミシンは停止します。

違うサイズでぬう場合、閉じるキー ⑧ を押します。

⑤ 記憶した長さでぬったあと、画面にメッセージが表示されます。

繰り返し同じ長さでぬう場合、ミシンをスタートさせます。


違うサイズでぬう場合、閉じるキー ⑨ を押します。



★ 針板角度目盛りの使い方

パッチワーク布（ピース）の角度と同じ角度目盛りに布端を合わせると、しるしなしで 6.5 mm (1/4 インチ) のぬい始めの位置を決めることができます。

例：レモンスター


○：パッチワーク押さえをセットし、用途選択のパッチワーク 3 種類の模様、またはキルトグループの模様  を選びます。

① ピースの対角線 ① に折り目を付けます。

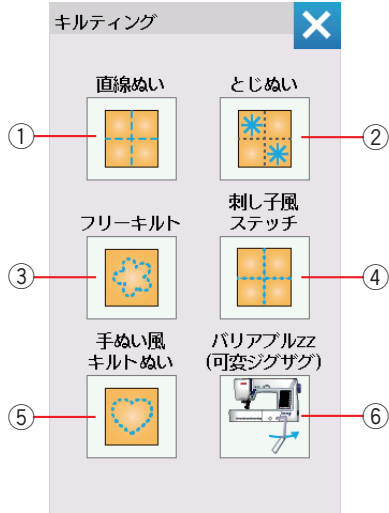
② ぬい始め ② は、布端をパッチワーク押さえのガイド ④ および角度目盛り「45」度〈点線〉⑤ に合わせて布を置きます。

③ ぬい終わり ③ は対角線までぬいます。

メモ：

○：パッチワーク押さえを使わず A：基本押さえなどを使用する場合、キルトグループの模様 （中針位置の直線）を選び、布端を針板の 1/4 インチガイドライン ⑦ および角度目盛り「45」度〈実線〉⑥ に合わせて布を置きます。

〔用途選択画面：キルティング〕



● キルティング

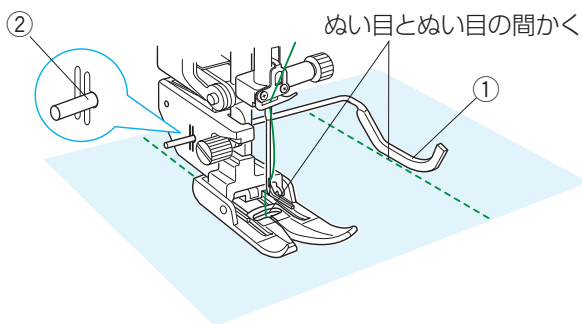
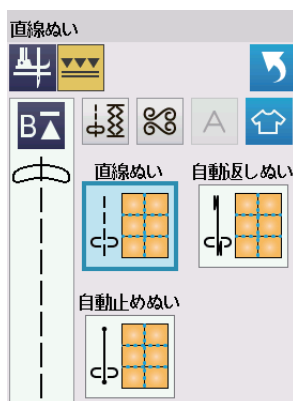


キーを押すと、6種類の用途選択画面になります。

以下の6種類のキルティング模様から選択できます。

- ① 直線ぬい
- ② とじぬい
- ③ フリーキルト
- ④ 刺し子風ステッチ
- ⑤ 手ぬい風キルトぬい
- ⑥ バリアブルZZ (可変ジグザグ)

〔模様選択画面：直線ぬい〕



★ 直線ぬい（上送り押さえ使用）

ここで説明する直線ぬいは、上送り押さえを使用して、キルトをぬい合わせるのに適しています。

上送り押さえの取り付けは18ページ、A：基本押さえでキルティングガイドを使う場合は76ページをごらんください。

【上送り押さえ使用時のキルティングガイドの使い方】

キルティングガイドを使うと、前にぬったぬい目と平行に等間かくでぬうことができます。

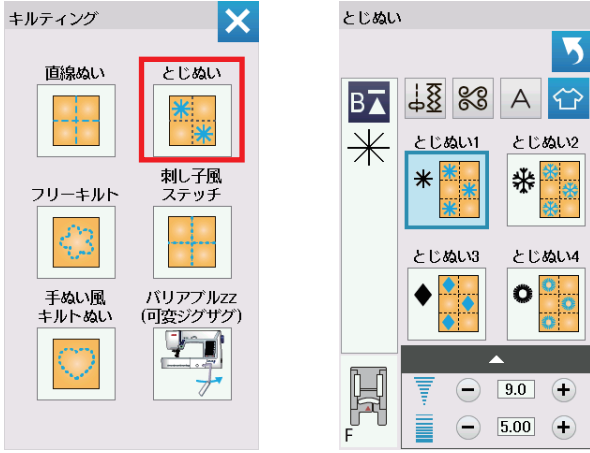
上送り押さえホルダーのうしろの取り付け穴②にキルティングガイド①を差し込みます。

針位置とキルティングガイド①のガイド部分までの距離がぬう間かくになります。

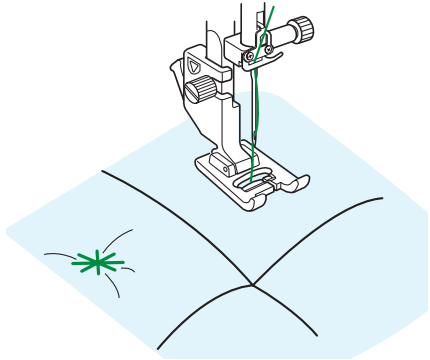
キルティングガイド①をスライドさせて、お好みの距離に調整してください。

既にあるぬい目にキルティングガイドを沿わせながら平行な直線をぬいます。

〔用途選択画面：キルティング〕 〔模様選択画面：とじぬい〕



模様..... 
押さえF：サテン押さえ 



★ とじぬい

キルティングの用途選択画面の「とじぬい」キーを押すと、4種類のとじぬい模様を選べます。

厚みのあるキルト綿をとじるときに使用します。

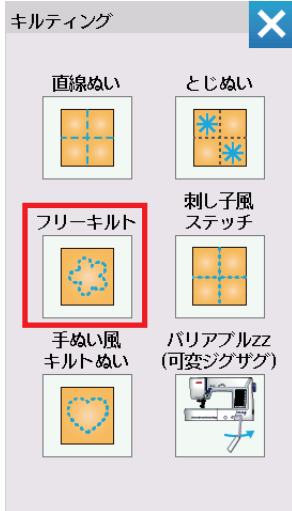
※ とじぬい模様は1つの模様が完成すると、ほつれ止めの止めぬいをしてミシンが自動的に停止します。

F：サテン押さえを使用します。

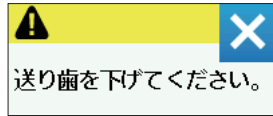
【ぬい方：模様  の例】

ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいます。

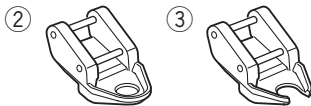
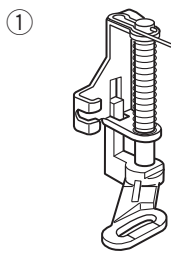
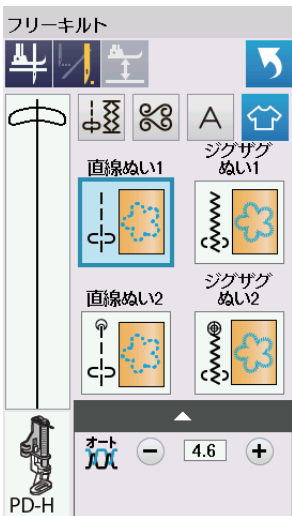
〔用途選択画面：フリーキルト〕



〔メッセージ画面〕




〔模様選択画面：フリーキルト〕






★ フリーキルト

キルティングの用途選択画面の「フリーキルト」キーを押すと、4種類のフリーキルティング模様が選べます。

※ フリーキルトを選択すると、送り歯があがっている場合、メッセージ画面が表示されます。送り歯ドロップつまみで送り歯をさげてください。(24ページ参照)

通常もしくは厚手のキルトの場合、模様  または

 を選択し、PD-H:フリーキルト押さえを使用します。

平らなところをぬうキルトでは模様  または  を選択し、フリーキルト押さえ (QC、QO、QV) のいずれかを使用します。

メモ：

- フリーモーションでキルトをぬうときは目とびを防ぐため、パープル針を使用してください。
- フリーキルト押さえを使用するときは、布を前後に強く引っばらないでください。針折れ、けが、故障の原因となります。

★ 各種フリーキルト押さえの特長

① PD-H：フリーキルト押さえ

直線模様、ジグザグ模様を使用します。普通地や厚手のキルトに使用する基本的な押さえです。

② QC：フリーキルト押さえ (丸穴)

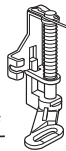
③ QO：フリーキルト押さえ (前あき)

直線模様を使用します。フリーキルトの基本的な押さえです。押さえ高さの調整ができ (127ページ参照)、一定の高さでぬう押さえです。前あきの押さえは、手元が見えやすいので細かな作業に適しています。

④ QV：フリーキルト押さえ (透明)

ジグザグ模様を使用します。押さえ高さの調整ができ (127ページ参照)、一定の高さでぬう押さえです。手元が見やすく、安定して布を押さえるので、段差のある作品にも適しています。また、ガイド線があるので先にぬったラインにガイド線を合わせて、次のラインを均等にぬうことができます。

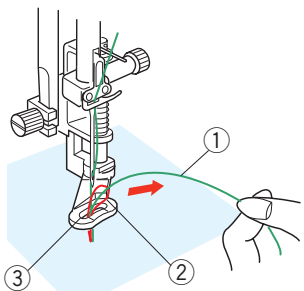
模様.....



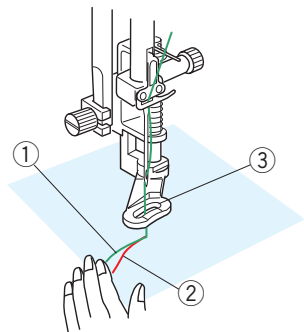
押さえ PD-H : フリーキルト押さえ

※ 送り歯をさげる (24 ページ参照)

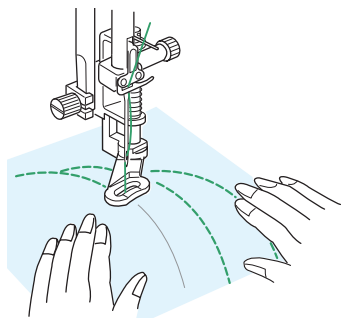
1 2 3



4



5



★ フリーキルト「直線ぬい1」のぬい方

両手で布を案内しながら中くらいのスピードでぬいます。1針あたり3mm以上布を動かさないでください。

※ PD-H : フリーキルト押さえの取り付けは、19 ページをごらんください。

1 布をセットし、上糸①の端を針から離れたところで持ちます。
上糸①は押さえの穴③に入れないでください。

2 ミシンをスタートさせます。
ミシンは1針ぬって停止します。

3 上糸①を上へ引いて、下糸②を引き出します。
※ 下糸②を布の裏側でぬい込まないために、布の上へ下糸②を引き出します。

4 引き出した上糸①と下糸②を押さえの穴③から下へ通します。
布の上のぬい込まない位置に手で押さえます。

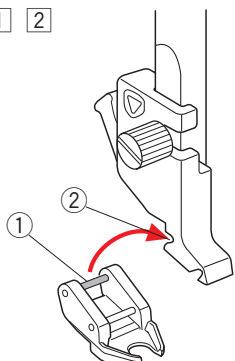
5 もう一度ミシンをスタートさせてぬい始めます。
図案に沿って両手で布を案内しながらキルティングします。

メモ :

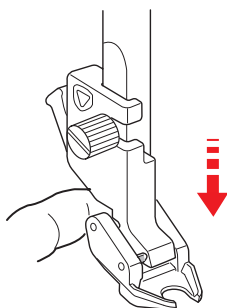
- フリーモーションでキルトをぬうときは目とびを防ぐため、パープル針を使用してください。
- フリーキルト押さえを使用するときは、布を前後に強く引っばらないでください。針折れ、けが、故障の原因となります。

QO : フリーキルト押さえ (前あき) の例

1 2



3



★ QC : フリーキルト押さえ (丸穴) / QO : フリーキルト押さえ (前あき) / QV : フリーキルト押さえ (透明) の取り付け方

(イラストは QO : フリーキルト押さえ (前あき) の例)

⚠ 注意 :

フリーキルト押さえの取り外し・取り付けは、必ずロックキーを押してミシンをロックして行ってください。けがの原因となります。

1 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタンを押して針をあげます。

※ ロックキーを押してミシンをロックして押さえを交換します。

※ 押さえの交換方法は、16 ページをごらんください。

2 押さえのうしろのピン①を、押さえホルダーのうしろのみぞ②にかけます。

3 押さえのうしろを軽くささえながら押さえあげをさげて取り付けます。ロックキーを押し、ロックを解除します。

※ 取り外すときはミシンをロックし、押さえホルダーのレバーを押して、押さえを外します。

模様..



押さえ

..... QC：フリーキルト押さえ（丸穴）

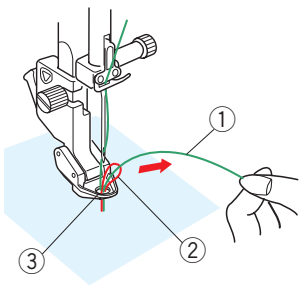


..... QO：フリーキルト押さえ（前あき）

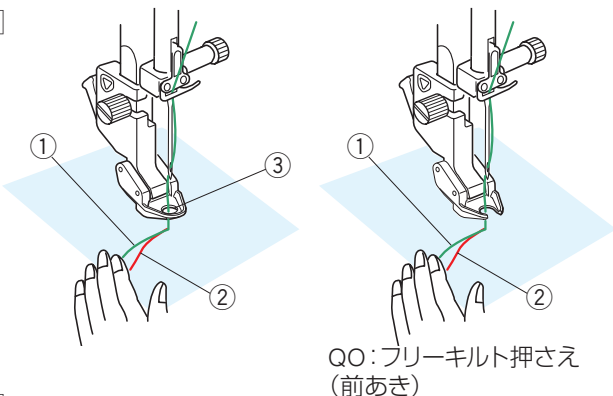


※ 送り歯をさげる（24 ページ参照）

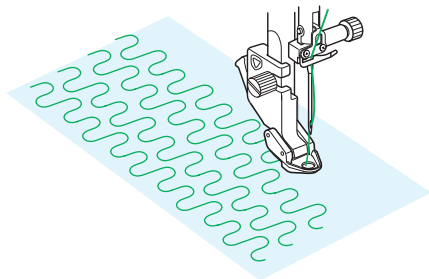
1 2 3



4



5



★ フリーキルト「直線ぬい2」のぬい方

両手で布を案内しながら中くらいのスピードでぬいます。

1 針あたり 3 mm以上布を動かさないでください。

※ QC：フリーキルト押さえ（丸穴） / QO：フリーキルト押さえ（前あき）の取り付けは、124 ページをごらんください。

※ 布の種類や厚さによってはすきまがあいたり、強く押さえすぎたりすることがあります。その場合は押さえ高さの調整をしてください。（127 ページ参照）

1 布をセットし、上糸①の端を針から離れたところで持ちます。

上糸①は押さえの穴③に入れないでください。

2 ミシンをスタートさせます。

ミシンは1針ぬって停止します。

3 上糸①を上へ引いて、下糸②を引き出します。

※ 下糸②を布の裏側でぬい込まないために、布の上へ下糸②を引き出します。

4 引き出した上糸①と下糸②を押さえの穴③から下へ通します。

布の上のぬい込まない位置に手で押さえます。

※ QO：フリーキルト押さえ（前あき）は押さえの穴がないので、引き出した上糸と下糸を横にして、押さえおきます。

5 もう一度ミシンをスタートさせてぬい始めます。

図案に沿って両手で布を案内しながらキルティングします。

メモ：

- フリーモーションでキルトをぬうときは目とびを防ぐため、パープル針を使用してください。
- フリーキルト押さえを使用するときは、布を前後に強く引っばらないでください。針折れ、けが、故障の原因となります。

模様....



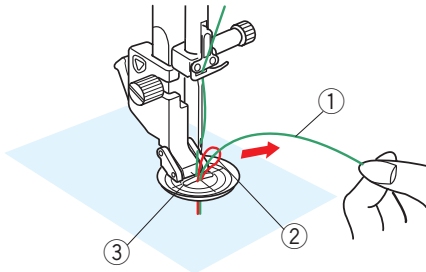
押さえ

.....QV: フリーキルト押さえ (透明)

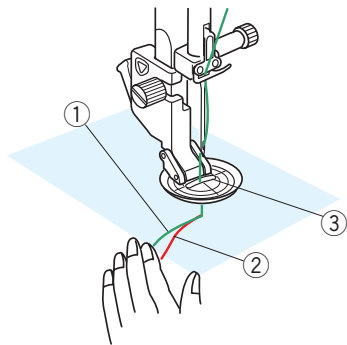
※ 送り歯をさげる (24 ページ参照)



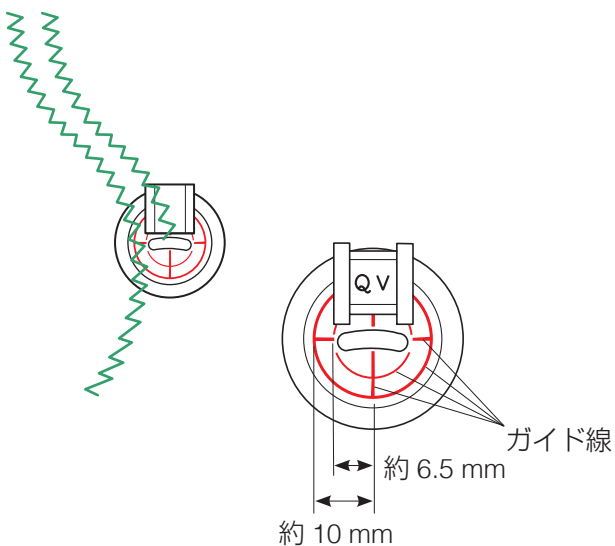
1 2 3



4



5



★ フリーキルト「ジグザグぬい2」のぬい方

両手で布を案内しながら中くらいのスピードでぬいます。
1針あたり3mm以上布を動かさないでください。

※ QV: フリーキルト押さえ (透明) の取り付けは、
124 ページをごらんください。

※ 布の種類や厚さによってはすきまがあいたり、強く押
さえすぎたりすることがあります。その場合は押さえ
高さの調整をしてください。(127 ページ参照)

1 布をセットし、上糸①の端を針から離れたところで
持ちます。
上糸①は押さえの穴③に入れないでください。

2 ミシンをスタートさせます。
ミシンは1針ぬって停止します。

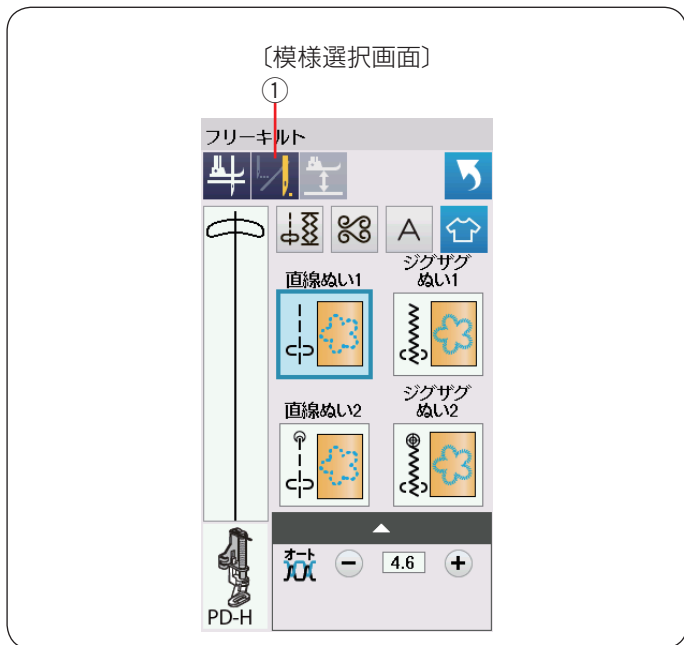
3 上糸①を上へ引いて、下糸②を引き出します。
※ 下糸②を布の裏側でぬい込まないために、布の
上へ下糸②を引き出します。

4 引き出した上糸①と下糸②を押さえの穴③から下
へ通します。
布の上のぬい込まない位置に手で押さえます。

5 もう一度ミシンをスタートさせてぬい始めます。
図案に沿って両手で布を案内しながら、ガイド線に合
わせて等間かくにキルティングします。


メモ:

- フリーモーションでキルトをぬうときは目とびを防ぐため、パープル針を使用してください。
- フリーキルト押さえを使用するときは、布を前後に強く引っばらないでください。針折れ、けが、故障の原因となります。





★ 1針停止ぬい

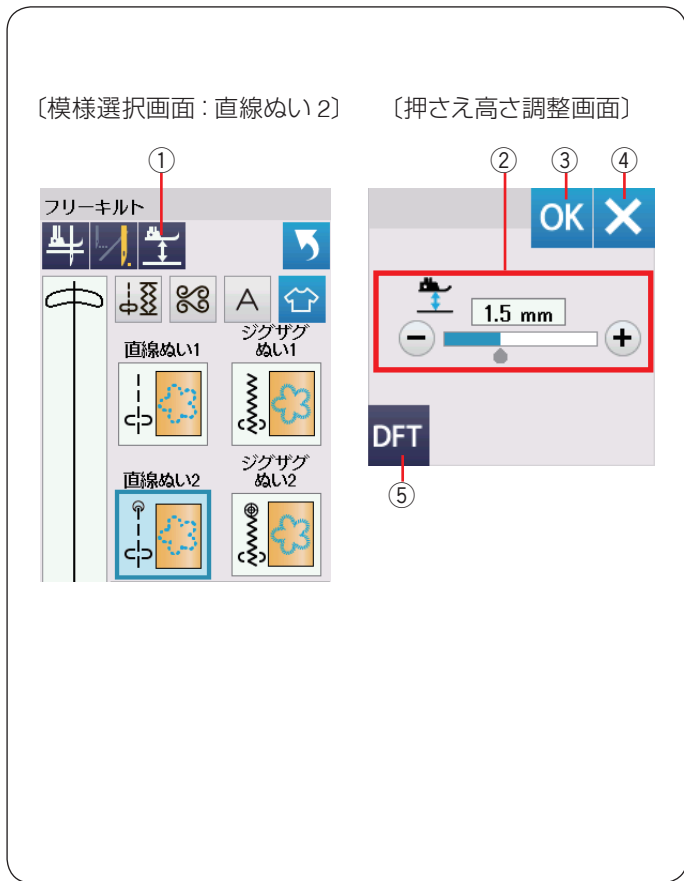
フリーキルティング模様を選んだ直後、模様選択画面の1針停止キーの表示は  になっています。

ミシンは1針ぬって停止し、キーの表示が  にかわります。

この表示の状態でもシンを再スタートさせると連続してぬえます。

最初から連続してぬいたい場合、1針停止キー①を押してキーの表示を  にかえてください。

1針停止キーは、押すごとに2つの表示が切りかわります。フリーキルト模様をぬったあと、そのまま同じ模様を別の場所にぬう場合、ミシンをスタートさせてから自動的に1針ぬって停止したいときは、1針停止キーを押してキーの表示を  にかえてください。



★ フリーキルト押さえ高さの調整

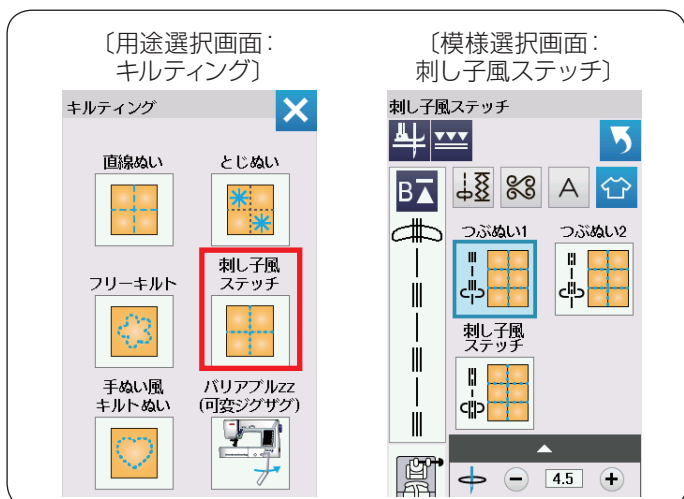
PD-H: フリーキルト押さえは、ぬい中最適な押さえ高さ (押さえの下面が布に軽く触れる位置) に自動セットされます。ただし、QC: フリーキルト押さえ (丸穴)、QO: フリーキルト押さえ (前あき)、QV: フリーキルト押さえ (透明) は、布の種類や厚さによってはすきまがあいたり、強く押さえすぎたりすることがあります。その場合は押さえ高さの調整をしてください。

※ ぬっているときに布が弾む場合、押さえの高さを下げます。押さえが布に引っかかる場合、押さえの高さをあげます。

- ① 押さえの下に布をしき、押さえを下げます。
- ② 押さえ高さ調整キー①を押すと、押さえ高さ調整画面が表示されます。
※ 高さのオート値 (電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値) は、1.5 mm です。
- ③ 「+」もしくは「-」キー②を押し、OKキー③を押して設定を登録します。

メモ:

- 閉じるキー④を押すと設定は変更されず、前の画面にもどります。
- 変更した値をオート値にもどす場合、初期化キー⑤を押して、OKキーを押します。



★ 刺し子風ステッチ

キルティングの用途選択画面の「刺し子風ステッチ」キーを押すと、3種類の刺し子風ステッチの模様が選べます。

アウトラインを目立たせる為のステッチで、手ぬい風のキルトになります。

〔用途選択画面：キルティング〕

〔模様選択画面：手ぬい風キルトぬい〕

キルティング

手ぬい風キルトぬい

直線ぬい とじぬい

フリーキルト 刺し子風ステッチ

手ぬい風キルトぬい

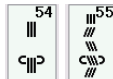
パリアブルZZ (可変ジグザグ)

模様.....

押さえF：サテン押さえ

★ 手ぬい風キルトぬい

キルティングの用途選択画面の「手ぬい風キルトぬい」キーを押すと、2種類の手ぬい風キルトぬいの模様が選べます。


※ 手ぬい風キルトぬいの模様は、キルトグループにもあります。(模様 ) (71 ページ参照)

【ぬい方：模様 の例】

上糸に透明なナイロン糸を使用し、下糸には通常の糸を使用します。針は 14 ~ 16 番を使用します。

下糸が布表に引き出されて手ぬいのようなぬいになります。

★ バリアブルZZ (可変ジグザグ)

キルティングの用途選択画面の  キーを押すと、6種類の可変ジグザグぬいの模様が選べます。ページキーで画面を切り替え模様を選択します。

【ぬい方：模様 の例】

ニーリフトを使用して、ひざでぬい目の幅を自由にかえることができるので両手が使えて便利です。ぬいながらニーリフトを右側に押すほどぬい目の幅が大きくなります。

PD-H：フリーキルト押さえでぬう場合、①-M または ①-L の模様を選びます。

送り歯をさげ、布を両手で案内してぬいます。

QV：フリーキルト押さえ (透明) で、平らなキルトをぬう場合、②-M または ②-L の模様を選びます。

送り歯をさげ、布を両手で案内してぬいます。

F：サテン押さえでぬう場合、③-M または ③-L の模様を選びます。

布は送り歯で送られ、ニーリフトでジグザクのぬい幅を調整できます。

〔模様選択画面：バリアブルZZ〕 (1/2 ページ)

〔模様選択画面：バリアブルZZ〕 (2/2 ページ)

①-M ①-L ③-M ③-L

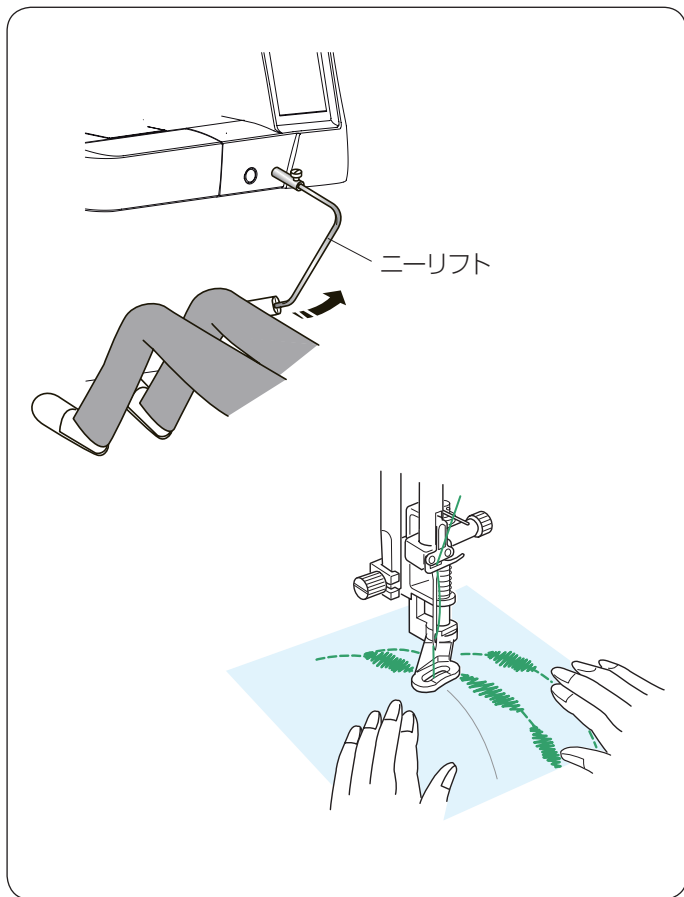
②-M ②-L

ページキー

模様.....

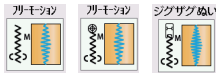
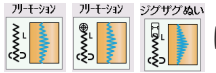
押さえPD-H：フリーキルト押さえ

※ 送り歯をさげる (24 ページ参照)

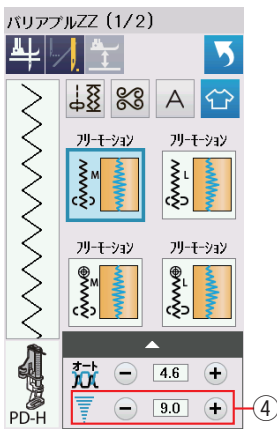


必要であれば、芯地を布の裏にあてます。
 布を両手で案内し、ひざでジグザグのぬい幅を調整しながら低～中速でぬいます。

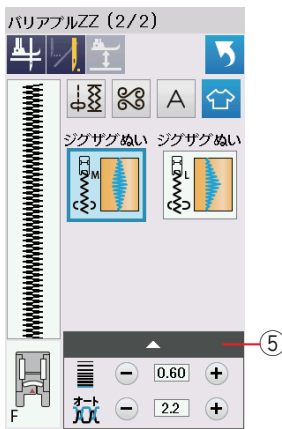
メモ：

- 模様  は、ぬい目の幅が中央を基準に左右に変化します。
- 模様  は、ぬい目の幅が左側を基準に右に変化します。
- 選んだ模様によって使用する押さえが異なります。正しい押さえを使用してください。
 PD-H：フリーキルト押さえの取り付けは 19 ページ、QV：フリーキルト押さえ（透明）の取り付けは 124 ページをごらんください。
- ぬい方は、124～126 ページと同じです。
- 1 針停止キーの使い方は、127 ページをごらんください。
- ミシンが停止しているとき、ニーリフトで押さえをあげることができます。（23 ページ参照）
- ニーリフトの移動量に対する針の振る量（ぬい目の幅）をかえることができます。（138 ページ「バリエアブル ZZ（可変ジグザグ）感度調整」参照）
- フリーモーションでキルトをぬうときは目とびを防ぐため、パープル針を使用してください。

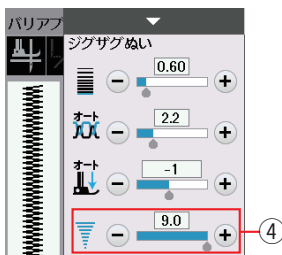
〔模様選択画面：バリエアブル ZZ〕（1/2 ページ）



〔模様選択画面：バリエアブル ZZ〕（2/2 ページ）



〔調整画面〕

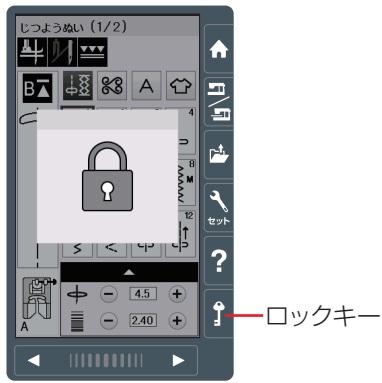


★ ジグザグのぬい幅の上限を設定

ジグザグぬいのぬい幅の上限を設定できます。

ぬい目の幅調整キー④の「+」か「-」キーを押してぬい目の最大幅を変更します。

F：サテン押さえを使用時、調整キー⑤を押し調整画面を全体表示させます。



◎ 2本針ぬい

⚠ 注意：

- 針を交換する場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。
- 付属の2本針以外は使わないでください。故障の原因となります。

付属の2本針を使用して2本針ぬいを行うと、きれいな飾りぬいができます。

メモ：

- 2本針ぬいは、じつようぬいグループおよび飾りぬいの模様グループができます。(模様によってはできない模様があります。)
- ボタンホールグループ、飾りぬい模様の模様組み合わせモード、文字ぬいおよび用途選択の模様はできません。
- 2本針ぬいには、付属の2本針を使用してください。針の取りかえ方は、22ページをごらんください。
- ぬい終わりの上糸と下糸はミシンの面板に付いている糸切りで切ってください。糸切りボタンを使用しないでください。(41ページ参照)
- 2本針ぬいは、試しぬいをして確認してください。

【上糸のかけ方】

メモ：

- A：基本押さえもしくはF：サテン押さえを使用します。
- 60番以下の細い糸を使用します。
- ぬう方向をかえる場合、布から針をぬき、押さえをあげてから布の向きをかえてください。2本針ぬいするとき、ピボットぬい設定は無効です。

※ 2本針ぬいを行うときは、補助糸立て棒を使います。補助糸立て棒を、補助糸立て棒取り付け穴に差し込みます。補助糸立て棒に糸こまを差し込み、糸こま押さえで固定します。

(25ページ「補助糸立て棒の使い方」参照)

2つの糸こまから引き出した2本の糸は、途中でよじれないように①～⑦の手順で正しくかけてください。

①～④

糸のかけ方は、針が1本ときの通常の上糸かけの手順①～④と同じです。(28ページ参照)

⑤ ①の糸はアーム糸案内に右からかけます。

②の糸はアーム糸案内の穴に通します。

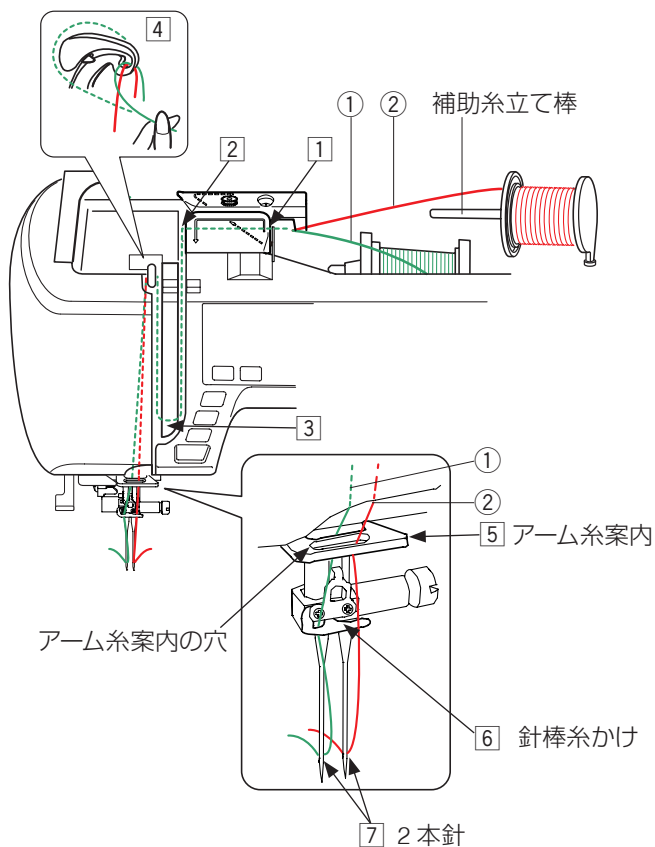
⑥ ①の糸は針棒糸かけに右からかけます。

②の糸は針棒糸かけにかけません。

⑦ 2本針に左右に分けて糸を通します。

※ 2本針は糸通しが使用できません。

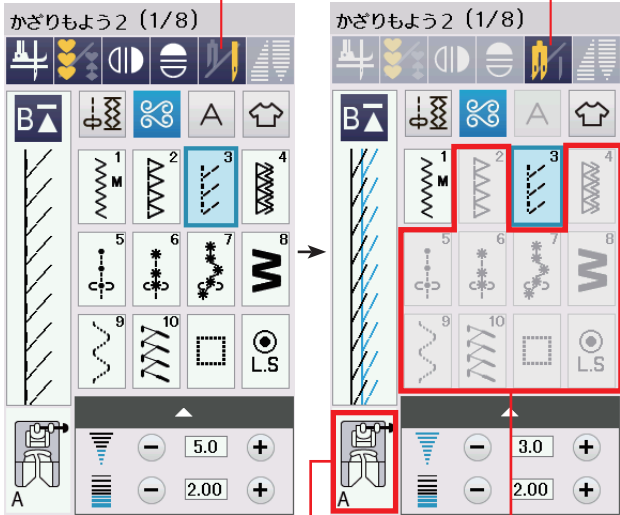
糸を通すときは、手で針の手前から向こう側に通してください。



1 2

〔模様選択画面〕
1本ぬい設定状態

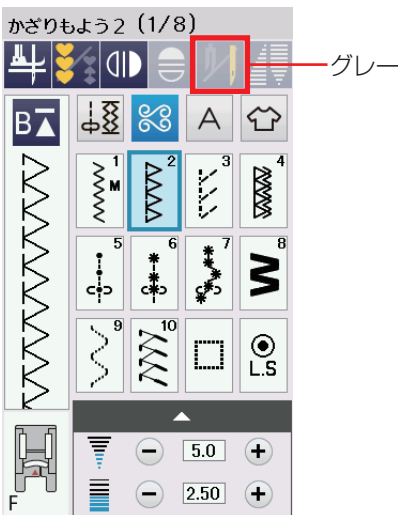
〔模様選択画面〕
2本ぬい設定状態



押さえ表示 2本ぬいに適さない模様はグレーになります。

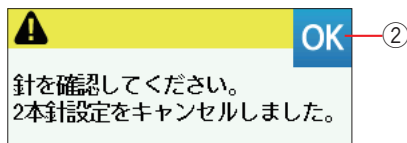
〔画面【A】〕

2本ぬいに適さない模様が選ばれている場合の画面




4

〔メッセージ画面〕



【ぬい方】

(かざりもよう2の模様  の例)

① 模様選択画面の2本針ぬい切りかえキー①を押して2本針ぬい設定にします。



※ ぬい目の幅が最大3.0mmに制限されます。直線状模様の場合、針位置が3.0～6.0の範囲に制限されます。2本針ぬいを行うときは、安全のために、必ず2本針ぬい切りかえキー①を押して2本針ぬい設定状態にしてください。

※ 2本針ぬい設定状態にすると、2本針ぬいに適さない模様はグレーになり、選択できません。

1本針ぬい設定状態で2本針ぬいに適さない模様が選ばれているときは、2本針ぬい切りかえキー①がグレーになり、押しも受け付けられません。(左図、画面【A】参照)

2本針ぬいに設定する場合、2本針ぬいに適した模様を選び、2本針ぬい設定状態にしてください。

② ぬう模様に適した押さえに交換します。

※ 2本針ぬいに使用する押さえは、A：基本押さえまたはF：サテン押さえです。

画面の押さえ表示にしたがい、押さえを交換します。

③ 使用する押さえによって下記のように上糸を引き出し、押さえ上げをさげてぬい始めます。

- A：基本押さえ
押さえの下から向こう側に引き出す
- F：サテン押さえ
押さえの下から横に引き出す

※ ぬい方向をかえるときは、針をあげてから布の方向をかえます。

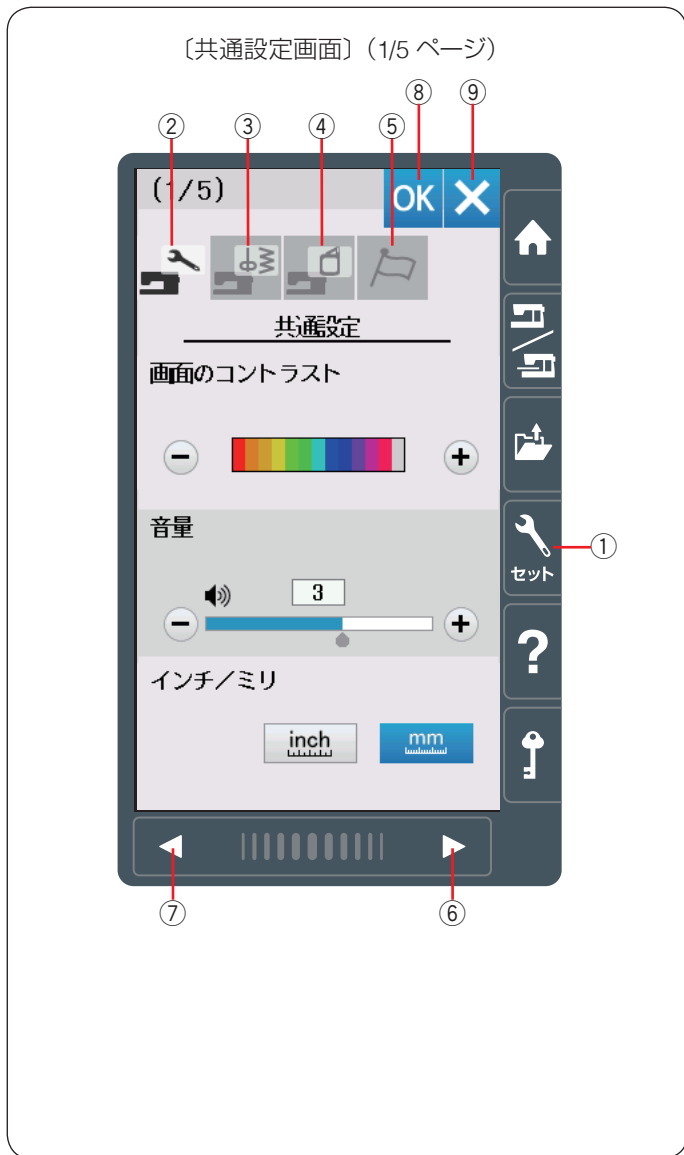
④ 2本針ぬいが終了したら通常の針に交換します。

※ 2本針を取り付けた状態で通常のぬいを行うと、針が押さえや針板にあたる場合があります。

※ 2本針ぬい設定を解除する場合、再度2本針ぬい切りかえキー①を押すか、電源スイッチを切り、再度電源スイッチを入れます。

2本針ぬい切りかえキー①を押した場合、針交換確認のメッセージ画面が表示されます。

OKキー②を押すとメッセージ画面が消えます。



◎ ミシンの設定

● ミシン設定モード

セットキー①を押し、ミシンの設定を変更します。ミシンを初期状態（購入時の設定状態）からお好みの状態に設定することができます。ミシン設定のモードを下記4つのキーから選びます。

② 共通設定キー

通常ぬいと刺しゅう共通の設定画面を表示させます。

③ 通常ぬい設定キー

通常ぬい専用のミシン設定画面を表示させます。(136～139ページ参照)

④ 刺しゅうぬい設定キー

刺しゅう専用のミシン設定画面を表示させます。(191～195ページ参照)

⑤ 言語設定キー

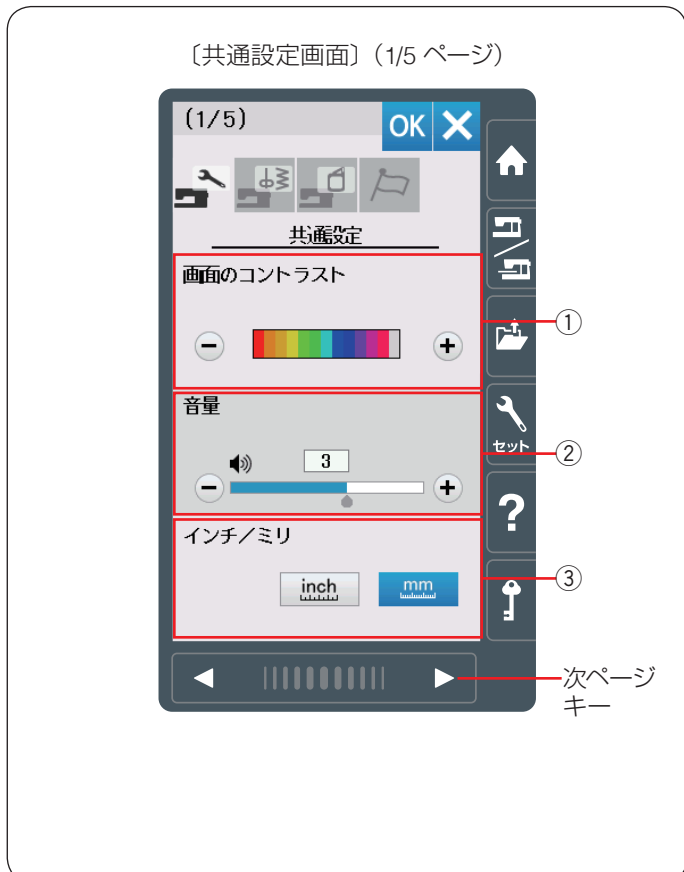
言語設定画面を表示させます。画面に表示される言語を設定します。(140ページ参照)

各設定画面でページを移るには、次ページキー⑥か、前ページキー⑦を押します。

設定の登録

設定を変更した場合、OK キー⑧を押し新しい設定を適用します。

閉じるキー⑨を押すと、変更がキャンセルとなり、設定画面が終了します。



● 共通設定

① 画面のコントラスト

画面のコントラストを「+」、「-」キーで調整します。

② 音量

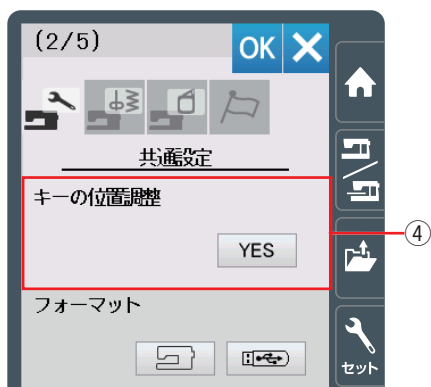
キーを操作したときに鳴るブザーの音量を「+」、「-」キーで調整します。〈OFF・1～5の6段階、初期値：3〉

③ インチ/ミリ

画面に表示される数値の単位（インチ/ミリ）を切りかえます。ただし、調整画面のぬい目の幅やあらかの数値はわかりません。〈初期設定：ミリ〉

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。

〔共通設定画面〕 (2/5 ページ)

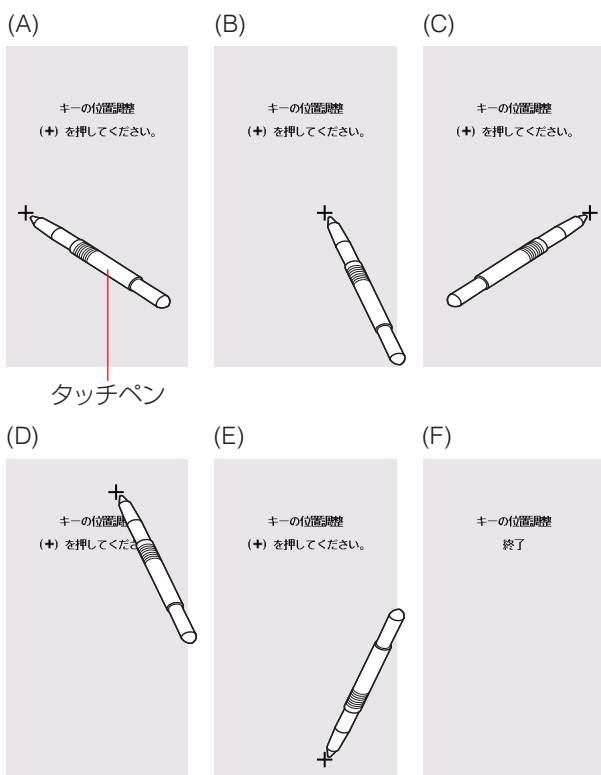


④ キーの位置調整

画面上のキー表示の位置と実際のキーの位置がずれていて、押しても反応しない場合などに調整します。

調整する場合、画面の YES キーを押し調整モードに入ります。

〔キーの位置調整画面〕

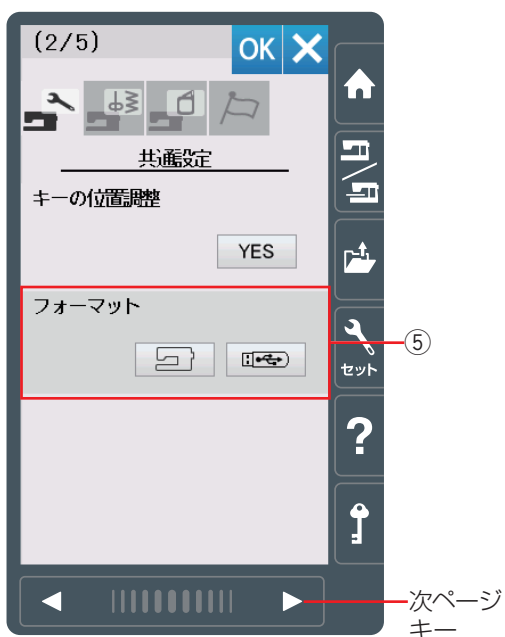


付属のタッチペンで「+」の中心を押します。

押すと、次の画面に切りかわるので、順番に (A) ~ (E) の画面の「+」の中心を押します。

(E) の画面が終了すると (F) の画面が数秒表示され、共通設定画面にもどります。

〔共通設定画面〕(2/5 ページ)



⑤ フォーマット

ミシンの内蔵メモリおよび USB メモリをフォーマットします。

内蔵メモリをフォーマットする場合はミシンのアイコン、USB メモリフォーマットする場合は USB メモリアイコンを押し、フォーマット画面を表示させます。

「OK」キーを押しフォーマットします。

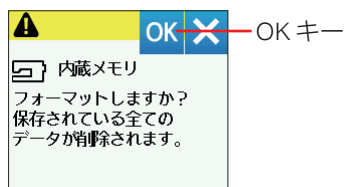
※ フォーマットすると、現在保存されている通常ぬいと、刺しゅうの模様データおよび、読み込んだスクリーンセーバーのデータがすべて消えます。

⚠ 注意：

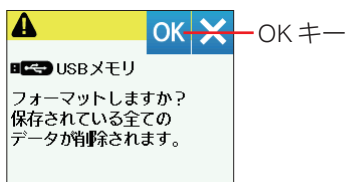
画面に警告メッセージが出ているあいだ、電源を切ったり、USB メモリを抜いたりしないでください。データが消えるなど、損傷する恐れがあります。

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。

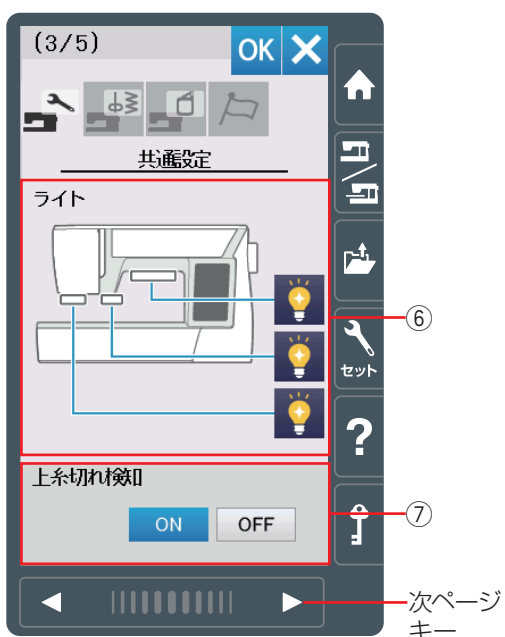
〔内蔵メモリフォーマット画面〕



〔USB メモリフォーマット画面〕



〔共通設定画面〕(3/5 ページ)



⑥ ライト

3カ所のライトのキーを押し、オンとオフを設定できます。
〈初期設定：3カ所ともオン〉

⑦ 上糸切れ検知

ぬい途中に上糸が切れた場合、切れたことを知らせてミシンを停止する上糸切れ検知機能の設定をします。

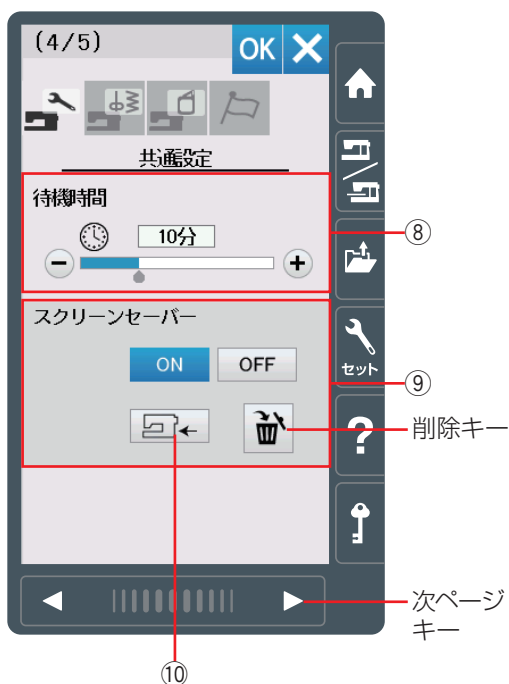
上糸切れ検知あり（「ON」）、なし（「OFF」）を設定します。上糸無しでミシンを動かしたいときは「OFF」に設定してください。

〈初期設定：ON〉

通常は、「ON」に設定してください。途中で上糸が切れてしまったあとの無駄なぬいを防ぎます。

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。

〔共通設定画面〕 (4/5 ページ)



⑧ 待機時間

電源を入れたままミシンを使用しない状態が続いた場合、一定時間が経過するとミシンのライトが消え、ミシンは省エネモードとなります。省エネモードに入るまでの時間を設定します。

〈1～30分および OFF (なし)、初期値：10分〉

省エネモード中、画面や操作ボタンにさわると元の画面にもどり、ミシンのライトも点灯します。

「OFF」に設定したい場合、画面に「OFF」が表示されるまで「+」キーを押します。

⑨ スクリーンセーバー


「ON」/「OFF」キーを押し、省エネモード中にスクリーンセーバーを表示するかどうかを設定します。

〈初期設定：ON〉

読み込みキー ⑩ を押すと、USB メモリからスクリーンセーバーを読み込むことができます。

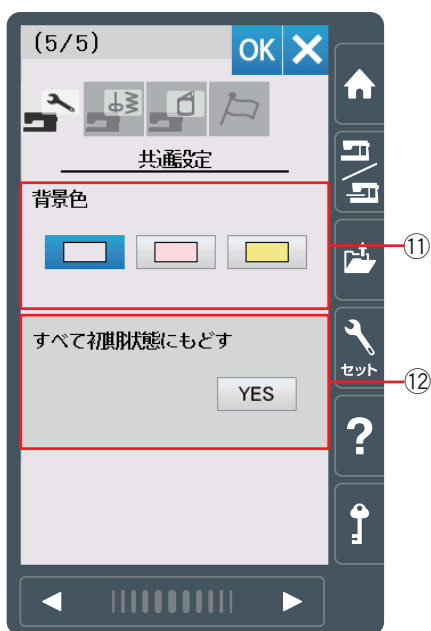
付属のアクセサリ「スクリーンセーバーツール」を使用して、オリジナルのスクリーンセーバーを作成することができます。

※ 詳しくは「スクリーンセーバーツール」の画面にあるヘルプをごらんください。

削除キー  を押したり、内蔵メモリをフォーマットしたりすると (134 ページ参照)、オリジナルのスクリーンセーバーのデータは削除されます。

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。

〔共通設定画面〕 (5/5 ページ)



⑪ 背景色

画面の背景色を3つのパターンから設定します。

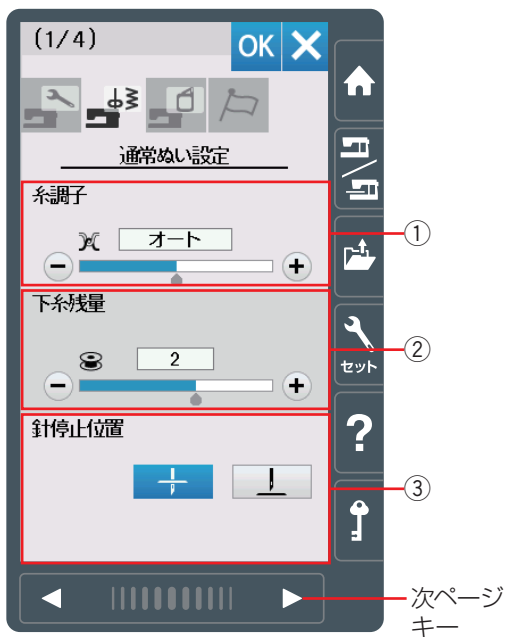
〈初期設定：グレー〉

⑫ すべて初期状態にもどす

通常ぬいと刺しゅうの共通項目、通常ぬい専用項目、刺しゅう専用項目で設定したすべての内容を初期の状態(購入時の設定状態)にもどすことができます。

ただし、言語設定はもどりません。

〔通常ぬい設定画面〕 (1/4 ページ)



● 通常ぬい設定

① 糸調子

模様を選ぶと、標準的な条件において最適な糸調子になるよう自動で設定されますが、自動で設定される値（オート値）をすべての模様に対して全体的に強くしたり（+）、弱くしたり（-）できます。

〈オート -5 ~ オート +5 の 11 段階、初期値：オート〉

② 下糸残量

下糸の残量が少なくなった場合に検出して知らせる機能です。数値が大きいほど、早め（下糸残量が多いとき）に検出されます。「+」/「-」キーで設定します。

〈OFF（なし）、0.5、1 ~ 4 の 6 段階、初期値：2〉

「OFF」に設定したい場合、画面に「OFF」が表示されるまで「-」キーを押します。

③ 針停止位置

ミシンを止めたときに、針を上で位置で停止させるか下の位置（布にささった位置）で停止させるかを設定します。ボタンホール、特殊ぬい、文字ぬいなどを除き、針は下位置で止まりますが、針停止位置を上位置に変更できます。

〈初期設定：下位置停止〉

メモ：

ピボットぬい設定をオンにしていると、「針停止位置」を上停止位置に設定しても針は下位置で止まります。（36 ページ参照）


次ページキーを押し、次のメニューに移動します。

〔通常ぬい設定画面〕 (2/4 ページ)



④ スロースタート調節

ミシンをスタートさせたとき、ぬい始めの速度はゆっくり動きはじめてから、徐々にスピードコントロールつまみで設定した速さになります。

ぬい始めの速度を （遅い）、（普通）、（速い）の 3 段階にかえることができます。

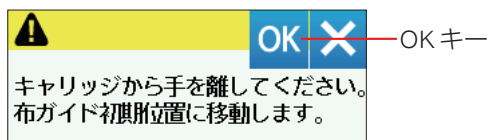
上段はスタート/ストップボタン使用時、下段はフットコントローラー使用時の調節ができます。

〈初期設定：普通〉

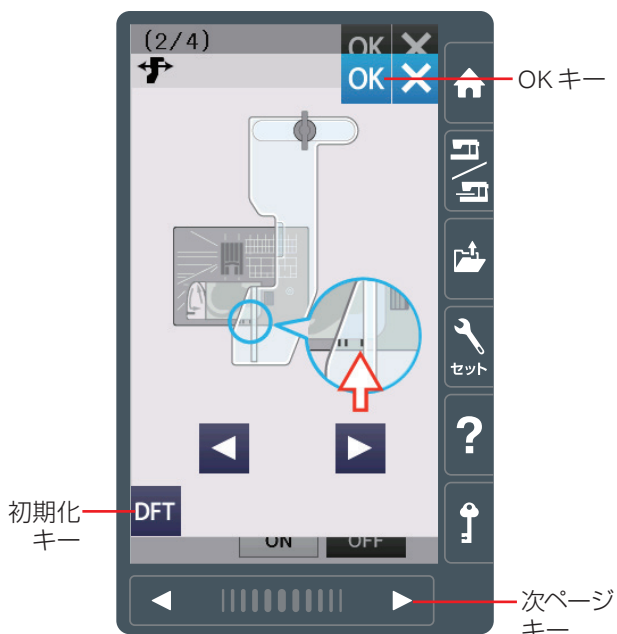
〔通常ぬい設定画面〕 (2/4 ページ)



〔メッセージ画面【A】〕



〔初期位置調整画面〕



〔メッセージ画面【B】〕



⑤ 布ガイド 初期位置調整

メモ：

布ガイドの初期位置を調整するには、刺しゅうユニットをミシンに取り付けます。(142 ページ参照)

布ガイドの初期位置を調整できます。(中針位置から 15 mm 離れた場所が布ガイドの初期位置です。)

YES キーを押すとメッセージ画面【A】が表示されます。

OK キーを押すとキャリッジが初期位置に移動します。

◀ キーか、▶ キーを押して布ガイドの初期位置を調整します。

OK キーを押すと調整量が決定され、布ガイドのすべての位置でこの調整量が適用されます。(通常ぬい設定画面の OK キーが押されるまで確定はされません。)

画面は、キャリッジが収納位置にもどることを示すメッセージ画面【B】が表示されるので、メッセージ画面の OK キーを押すと、通常ぬい設定画面にもどります。

※ 初期の状態 (購入時の設定状態) にもどる場合、初期位置調整画面で初期化キーを押し、OK キーを押してください。

⑥ 布ガイド 位置記憶

布ガイドを設定したとき、通常はキャリッジが布ガイドの初期位置 15 mm に移動しますが、布ガイドの位置記憶を「ON」にすると、この位置を前回最後に使用した位置にすることができます。

<初期設定：OFF>

※ 布ガイドの設定方法は、38 ページの「布ガイド設定キー」をごらんください。

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。

〔通常ぬい設定画面〕 (3/4 ページ)



⑦ 押さえ上げ高さ (ピボット)

ぬいを止めたとき、押さえが自動であがる高さを調整することができます。(36 ページ参照)

数値が大きいほど、押さえ上げの高さが高くなります。

「+」か「-」キーで設定します。

〈0.5 ~ 6.0 mm (0.5mm 単位) 12 段階、初期値 : 3.0 mm〉

⑧ 押さええ圧

押さええ圧は適切になるよう自動で調整 (オート) されますが、「+」、「-」キーで好みの押さええ圧に調整できます。

〈オート -5 ~ オート + 4 の 10 段階、初期値 : オート〉

⑨ バリアブル ZZ (可変ジグザグ) 感度調整

バリアブル ZZ (可変ジグザグ) をぬうとき、ニーリフトで動く量を調整できます。

「1」に設定すると、ニーリフトを小さく動かすだけで、針棒は動く設定になります。

「3」に設定すると、ニーリフトを大きく動かすと、針棒が動く設定になります。

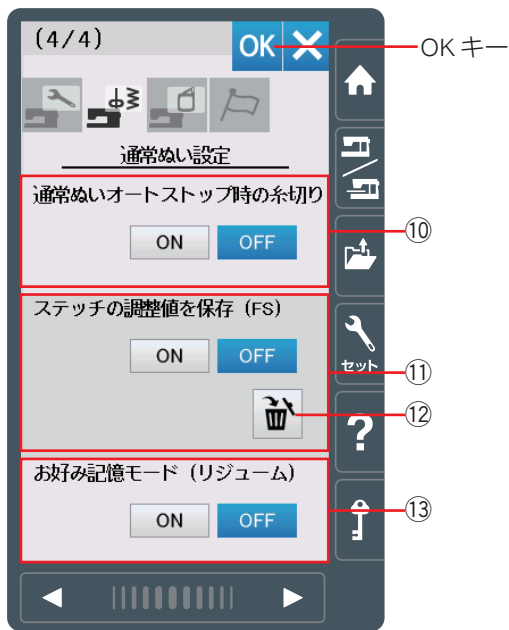
「-」キーを押して感度をあげます。

「+」キーを押して感度を下げます。

〈1 ~ 3 の 3 段階、初期値 : 2〉

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。

〔通常ぬい設定画面〕 (4/4 ページ)



⑩ 通常ぬいオートストップ時の糸切り

「ON」に設定すると、ぬい終わったあと糸切りボタンを押さなくても自動で糸を切ることができます。

<初期設定：OFF>

※「ON」に設定すると、ボタンホールグループの模様および文字ぬいなど、模様の最後にほつれ止めの止めぬいが入っていて、ぬい終わると自動的にミシンが停止する模様は、ミシンが停止すると同時に自動的に糸を切ります。

その他の模様も、止めぬいボタンまたは返しぬいボタンでぬい終わりに止めぬいを入れてミシンを停止した場合、ミシンが停止すると同時に自動的に糸を切ります。

⑪ ステッチの調整値を保存 (FS)

模様を選ぶと、模様のぬい目の幅やあらかさ、糸調子などはオート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）に設定されますが、本項目を「ON」に設定すると、オート値を模様ごとにお好みの値に変更して保存できます。(37 ページ参照)

オート値をお好みの値に変更し保存すると、その模様を選ぶだけで、設定した値でぬうことができます。

本項目を「OFF」に設定すると、変更した全模様のオート値は初期の状態（購入時の設定状態）に戻ります。

ただし、変更したオート値は記憶されているので、再度本項目を「ON」に設定すると、変更したオート値に戻すことができます。

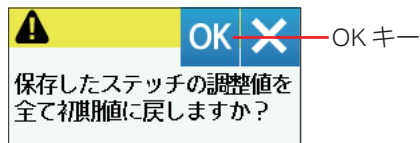
削除キー ⑫ を押すとメッセージ画面が表示されます。OK キーを押すと全模様のステッチ調整値は削除されます。

<初期設定：OFF>

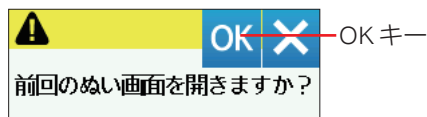
メモ：

本項目は、文字ぬい、ユーザー作成模様以外の通常ぬいに適用されます。

〔ステッチの調整値を削除時のメッセージ画面〕



〔お好み記憶モード (リジューム) オン時のメッセージ画面〕



⑬ お好み記憶モード (リジューム)

「ON」に設定すると、電源スイッチを入れたとき、前回最後にぬっていた模様の画面が表示され、ぬい目の幅やあらかさ、糸調子などの設定値も前回と同じ条件でぬうことができます。

「ON」に設定し電源スイッチを入れると、メッセージ画面が表示されます。

メッセージ画面の OK キーを押すと前回最後にぬっていた模様の画面になります。

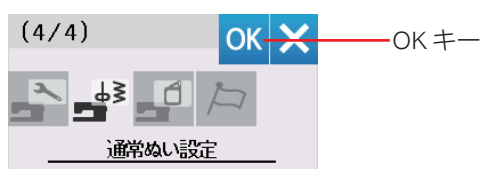
<初期設定：OFF>

メモ：

以下の条件では、最後にぬった模様の記憶が削除されます。

- ユーザー作成模様を読み込みキーで読み込んだとき。
- ユーザー作成模様を削除キーで削除したとき。
- ユーザー作成模様を「ステッチコンポーザー」で削除、読み込み、名前を変更したとき。
- 内蔵メモリをフォーマットしたとき。

〔通常ぬい設定画面〕 (4/4 ページ)



設定変更後は、通常ぬい設定画面の OK キーを押して変更した設定を適用します。

(言語設定画面)



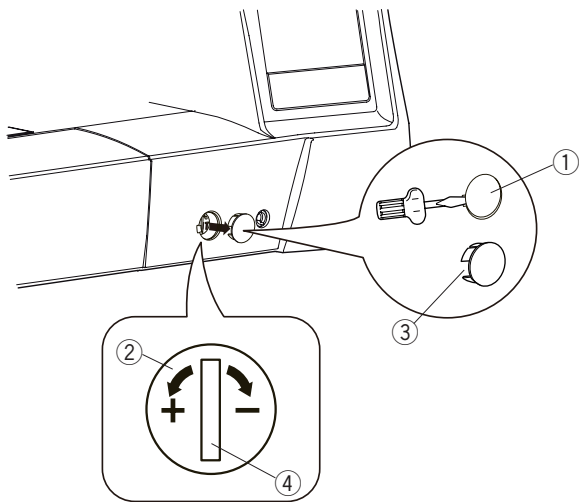
● 言語設定

画面に表示されている言語を 13 カ国の中から設定することができます。

お好みの言語を選択して、OK キーを押します。

選択した言語でメッセージが表示されます。

〈初期設定：日本語〉



● 模様形の調整（送り調整ねじ）

布の種類や厚さなど、ぬいの条件によって模様形がくずれる場合があります。

ぬうときと同じ条件で試しぬいをし、模様形がくずれる場合は送り調整ねじ②で調整します。

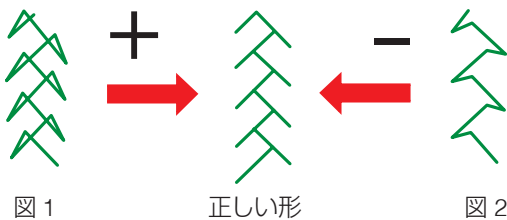
キャップ①を外すと調整ができます。

キャップ①は、左側のすきまにドライバーを入れて外します。（ミシン本体および、キャップに傷がつかないように注意してください。）

取り付けるときはキャップの欠けている部分③を左側にし、取り付け部の突起に合わせてはめ込みます。

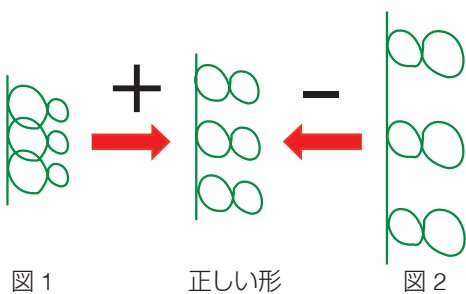
メモ：

- 左図のように指示線④を垂直にした位置が、標準的な条件での模様を正しくぬえる目安の位置です。
- 送り調整ねじの位置をかえた場合、ぬい終わったあと標準位置（指示線④が垂直位置）にもどしてください。



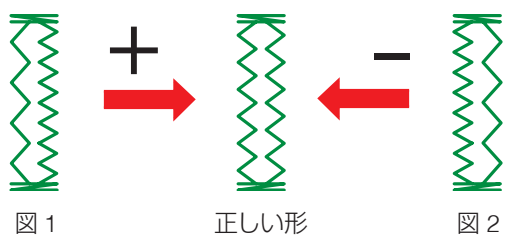
【模様形の整え方】（キルトグループ；模様 の例）

- 図1のように模様がつまっているときは、送り調整ねじを「+」方向にまわします。
- 図2のように模様が伸びているときは、送り調整ねじを「-」方向にまわします。



【文字や数字の形の整え方】（数字「8」の例）

- 図1のように文字がつまっているときは、送り調整ねじを「+」方向にまわします。
- 図2のように文字が伸びているときは、送り調整ねじを「-」方向にまわします。



【ニットボタンホール 、 の左右のぬい目のあ

さの整え方】（模様 の例）

- 図1のように左側があらいときは、送り調整ねじを「+」方向にまわします。
- 図2のように右側があらいときは、送り調整ねじを「-」方向にまわします。

◎ 刺しゅう

● 刺しゅうの準備

⚠ 注意：

刺しゅう枠を自由に動かせる十分なスペースをとってください。
左図で示した範囲に物を置かないでください。故障やけがの原因となります。

★ 刺しゅうユニットの取り付け方

- 1 電源スイッチ ① を切ります。
刺しゅうユニット取り付け部カバー ② を外します。

メモ：

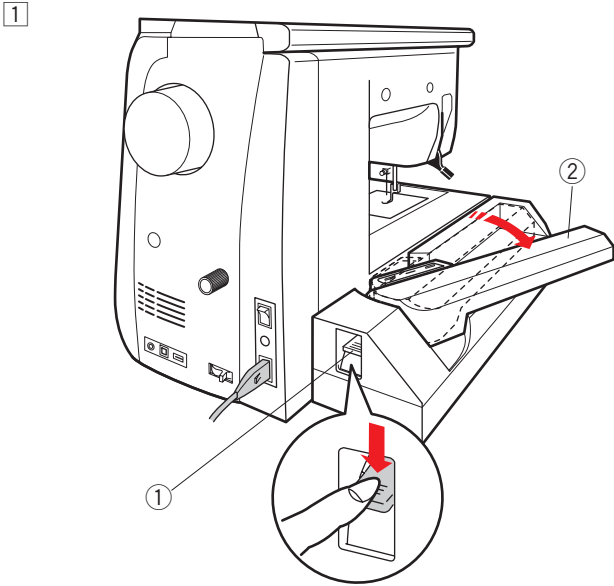
フリーアーム刺しゅう枠 (FA10a) を使用するとき以外は、必ず補助テーブル ③ をミシンに付けてください。

- 2 刺しゅうユニット ④ を両手で持ち、図のようにマーク ⑤ 同士を合わせます。

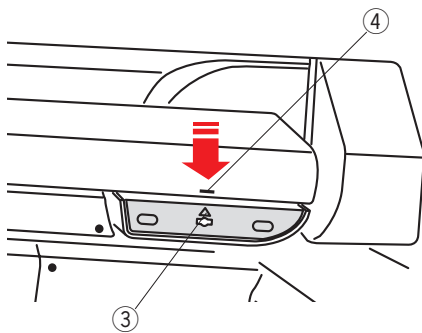
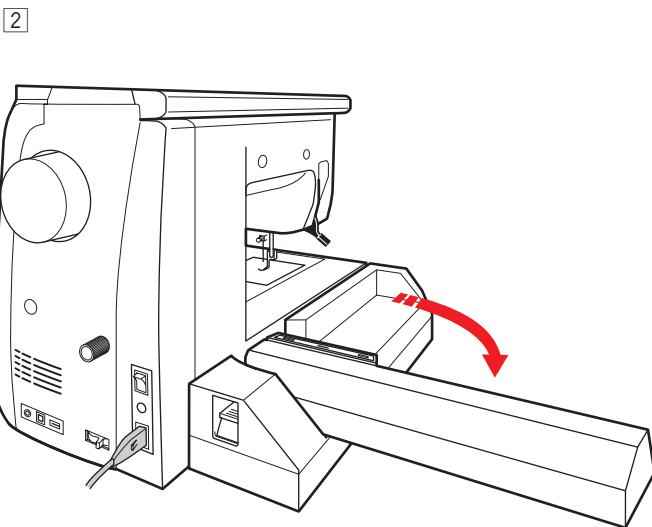
- 3 マーク ⑤ を合わせた状態で、刺しゅうユニット ④ を矢印方向にスライドさせ、ミシン本体に取り付けます。
※ ミシン本体のコネクター ⑥ にしっかり入るまで刺しゅうユニットをスライドさせてください。

★ キャリッジアームの開放

- ① キャリッジレバー①を押しさげて、キャリッジアーム②を開きます。



- ② キャリッジアームが矢印方向にロックする位置（最大開放位置）まで開放します。



⚠ 注意：

- キャリッジアームを開いたときは、キャリッジアームを押さないでください。
- キャリッジやキャリッジアームを手で無理に動かさないでください。
- キャリッジやキャリッジアームが稼働中、手でキャリッジや、キャリッジアームを止めないでください。ミシンを傷つけるなど、故障の原因となります。
- 電源スイッチが入っているとき、切れているときにかかわらず、キャリッジを手で動かさないでください。故障の原因となります。
- キャリッジアームを開くときにはキャリッジがホームポジションにあることを確認してください。ホームポジション（キャリッジの三角マーク③がアームのバーマーク④に合っている状態）にないと故障の原因となります。

★ 刺しゅうユニットの取り外し方

⚠ 注意：

ミシンをしまうとき、または持ち運ぶときには刺しゅうユニットを必ず取り外してください。故障やけがの原因となります。

- 1 刺しゅう枠を取り外し、キャリッジをホームポジションにもどします。(165 ページ参照)

通常ぬいモード/刺しゅうモード切りかえキーを押し通常ぬいモードにします。

※ 針がさがっているときは、上下停針ボタンを押して、針をあげてください。

⚠ 注意：

キャリッジアームをホームポジションにもどすとき、刺しゅうユニットとミシンのあいだに指をはさまないように注意してください。けがの原因となります。

- 2 キャリッジレバー ① を押し上げて、キャリッジアーム ② を刺しゅうユニットに格納します。

⚠ 注意：

• 電源スイッチが入っているとき、切れているときにかかわらず、キャリッジを手で動かさないでください。故障の原因となります。

• キャリッジアームを格納したときはキャリッジがホームポジションにあることを確認してください。ホームポジションにないと故障の原因となります。

- 3 電源スイッチ ③ を切ります。
刺しゅうユニット取り外しレバー ④ を押します。
刺しゅうユニット ⑤ を左にスライドして取り外します。

- 4 刺しゅうユニット取り付け部カバー ⑥ を取り付けます。

※ 刺しゅうユニットケースへの収納方法は 5 ページをごらんください。

★ 刺しゅう押さえの取り付け

刺しゅうの場合、P：刺しゅう押さえを取り付けます。

⚠ 注意：

押さえを交換する場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

- 1 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を押して針をあげます。
ロックキー②を押してミシンをロックし（14ページ参照）、押さえ上げ③をあげます。

- 2 ドライバーで押さえホルダー止めねじ③をゆるめ、押さえホルダー④を外します。

- 3 P：刺しゅう押さえ⑤を押さえ棒のうしろから取り付け、押さえホルダー止めねじ③をドライバーでしっかりとしめます。

★ 針の交換

刺しゅうの場合、ブルー針に取りかえます。
（22ページ参照）

★ 針板の交換

針板は直線針板を使用します。（21ページ参照）

〔刺しゅうぬい設定画面〕 (6/7 ページ)



★ 刺しゅう糸

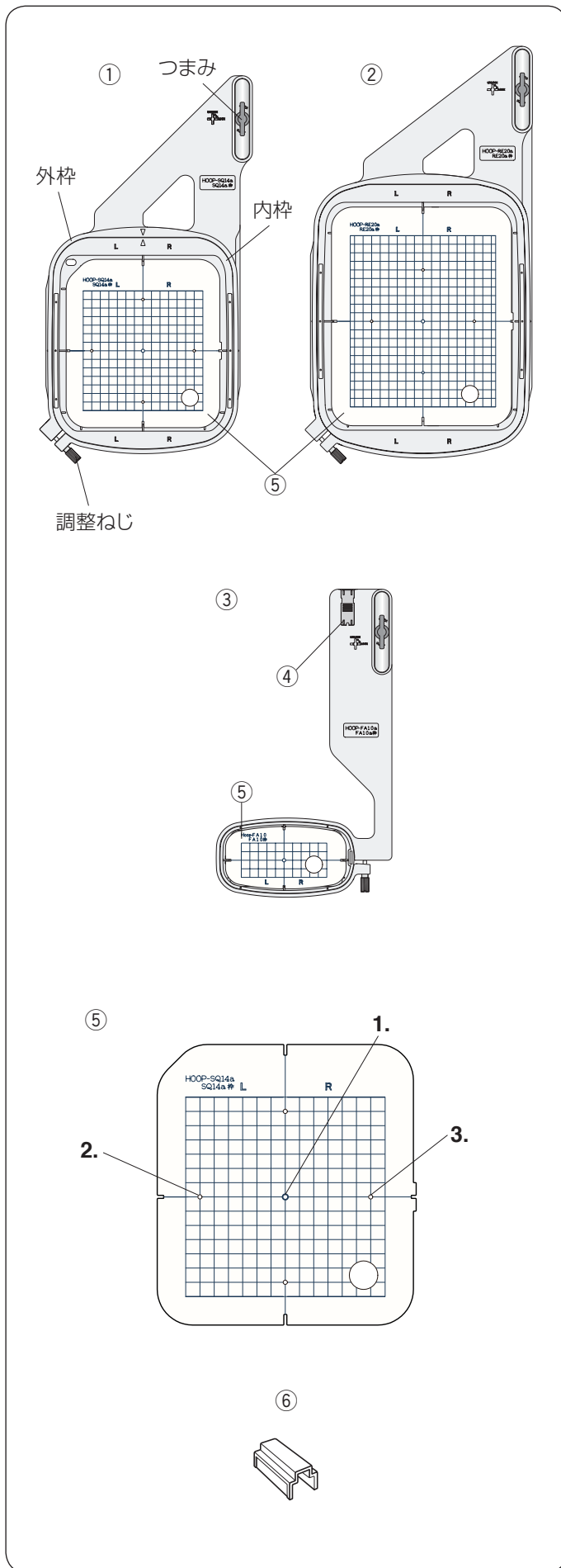
糸はミシン刺しゅう糸を使用してください。
また、使用する糸の選択を必ず行ってください。
(194 ページ「糸選択」参照)

メモ：

糸選択を行わないと、使用する糸に合った糸調子が設定されないため、ぬい不良の原因となります。
刺しゅうの下糸は、JANOME ポリエステル # 90 を使用してください。

★ 刺しゅう枠とテンプレート

本機には3種類の刺しゅう枠が付属しています。



① SQ14a マグネットクリップ付き標準刺しゅう枠 (テンプレート⑤付き)

刺しゅう範囲は、横 14 cm x 縦 14 cm です。
標準的な刺しゅうに使用します。

② RE20a マグネットクリップ付き大型刺しゅう枠 (テンプレート⑤付き)

刺しゅう範囲は、横 17 cm x 縦 20 cm です。
大型模様で使用します。

③ FA10a 小型刺しゅう枠 (テンプレート⑤付き)

刺しゅう範囲は、横 10 cm x 縦 4 cm のフリーアーム刺しゅう枠です。
小型模様で使用します。

④ 布端押さえ

布が刺しゅう枠の中に入り込む場合、内枠に立てて使用します。(187 ページ参照)

⑤ テンプレート

ます目の範囲が刺しゅうできる範囲です。

1. 内蔵模様のぬい開始位置

文字ぬい (横書き) センターボトムのぬい原点の位置
文字ぬい (縦書き) センターミドルのぬい原点の位置

2. 文字ぬい (横書き) トップボトムのぬい原点の位置

文字ぬい (縦書き) トップミドルのぬい原点の位置

3. 文字ぬい (横書き) エンドボトムのぬい原点の位置

文字ぬい (縦書き) エンドミドルのぬい原点の位置

※ ぬい原点の位置の詳細は、155 ページをごらんください。

⑥ 刺しゅう布保持用マグネットクリップ

布を刺しゅう枠にとめるマグネットクリップです。

★ 芯地

刺しゅう部分の布の裏側に芯地を貼るときれいに仕上がります。

使用法：

薄い布や化繊布、またはジャージーのような伸縮性のある布の場合、必ず芯地を貼ります。

しっかりした厚い布地は芯地を貼らずにそのままぬえます。

芯地はアイロンで接着するタイプと接着しないタイプがあります。

接着しないタイプの芯地は、アイロンをかけられない布やアイロンをかけにくい部分に刺しゅうする場合に使用します。

【接着するタイプの芯地の貼り方】

布の裏（刺しゅうしない側）と、芯地の光沢のある糊付き側を向かい合わせにしておき、角を折ってアイロンかけします。

メモ：

- ・ 芯地の角を折っておくと、刺しゅうが終わったあとに、芯地がはがしやすくなります。
- ・ アイロンの温度は、使用する芯地によって異なります。
- ・ のりが付着する場合がありますので、ぬい終わったあとは内がまをきれいに掃除してください。（200 ページ参照）

【水溶性の芯地（不織布タイプ）の用途、使用方法】

普通の芯地とは異なり、水溶性の芯地はぬるま湯にひたすか水洗いすることで溶けてなくなります。

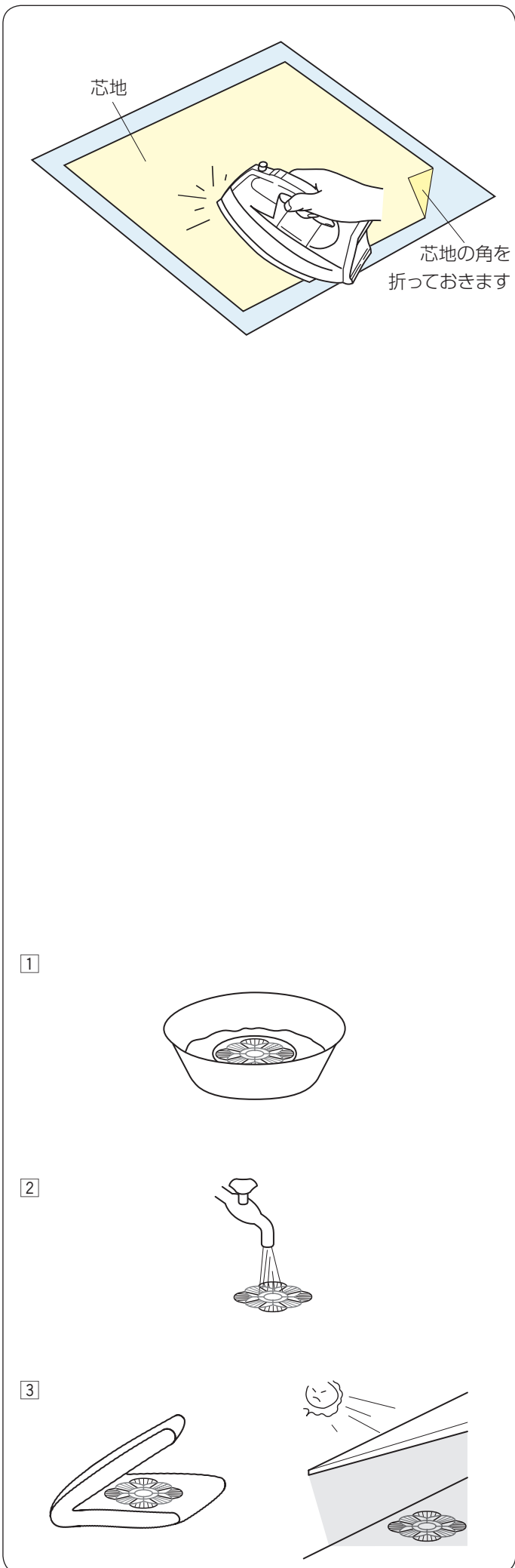
チュールやオーガンジーなどのうすい布や、タオルやベロア、コーデュロイなどの起毛している布の場合、水溶性の芯地を貼るときれいに仕上がります。

また、水溶性の芯地に刺しゅうをすると、模様そのものをモチーフとして使用したり、刺しゅう模様を重ねて立体的に仕上げたりすることができます。

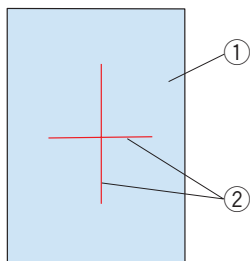
※ 水洗いできない素材には使用しないでください。

※ タオルやベロア、コーデュロイなどの起毛している布に刺しゅうするときは、布の上に芯地を張ります。

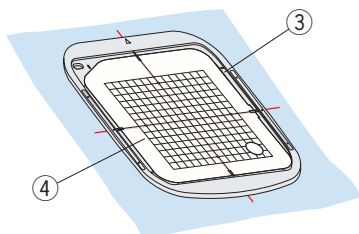
- ① ぬい終わったあと、はさみで余分な芯地を切り落とし、ぬるま湯（35～45度）にひたして芯地を溶かします。新しいぬるま湯にかえて10分程度ひたすと、きれいに取り除くことができます。
- ② 何度かぬるま湯ですすぐと柔らかくなります。
※ 強くもんだり、こすったりすると模様があくずれてしまうので注意してください。
- ③ 芯地を溶かしたあとは、タオルにはさみ水分を吸い取り、日陰で平干しをして完全に乾かしてください。



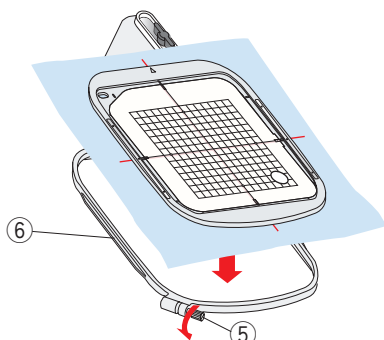
1



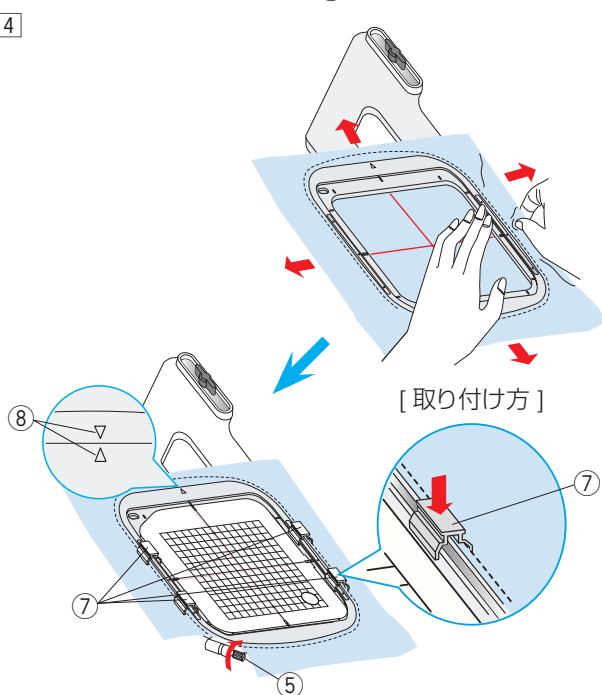
2



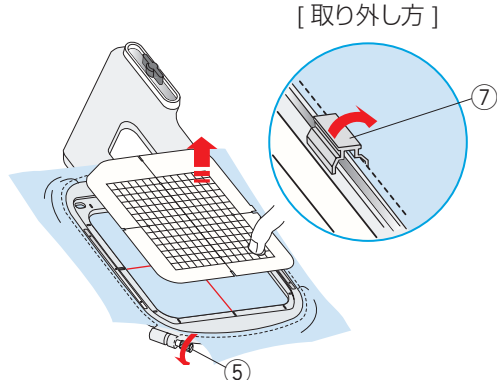
3



4



5



★ 刺しゅう枠に布を張る

- 1 布 ① を準備し、芯地を布の裏側に貼ります。
布 ① と芯地は刺しゅう枠のサイズより大きいものを用意します。
模様的位置を決めるため、布の中心に十字マーク ② を付けます。
- 2 布の上に内枠 ③ を置き、その中にテンプレート ④ を入れて、テンプレート ④ の基準線と布の十字マークを合わせます。
- 3 外枠 ⑥ の調整ねじ ⑤ をゆるめます。
布の十字マークとテンプレートの基準線がズレないように外枠 ⑥ にセットします。
- 4 内枠と布を外枠に押し込み、調整ねじ ⑤ をしめて、布を張ります。
布をピンと張るため、調整ねじ ⑤ をしめた状態で一度内枠を外し、テンプレートの基準線と布の十字マークを合わせながらセットし直します。布地がたるまないように布地の4辺を引っ張り、ピンと張ります。
※ 外枠と内枠のマーク ⑧ を合わせて布を張ります。
※ 布地を軽くたたくと、太鼓のような音がするくらいピンと張ります。

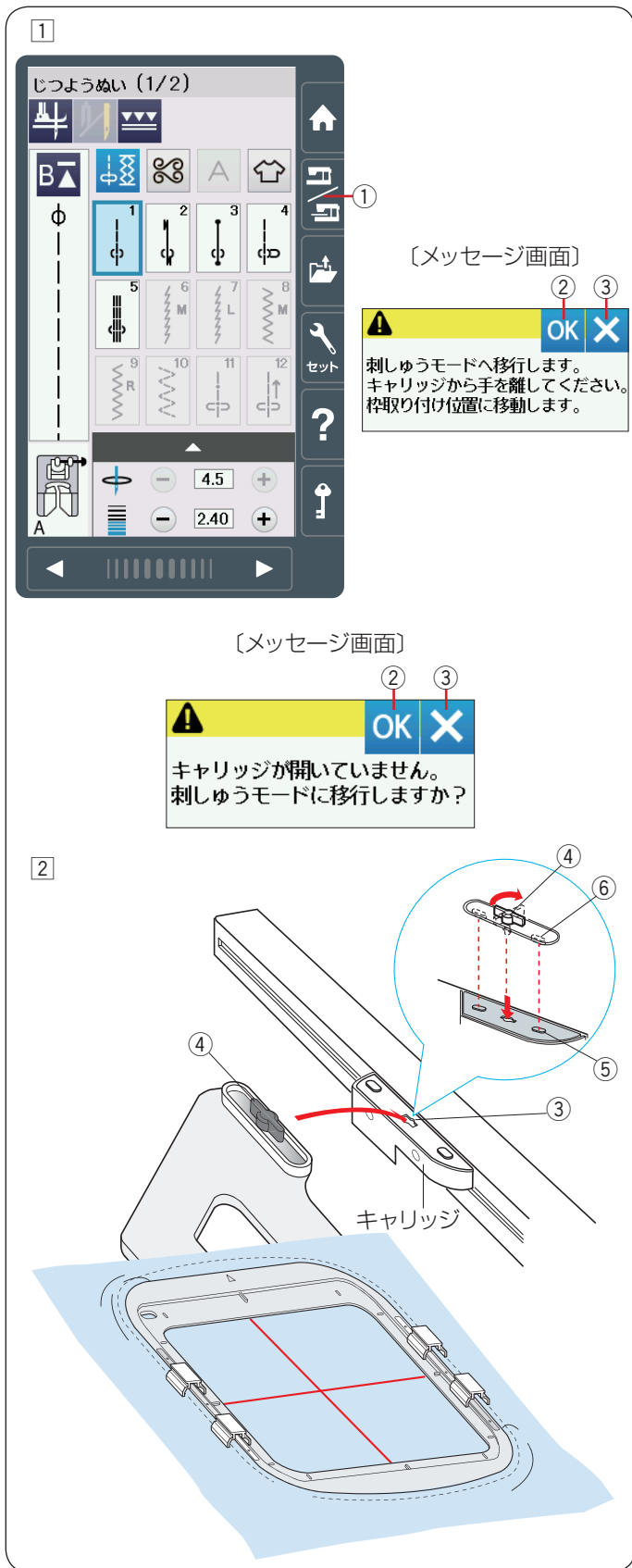
刺しゅう布保持用マグネットクリップ ⑦ を4カ所にセットします。

- 5 穴に指を入れ、テンプレートを外します。
※ キルトなどの厚い布に刺しゅうする場合には、刺しゅう枠が右側に移動したとき、ミシンと刺しゅう枠のすきまがなく刺しゅう枠の動きを妨げていないか確認してください。
※ ぬい終わったら、矢印方向に刺しゅう布保持用マグネットクリップ ⑦ を外し、調整ねじ ⑤ をゆるめて布を外します。



注意：

布や芯地が厚くなっている所をぬうと、目とびしたり、糸が切れたり、針が折れたりする危険があります。
3mmより厚くなっている所はぬわないでください。



★ 刺しゅう枠のキャリッジ取り付け

刺しゅう枠を取り付けるときは、模様を選び、ぬい開始位置で刺しゅう枠を取り付けます。

- ① キャリッジアームを開き、電源を入れます。

通常ぬいモード/刺しゅうモード切りかえキー①を押し、刺しゅうモードにします。

メッセージ画面が表示されます。

OKキー②を押すとキャリッジがホームポジションに移動し、送り歯が自動的にさがります。

刺しゅうモード画面が表示されます。

※ 閉じるキー③を押すと、前の画面にもどります。

メモ：

キャリッジアームを格納したまま通常ぬいモード/刺しゅうモード切りかえキー①を押すと、メッセージ画面が表示されます。OKキー②や閉じるキー③を押さず、キャリッジアームを開いてください。

- ② つまみ④を横に向け、刺しゅう枠の凹部⑥をキャリッジの凸部⑤に合わせて差し込みます。

つまみ④を右方向にまわして、刺しゅう枠を固定します。

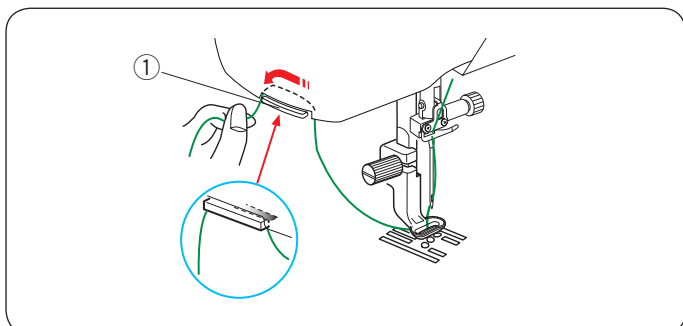
※ 刺しゅう枠の取り付け、取り外しはセンター位置で行います。

★ ぬい始めの糸かけ

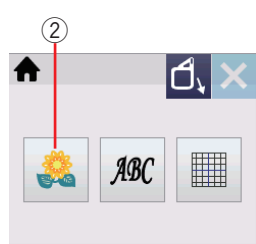
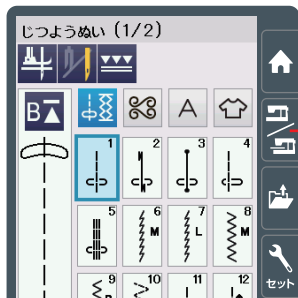
上糸の端を刺しゅうにぬいこまないようにします。

上糸を刺しゅう押さえの穴に通し、糸切り/糸押さえ①にかけます。

糸は前からうしろに向かって2～3 cm出してかけます。



〔刺しゅうモードホーム画面〕



〔カテゴリ選択画面〕



〔刺しゅう枠別選択画面〕



〔カテゴリ選択画面〕



● ぬい方

★ 内蔵模様の選択方法 (模様)

通常ぬいモード/刺しゅうモード切りかえキー①を押し、刺しゅうモードにします。

刺しゅうモードのホーム画面になります。

内蔵模様キー②を押すと、デザインをカテゴリー別に分けた模様のリストが表示されます。

【デザインカテゴリーキー】

デザインカテゴリーキー③を押すと、デザインをカテゴリー別に分けた模様リストが表示されます。

刺しゅう模様のグループは、13個のグループがあり、4つのページ(画面)に分かれています。ページキー⑤で選択します。

【刺しゅう枠選択キー】

刺しゅう枠別選択キー④を押すと、使用する刺しゅう枠のサイズで刺しゅうできる模様の選択画面が表示されます。

刺しゅう枠を選び、同じサイズの刺しゅう枠をミシンに取り付けます。

ページキー⑤でページをめくりデザインのリスト見て、お好みの模様を押して選択します。

画面に刺しゅう枠確認画面が表示されます。

【デザインカテゴリーリスト】

1/4 ページ

- Anna Maria Horner コレクション
- 花文字
- クロスステッチ
- レース刺しゅうデザイン

2/4 ページ

- カウチングデザイン
- デコパーツデザイン
- デザインセレクション
- コンビネーションデザイン

3/4 ページ

- HANA アルファベットデザイン
- キルティング
- 刺し子デザイン
- 書道コレクション

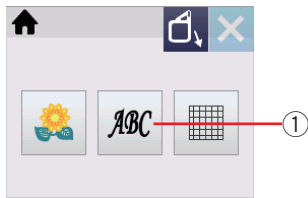
4/4 ページ

- クロスセッター模様

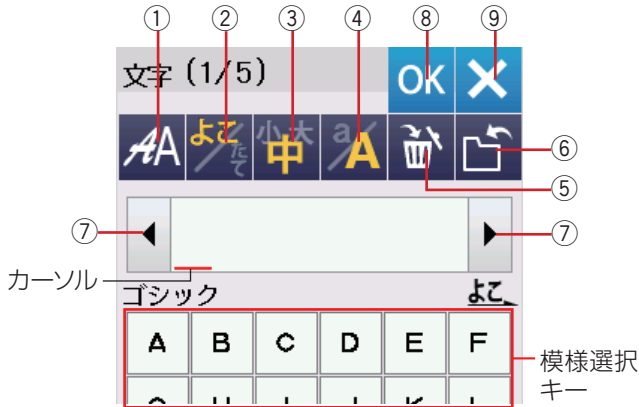
お好みのカテゴリーを選択すると、模様選択画面が表示されます。

ページキー⑤を押して、デザインのリストのページをめくり、お好みの模様を押して選択します。

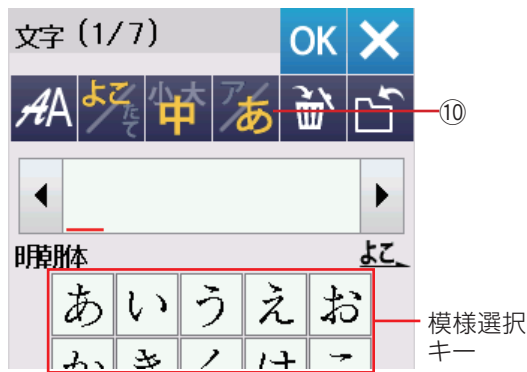
〔刺しゅうモードホーム画面〕



〔文字選択画面：ゴシック体〕（1/5 ページ）



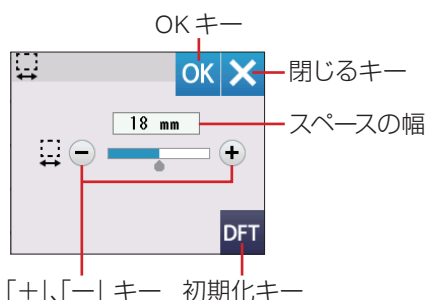
〔文字選択画面：明朝体〕（1/5 ページ）



〔文字選択画面：ゴシック体〕（1/5 ページ）



〔スペース調整画面〕



★ 内蔵模様の選択方法（文字）

文字キー ① を押すとミシンに内蔵されている刺しゅうゴシック体文字（模様）グループの選択画面が表示されます。

★ 設定キー

文字（模様）に設定されているぬい条件をお好みのぬい条件に設定します。

※ 選ばれている文字や設定の状態によっては、キーの色がグレーになっていて使用できないキーがあります。

① 書体キー

書体グループの選択画面が表示されます。

② 横書き・縦書き切りかえキー

横書きと縦書きを切りかえます。

※ 横書きと縦書きを組み合わせることはできません。

③ 文字サイズ切りかえキー

文字のサイズを「小」、「中」、「大」から選択します。

（小：10 mm、中：20 mm、大：30 mm）

④ 大文字・小文字切りかえキー

大文字と小文字を切りかえます。

⑤ 削除キー

カーソル移動キー ⑦ でカーソルを動かし、カーソル上の文字を削除します。カーソルが最後の文字の右側にある場合、最後の文字が削除されます。

⑥ 保存キー

組み合わせた文字をミシンや USB メモリに保存します。（196 ページ参照）

⑦ カーソル移動キー

カーソルを移動させて、組み合わせた文字（模様）の中から変更したい文字（模様）を選ぶことができます。（158 ページ参照）

⑧ OK キー

入力した文字を確認し、刺しゅう実行画面に移動します。

⑨ 閉じるキー

文字選択画面を閉じます。

⑩ ひらがな・カタカナ切りかえキー（明朝体・まるもじのみ）

ひらがなとカタカナを切りかえます。

模様選択キーの表示も同時に切りかわります。

⑪ スペース調整キー

スペースを入力してカーソルをスペースに合わせたときに表示されます。スペース調整キーを押すとスペース調整画面が表示されます。文字間の間かくが均一でない場合、「+」、「-」キーで調整します。

「+」キーを押すと、間かくが広くなります。

「-」キーを押すと、間かくがせまくなります。

間かくを変更したあと OK キーを押します。

取り消すときは閉じるキーを押します。

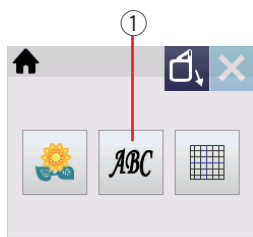
オート値（電源を入れたときに自動的に設定されている値）にもどすときは、初期化キーを押します。

メモ：

スペースの幅はミリメートル単位で表示されます。

〔文字選択画面：ゴシック体〕

〔刺しゅうモードホーム画面〕



【文字キー】

文字キー ① を押すとミシンに内蔵されている刺しゅうゴシック体文字(模様)グループの選択画面が表示されます。書体キー ② を押して、書体選択画面を表示させます。書体選択画面には、20種類の書体があり2つのページ(画面)に分かれています。ページキー ③ で選択します。

〔書体選択画面〕(1/2 ページ)



〔書体選択画面〕(2/2 ページ)



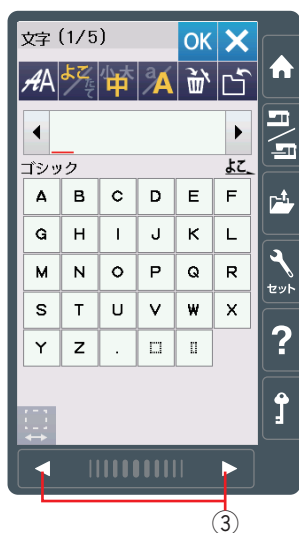
1/2 ページ

- ・ゴシック
- ・スクリプト
- ・チェルトナム
- ・バウハウス
- ・ギャラン
- ・タイピスト
- ・ブラシ
- ・ファーストグレード
- ・ホローブロック
- ・ジュピター

2/2 ページ

- ・マイクロゴシック
- ・キリル文字 1
- ・キリル文字 2
- ・キリル文字 3
- ・明朝体
- ・まるもじ
- ・ボーダー 1
- ・ボーダー 2
- ・2-レター
- ・3-レター

〔文字選択画面：ゴシック体〕
(1/5 ページ)



〔文字選択画面：ゴシック体〕
(2/5 ページ)



お好みの書体キーを押すと、文字選択画面が表示されます。ページキー ③ で次ページを表示させます。

アルファベット、数字、シンボル、ヨーロッパ文字を入力できます。

メモ：
マイクロゴシックの文字高さは約 5 mm です。



★ 文字の組み合わせ

例：明朝体の横書き・文字高さ中で「たま保育園」をぬう

- 1 書体キーで明朝体グループを選び、文字選択画面を表示させます。
横書き・縦書き切りかえキー①で「横書き」を、文字高さ切りかえキー②で「中」を選びます。
文字「た」を選びます。
カーソル③の位置に文字が挿入されます。
- 2 次ページキー④で2/7ページを表示させ、文字「ま」を選びます。
- 3 次ページキー④で4/7ページを表示させ、文字「保」を選びます。

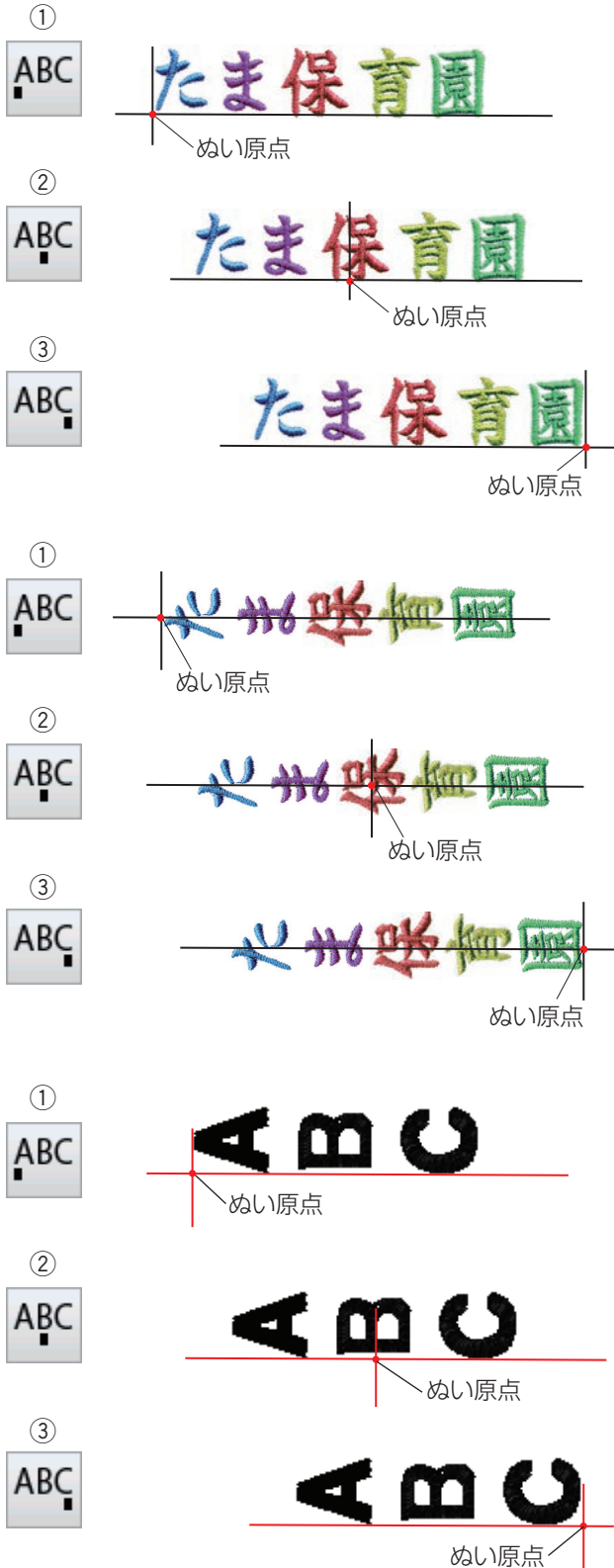
- 4 文字「育」を選びます。
- 5 文字「園」を選びます。
- 6 OKキー⑤を押すと、メッセージ画面が表示されます。
OKキー⑥を押すと、キャリッジがぬい開始位置に移動します。
- 7 刺しゅう枠確認画面が表示されます。
枠を確認し、OKキー⑦を押します。
刺しゅう実行画面が表示されます。
ミシンをスタートさせます。

★ 文字の色を変える

ぬう前に色替えキー⑧を押すと、1文字をぬうごとにミシンが停止します。
糸を交換して文字の色を変更できます。

たま保育園

〔刺しゅう実行画面〕



★ ぬい原点キー

文字のぬい原点は、横書きと縦書きでそれぞれ3種類のぬい原点から選択できます。

【横書きの場合】

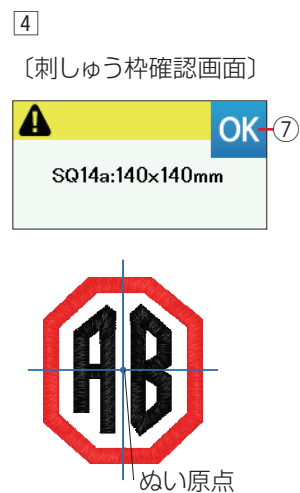
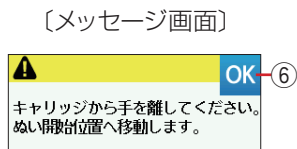
- ① トップボトム
 ABC キーを押します。
 先頭のぬい原点で下合わせとなります。
- ② センターボトム
 ABC キーを押します。
 中央のぬい原点で下合わせとなります。
- ③ エンドボトム
 ABC キーを押します。
 最終のぬい原点で下合わせとなります。

【縦書きの場合】

- ① トップミドル
 ABC キーを押します。
 先頭のぬい原点で中合わせとなります。
- ② センターミドル
 ABC キーを押します。
 中央のぬい原点で中合わせとなります。
- ③ エンドミドル
 ABC キーを押します。
 最終のぬい原点で中合わせとなります。

【アルファベット縦書きの場合】

メモ：
 英語などアルファベットの縦書きは、図のようになります。
 横書きは明朝体と同じです。



★ 2-レター文字

例：2-レター文字を八角形の枠模様に入挿する

- 1 書体キー①を押し、書体選択画面を表示させます。ページキー②で、2/2ページを表示させ、「2-レター」③を選択します。

- 2 枠模様を選びます。
※ 枠模様は文字の前に選びます。

- 3 文字「A」を選び、「B」を選びます。
※ 文字の入れかえなどを行う場合、削除キー⑤を押してはじめから枠、または文字を選び直します。
OKキー④を押すと、メッセージ画面が表示されます。
OKキー⑥を押すと、キャリッジがぬい開始位置に移動します。

- 4 刺しゅう枠確認画面が表示されます。枠を確認し、OKキー⑦を押します。刺しゅう実行画面が表示されます。ミシンをスタートさせます。


メモ：

- 3-レターは2-レターと同じ方法でぬえます。
- 2-レターおよび3-レターのぬい原点(ぬい開始位置)は刺しゅう枠の中央になります。
- ぬう前に色替えキー⑧を押すと、1文字をぬうごとにミシンが停止します。糸を交換して文字の色を変更できます。

★ ボーダー 1 と文字の組み合わせ

例：「Duck」をぬう


- 1 書体キー①を押し、書体選択画面を表示させます。
ページキー②で、2/2 ページを表示させ、「ボーダー 1」③を選び、模様選択画面を表示させます。

模様  を選びます。

- 2 再度、書体キー①を押し、ページキー②で、1/2 ページを表示させ、「ゴシック」④を選び、文字選択画面を表示させます。

- 3 文字「D」（大文字 / サイズ中）を選びます。
大文字・小文字切りかえキー⑤を押し、小文字にし、「u」、「c」、「k」を選びます。
書体キー①を押します。

- 4 書体選択画面が表示されます。
ページキー②で、2/2 ページを表示させ、「ボーダー 1」③を選び、模様選択画面を表示させます。

模様  を選びます。

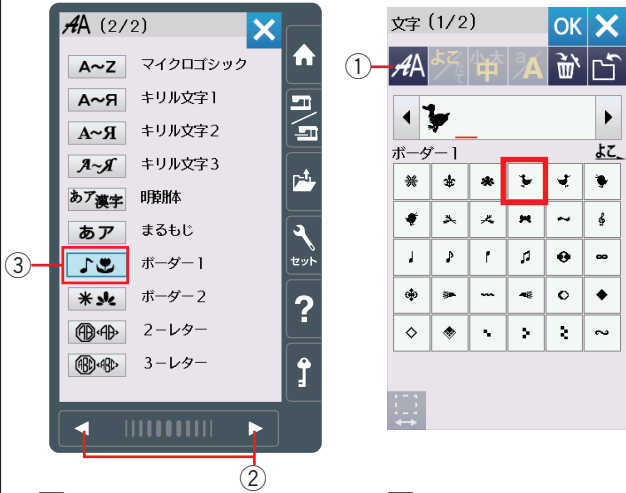
- 5 OK キー⑥を押すと、メッセージ画面が表示されます。
OK キー⑦を押すと、キャラリッジがぬい開始位置に移動します。

- 6 刺しゅう枠確認画面が表示されます。
枠を確認し、OK キー⑧を押します。
刺しゅう実行画面が表示されます。
ミシンをスタートさせます。

※ ぬう前に色替えキー⑨を押すと、1文字をぬうごとにミシンが停止します。
糸を交換して文字の色を変更できます。



1
〔書体選択画面〕 (2/2 ページ) 〔模様選択画面: ボーダー 1〕



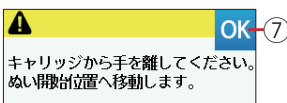
2
〔書体選択画面〕 (1/2 ページ) 〔文字選択画面: ゴシック体〕 (1/5 ページ)



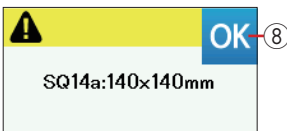
4
〔書体選択画面〕 (2/2 ページ) 〔模様選択画面: ボーダー 1〕



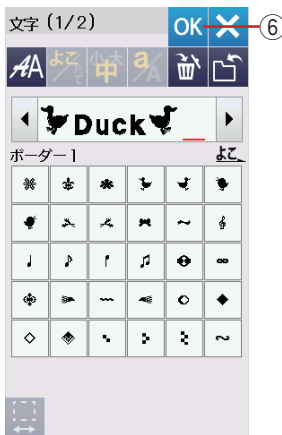
〔メッセージ画面〕



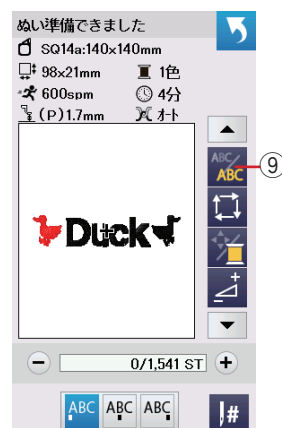
6
〔刺しゅう枠確認画面〕



5
〔文字 (1/2)〕



〔刺しゅう実行画面〕



① [文字選択画面：明朝体] (3/7 ページ)



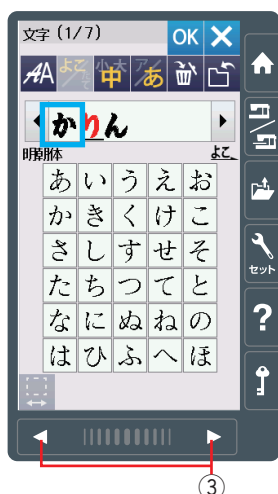
②



③



④ [文字選択画面：明朝体] (1/7 ページ)



★ 文字の削除・挿入

文字を組み合わせたあとでも、組み合わせた文字の一部を削除したり、文字を追加したりすることができます。

文字の削除：「りんご」の「ご」を削除する

- ① カーソル移動キー①で修正（削除）する文字「ご」を選びます。
カーソルで選択された文字は赤色にかわります。

- ② 削除キー②を押します。

「ご」が削除されます。

※ 最後の文字を削除したい場合、カーソルが最後の文字の右側にあっても削除されます。

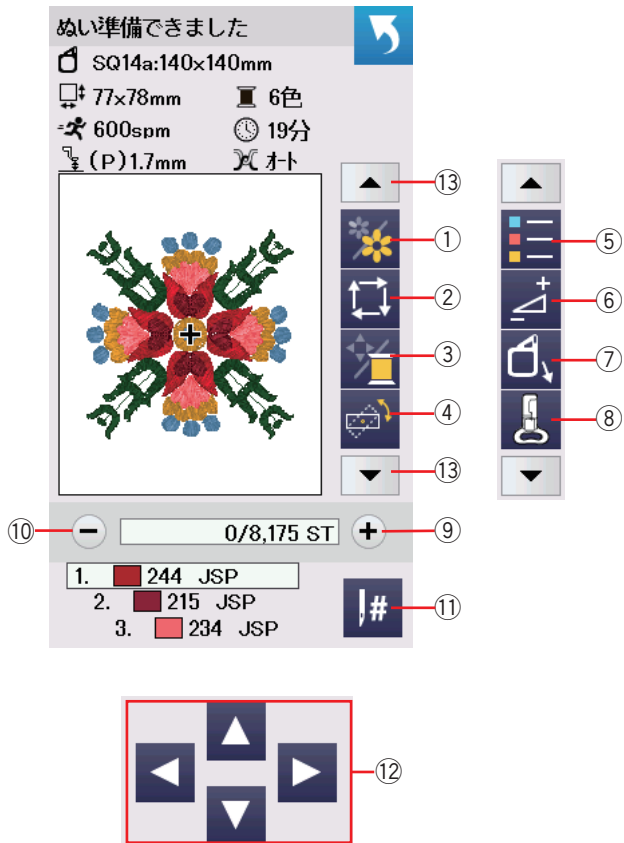
文字の挿入：「か」を挿入して、「かりん」にする

- ③ カーソル移動キー①で挿入したい次の文字「り」に移動します。

- ④ ページキー③で、1/7 ページを表示させ、「か」を選びます。

「か」が「り」の前に挿入されます。

〔刺しゅう実行画面〕



● 刺しゅう実行画面

刺しゅう実行画面では機能キーと選択された刺しゅうの情報が表示されます。

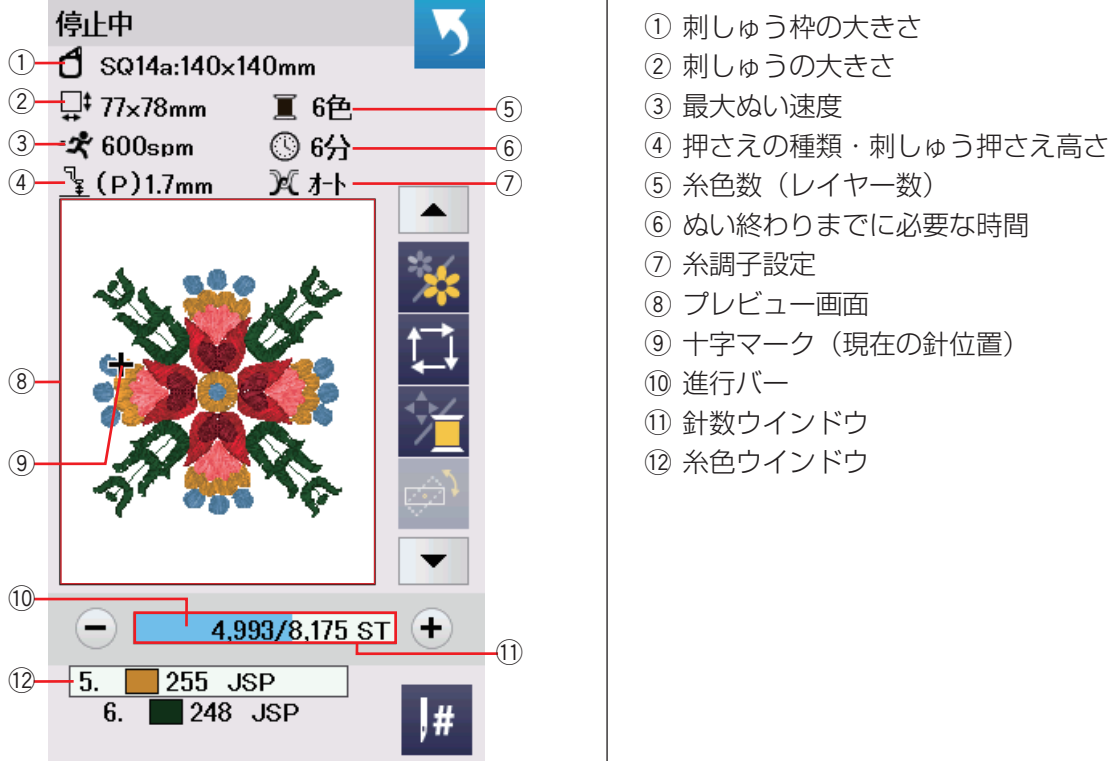
設定切りかえキー ⑬ を押して機能キーのセット (① ~ ⑧) を表示します。

★ 機能キー

- ① 模様表示切りかえキー
- ② 刺しゅう範囲確認キー
- ③ 糸色 / ジョグ切りかえキー
- ④ 位置 / 角度微調整キー
- ⑤ 糸色確認キー
- ⑥ 調整キー
- ⑦ キャリッジ移動キー
- ⑧ 押さえ変更キー
- ⑨ 針前進キー
- ⑩ 針後進キー
- ⑪ 針ジャンプキー
- ⑫ ジョグキー
- ⑬ 設定切りかえキー

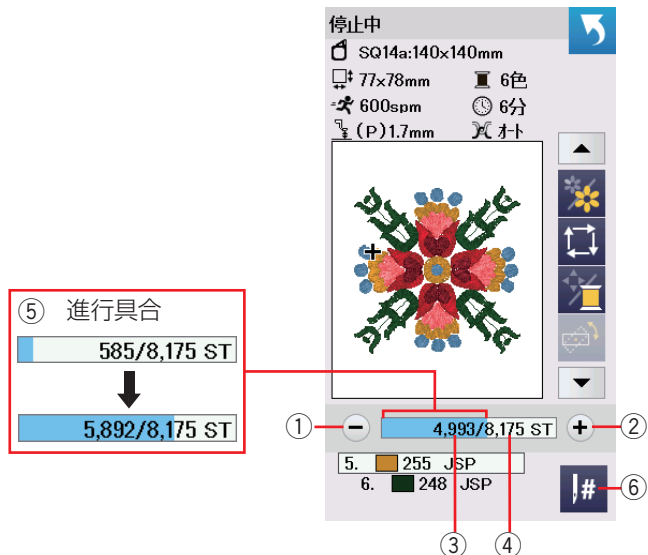
★ 刺しゅう模様情報

画面には以下の情報が表示されます。

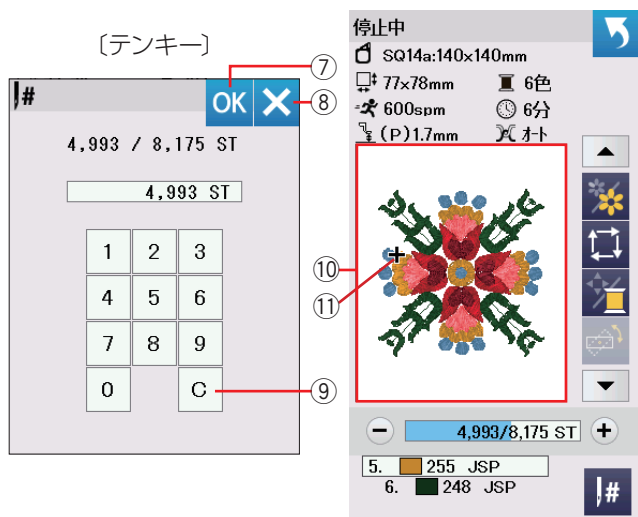


- ① 刺しゅう枠の大きさ
- ② 刺しゅうの大きさ
- ③ 最大ぬい速度
- ④ 押さえの種類・刺しゅう押さえ高さ
- ⑤ 糸色数 (レイヤー数)
- ⑥ ぬい終わりまでに必要な時間
- ⑦ 糸調子設定
- ⑧ プレビュー画面
- ⑨ 十字マーク (現在の針位置)
- ⑩ 進行バー
- ⑪ 針数ウインドウ
- ⑫ 糸色ウインドウ

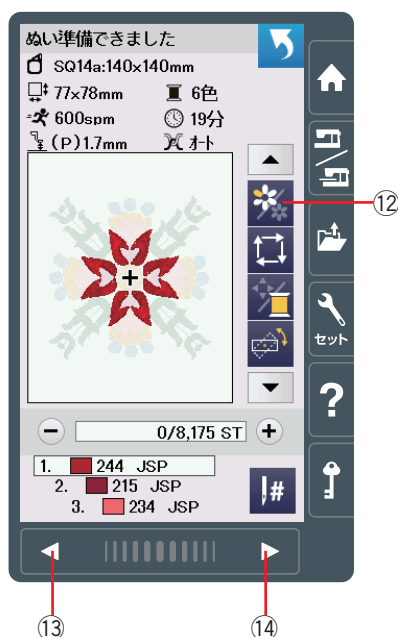
[刺しゅう実行画面]



[刺しゅう実行画面]



[刺しゅう実行画面]



★ 針前進/後進キー

ぬい始めると、1針目からの針数が表示されます。

針後進キー「-」①、針前進キー「+」②で針数を前進させたり、もどしたりすることができます。

キーを長押しすると1針から、10針、100針、500針と移動距離が大きくなります。

針数③と総針数④は針数ウインドウに表示されます。

針数ウインドウ内の水色のバーは進行バーです。

ぬいが進むと進行バー⑤が表示され、刺しゅうの進行具合を確認できます。

刺しゅうが終わると、進行バー⑤は0にもどります。

★ 針ジャンプキー

針ジャンプキー⑥を押すとテンキーが表示されます。

針数を入力し、移動したいぬい点に直接移動できます。

数字入力をまちがえたときは、クリアキー⑨を押して数字を消去してください。クリアキー⑨を押すと数字は「0」になります。

閉じるキー⑧を押すと針数の入力をやめて、前の画面にもどります。

OKキー⑦を押すと、刺しゅう枠が入力した針数の位置に移動します。

★ 十字マーク

プレビュー画面上⑩の十字マーク⑪は、現在のぬい位置（針の位置）を表しています。

十字マークを消す場合、プレビュー画面⑩を押してください。

★ 模様表示切りかえキー

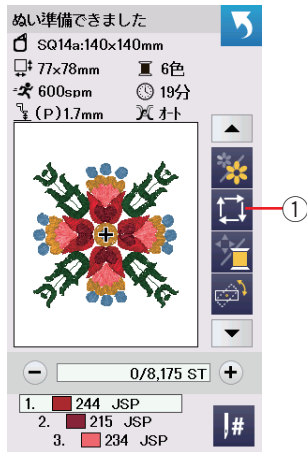
模様表示切りかえキー⑫で、選択したデザインの全体、もしくは色替えごとの模様表示を行います。

次ページキー⑭を押し、次の色を表示します。

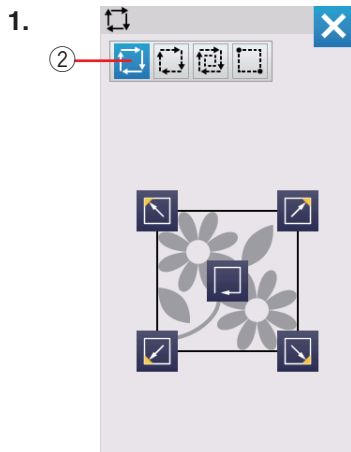
前ページキー⑬を押し、前の色を表示します。

特定の色の部分のみをぬいたい場合、ぬいたい色が表示されるまで前ページキー⑬/次ページキー⑭を押します。

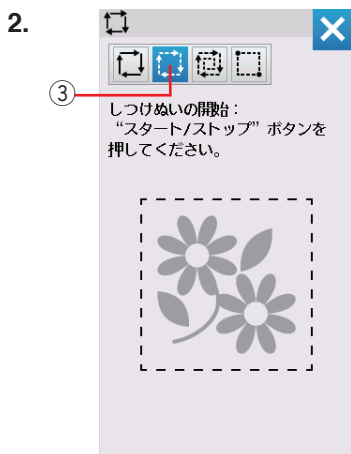
〔刺しゅう実行画面〕



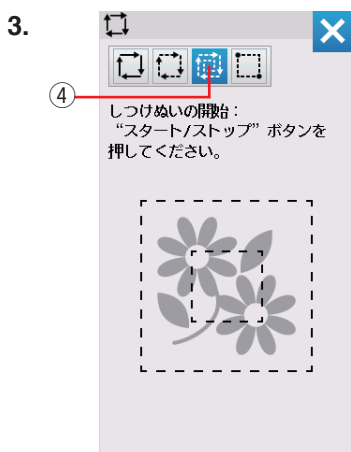
〔トレース（ぬいなし）画面〕



〔トレース / しつけぬい画面〕



〔トレース / 二重しつけぬい画面〕



★ 刺しゅう範囲確認キー


刺しゅう範囲確認キー①を押すと、刺しゅうのアウトラインのトレースおよびしつけぬいをしながら刺しゅうのぬい範囲を確認できます。


しつけぬいの範囲をカスタマイズすることもできます。


刺しゅう範囲確認キー①を押すとトレース / しつけぬい画面が表示されます。

以下の4つから選択できます。:


1. トレースキー（ぬいなし）

 キー②を押すとトレース（ぬいなし）画面が表示されます。

トレースキー  を押して刺しゅう範囲（全体）の確認を開始します。

その他のキー  を押すと、刺しゅう範囲の各コーナーの位置に刺しゅう枠を移動させることができ、コーナーごとに刺しゅう範囲を確認できます。

2. トレース / しつけぬいキー


 キー③を押すとトレース / しつけぬい画面が表示されます。

しつけをする前に、下糸を針板の上に引き出しておきます。

スタート / ストップボタンを押すと、しつけをしながら刺しゅう範囲を確認します。

※ 刺しゅう範囲の外側 5 mm（ぬいしろ）をしつけぬいします。ただし、刺しゅう範囲が刺しゅう可能範囲の最大値を超えたときは、ぬいしろは入りません。

3. トレース / 二重しつけぬいキー

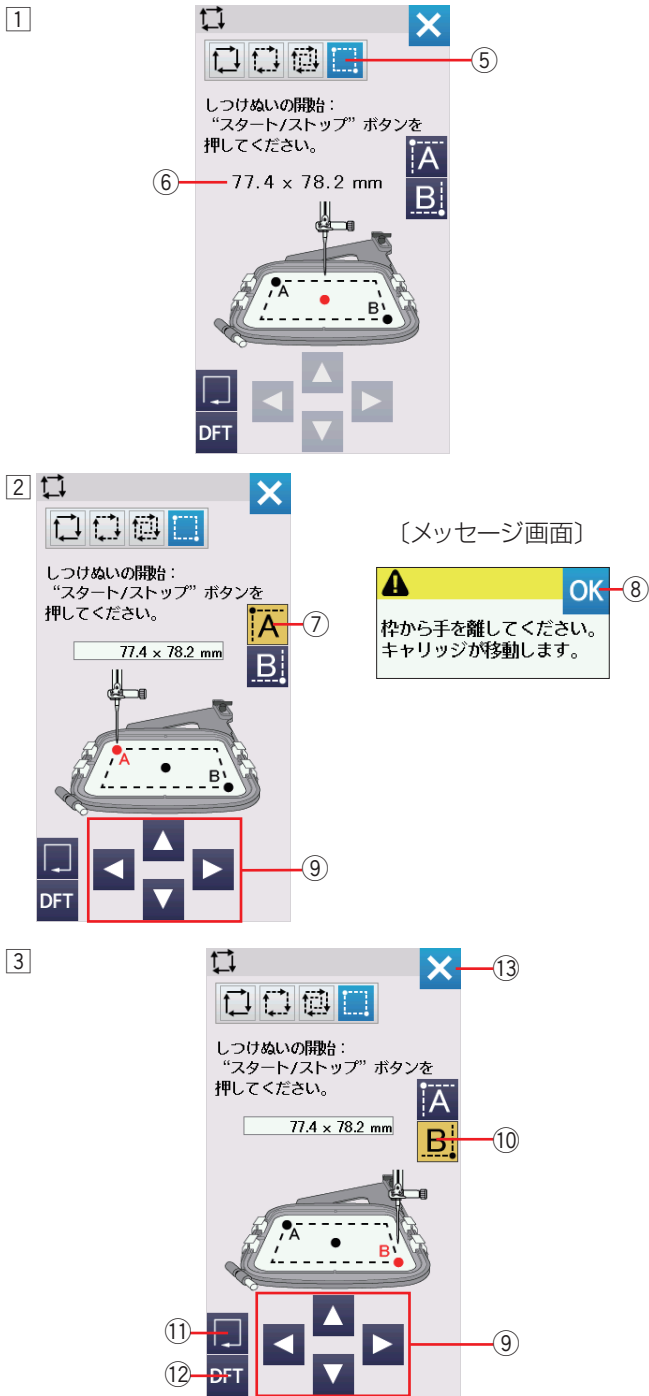
 キー④を押すとトレース / 二重しつけぬい画面が表示されます。

しつけをする前に、下糸を針板の上に引き出しておきます。

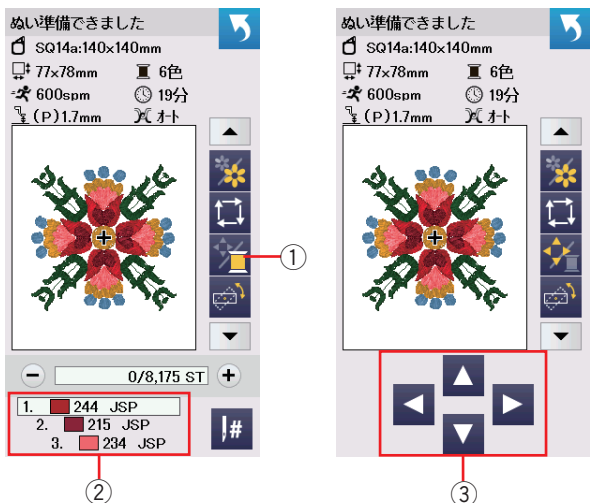
スタート / ストップボタンを押すと、内側と外側のしつけをしながら刺しゅう範囲を確認します。

※ 外側のしつけは、刺しゅう範囲の外側 5 mm（ぬいしろ）をぬいします。ただし、刺しゅう範囲が刺しゅう可能範囲の最大値を超えたときは、ぬいしろは入りません。


4. (トレース / カスタムしつけぬい画面)




(刺しゅう実行画面)





4. トレース / カスタムしつけぬいキー

トレース / カスタムしつけぬいキー  ⑤ を押しとお好みのしつけぬい範囲に設定できます。

トレースおよびしつけぬいをする場所の左上コーナーと右下コーナーを指定し、しつけぬいの範囲を設定します。

① トレース / カスタムしつけぬいキー  ⑤ を押して、トレース / カスタムしつけぬい画面を表示させます。トレースおよびしつけぬいをする範囲のサイズは画面の中央 ⑥ に表示されます。

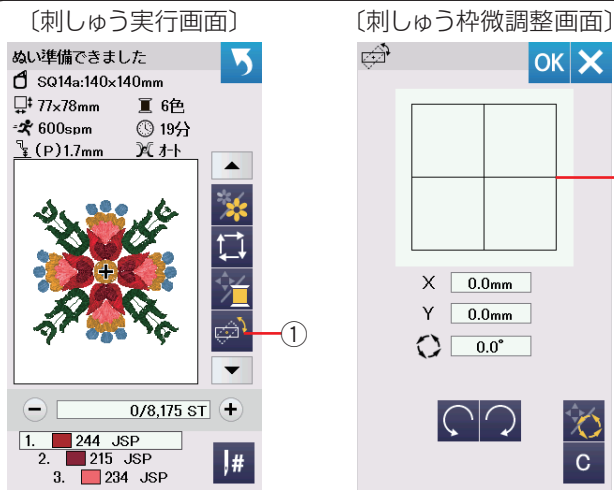
②  キー ⑦ を押しとメッセージ画面が表示されます。OK キー ⑧ を押しと刺しゅう枠が左上のコーナーに移動します。ジョグキー ⑨ を押し、刺しゅう枠をお好みの位置に移動させます。

③  キー ⑩ を押しと刺しゅう枠が右下のコーナーに移動します。ジョグキー ⑨ を押し、刺しゅう枠をお好みの位置に移動させます。トレースキー ⑪ を押しと、設定した範囲をトレースします。しつけぬいをするには、下糸を針板の上に引き出し、スタート / ストップボタンを押します。設定したトレース範囲を初期の状態にもどすには、初期化キー ⑫ を押します。トレース / しつけぬい画面を閉じるには閉じるキー ⑬ を押します。

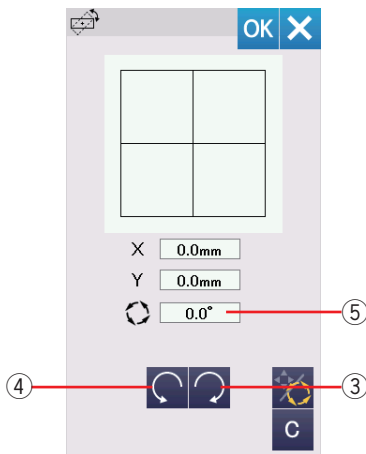
★ 糸色 / ジョグ切りかえキー

糸色 / ジョグ切りかえキー ① を押しと、ジョグキー ③ と糸色のリスト ② の表示が切り替わります。

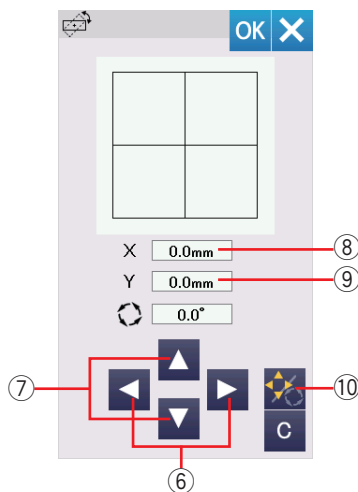
刺しゅう枠の位置をジョグキー ③ で動かし、針位置が布の十字マークの中央の真上にくるように調整します。



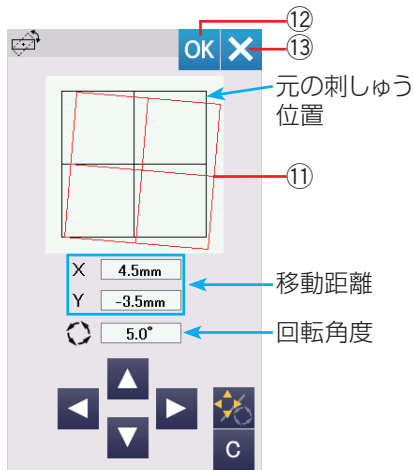
〔刺しゅう枠微調整画面〕(角度)



〔刺しゅう枠微調整画面〕(位置)



〔刺しゅう枠微調整画面〕(調整後)



★ 位置 / 角度微調整キー

刺しゅう枠をミシンから外さないで、刺しゅうの位置や角度の微調整ができます。

位置 / 角度微調整キー ① を押します。

刺しゅうデザインの元々の位置は四角の枠 ② で表示されます。

【デザインの回転】

刺しゅうの角度を微調整します。

- キー ③ を押し、刺しゅうを時計回りに 0.5° 回転させます。
- キー ④ を押し、刺しゅうを反時計回りに 0.5° 回転させます。

※ 元の位置から回転させた角度の値 ⑤ が画面に表示されます。

メモ：

刺しゅうの角度は -5.0° ~ 5.0° の範囲で調整できます。刺しゅう範囲を超えて調整することはできません。

【デザインの移動】

刺しゅうの位置の微調整を行います。

位置 / 角度キー ⑩ を押すと、ジョグキー ⑥、⑦ が表示されます。

- ジョグキー ◀、▶ ⑥ を押すと、矢印の方向にデザインが 0.5 mm 移動します。(横方向調整値 ⑧)
- ジョグキー ▲、▼ ⑦ を押すと、矢印の方向にデザインが 0.5 mm 移動します。(縦方向調整値 ⑨)

※ 元の位置から移動した距離 (mm) は、横方向調整値 (X) ⑧、縦方向調整値 (Y) ⑨ として画面に表示されます。

メモ：

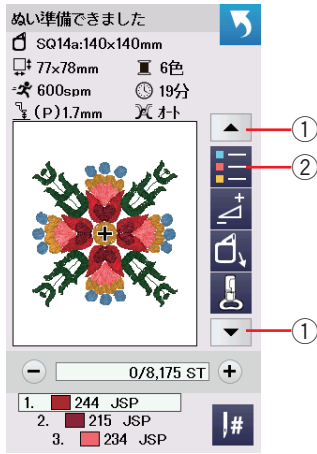
刺しゅうの位置は -5.0 mm ~ 5.0 mm の範囲で調整できます。刺しゅう範囲を超えて調整することはできません。数値の単位はミリで表示されます。

調整を行うと調整した角度および位置に赤い枠 ⑪ が表示され、元の刺しゅうデザインの位置との違いが確認できます。

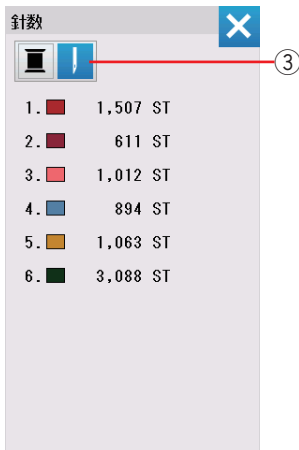
調整を適用するには、OK キー ⑫ を押します。

調整をキャンセルする場合、閉じるキー ⑬ を押します。

〔刺しゅう実行画面〕



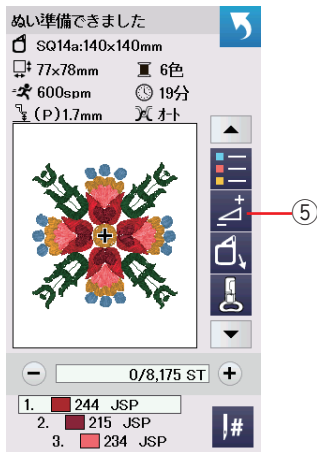
〔針数確認画面〕



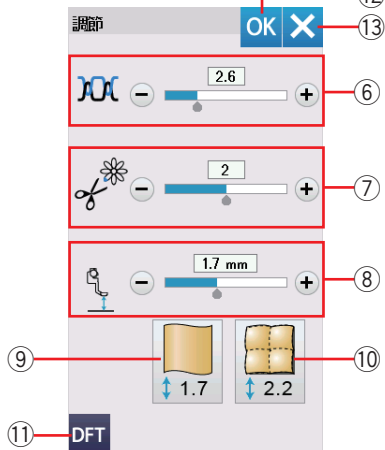
〔糸色確認画面〕



〔刺しゅう実行画面〕



〔調整画面〕



★ 糸色確認キー

糸色確認キー ② を押すと、ぬい順序と使用する糸の糸色、糸色名が確認できます。

設定切りかえキー ① を押し、糸色確認キー ② を表示させます。

糸色確認キー ② を押します。

針数キー ③ を押すと、選択したデザインのぬい順序とそれぞれの糸色に対する針数が表示されます。

糸こまキー ④ を押すと、選択したデザインのぬい順序と使用する糸色のリストが表示されます。

★ 調整キー

調整キー ⑤ を押すと、調整画面が表示されます。

糸調子、渡り糸の糸切り時の残糸の長さ、押しえ高さの調整ができます。

⑥ 糸調子の調整

「+」、「-」キーを押し、糸調子を調整します。

⑦ 渡り糸の糸切り時の残糸の長さ調整

刺しゅうぬい設定の「渡り糸の糸切り長さ」設定、もしくは「トリミングモード (糸切り設定)」が「ON」になっている場合のみ使用できます。(193 ページ参照)

「+」、「-」キーを押し、渡り糸の糸切り時の残糸の長さを調整します。

⑧ 刺しゅう押しえ高さの調整

薄地の布の場合は ⑨ (押しえ高さ 1.7 mm)、キルティング布の場合は ⑩ (押しえ高さ 2.2 mm) のキーを押しておすすめの高さを選択するか、刺しゅう押しえ高さ調整キー ⑧ (「+」、「-」キー) で、刺しゅう押しえの高さを調整します。

※ PC-1、PC-2:カウチング押しえに変更した場合、⑨、⑩のアイコンは表示されません。

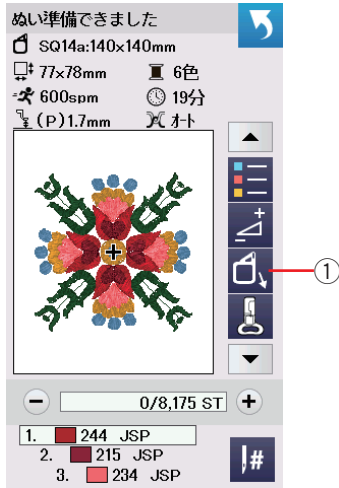
※ 刺しゅうモードで押しえがさがっているときは、調整した値に応じて押しえの高さがかわります。

設定した数値を初期の状態にもどすには、初期化キー ⑪ を押します。

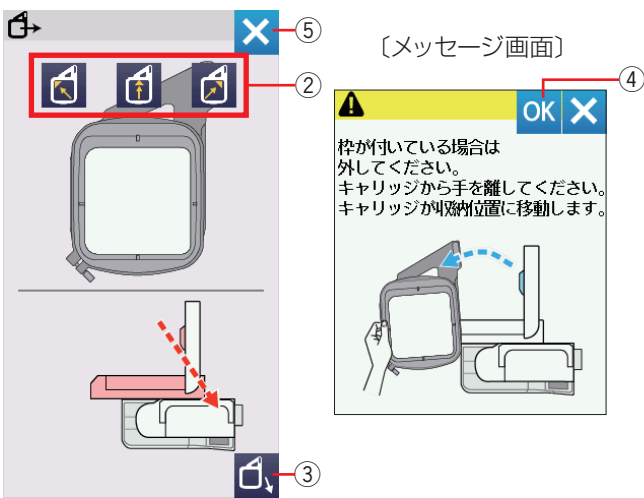
設定を適用するには、OK キー ⑫ を押します。

設定をキャンセルする場合、閉じるキー ⑬ を押します。

〔刺しゅう実行画面〕



〔キャリッジ移動画面〕





〔刺しゅう実行画面〕
(キャリッジ移動後)




★ キャリッジ移動キー

キャリッジ移動キー①を押すと押さえが自動的にあがり、キャリッジ移動画面が表示されます。針があがっていることを確認します。

 キー②のどれかを押すと、キャリッジが移動し、針位置が枠の矢印位置に移動します。刺しゅう実行画面（キャリッジ移動後）が表示されます。

 キー③で、キャリッジを手前（ホームポジション）に移動できます。メッセージ画面でOKキー④を押すと、キャリッジはホームポジションに移動し、刺しゅう実行画面（キャリッジ移動後）が表示されます。

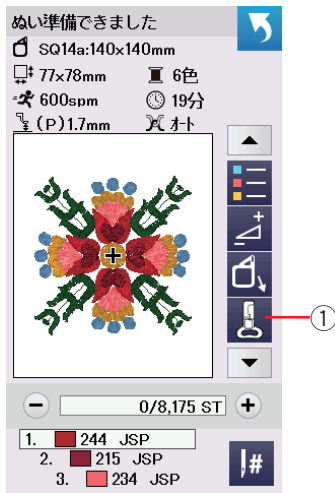
※  キー③は、刺しゅう枠を外してから使用してください。

キャリッジ移動画面の閉じるキー⑤を押すと、キャリッジ移動画面は閉じます。

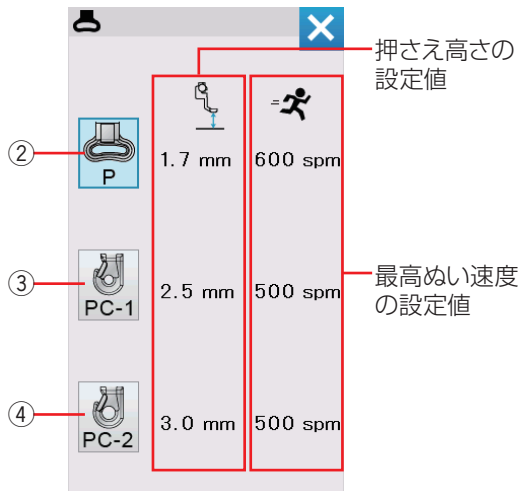
キャリッジもどるキー⑥かスタート/ストップボタンを押すと、メッセージ画面が表示されます。OKキー⑦を押すと刺しゅう枠が元の位置にもどります。

刺しゅう枠を取り外した場合、キャリッジの移動後に枠を取り付けます。

〔刺しゅう実行画面〕



〔刺しゅう押さえ変更画面〕



★ 刺しゅう押さえ変更キー

使用する刺しゅう押さえを変更します。

刺しゅう押さえキー ① を押すと刺しゅう押さえ変更画面が表示されます。

使用する押さえのアイコン (P: 刺しゅう押さえ ②、

PC-1: カウチング押さえ ③、PC-2: カウチング押さえ ④のいずれか) を押します。

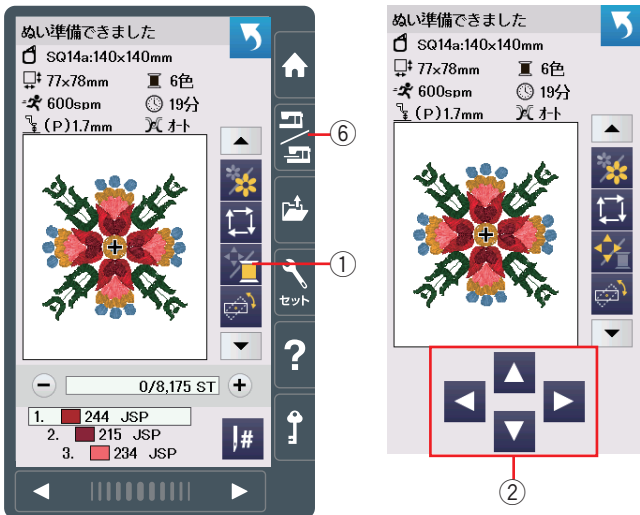
選択した押さえに合わせて押さえ高さともい速度が自動的に調整されます。

メモ:

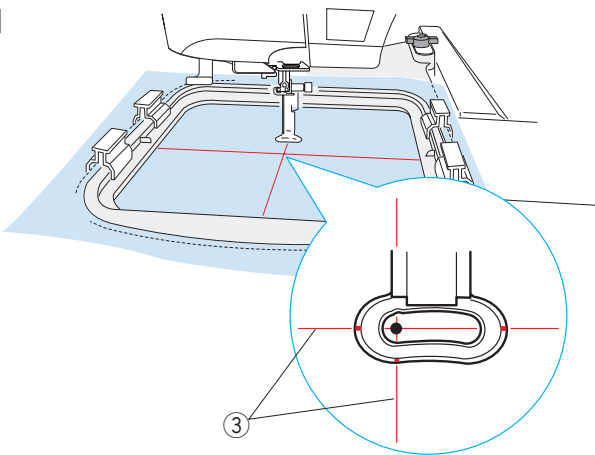
- カウチングデザインを選択した場合のみ、PC-1: カウチング押さえ ③、PC-2: カウチング押さえ ④ を選択してください。(188 ページ参照)
- 押さえ高さともい速度の設定値も確認できます。
- 刺しゅうのぬい速度は、ぬい目によってかわります。
- 最高ぬい速度の値は、スピードコントロールつまみがいちばん右側(最高速)になっている場合の数値です。
- ぬい速度は、スピードコントロールつまみで遅くできます。ぬい速度を遅くした方が、刺しゅうはきれいに仕上がります。
- 押さえの高さと最高ぬい速度の設定変更は、191 ページの ③「刺しゅう押さえ高さ」、④「最高ぬい速度」の項目をごらんください。
- PC-1: カウチング押さえ ③、PC-2: カウチング押さえ ④ のぬい速度は 400 spm・500 spm の 2 段階のみです。500 spm 以上に設定した場合、500 spm になります。

1

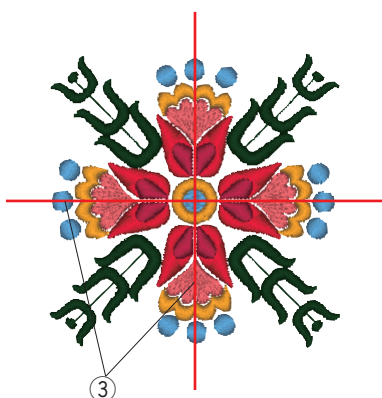
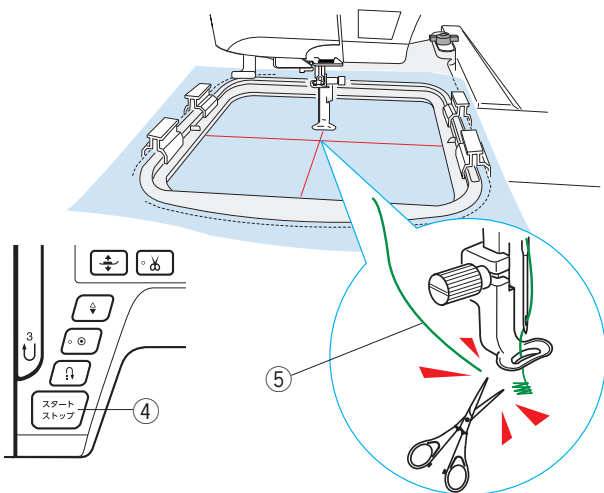
〔刺しゅう実行画面〕



2



3 4



★ 模様ぬい

① お好みの刺しゅう模様を選びます。
糸色 / ジョグ切りかえキー ① を押し、ジョグキー ② を表示させます。

② 布の十字マーク ③ 中央と針の位置がずれている場合、ジョグキー ② で十字マーク ③ の中央に針の位置がくるように調整します。

③ スタート / ストップボタン ④ を押します。
5～6 針ぬったところでスタート / ストップボタンを押し、ミシンを止めます。
ぬい始めの余分な糸 ⑤ をぬい目のきわから切ります。

④ スタート / ストップボタン ④ を再度押します。
最初の色部分をぬい終わると、ミシンが自動的に止まります。「トリミングモード (糸切り設定)」が「ON」の場合、自動的に糸が切られます。(193 ページ参照)
糸を次の色にかえ、再びスタート / ストップボタン ④ を押して次の部分をぬいます。

ぬいの途中、ジョグキー ② でぬい位置を調整できます。スタート / ストップボタンでミシンを止め、ジョグキーで刺しゅう枠をぬいたい位置に移動させ、スタート / ストップボタンをもう一度押し、ぬいを再開します。

メモ：

ぬいの途中にジョグキー ② でぬい位置を調整した場合、全ての色をぬい終わったあと、ぬいの途中で調整したぬい位置の情報は消去されます。

【ぬい上がり】

模様は、十字マーク ③ に対して左図のように仕上がります。

【ぬい終わりの収納】

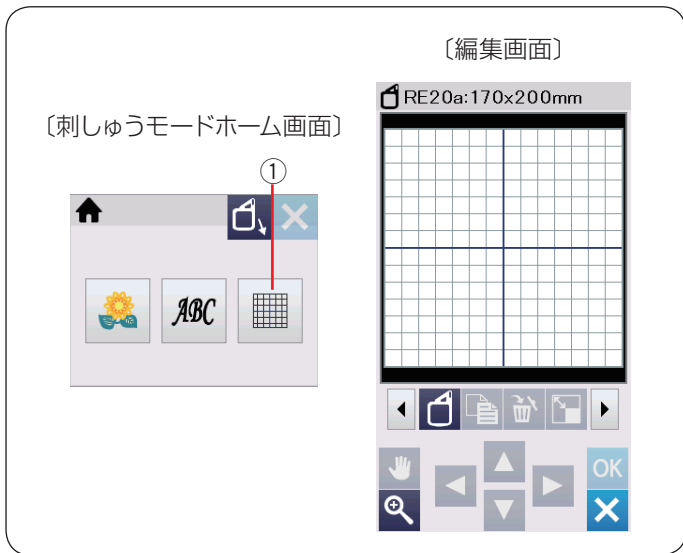
ぬい終わったら、刺しゅう枠を外します。
通常ぬいモード / 刺しゅうぬいモードキー ⑥ を押し、キャリッジがホームポジションにもどったら、キャリッジアームを閉じます。

● 刺しゅう模様を編集する

編集モードでは、刺しゅう模様を組み合わせたり、ぬい位置を移動したり、大きさや向きをかえたり、自由に編集してオリジナルの刺しゅうデザインを作成することができます。

刺しゅうモードホーム画面で編集モードキー①を押すと編集画面が表示されます。

(初期の状態では刺しゅう枠 RE20a が表示されます。)

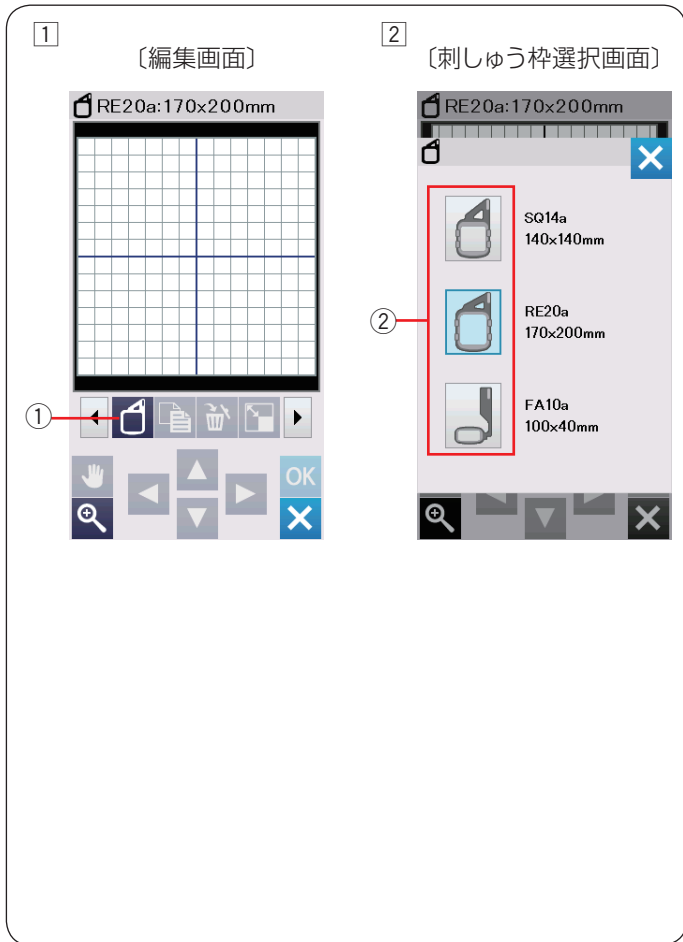


★ 刺しゅう枠の選択

刺しゅう枠のサイズを選びます。

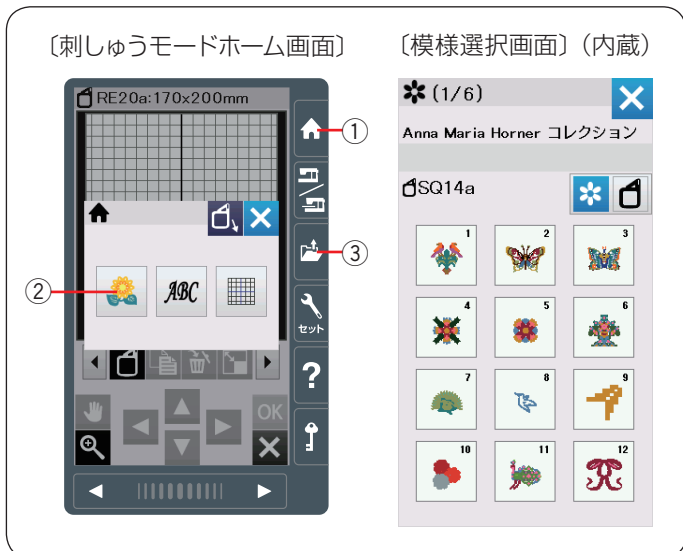
① 刺しゅう枠選択キー①を押すと、刺しゅう枠選択画面が表示されます。

② 刺しゅう枠のアイコン②を押し、お好みの刺しゅう枠を選びます。
編集画面が表示されます。



メモ：

選択した刺しゅう枠のサイズより大きい刺しゅう模様は選べません。



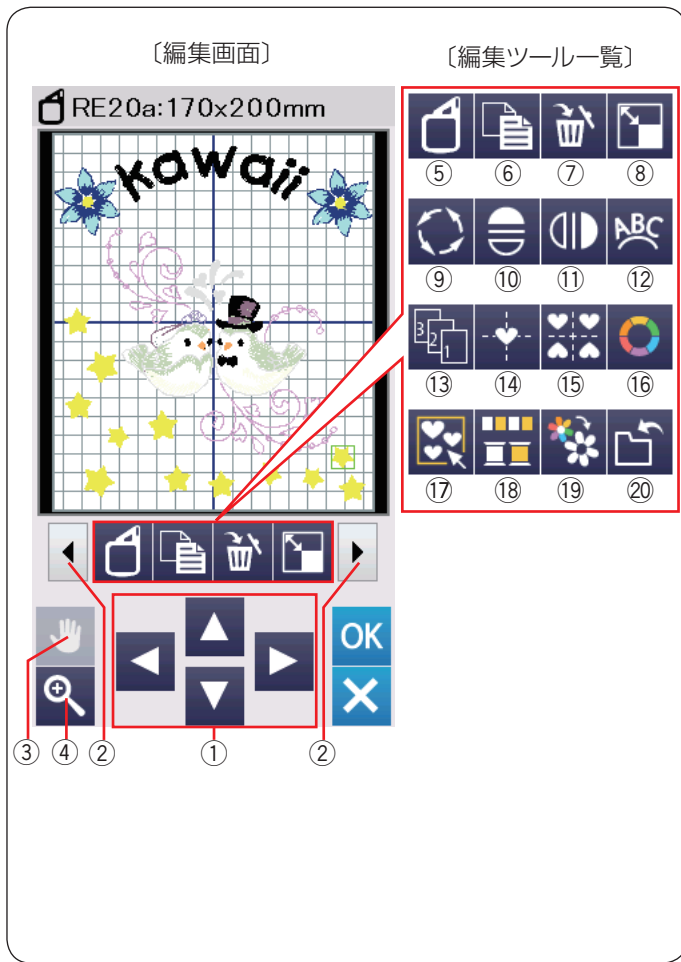
★ 刺しゅうデザインの呼び出し

編集画面では、内蔵の刺しゅう模様、文字、ミシンの内蔵メモリや USB メモリに保存した刺しゅう模様を呼び出すことができます。

内蔵の刺しゅう模様を選択するには、ホームキー①を押し、刺しゅうモードホーム画面を開きます。

内蔵模様キー②を押し、模様選択画面のリストからお好みの模様を選択します。(212 ~ 217 ページ参照)

※ ミシンの内蔵メモリや USB メモリに保存した模様を呼び出す場合、ファイルオープンキー③を押します。(197 ~ 198 ページ参照)



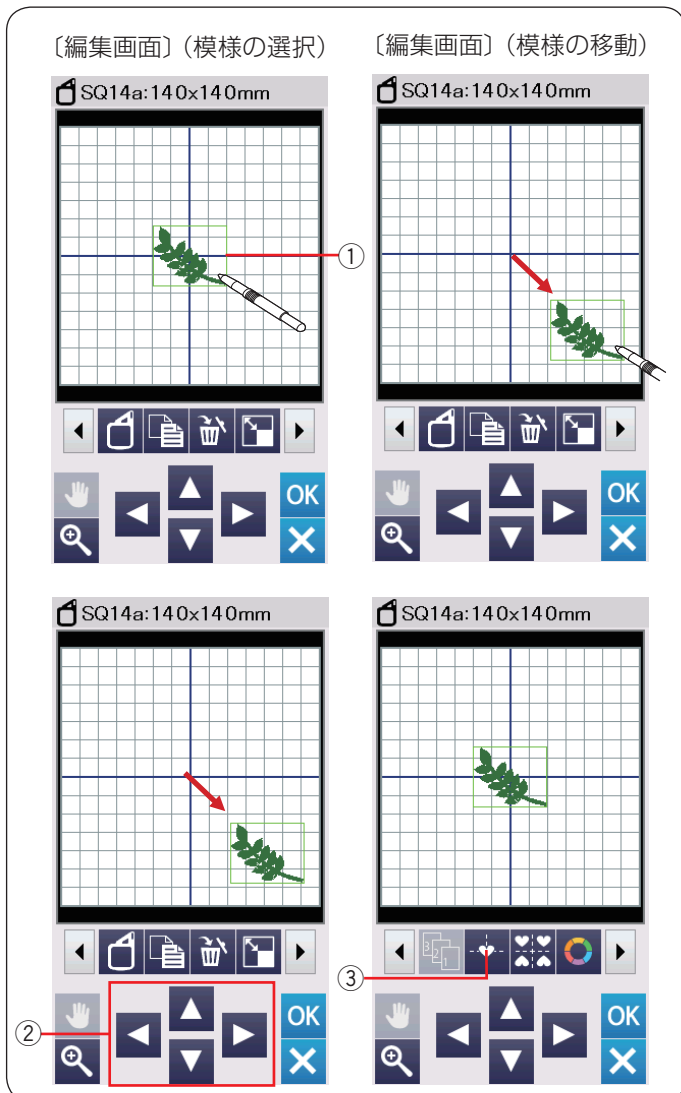
★ 刺しゅう編集画面

模様（編集）に設定されているぬい条件をお好みの条件に変更します。

編集ツールバーには以下の編集キーが含まれています。設定切りかえキー②を押し、編集ツールの表示を切りかえます。

※ 選ばれている模様や設定の状態によっては、キーの色がグレーになっていて使用できないキーがあります。

- ① ジョグキー
- ② 設定切りかえキー
- ③ 画面移動キー
- ④ ズームキー
- ⑤ 刺しゅう枠選択キー
- ⑥ コピーキー
- ⑦ 削除キー
- ⑧ 拡大・縮小キー
- ⑨ 回転キー
- ⑩ 上下反転キー
- ⑪ 左右反転キー
- ⑫ アークキー
- ⑬ ぬい順序変更キー
- ⑭ センターポジションキー
- ⑮ コーナーレイアウトキー
- ⑯ 模様色・背景色設定キー
- ⑰ グループキー
- ⑱ 同色まとめキー
- ⑲ 単色ぬいキー
- ⑳ 保存キー（196 ページ参照）



★ 編集する模様の選択

編集画面で編集したい模様を押します。選択された模様は、緑色の四角枠①で囲まれます。

★ 模様の移動

【タッチペンか指を使う】

動かしたい模様をタッチペンか指で押しながらか、動かしたい位置までそのまま移動します。

メモ：

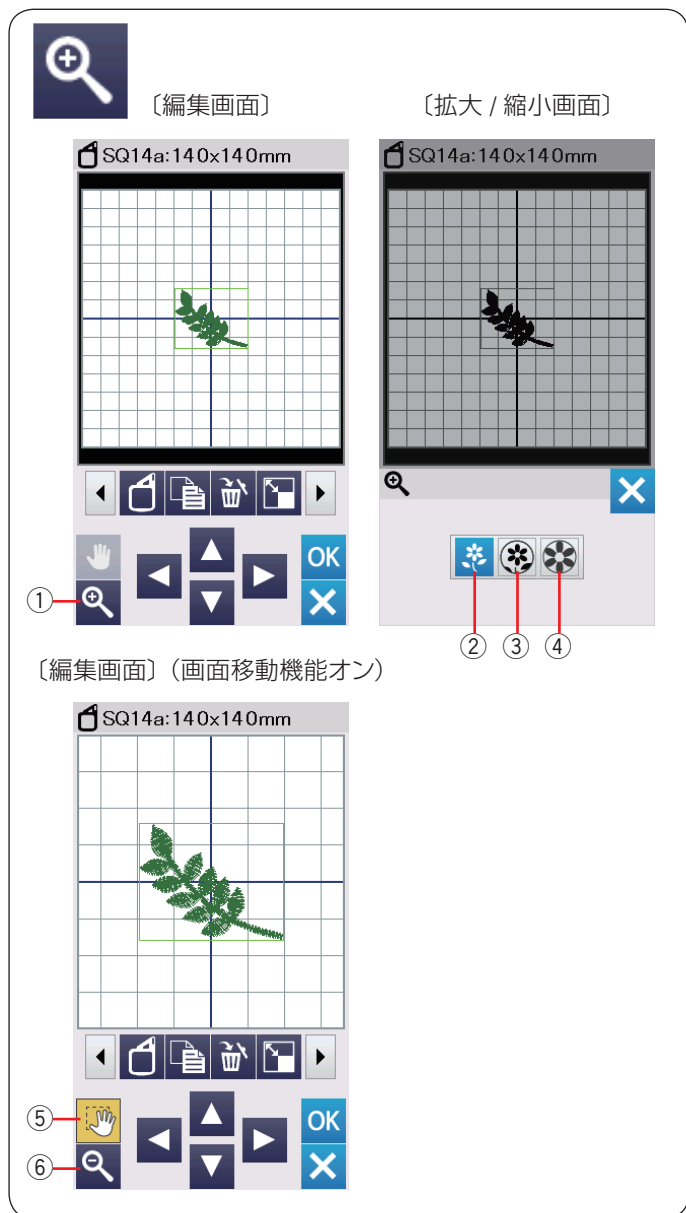
先端のとがったもので画面を押さないでください。故障の原因となります。

【ジョグキーを使う】

選択した模様を、ジョグキー②で動かすこともできます。ジョグキー②を押し、模様を移動したい場所に動かします。

センターポジションキー③を押すと、中心位置に模様もどります。

※ 模様を移動してもキャラリッジは移動しません。



★ 編集画面を拡大する

ズームキー①を押すと、拡大 / 縮小画面が表示されます。普通サイズ②、大サイズ③、最大サイズキー④のいずれかを押して画面の大きさを選びます。

大サイズキー③および最大サイズキー④で画面を拡大すると、画面の移動機能が自動的にオンになり、画面移動キー⑤が黄色で表示されます。

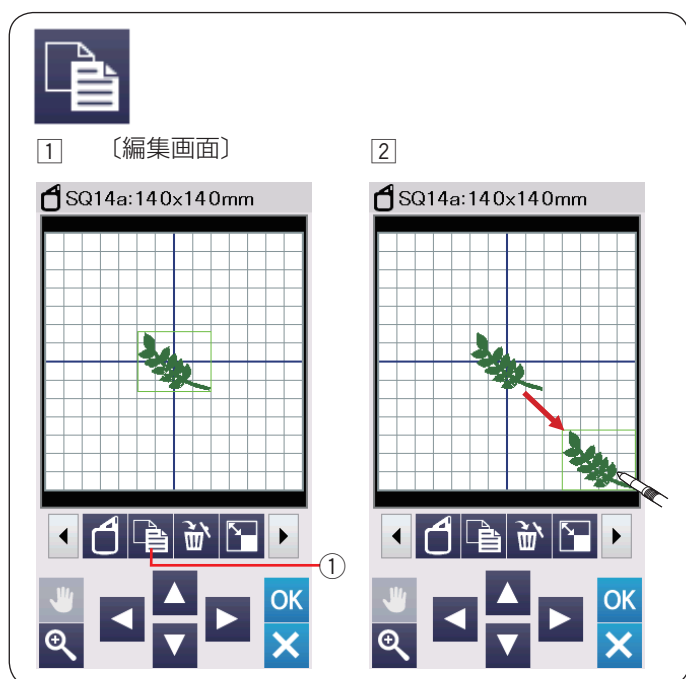
拡大した画面を動かす場合、画面移動キー⑤が黄色の状態では画面をタッチペンか指で押しながら、動かしたい位置までそのまま移動します。

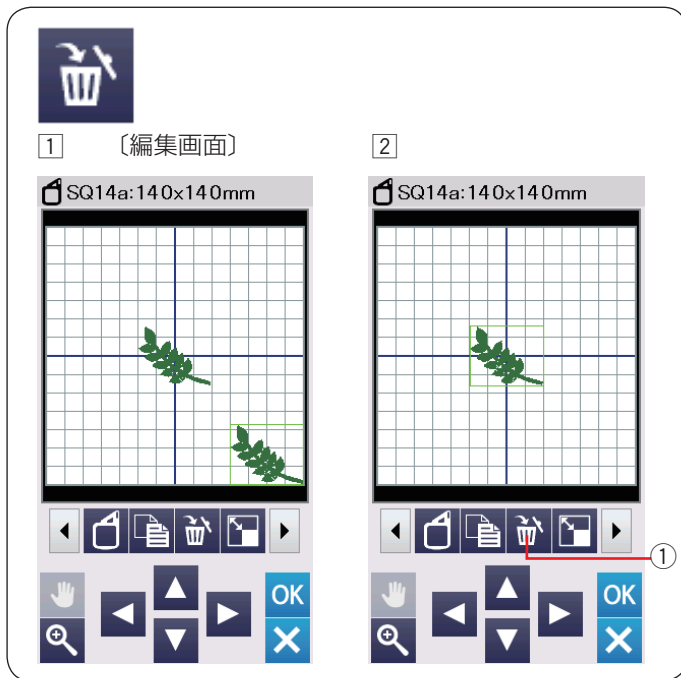
画面移動キー⑤を再度押すと画面移動機能がオフになります。

拡大した模様を普通サイズにもどすには縮小キー⑥を押し、拡大 / 縮小画面が表示させ、普通サイズキー②を押します。

★ 模様をコピーする

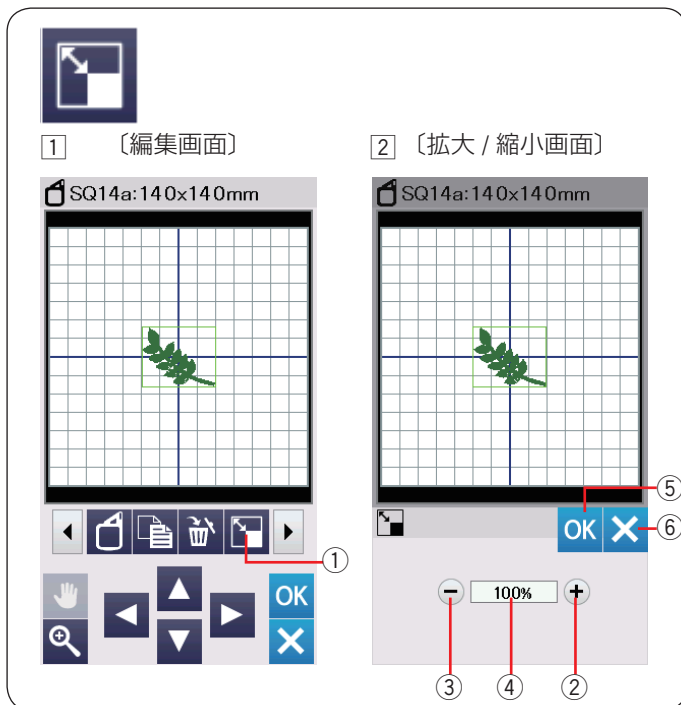
- ① コピーする模様を押します。
 選択した模様が緑色の枠で囲われます。
 コピーキー①を押し、選択した模様をコピーします。
- ② コピーされた模様は元の模様の上に重ねて置かれます。
 指またはタッチペン、ジョグキーなどで移動します。





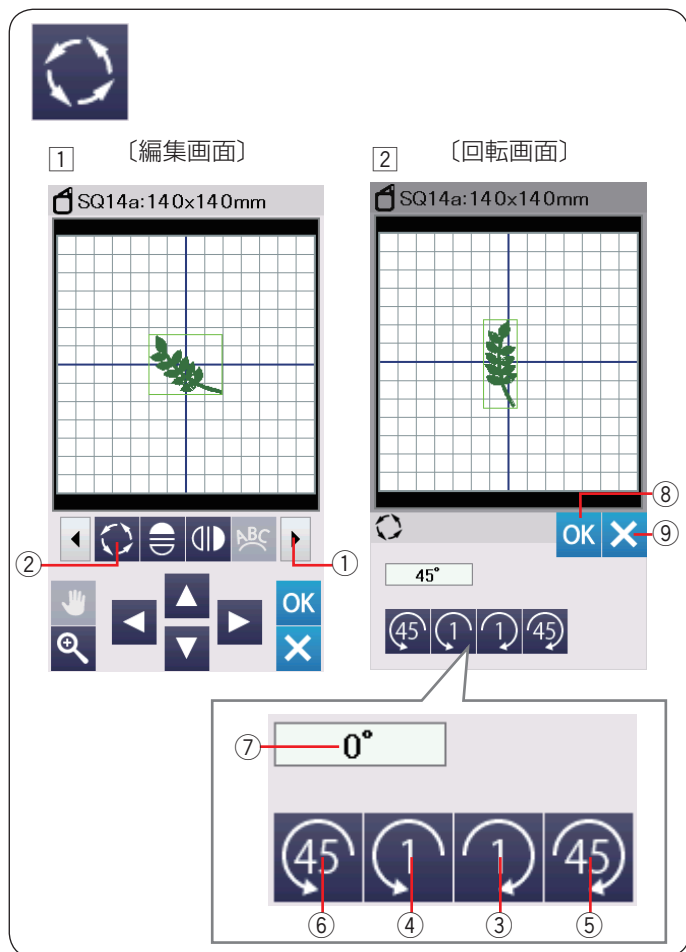
★ 模様削除

- 1 削除する模様を押します。
選択した模様が緑色の枠で囲まれます。
- 2 削除キー①を押し、選択した模様を削除します。







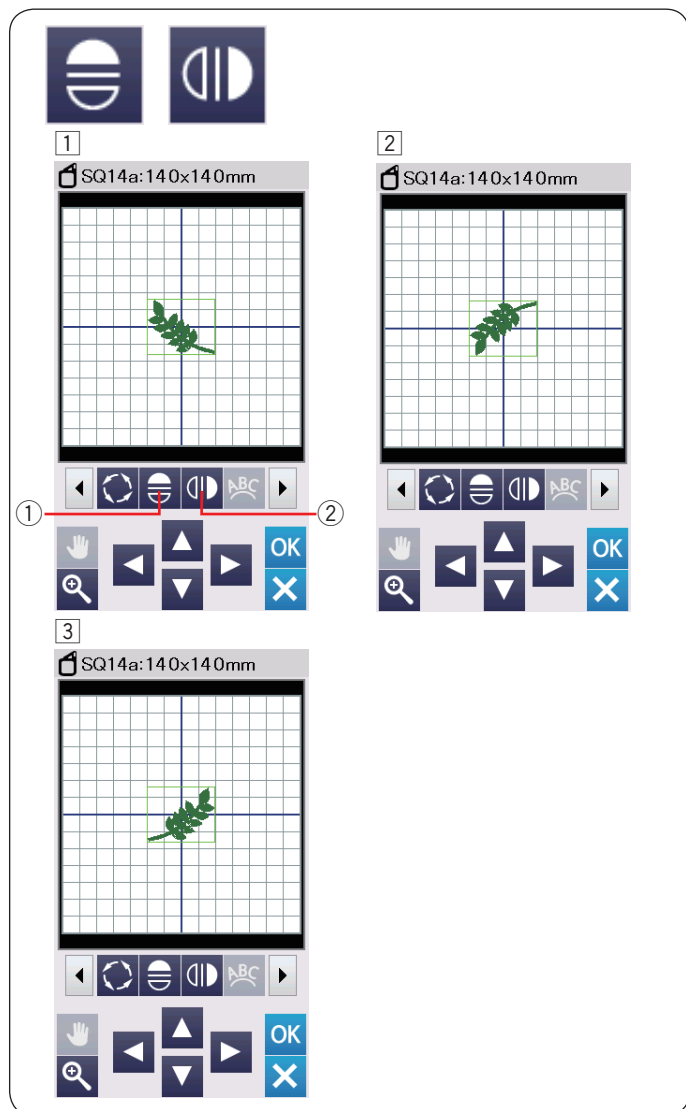
★ 模様のかえり

- 1 拡大または縮小する模様を押します。
選択した模様が緑色の枠で囲まれます。
拡大・縮小キー①を押し、拡大・縮小画面を表示させます。
 - 2 「+」キー②を押して、拡大します。
「-」キー③を押して、縮小します。
選択した模様のサイズを80%～120%の範囲で1%ずつ変更できます。
「+」、「-」キーを長押しすると、サイズを変更する速度が速くなります。
変更した模様のかえり率はパーセンテージ④で表示されます。
- OK キー⑤を押してサイズを変更します。
- 閉じるキー⑥を押すと、変更しないでもとの画面にもどります。





★ 模様を回転させる

- ① 回転させる模様を押します。
 選択した模様が緑色の枠で囲われます。
 設定切りかえキー ① を押し、編集ツールの次のセットを表示させます。
 回転キー ② を押し、回転画面を表示させます。
- ②  キー ③ を押すと、選択した模様が 1° 時計回りに回転します。
 キー ④ を押すと、選択した模様が 1° 反時計回りに回転します。
 キー ⑤ を押すと、選択した模様が 45° 時計回りに回転します。
 キー ⑥ を押すと、選択した模様が 45° 反時計回りに回転します。
 回転させた模様の角度が表示 ⑦ されます。
 OK キー ⑧ を押し、角度を変更します。
 閉じるキー ⑨ を押すと、変更しないでもとの画面にもどります。



★ 模様を反転させる

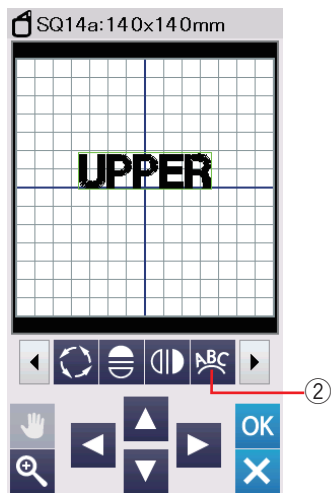
- ① 反転させる模様を押します。
 選択した模様が緑色の枠で囲われます。
 上下反転キー ① もしくは左右反転キー ② を押します。
- ② 上下反転キー  ① を押すと、選択した模様が上下に反転します。
- ③ 左右反転キー  ② を押すと、選択した模様が左右に反転します。



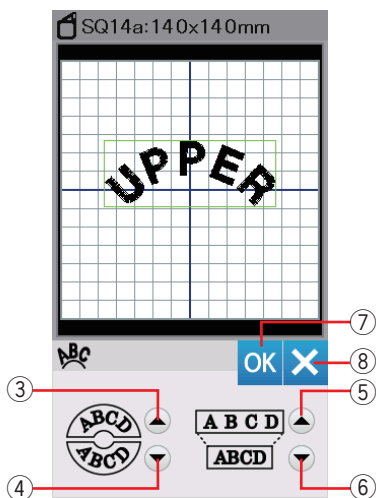
① [文字選択画面：ゴシック体] (1/5 ページ)



② [編集画面]



③ [アーク編集画面]



★ 文字を円弧（アーク） 状に配置する

文字を入力し、編集画面にするとアークキーが表示されます。

編集モードでは上向きアークと下向きアークを作成できます。

(例：UPPER/ ゴシック体 / 文字高さ中)

① 文字を入力し、OK キー ① を押します。

② 入力した文字が編集画面に表示されます。

アークキー ② を押し、アーク編集画面を表示させます。

③ 上向きアークキー ③ を押すと、上向き円弧を作成します。

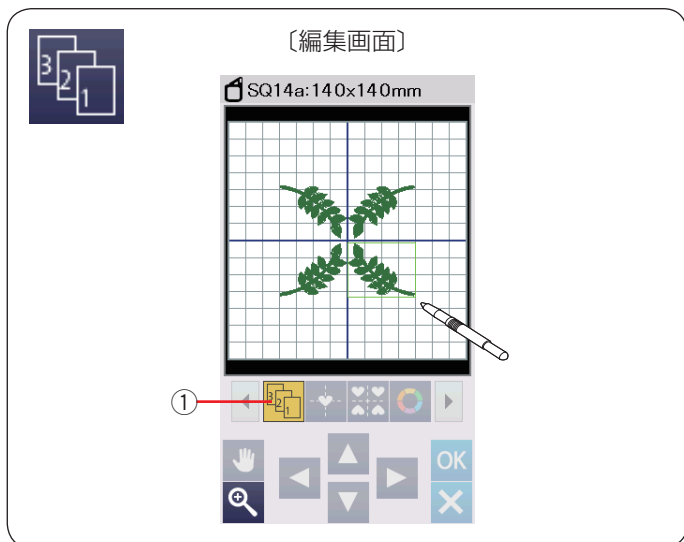
下向きアークキー ④ を押すと、下向き円弧を作成します。

文字間かくキー（広くする）⑤ を押すと、文字間かくが広がります。

文字間かくキー（狭くする）⑥ を押すと、文字間かくが狭くなります。

OK キー ⑦ を押します。

閉じるキー ⑧ を押すと、変更しないでもとの画面にもどります。



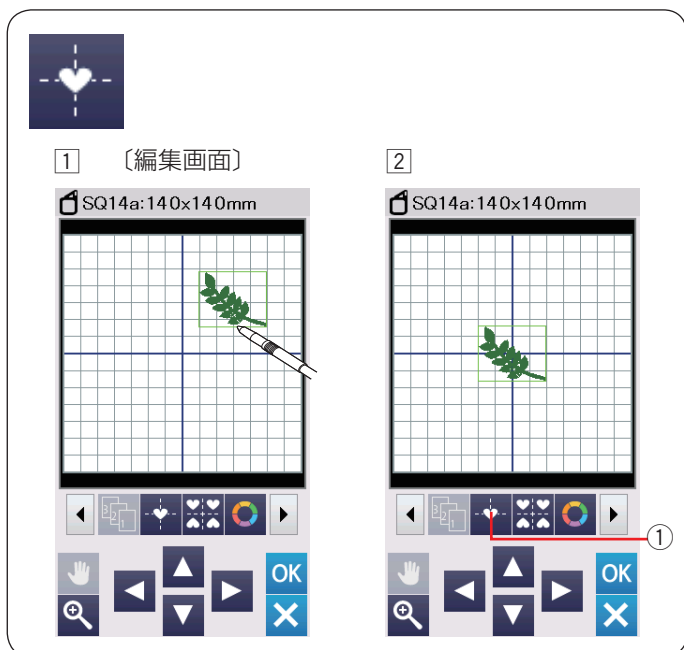
★ めい順序を変更する

組み合わせた模様のめい順序を変更できます。

めい順序変更キー①を押し、めいたい順番に模様を押していきます。

再度、めい順序変更キー①を押します。

前の画面にもどります。



★ 模様を画面中央に配置する

選択した模様を画面の中央に配置できます。

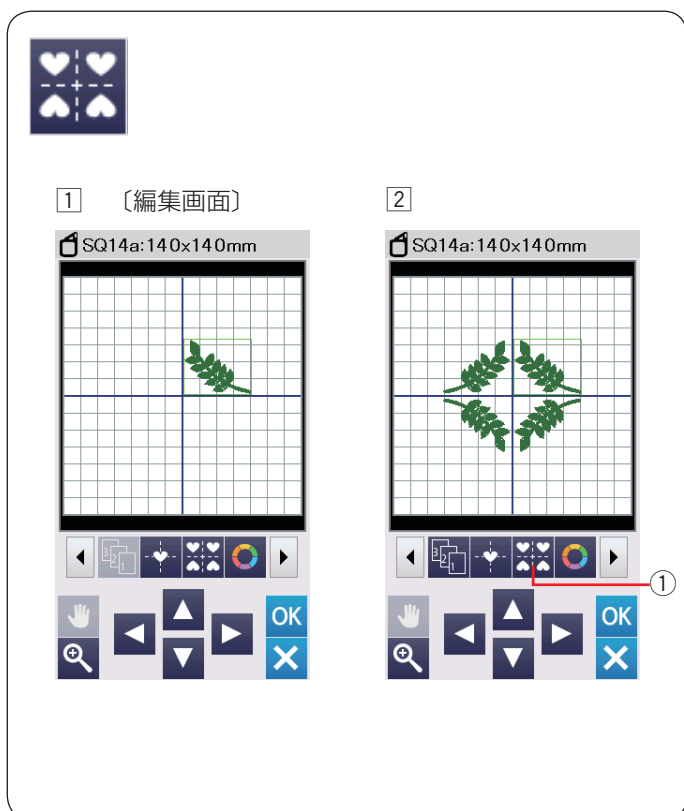
① 移動する模様を押します。

選択した模様が緑色の枠で囲われます。

② センターポジションキー①を押すと、選択した模様が画面の中央に移動します。

メモ：

FA10a 小型刺しゅう枠を使用時、「刺しゅう範囲設定キー」で刺しゅう範囲が限定されている場合（186ページ参照）、選択した模様は限定されたエリアの中央に移動します。



★ コーナーレイアウト

コーナーレイアウトキーで、中心の十字の線を基準に反転コピーします。

1つの模様を上下左右に反転してコピーすることで、四角い枠などを作ることができます。

① コピーする模様を押します。

選択した模様が緑色の枠で囲われます。

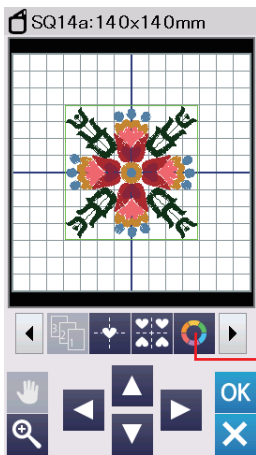
② コーナーレイアウトキー①を押します。

模様が上下左右対称にコピー・配置されます。

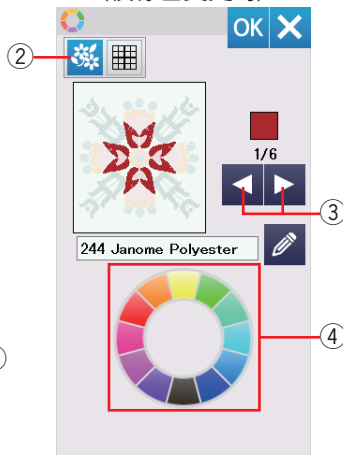


1

〔編集画面〕

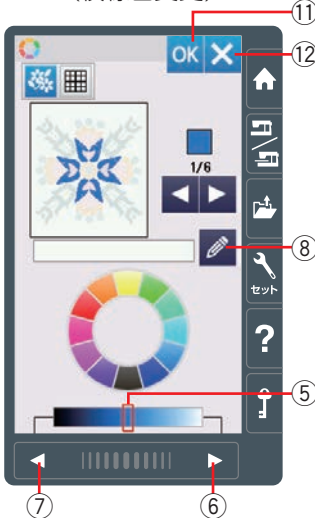


2 〔模様色・背景色設定画面〕
(模様色変更時)



3

〔模様色・背景色設定画面〕
(模様色変更)

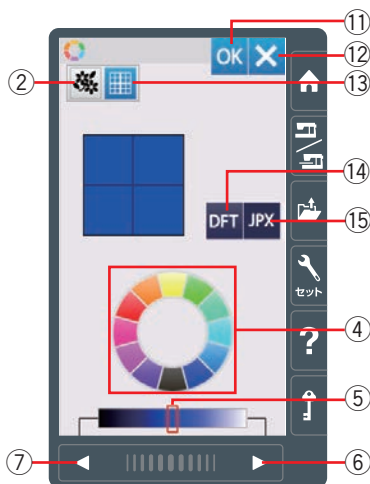


〔新規名称画面〕



4

〔模様色・背景色設定画面〕
(背景色変更時)



★ 模様や背景の色を変更する

編集画面の背景色と模様の色（糸色）を変更して、実際にぬう布色と糸色の編集イメージをつくることができます。

- 1 模様色・背景色設定キー①を押すと、模様色・背景色設定画面（模様色変更）が表示されます。（模様色変更キー②が押された状態）
- 2 模様切りかえキー③で色をかえたい部分を選びます。12個のカラーパレット④からお好みの色を選びます。

- 3 選択したカラーの明るさを変更する場合、次ページキー⑥、前ページキー⑦を押すか、スライダー⑤を右または左へ移動させます。名称入力キー⑧を押し、変更した色に名前を付けられます。新規名称画面で名前を入力し、OK キー⑨を押します。

※ 15文字まで入力可能です。

入力の変更は削除キー⑩を押します。

模様色・背景色設定画面でOK キー⑪を押します。糸色のコードと名前の代わりに、新しく付けた名前が刺しゅう実行画面に表示されます。

- ※ 閉じるキー⑫を押すと、変更しないで元の画面にもどります。

【背景色の変更】

- 4 背景色を変更したい場合、背景色変更キー⑬を押します。

12個のカラーパレット④からお好みの色を選びます。選択した色の明るさを変更する場合、次ページキー⑥、前ページキー⑦を押すか、スライダー⑤を右または左へ移動させます。

OK キー⑪を押します。

※ OK キー⑪を押すと、かえた模様色も変更されます。

※ 初期の状態（白い背景色）にもどす場合、初期化キー⑭を押します。

- ※ 閉じるキー⑫を押すと、変更しないで元の画面にもどります。模様色も変更されません。

- ※ 模様色の変更にもどる場合、模様色変更キー②を押します。

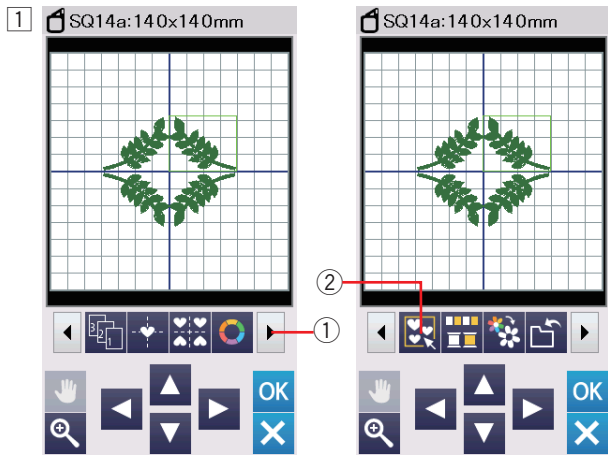
メモ：

JPX フォーマット（背景画像）のファイルを開くときは、「JPX」キー⑮を押します。

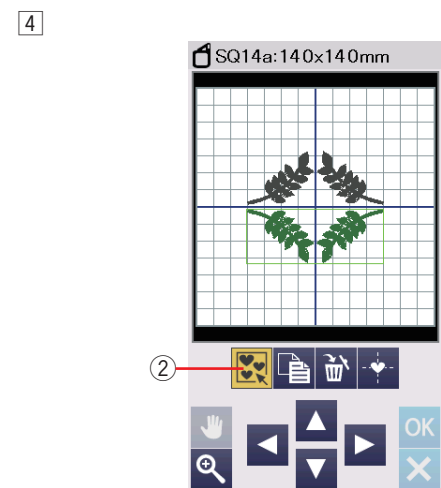
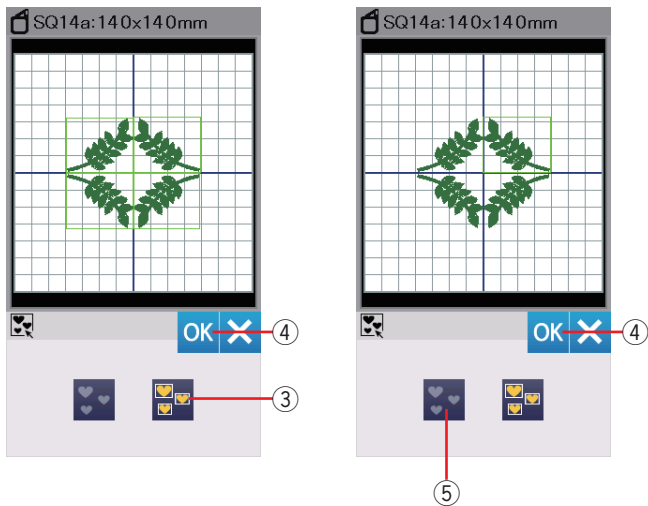
詳細は、付属のCD-ROM アキュツールズSに含まれる「エンブroidアリーエディター」のヘルプをごらんください。



〔編集画面〕



〔グループ選択画面〕



★ 模様ของกลุ่ม化

編集画面の模様全部または、選んだ模様だけをグループ化してコピー、削除、移動することができます。

① 設定切りかえキー ① を押し、グループキー ② を表示させます。
グループキー ② を押し、グループ選択画面を表示させます。

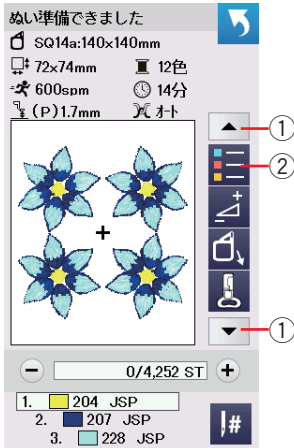
② グループ選択キー ③ を押すと、各模様が緑色の四角枠で囲まれます。
OK キー ④ を押すと、編集画面の模様全てが緑色の四角枠で囲まれ 1 つのグループになります。

③ 選んだ模様だけをグループ化したい場合、グループ化したい模様を押して選択します。選択した模様が緑色の枠で囲まれます。
選択した模様をもう一度押すと、選択が解除されます。
OK キー ④ を押し、選択した模様をグループ化します。
全ての模様の選択を解除したい場合、解除キー ⑤ を押します。

④ グループ化した模様は 1 つのグループとして移動や、コピーができます。
選んだ模様だけをグループ化した場合、グループ化されなかった模様はグレーになり、選択できなくなります。
グループ化を解除する場合、グループキー ② を押します。



1 〔刺しゅう実行画面〕



〔糸色確認画面〕 (同色まとめ前)



★ 同色をまとめて刺しゅうする

組み合わせた同じ模様の同じ糸色を1つにまとめ、糸を替える回数を減らすことができます。

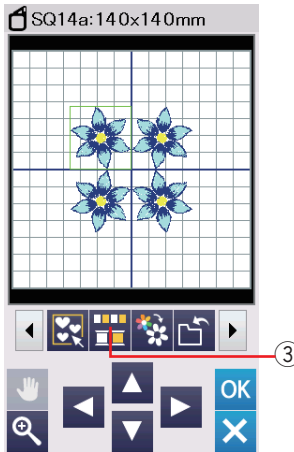
※ 同じ模様のぬい順序が続くように、ぬい順序を設定してください。(174 ページ参照)

同じ模様のあいだに違う模様をぬう順序になっていると、同じ模様の同じ糸色を1つにまとめることができません。

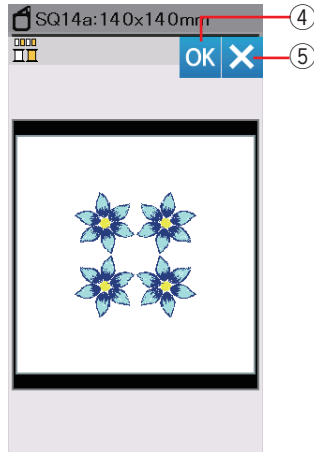
- 1 設定切りかえキー ① を押し、糸色確認キー ② を表示させます。
糸色確認キー ② を押し、糸色確認画面を表示させます。

例えば、この組み合わせ模様は、12 色の色替えになっています。(糸の交換が 12 回)

2 〔編集画面〕



〔同色まとめ画面〕

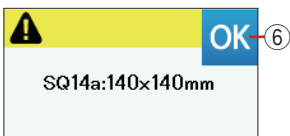


- 2 編集画面で同色まとめキー ③ を押し、同色まとめ画面を表示させます。

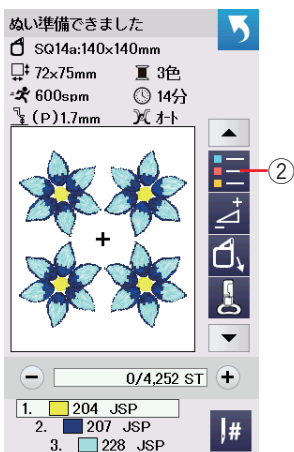
OK キー ④ を押し、刺しゅう枠確認画面が表示されます。枠を確認し、OK キー ⑥ を押します。

キャンセルする場合、閉じるキー ⑤ を押します。

〔刺しゅう枠確認画面〕



3 〔刺しゅう実行画面〕



〔糸色確認画面〕 (同色まとめ後)



- 3 刺しゅう実行画面になります。

糸色確認キー ② で糸色を確認すると、12 色の色替えが 3 色に減りました。(糸の交換が 3 回)

メモ：

編集画面にもどると、同色まとめ設定は解除されます。

★ 単色で刺しゅうする

模様全てを1色でぬうことができます。
全ての模様をぬい終わるまでミシンは停止しません。

- ① 単色ぬいキー①を押します。
- ② 確認画面が表示されたら、OK キー②を押します。
キャンセルする場合、閉じるキー③を押します。

- ③ 刺しゅう実行画面になります。
模様はグレー1色で表示されます。
スタート/ストップボタンを押し、お好みの色で単色ぬいをします。
全ての模様をぬい終わるまでミシンは止まりません。

メモ：
編集画面にもどると、単色ぬい設定は解除されます。

● レース刺しゅうデザイン

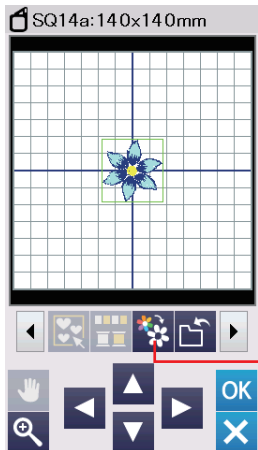
「レース刺しゅうデザイン」の「溶ける芯地用デザイン」と「布地用デザイン」を組み合わせ、立体的なレース刺しゅうを作成できます。

※「溶ける芯地用デザイン」は、水溶性の芯地を使用し刺しゅうを行います。

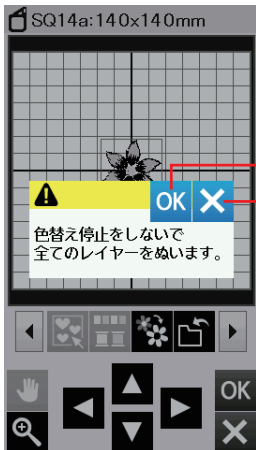
例：蝶（FA10aの模様  ）

- ① 水溶性の芯地を刺しゅう枠に張り、キャリッジに取り付けます。
カテゴリ選択画面の「レース刺しゅうデザイン」→「溶ける芯地用デザイン」を選びます。

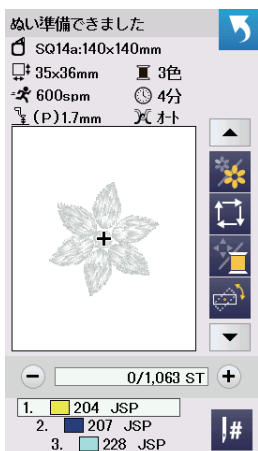
① [編集画面]




② [確認画面]




③ [刺しゅう実行画面]

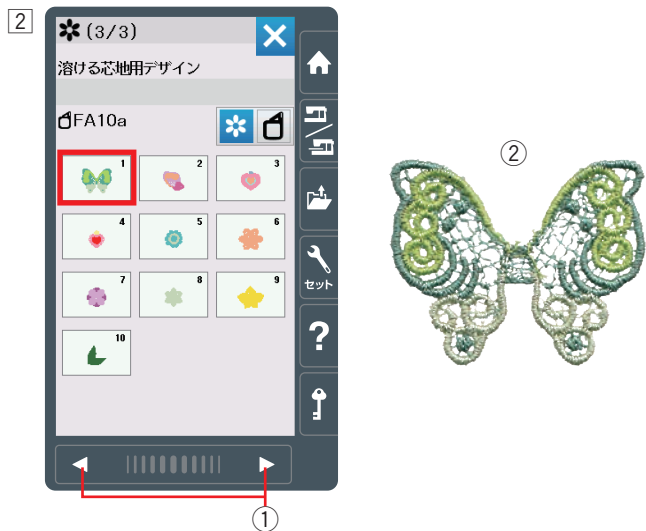


① [カテゴリ選択画面]

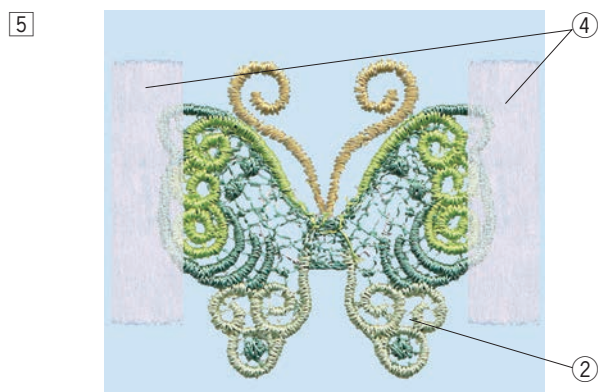
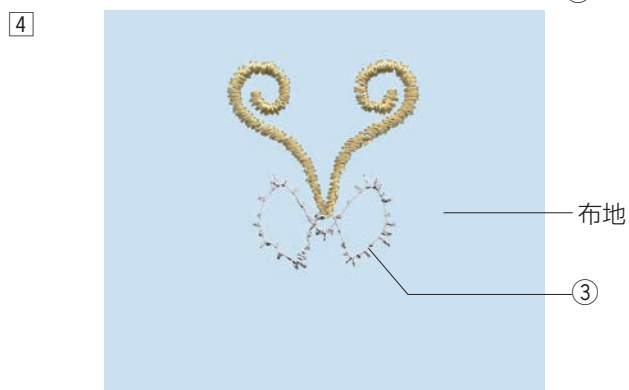





〔模様選択画面：溶ける芯地用デザイン〕 (3/3 ページ)



〔模様選択画面：布地用デザイン〕 (3/3 ページ)



- ② ページキー ① を押し、FA10a の模様  を選びぬきます。

刺しゅうが終わったら芯地を枠から取り外します。はさみで余分な芯地を切り落とし、ぬるま湯 (35 ~ 45 度) にひたして芯地を溶かします。


新しいぬるま湯にかえて 10 分程度ひたすと、きれいに取り除くことができます。何度かぬるま湯ですぐと柔らかくなります。

※ 強くもんだり、こすったりすると模様がくずれてしまうので注意してください。

芯地を溶かしたあとは、タオルにはさみ水分を吸い取り、日陰で平干しをして完全に乾かしてください。蝶の羽根 ② の部分ができあがります。

※ 水溶性芯地の取り扱い方法は、148 ページ【水溶性の芯地 (不織布タイプ) の用途、使用方法】をごらんください。





- ③ 刺しゅう枠に布を張り、カテゴリ選択画面の「レース刺しゅうデザイン」→「布地用デザイン」を選びます。

ページキー ① を押しして FA10a の模様  を選び、1 番目と 2 番目の模様 (色) までぬきます。

- ④ 2 つ目の模様 (色) は蝶の羽根の部分に乗せるためのガイドライン ③ です。

- ⑤ 手順 ② で作成した蝶の羽根 ② の部分をガイドライン ③ の上に乗せます。

テープ ④ で模様を固定します。

※ 刺しゅう実行画面で、 キーを押しキャリッジ移動画面を表示させ、   キーで、ガイドライン ③ に乗せやすい位置に刺しゅう枠を移動してください。(165 ページ参照)

メモ：

上に乗せるレースは芯地を溶かしたあと、完全に乾かしてください。

6



⑥ 3つ目の模様をぬい、蝶の羽根の部分に布地にぬいつけず。

テープをはがし、残りの部分をぬい、完成です。

メモ：

FA10a 模様 ² (布地用デザ

イン) と FA10a 模様 ² (溶

ける芯地用デザイン) も両方のデザインを組み合わせる必要があります。蝶の羽根をガイドラインに乗せてぬいます。



★ 布地用デザインのガイドライン

「布地用デザイン」の模様には、「溶ける芯地用デザイン」を上に乗せるためのガイドラインが含まれています。

ガイドラインをぬったあと、レース（溶ける芯地用デザイン）を上に乗せ固定し、次の模様をぬうとレースを布にぬいつけることができます。

ミシンがガイドラインをぬう順番とガイドラインの場所は下図に表示されています。

ガイドラインをぬったあと、レース（溶ける芯地用デザイン）を上に乗せてテープで固定し、次の模様をぬってレース（溶ける芯地用デザイン）を布にぬいつけます。

FA10a 模様 1



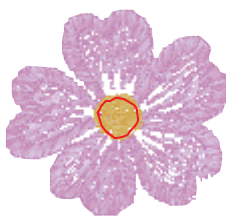
2 番目

FA10a 模様 2



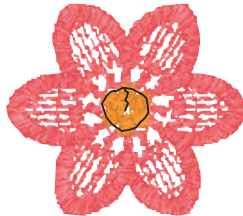
4 番目

FA10a 模様 3



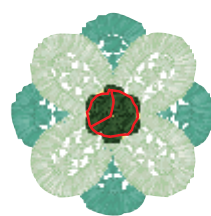
2 番目

FA10a 模様 4



2 番目

FA10a 模様 5



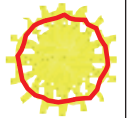
3 番目

FA10a 模様 6



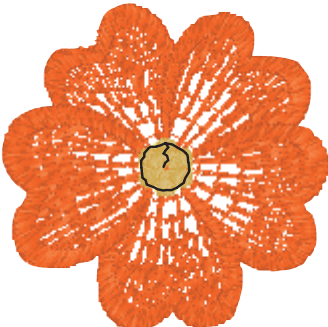
1 番目

FA10a 模様 7



1 番目

SQ14a 模様 1



2 番目

SQ14a 模様 2



2 番目

SQ14a 模様 3



3 番目

SQ14a 模様 5




4 番目と 6 番目

RE20a 模様 1



5、6、7、8、9 番目

★ 溶ける芯地用デザイン RE20a の模様 1

大型水溶性芯地用のデザイン（RE20a の模様 ）に最大 4 つ花の模様をつけることができます。

※ 「溶ける芯地用デザイン」は、水溶性の芯地を使用し刺しゅうを行います。

① RE20a の模様  のデザインに取り付けたい花の模様を 4 つ用意します。

水溶性の芯地を刺しゅう枠に張り、キャリッジに取り付けます。

「溶ける芯地用デザイン」からお好みのデザインを選び、水溶性の芯地にぬいます。刺しゅうが終わったら芯地を枠から取り外します。はさみで余分な芯地を切り落とし、ぬるま湯（35～45 度）にひたして芯地を溶かします。

新しいぬるま湯にかえて 10 分程度ひたすと、きれいに取り除くことができます。何度かぬるま湯ですぐと柔らかくなります。

※ 強くもんだり、こすったりすると模様がくずれてしまうので注意してください。

芯地を溶かしたあとは、タオルにはさまみ水分を吸い取り、日陰で平干しをして完全に乾かしてください。

※ 水溶性芯地の取り扱い方法は、148 ページ【水溶性の芯地（不織布タイプ）の用途、使用方法】をごらんください。

② 水溶性の芯地にチャコペンで十字線を描き、芯地を刺しゅう枠（RE20a）に張り、キャリッジに取り付けます。
※ 水性のチャコペンは使わないでください。水溶性の芯地が溶けます。

③ カテゴリー選択画面の「レース刺しゅうデザイン」→「溶ける芯地用デザイン」を選びます。


ページキー①を押して RE20a の模様  を選びます。

④ 11 番目の模様（色）までぬいます。

11 番目の模様は花のデザインをのせるためのガイドラインです。

手順①で作成した花のうち、お好みの花をガイドラインの上に乗せます。

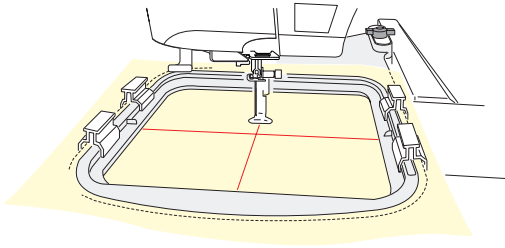
⑤ 花の模様をテープで貼ります。

12 番目の模様をぬい、花を RE20a の模様  のデザインにぬいつけます。

①



②

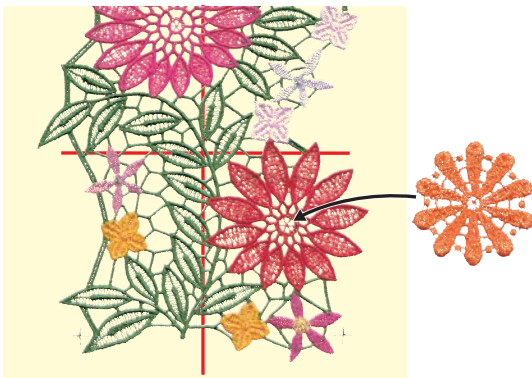


③

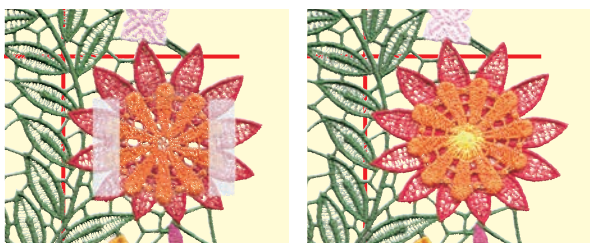
〔模様選択画面：溶ける芯地用デザイン〕（2/3 ページ）



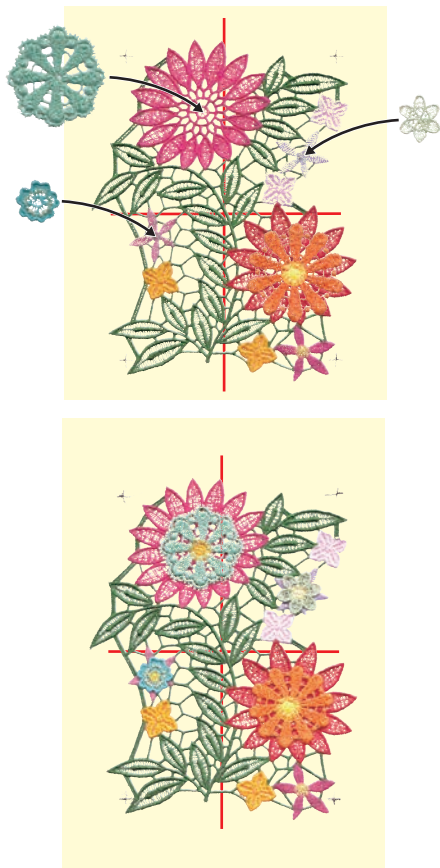
④



⑤



⑥



⑥ 残りの部分をぬいます。

13、15、17 番目の模様がガイドラインです。

手順①で作成した花の模様をぬいつけます。

(手順⑤の説明と同じ方法)

刺しゅうが終わったら芯地を枠から取り外します。

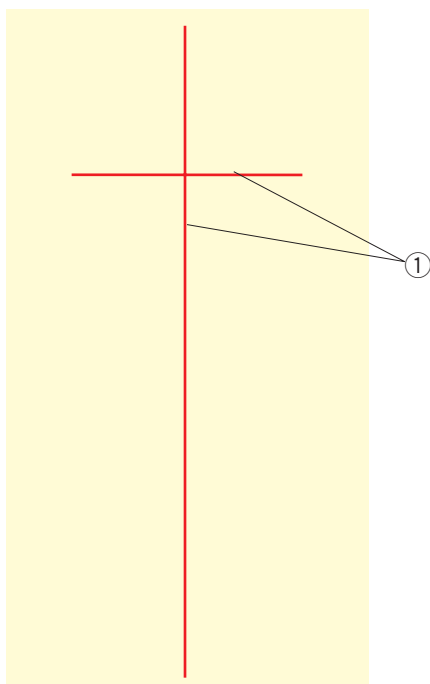
はさみで余分な芯地を切り落とし、ぬるま湯（35～45度）にひたして芯地を溶かします。

新しいぬるま湯にかえて10分程度ひたすと、きれいに取り除くことができます。何度かぬるま湯ですすぐと柔らかくなります。


※ 強くもんだり、こすったりすると模様がくずれてしまうので注意してください。

芯地を溶かしたあとは、タオルにはさみ水分を吸い取り、日陰で平干しをして完全に乾かしてください。

①



★ 溶ける芯地用デザイン RE20a 模様 1 の連結

溶ける芯地用デザイン（RE20a の模様 ）は縦もしくは横に連結することができます。

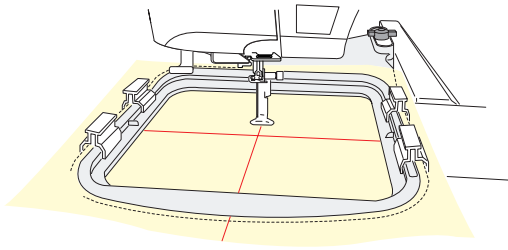
例：RE20a の模様  を縦に連結する。

① 水溶性の芯地にチャコペンで十字線①を描きます。

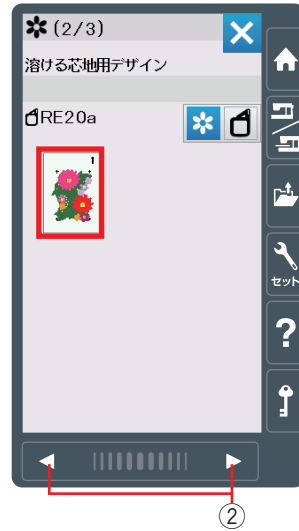
※ 水性のチャコペンは使わないでください。水溶性の芯地が溶けます。

縦の線は模様を連結できる十分な長さをとります。

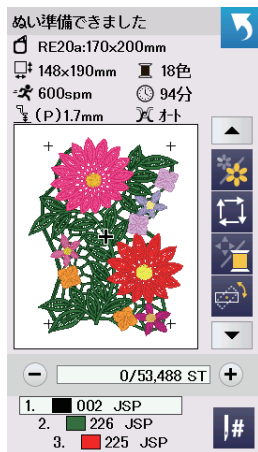
2



〔模様選択画面：溶ける芯地用デザイン〕 (2/3 ページ)



〔刺しゅう実行画面〕

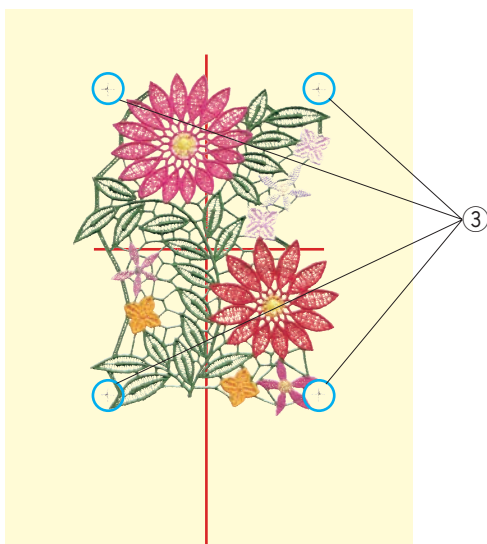


② 水溶性の芯地を刺しゅう枠 (RE20a) に張り、キャリッジに取り付けます。

カテゴリ選択画面の「レース刺しゅうデザイン」→「溶ける芯地用デザイン」を選びます。

ページキー②を押してRE20aの模様  を選びます。

3

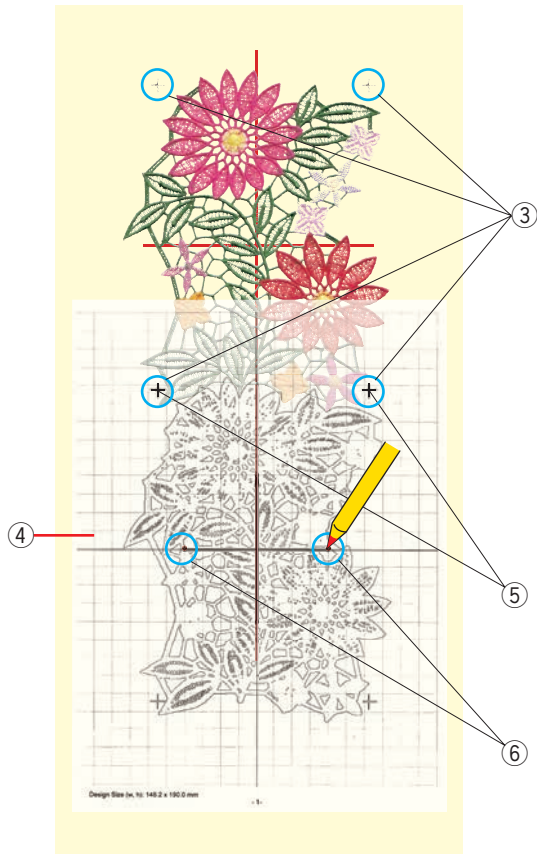


③ スタート/ストップボタンを押してぬいます。

刺しゅう枠をキャリッジから取り外し、芯地を刺しゅう枠から外します。

刺しゅうの四つ角には、十字マーク③がぬわれます。

4

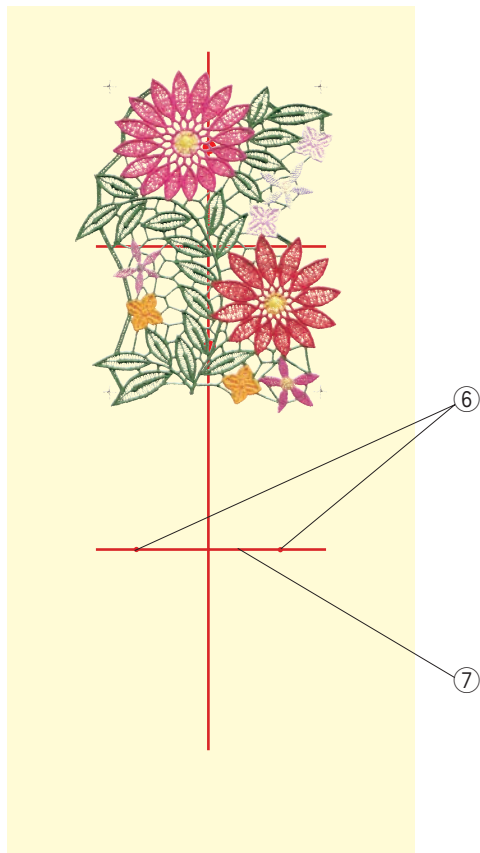


4) テンプレートシート④を印刷します。※
手順③でぬった刺しゅうの下の十字マーク③とテンプレートシート④の十字マーク⑤を合わせて水溶性の芯地の上に乗せます。

※ テンプレートシートの印刷方法は、付属のCD-ROM アキュツールズSに含まれる「エンプロイダリーエディター」のヘルプをごらんください。

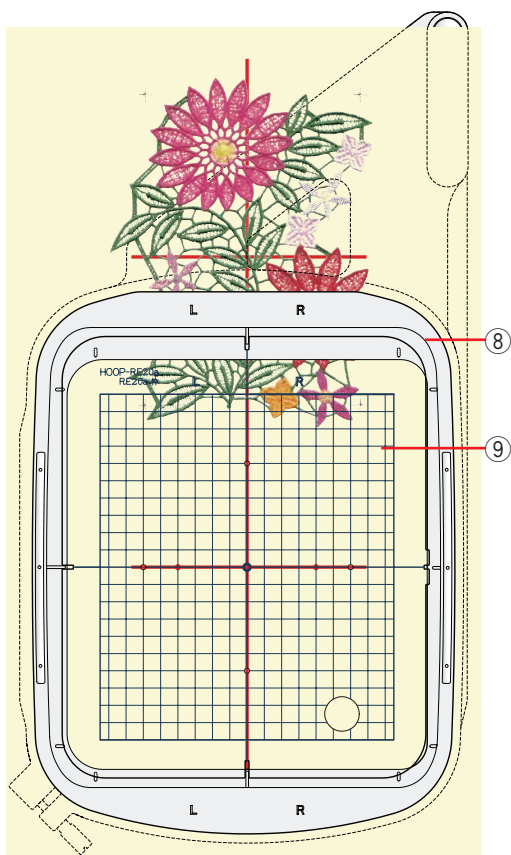
テンプレートシート上の点⑥を、水溶性の芯地に写るようにマーク（点）し、テンプレートシート④を外します。

5



5) 手順④でマークした点⑥をつないだ水平の線（2つ目の模様のセンターライン⑦）を引きます。

6



- ⑥ 手順⑤で引いた2つ目の模様センターラインと刺しゅう枠⑧のテンプレート⑨の十字線を合わせて水溶性の芯地を刺しゅう枠に張ります。

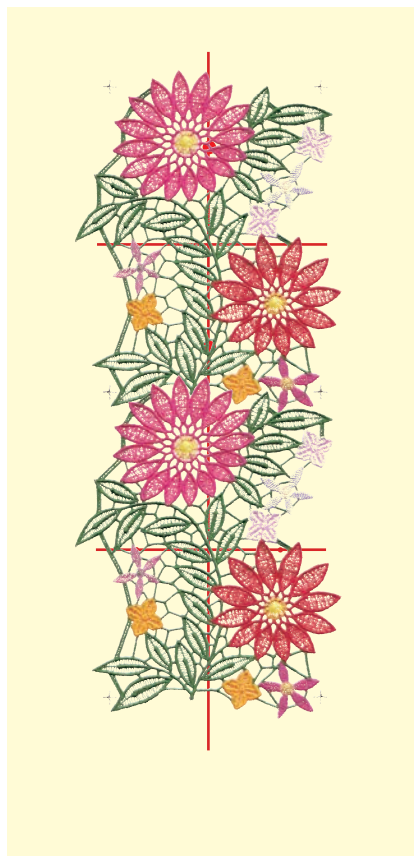
刺しゅう枠⑧をキャリッジに取り付け、スタート/ストップボタンを押します。

十字マークがぬわれます。

必要に応じて、ジョグキーや位置/角度微調整キーで刺しゅう枠の位置を調整します。(163ページ参照)

スタート/ストップボタンを押し、模様をぬいます。

7



- ⑦ 刺しゅうが終わったら芯地を枠から取り外します。はさみで余分な芯地を切り落とし、ぬるま湯(35～45度)にひたして芯地を溶かします。

新しいぬるま湯にかえて10分程度ひたすと、きれいに取り除くことができます。何度かぬるま湯ですすぐと柔らかくなります。

※ 強くもんだり、こすったりすると模様がくずれてしまうので注意してください。

芯地を溶かしたあとは、タオルにはさみ水分を吸い取り、日陰で平干しをして完全に乾かしてください。

● フリーアーム刺しゅう枠 (FA10a) の使い方

刺しゅう枠 FA10a は、そでやパンツなど、円筒状の布に特化した刺しゅう枠です。

開きぐち (そで口) の長さをご確認ください。
開きぐちの幅は 20 cm 以上であることが条件です。
刺しゅう可能な範囲は、開きぐちから 20 cm 以内です。

開きぐち：

開きぐちの幅が 20 cm ~ 25 cm の場合、刺しゅう枠を動かせる範囲がせまいため、刺しゅうできる範囲が限定されます。


★ フリーアーム刺しゅう

① 布の刺しゅう位置に十字線 ① を描きます。

② 編集画面から刺しゅう枠選択キー ② で刺しゅう枠 (FA10a) を選びます。

ホームキー ③ を押し、刺しゅうモードホーム画面を開きます。

模様キー ④ を押し、刺しゅう枠選択キー ⑤ を押し、刺しゅう枠別選択画面で刺しゅう枠 (FA10a) ⑥ を選びます。

③ 模様を選びます。(例は FA10a の模様  32)

④ 編集画面の刺しゅう範囲設定キー ⑦ を押し、刺しゅう範囲設定画面を表示させます。

「+」もしくは「-」キー ⑧ を押し、開きぐちの長さを入力します。

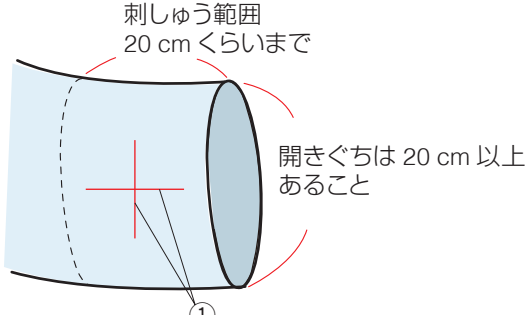
刺しゅう範囲設定画面で OK キー ⑨ を押します。

閉じるキー ⑩ を押し、変更しないで元の画面にもどります。

メモ：

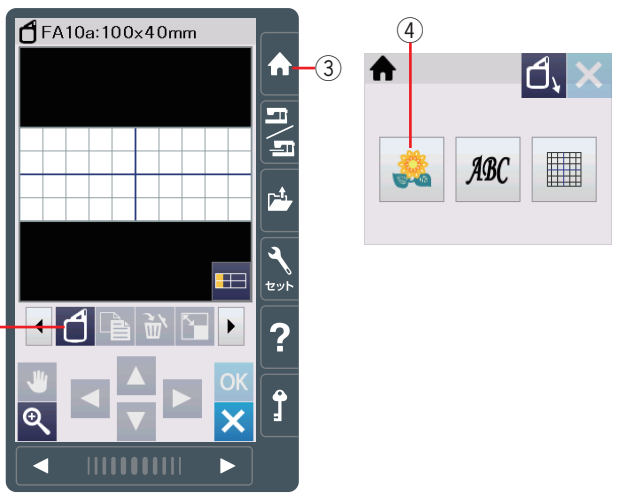
開きぐちの長さを 250 mm 未満に設定すると、以下の場合も、渡り糸の自動糸切りは無効となり、ミシンをスタートさせると、メッセージ画面が表示されます。

- ・「簡単設定」を「ON」に設定時 (193 ページ参照)
- ・「カスタマイズ」の「渡り糸の糸切り長さ」を「OFF」以外に設定時 (193 ページ参照)



①

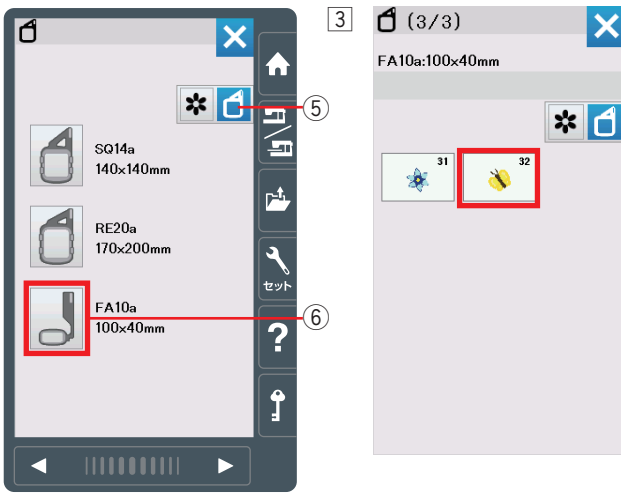
② [編集画面] [刺しゅうモードホーム画面]



③

④


[刺しゅう枠別選択画面]



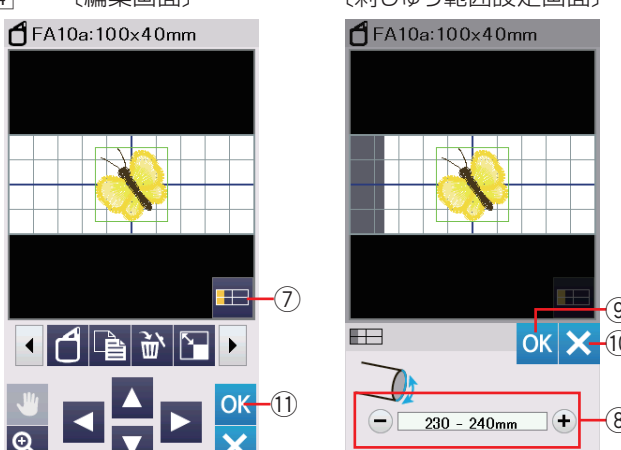
⑤

⑥

③ (3/3) FA10a:100x40mm

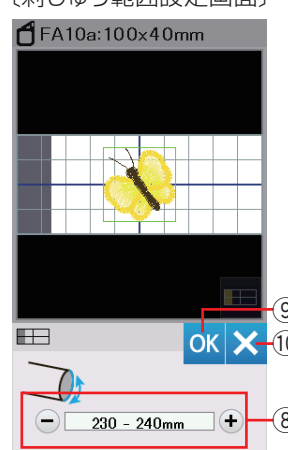


④ [編集画面] [刺しゅう範囲設定画面]



⑦

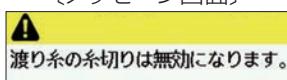
⑧



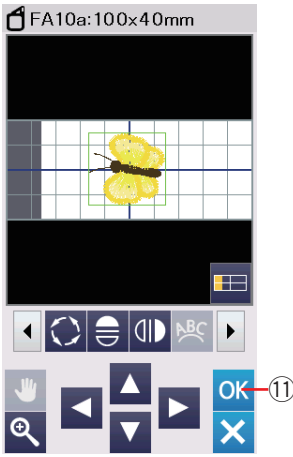
⑨

⑩

[メッセージ画面]



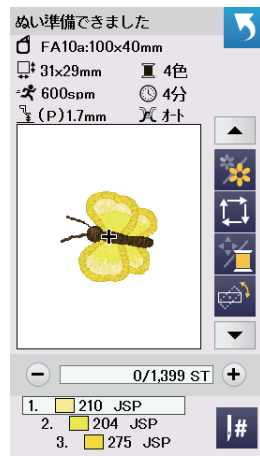
5 [編集画面]



[確認画面]



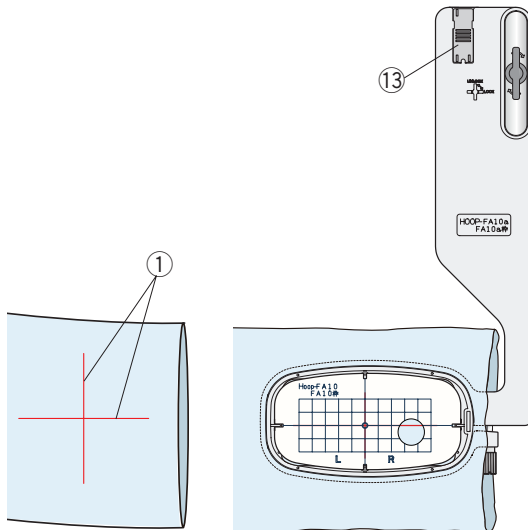
[刺しゅう実行画面]



5 編集画面で編集を行い、OK キー ⑪ を押すと、確認画面が表示されます。

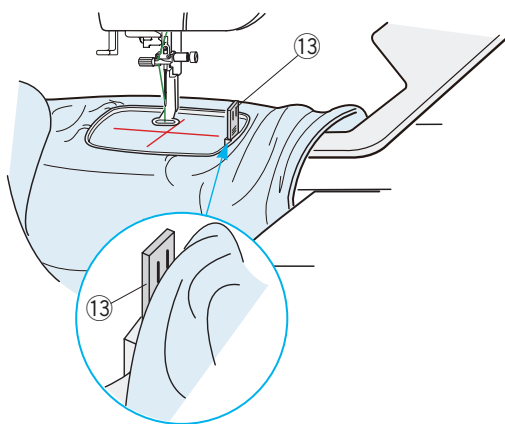
確認画面の OK キー ⑫ を押し、刺しゅう実行画面に移ります。

6



6 図のようにフリーアーム刺しゅう枠 (FA10a) の外枠を筒の中に入れ、内枠にテンプレートを入れます。手順 ① で布に書いた十字線 ① とテンプレートの基準線を合わせ、刺しゅう枠 (FA10a) に布を張ります。

7



7 補助テーブルを取り外します。

筒の中にフリーアームを入れて、刺しゅう枠をキャリッジに取り付けます。

※ 刺しゅう枠の取り付け方は 150 ページをごらんください。

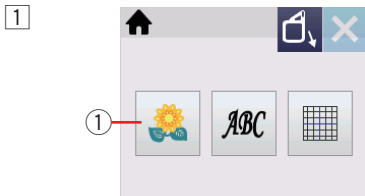
そでやすその部分が刺しゅう枠の動きをじゃましないように、布の先はまくりあげてください。

※ 布が刺しゅう枠の中に入り込む場合、外枠の端にある布端押さえ ⑬ を内枠に立てます。

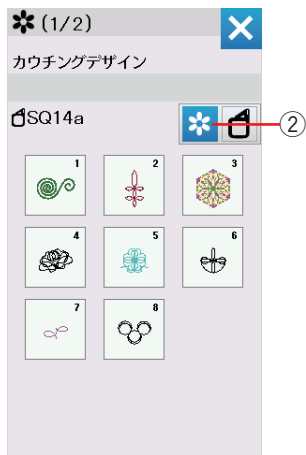
※ 刺しゅうをしているとき、刺しゅう枠の動きを布が妨げないように注意してください。

ぬい終わったら、刺しゅう枠をキャリッジから外し、布をフリーアームから外します。

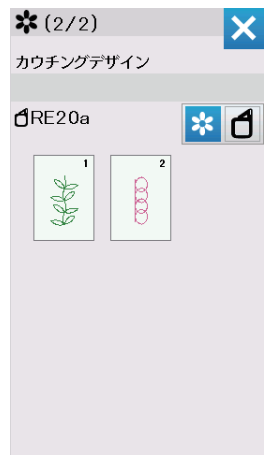
〔刺しゅうモードホーム画面〕



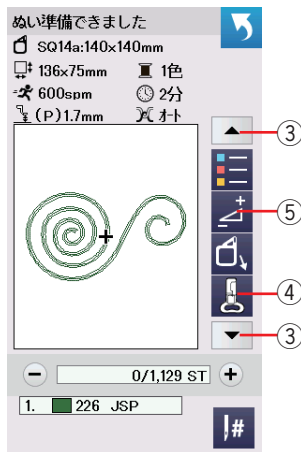
〔模様選択画面：カウチングデザイン〕 (1/2 ページ)



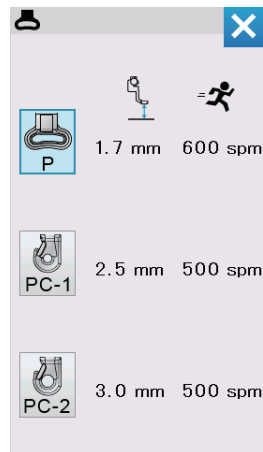
〔模様選択画面：カウチングデザイン〕 (2/2 ページ)



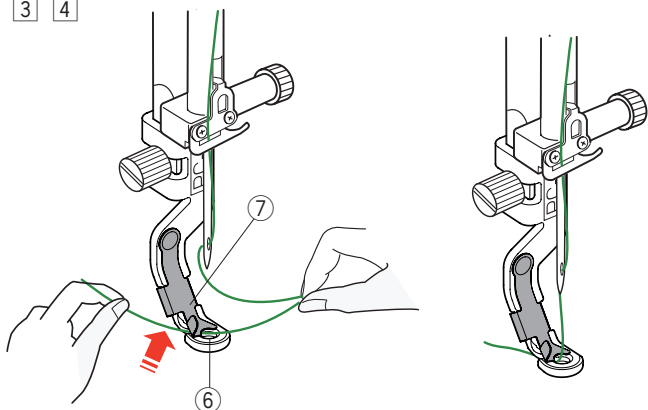
〔刺しゅう実行画面〕



〔刺しゅう押さえ変更画面〕



3 4



● カウチングデザインのぬい方

毛糸を布に飾り付けることができます。

押さえは PC-1：カウチング押さえもしくは、PC-2：カウチング押さえを使用します。

・PC-1：並太（棒針のサイズ：6～8号）の毛糸

・PC-2：並太～極太（棒針のサイズ：8～10号）の毛糸

メモ：

- ・カウチングデザインでは並太～極太の毛糸を使用してください。
- ・硬い糸（コード）をぬいつけないでください。
- ・同じ号数でも、毛糸によって太さが異なります。必ず試しぬいをしてください。
- ・単色ぬいキー（178 ページ参照）を使用しないでください。毛糸の処理に問題が発生します。
- ・上糸と下糸を毛糸と同じ色にすると、きれいに仕上がります。

1 ホームキーで刺しゅうモードホーム画面を開き、内蔵模様キー①→デザインカテゴリーキー②→「カウチングデザイン」を選び、模様選択画面でお好みのデザインを選びます。

2 刺しゅう実行画面の設定切り替えキー③で、刺しゅう押さえ変更キー④を表示させます。

刺しゅう押さえ変更キー④押し、刺しゅう押さえ変更画面を開きます。

ぬい付けたい毛糸の太さに合わせた押さえを選びます。押さえの種類に対して、最適な押さえの高さに設定されます。

毛糸が太いときや、毛糸が何本も重なる場合、調整キー⑤を押し、押さえ高さを調整します。（164 ページ参照）

※ カウチングデザインをぬう場合、必ず刺しゅう押さえ変更画面で、適切な押さえを選んでください。

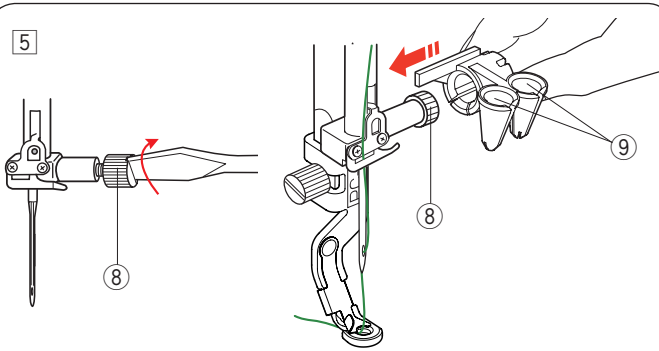
※ 最高ぬい速度が 500 spm 以上に設定されている場合も、毛糸を安全にぬい付けるため、最高ぬい速度は 500 spm となります。本体のスピードコントロールつまみで 400 spm～500 spm に変更できます。遅い速度でぬうと、きれいにぬえます。

⚠ 注意：

押さえ、補助糸ガイド棒、針止めひも案内をミシンに取り付ける場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

3 選択したカウチング押さえを取り付けます。（20 ページ参照）

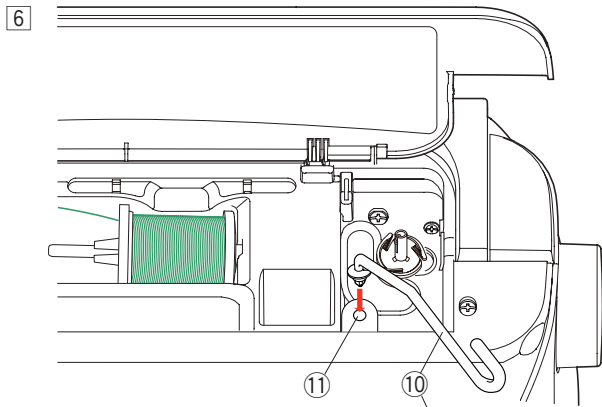
4 はずみ車を手前にまわし、針がカウチング押さえの穴⑥の中心を通ることを確認します。上糸を両手で持ち、押さえの板金⑦の下に滑り込ませるようにして入れて、上糸を押さえの穴⑥に通します。



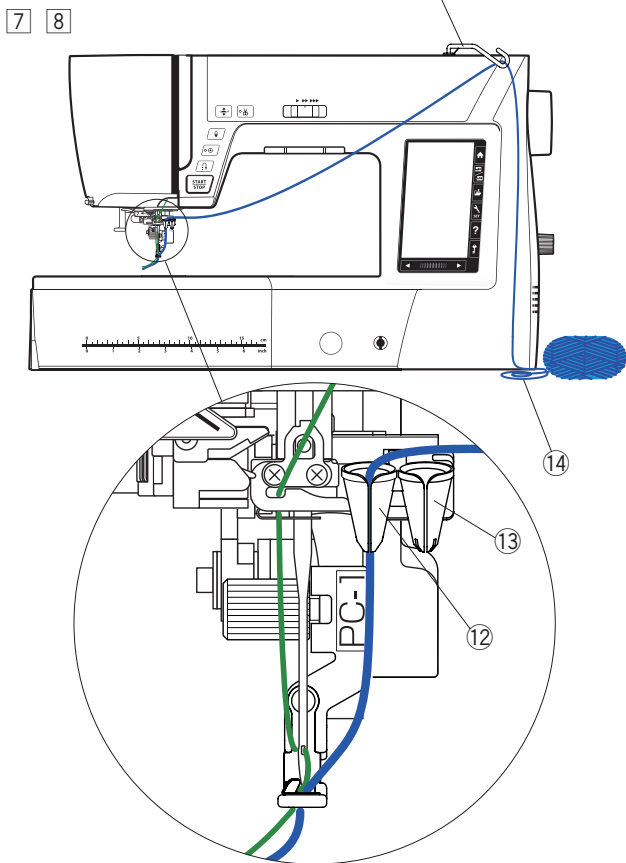
- 5 針止めねじ ⑧ をドライバーでしっかりしめ直します。
針止めひも案内のくち ⑨ を上に向け、針止めねじ ⑧ にスライドさせ、しっかり取り付けます。

⚠ 注意：

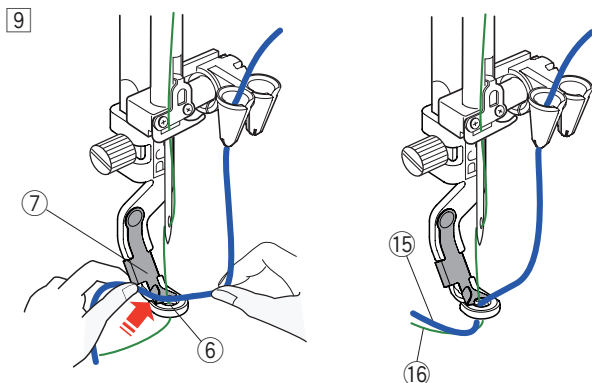
針止めねじを手前側に回さないよう、十分注意してください。
手前側にまわすと針止めねじがゆるみ、ぬい途中に針が落ち、故障やけがの原因となります。



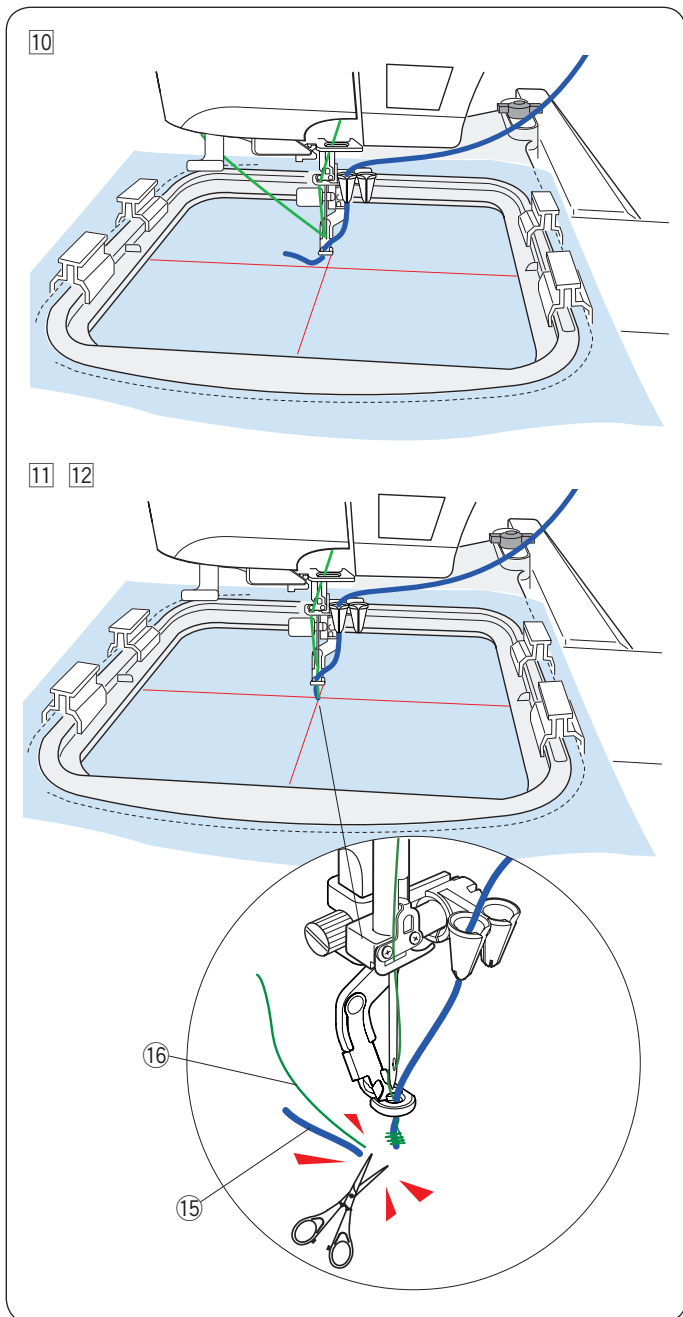
- 6 補助糸ガイド棒 ⑩ を補助糸立て棒取り付け穴 ⑪ に入れます。
補助糸ガイド棒 ⑩ が動かない位置にくるように、まわしながらしっかり入れ、図の向きに取り付けます。



- 7 毛糸を補助糸ガイド棒 ⑩ にかかけます。
8 毛糸を針止めひも案内の前面のすきまから入れます。
押さえを PC-1 にしたときは左側の案内 ⑫ に入れます。
押さえを PC-2 にしたときは右側の案内 ⑬ に入れます。
※ 毛糸 ⑭ を常にたるませておくと、きれいにぬうことができます。



- 9 毛糸を両手で持ち、押さえの板金 ⑦ の下に滑り込ませるようにして入れて、毛糸を押さえの穴 ⑥ に通します。
毛糸 ⑮ と上糸 ⑯ をうしろに引き出します。



⚠ 注意：

毛糸玉の中に結び目があることがあります。結び目がひも案内に引っかかると、故障の原因となります。針止めひも案内に結び目が引っかかることによって、針止めねじがゆるみ、ぬい途中に針が落ちて、故障やけがの原因となります。ぬい途中に結び目がこないことを確認するために、目を離さないようにしてください。結び目はカットしてぬいつなぎます。

10 布を刺しゅう枠に張り、刺しゅう枠をキャリッジに取り付けます。(149～150ページ参照)

※ 必ず試しぬいをしてください。

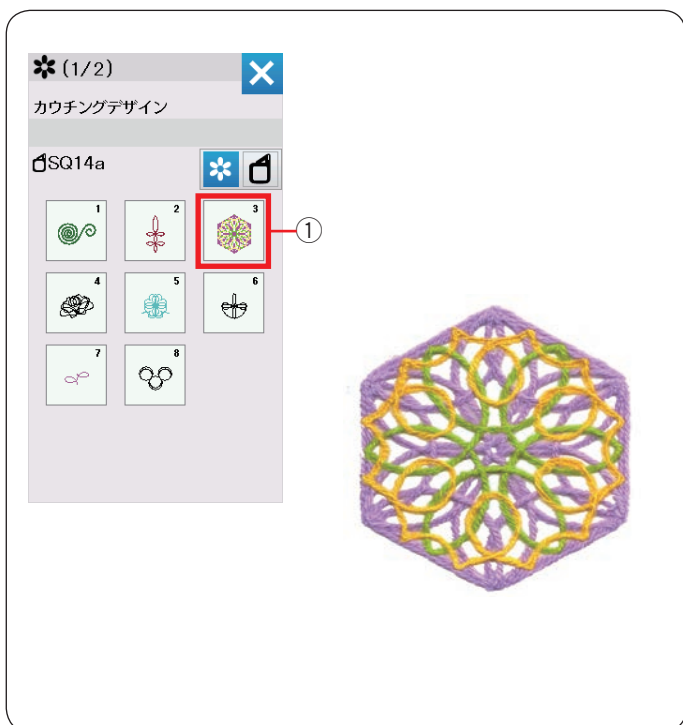
11 スタート/ストップボタンを押します。5～6針ぬったところで、スタート/ストップボタンを押し、ミシンを止めます。

12 ぬい始めの余分な毛糸 15 と上糸 16 を、ぬい目のきわから切ります。スタート/ストップボタンを押し、ミシンを再スタートさせます。
最初の色の部分をぬい終わるとミシンが自動的に止まります。

13 糸と毛糸を交換し、次の部分をぬいます。

メモ：

- ・カウチングデザインをぬい終わったあと、必ずカウチング押さえを取り外してください。カウチング押さえを取り付けたまま通常ぬいモードにすると、針が押さえにぶつかる恐れがあります。押さえをP：刺しゅう押さえにかえた場合、必ず刺しゅう押さえ変更画面でP：刺しゅう押さえを選び直してください。(166ページ参照)
- ・カウチングデザインを組み合わせる場合、毛糸が次のカウチング模様に移動したとき、余分な毛糸を切ってください。
- ・ぬいがジャンプする場所ではミシンを停止し、一度毛糸をハサミで切り、再びぬい始めてください。切り忘れると、ジャンプした毛糸に押さえが引っかかり危険です。



★ 水溶性芯地を使いカウチングデザイン SQ14a の模様 3 をぬう

SQ14a の模様 3 は、水溶性の芯地を使用して刺しゅうすることができます。

1 水溶性の芯地を刺しゅう枠に張り、キャリッジに取り付けます。

2 SQ14a の模様 3 ① を選びます。(188ページ手順 1 参照)

3 水溶性の芯地にぬいます。(ぬい方は 188～190ページの手順 2～13 と同じです。)

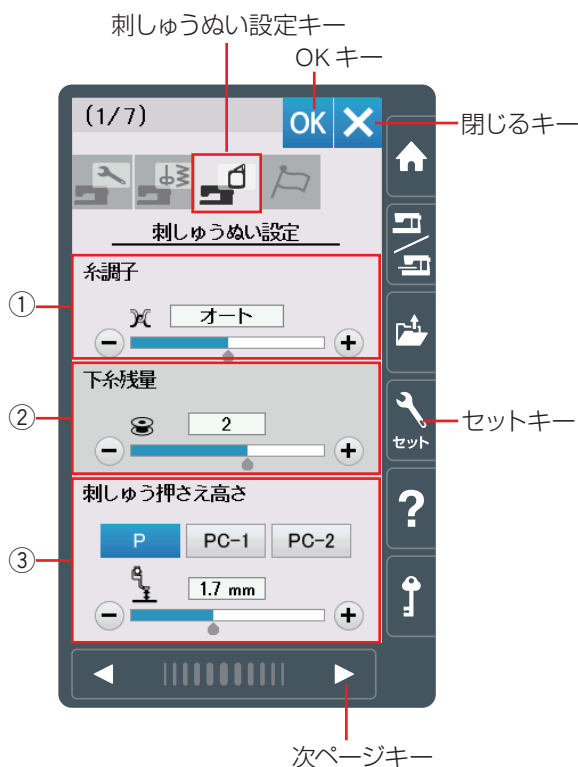
刺しゅうが終わったら芯地を枠から取り外します。はさみで余分な芯地を切り落とし、ぬるま湯(35～45度)にひたして芯地を溶かします。

新しいぬるま湯にかえて 10 分程度ひたすと、きれいに取り除くことができます。何度かぬるま湯ですすぐと柔らかくなります。

※ 強くもんだり、こすったりすると模様がくずれてしまうので注意してください。

芯地を溶かしたあとは、タオルにはさみ水分を吸い取り、日陰で平干しをして完全に乾かしてください。

〔刺しゅうぬい設定画面〕 (1/7 ページ)



◎ 刺しゅうぬい設定

● 刺しゅうぬい設定モード

セットキーを押し、刺しゅうぬい設定キーを押します。設定を変更した場合、OK キーを押し新しい設定を適用します。

閉じるキーを押すと、変更がキャンセルとなり、設定画面が終了します。

① 糸調子

模様を選ぶと、標準的な条件において最適な糸調子になるよう自動で設定されますが、自動で設定される値（オート値）をすべての模様に対して全体的に強くしたり（+）、弱くしたり（-）できます。

〈オート -5 ~ オート +5 の 11 段階、初期値：オート〉

② 下糸残量

下糸の残量が少なくなった場合の警告を出す時期を設定します。数値が大きいほど、早め（下糸残量が多いとき）に検出されます。「+」、「-」キーで設定します。

〈OFF（なし）、0.5、1 ~ 4 の 6 段階、初期値：2〉

「OFF」に設定したい場合、画面に「OFF」が表示されるまで「-」キーを押します。

③ 刺しゅう押さえ高さ

刺しゅう時の、布からの押さえ高さを設定できます。

数値が大きいほど、布からの押さえの位置が高くなります。「+」、「-」キーで設定します。

押さえの種類を P、PC-1、PC-2 から選びます。

〈設定範囲：0 ~ 4.0 mm 範囲内、0.1mm 単位〉

〈初期値：「P」 1.7 mm、「PC-1」 2.5 mm、「PC-2」 3.0 mm〉

※ 刺しゅうモードで押さえがさがっているときは、調整した値に応じて押さえの高さがかわります。

※ 変更した値は、刺しゅう実行画面で表示される調整画面と押さえ変更画面で表示されます。（166 ページ参照）

次ページキーを押して、次のメニューに移動します。

〔刺しゅうぬい設定画面〕 (2/7 ページ)



④ 最高ぬい速度

刺しゅう時のぬい速度は、ぬい目によって変化しますが、その中の最高速度を設定できます。「+」、「-」キーで設定します。

〈400 spm ~ 800 spm（100 刻み）、初期値：600 spm〉

最高ぬい速度の値は、スピードコントロールつまみの位置がいちばん右側の最高速になっている場合の値です。ぬい速度を遅くする場合、スピードコントロールつまみで調整できます。

ぬい速度を遅くした方が、刺しゅうはきれいに仕上がります。

変更した値は、刺しゅう実行画面の押さえ変更画面で表示されます。（166 ページ参照）

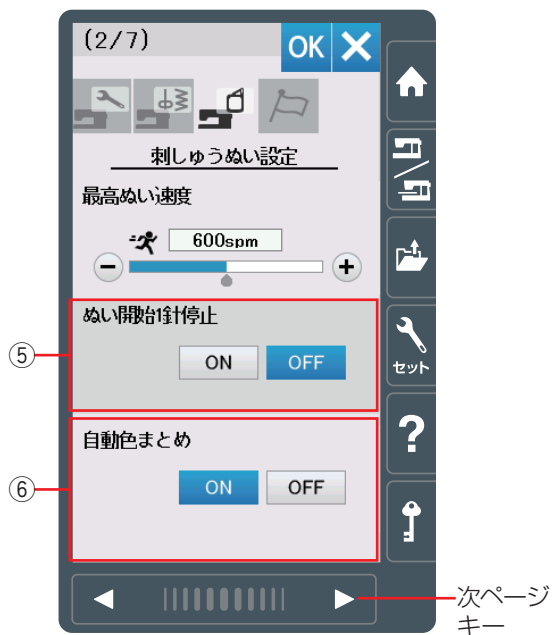
刺しゅうカウチング押さえ（PC-1 と PC-2）の最高速度は 400 spm・500 spm の 2 段階のみです。

500 spm 以上に設定した場合、500 spm になります。

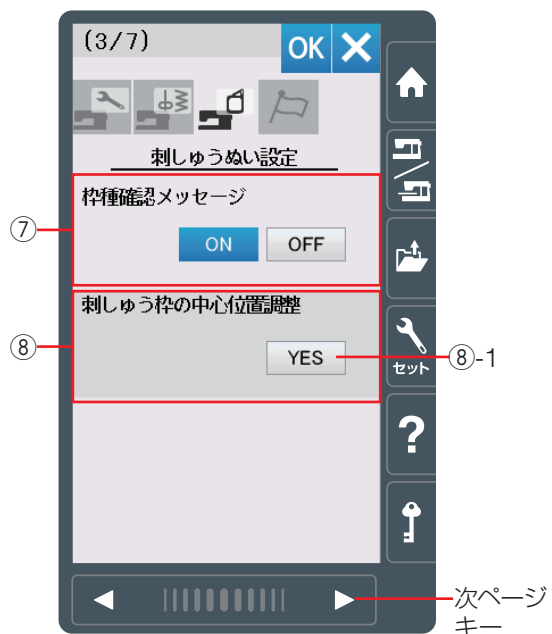
メモ：

細いジグザグをぬう場合、速度をさげてください。高速でぬうとゆがみの原因となります。

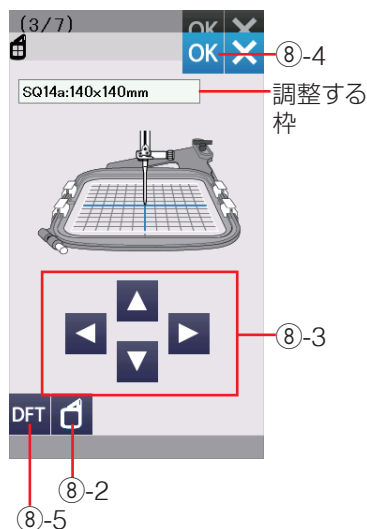
〔刺しゅうぬい設定画面〕 (2/7 ページ)



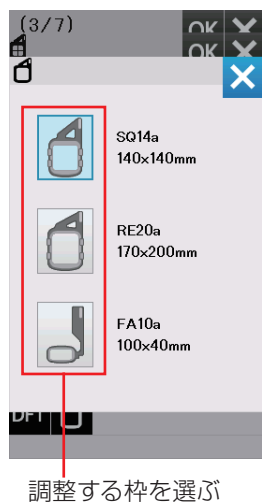
〔刺しゅうぬい設定画面〕 (3/7 ページ)



〔刺しゅう枠位置調整画面〕



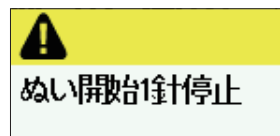
〔刺しゅう枠選択画面〕



⑤ ぬい開始1針停止

ぬい開始1針停止を「ON」に設定すると、ぬい始めや色替え後のぬい始め、および上糸切れ検出後のぬい始めにミシンをスタートさせたとき、ミシンは自動的に1針ぬって停止し、以下のメッセージ画面が表示されます。

〈初期設定：OFF〉



※ ぬい開始1針停止は、1針ぬってミシンを停止後に、上糸を上引いて下糸を布の上に引き出すことで、下糸を布の裏側にぬい込まないようにするための機能です。

⑥ 自動色まとめ

自動色まとめを「OFF」に設定すると、外部で作成された刺しゅうデータで刺しゅうする場合、データ上に同色で異なるブロック(レイヤー)が連続しているとき、グループ化しないで色替えのためにミシンを停止させることができます。

〈初期設定：ON〉

次ページキーを押して、次のメニューに移動します。

⑦ 枠種確認メッセージ

枠種確認メッセージを「OFF」に設定すると、模様を選択して刺しゅう実行画面にかわるときに表示される枠確認のメッセージ画面が表示されなくなります。

〈初期設定：ON〉

⑧ 刺しゅう枠の中心位置調整

刺しゅう枠の中心位置を調整できます。調整を行うと正確な位置に刺しゅうできます。(枠の種類ごとに調整が必要です。)

調整を行う場合、YES キー ⑧-1 を押します。

刺しゅう枠位置調整画面が表示され、キャリッジが中央に移動します。

刺しゅう枠選択キー ⑧-2 を押して刺しゅう枠選択画面を表示させ、調整したい枠を選びます。

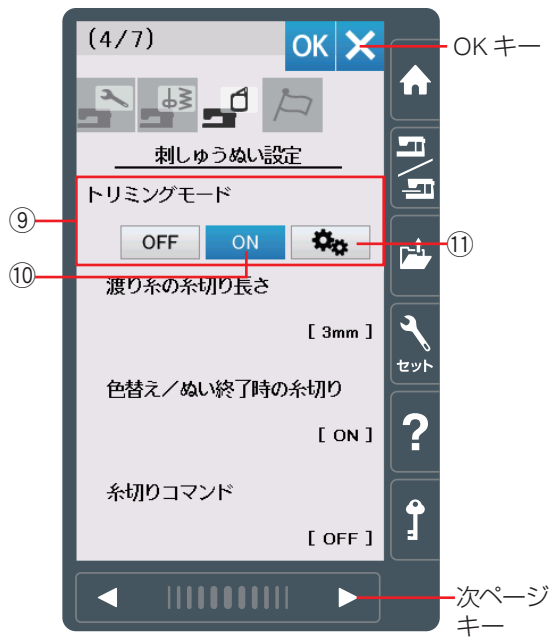
刺しゅう枠をキャリッジに取り付けます。テンプレートを刺しゅう枠にセットします。ジョグキー ⑧-3 を押し、針がテンプレートの真ん中の穴の真上に来るよう刺しゅう枠の位置を調整し、OK キー ⑧-4 を押します。調整量が決定され、刺しゅうぬい設定画面にもどります。

(刺しゅうぬい設定画面の OK キーが押されるまで確定はされません。)

※ 初期の状態(購入時の設定状態)にもどす場合、刺しゅう枠位置調整画面で、初期化キー ⑧-5 を押して OK キー ⑧-4 を押し、刺しゅうぬい設定画面で OK キーを押してください。

次ページキーを押して、次のメニューに移動します。

〔刺しゅうぬい設定画面〕 (4/7 ページ)



⑨ トリミングモード (糸切り設定)

色替えおよび、ぬい終了時の自動糸切り、渡り糸の自動糸切りの設定をします。

「OFF」にすると、自動糸切りを行いません。

〈初期設定：ON〉

⑩ 簡単設定

「ON」の場合、以下の条件で自動的に糸が切られます。

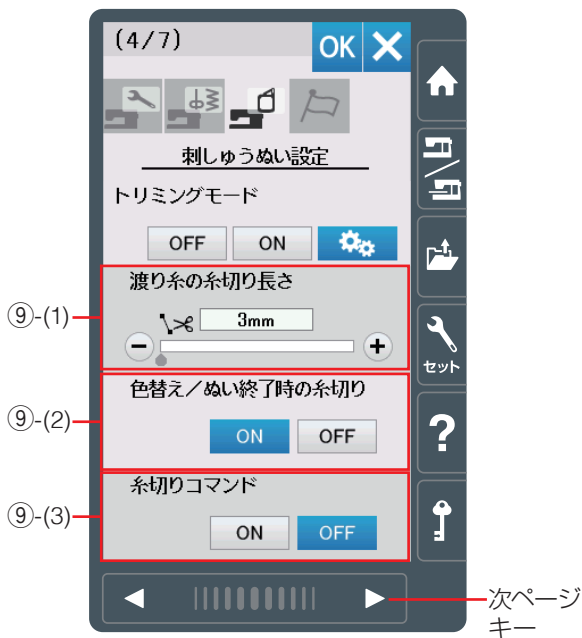
- ・渡り糸の長さが 3 mm 以上の場合
- ・糸替え時にミシンが自動停止した場合

OK キーを押し設定を適用します。

⑪ カスタマイズ

カスタマイズキー ⑪ を押すとカスタマイズ画面が表示され、渡り糸の糸切り長さ ⑨-(1)、色替え / ぬい終了時の糸切り「ON」 / 「OFF」 ⑨-(2)、糸切りコマンドの「ON」 / 「OFF」 ⑨-(3) を個別に設定できます。

〔カスタマイズ画面〕



(1) 渡り糸の糸切り長さ

渡り糸の糸切り長さ（渡り糸の間かくが何 mm 以上の場合に行うかの数値）を設定することができます。

「OFF」に設定すると渡り糸の自動糸切りを行いません。「+」、「-」キーで設定します。

〈3 ~ 30 mm、OFF、初期値：3 mm〉

(2) 色替え / ぬい終了時の糸切り

色替えおよびぬい終了時の自動糸切りを行う（「ON」）か、行わない（「OFF」）かを設定することができます。

〈初期設定：ON〉

(3) 糸切りコマンド

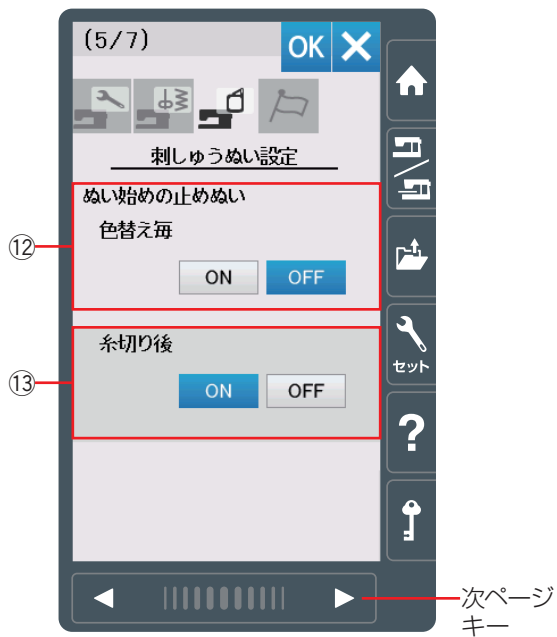
外部で作成された刺しゅうデータの糸切りコマンドに対応する（「ON」）、しない（「OFF」）を設定することができます。

「ON」に設定すると、外部から読み込んだぬいデータ内に自動糸切りコマンドがある場合に糸を自動的に切ります。

〈初期設定：OFF〉

次ページキーを押して、次のメニューに移動します。

〔刺しゅうぬい設定画面〕 (5/7 ページ)



メモ：

内蔵の刺しゅう模様をぬう場合、ぬい始めの止めぬい設定の変更は必要ありません。

⑫ ぬい始めの止めぬい (色替え毎)

刺しゅうデータに、色替え時の最初に止めぬいをするコマンドが入っていないと、糸がほつれる場合があります。「ON」に設定して色替え時の最初に止めぬいを入れ、ぬいほつれを防ぎます。

〈初期設定：OFF〉

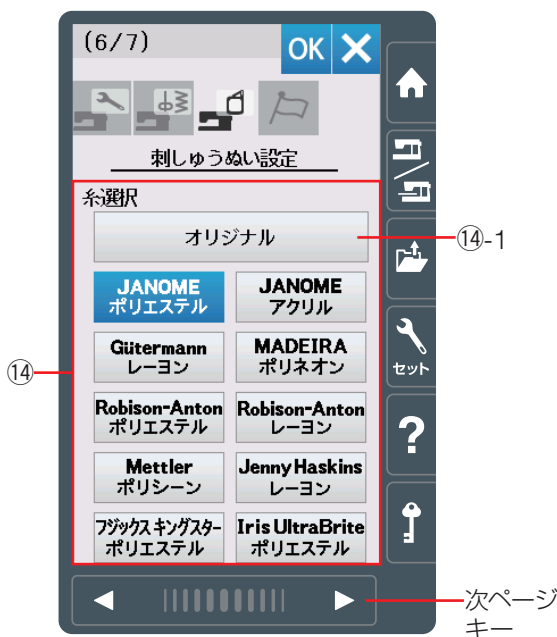
⑬ ぬい始めの止めぬい (糸切り後)

「ON」に設定すると、トリミングモード (糸切り設定) の設定に従い渡り糸を切ったあと、ほつれ防止の止めぬいを入れます。

〈初期設定：ON〉

次ページキーを押して、次のメニューに移動します。

〔刺しゅうぬい設定画面〕 (6/7 ページ)



⑭ 糸選択

使用する刺しゅう糸の種類を、10種類の中から選びます。使用する刺しゅう糸のキーを押します。

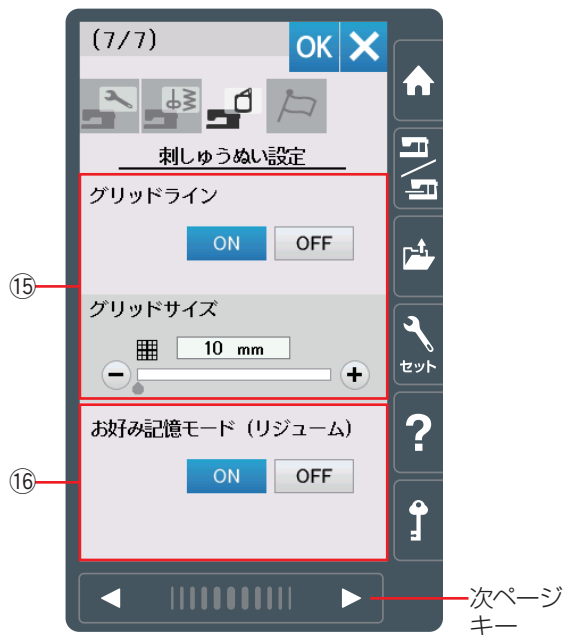
選択すると刺しゅう実行画面の糸色表示が選んだ糸の種類に対応し、糸色のコードが表示されます。

読み込んだデータ内に正しい刺しゅう糸情報がある場合、「オリジナル」キー ⑭-1 を選択すると、読み込んだ模様が持っている糸情報が表示されます。

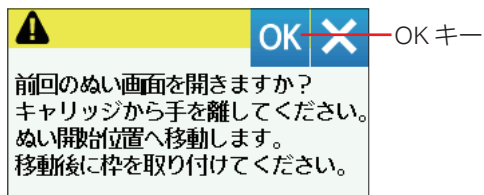
〈初期設定：JANOME ポリエステル〉

次ページキーを押して、次のメニューに移動します。

〔刺しゅうぬい設定画面〕 (7/7 ページ)



〔メッセージ画面〕



〔刺しゅうぬい設定画面〕 (7/7 ページ)



⑮ グリッドライン

「OFF」に設定すると、編集画面のグリッドラインを消すことができます。

〈初期設定：ON〉

「ON」に設定すると、編集画面のグリッドラインの間かくを変更できます。

〈10 ～ 30 mm の3段階、初期値：10 mm〉

⑯ お好み記憶モード (リジューム)

「ON」に設定すると、刺しゅうのぬい実行中 (ぬい停止中) に電源スイッチを切っても、次回電源スイッチを入れたとき、前回ぬっていた模様の表示画面になり、前回の続きからぬい始めることができます。

「ON」に設定し電源スイッチを入ると、メッセージ画面が表示されます。

メッセージ画面のOK キーを押すと前回最後にぬっていた模様の画面になります。

〈初期設定：ON〉

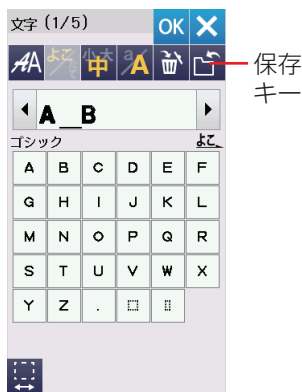
各設定が終わったら刺しゅうぬい設定画面のOK キーを押し、設定を有効にします。

設定を変更せずに設定モードをぬける場合、閉じるキーを押します。



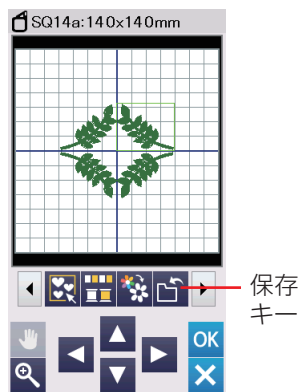
1

〔文字選択画面〕



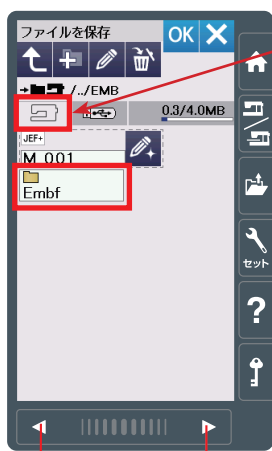
保存
キー

〔編集画面〕



保存
キー

2 〔ファイルを保存画面〕



ミシンの内蔵メモリ
が選択

ページキー

3

〔ファイルを保存 (Embf) 画面〕

何も保存されていない場合

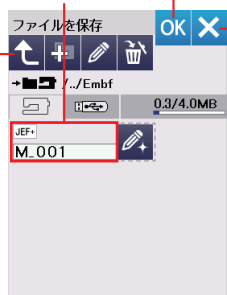
すでに「M_001」がある場合

もどる
キー

ファイル名 OK キー

閉じる
キー

ファイル名



◎ 刺しゅうデータの保存・呼び出し

組み合わせた模様や文字のデータをミシンや USB メモリに保存し、いつでも呼び出してぬうことができます。

刺しゅうデータの保存は、文字選択画面および編集画面でできます。

● 刺しゅうデータの保存

メモ：

問題が起きたときのため、常に外部メディアにデータを保存してください。

注意：

ミシンの内蔵メモリや USB メモリに模様データを保存中（転送中）に電源スイッチを切ったり、USB メモリを抜いたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

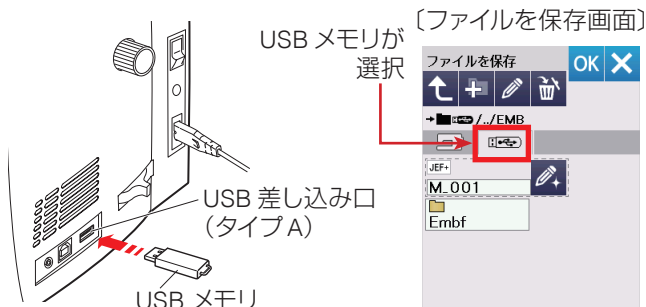
【ミシンの内蔵メモリに保存する】

- 1 文字選択画面および編集画面で保存キーを押すと、「ファイルを保存」画面が表示されます。
 - 2 ミシンに用意されているフォルダーに保存する場合、「ファイルを保存」画面の **Embf** を押します。
 - ※ 新しいフォルダーを作成して保存する場合、96 ページ【新規フォルダーの作成】をごらんください。
 - ※ 手順 2) や 3) の画面で、フォルダーやファイルが 1 画面に表示しきれない数だけ保存されている場合、ページキーで次のページ（画面）を確認できます。
 - 3 ミシンに用意されているファイル名「M_001」で保存する場合、「Embf」画面の OK キーを押します。模様データがミシンに保存され、文字選択画面および編集画面にもどります。
 - ※ すでに「M_001」名で保存されているデータがある場合、自動的に番号が繰り上げられ、「M_002」が表示されます。（番号は M_001 ～ 順番に割り当てられます。）
 - ※ お好みのファイル名で保存する場合、97 ページ【名称変更キーの使い方】をごらんください。
 - ※ もどるキーを押すと 1 つ前の「ファイルを保存」画面に、閉じるキーを押すとデータは保存されず、文字選択画面および編集画面にもどります。
- ※ 新規フォルダーの作成、ファイル・フォルダーの削除、フォルダー名の変更方法については、96 ～ 97 ページをごらんください。

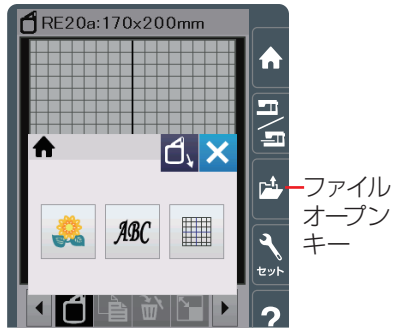
USB メモリに保存する場合

USB メモリに保存する場合、ミシン右側の USB 差し込み口（タイプ A）に USB メモリを差し込み、「ファイルを保存」画面で USB メモリ **USB** を選びます。

※ データの保存方法は、上記【ミシンの内蔵メモリに保存する】と同じです。

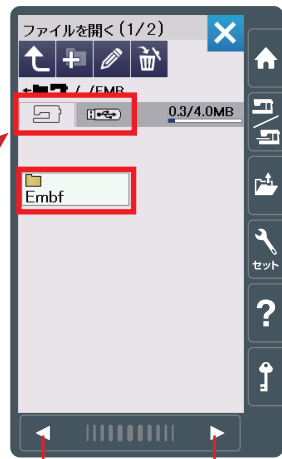


1



2

〔ファイルを開く画面〕



ミシンの内蔵メモリが ページキー
選択状態

3

〔ファイルを開く (Emb) 画面〕

一覧表示キー【A】

一覧表示キー【B】



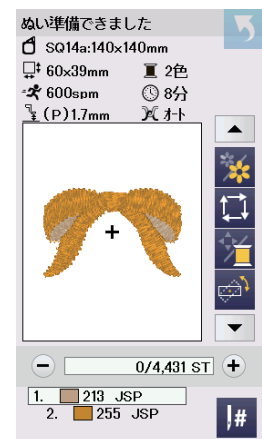
ファイルの属性

一覧表示キー【C】

〔刺しゅう実行画面〕



ファイルの属性



● 刺しゅうデータの呼び出し

ミシンの内蔵メモリや USB メモリに保存したデータを呼び出すことができます。

※ 付属の USB メモリの刺しゅうデータも呼び出せます。

⚠ 注意 :

ミシンの内蔵メモリや USB メモリから模様データを呼び出し中（転送中）に電源スイッチを切ったり、USB メモリを抜いたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

【ミシンの内蔵メモリから呼び出す】

- 1 ファイルオープンキーを押すと、「ファイルを開く」画面が表示されます。
- 2 「ファイルを開く」画面のフォルダーの中から呼び出したいファイル（模様データ）が入っているフォルダーを押します。
(例では)

メモ :

- 「Emb」フォルダー以外のフォルダーを作成した場合、作成したフォルダーも表示されます。
- 手順 2 や 3 の画面で、フォルダーやファイルが 1 画面に表示しきれない数だけ保存されている場合、ページキーで次のページ（画面）を確認できます。

- 3 選んだフォルダー内のファイルのリストが表示されます。

呼び出したいファイル（模様データ）を押すと、模様データを保存したときと同じ状態の刺しゅう実行画面が表示され、ぬうことができます。

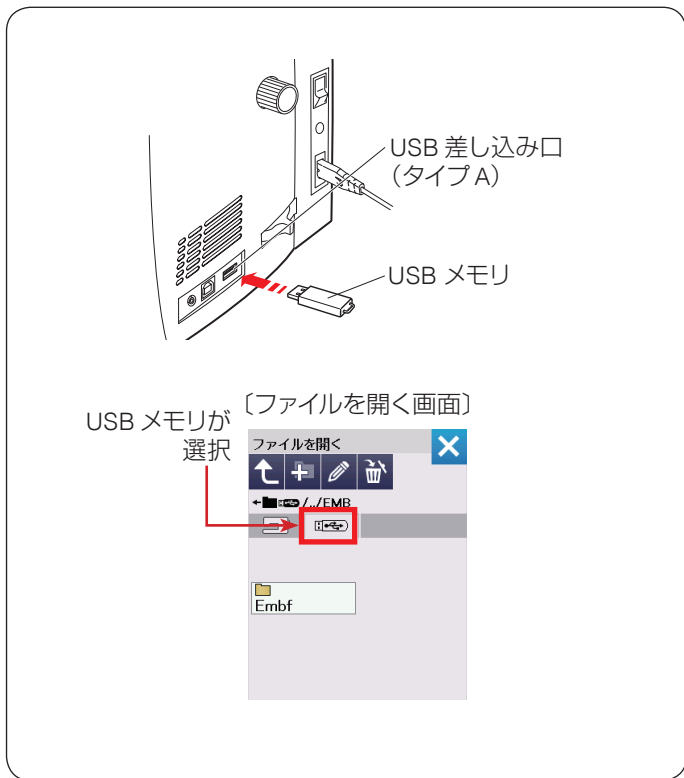
- ※ リストの一覧表示のレイアウトは、初期設定では一覧表示キー【A】 となっています。

この表示は 3 列に表示できますが、ファイルの属性（198 ページの「ファイルの属性」参照）は表示されません。

- ※ 一覧表示キー【B】 が選択されている場合、ファイルが 2 列で表示され、ファイルの属性も表示されます。


- ※ 一覧表示キー【C】 が選択されている場合、ファイルが 1 列で表示され、ファイルの属性も表示されます。

ファイル名が最大 2 行で表示されるので、パソコンなどで付けた長いファイル名を表示するときに便利です。



USB メモリから呼び出す場合








付属の USB メモリの刺しゅうデータや、USB メモリに保存されている刺しゅうデータを呼び出す場合、ミシン右側の USB 差し込み口 (タイプ A) に USB メモリを差し込み、「ファイルを開く」画面の USB メモリ

 を選びます。

※ データの呼び出し方法は、197 ページ【ミシンの内蔵メモリから呼び出す】と同じです。

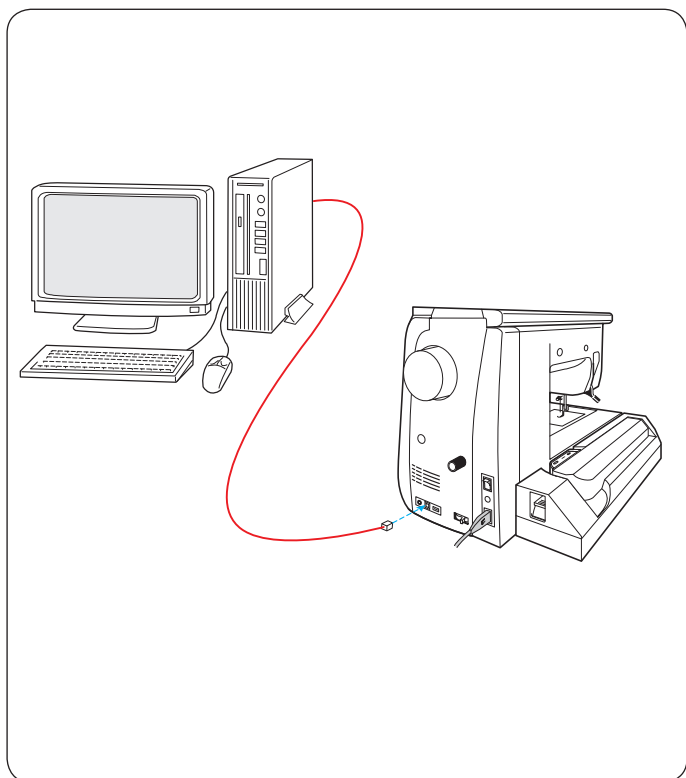
★ ファイルの属性

ファイルには以下の 7 つの属性があります。

属性	内容
 JEF	模様データが、編集画面上で 1 つの模様として扱われるファイル
 JEF+	複数の模様を組み合わせて保存されている模様データで、編集画面上で複数の模様として扱われるファイル
 JPX	背景画像付きで作成されたファイル
 JPX	AcuFilTool にて作成された連続支援模様
 JPX	カットワーク刺しゅうフォーマット
 JPX	フリーアーム刺しゅうフォーマット
 DST	タジマ刺しゅうフォーマット

メモ：

タジマ刺しゅうフォーマット (*.DST) には、糸色の情報が含まれていません。タジマ刺しゅうフォーマットを読み込むと、Janome の 78 色が自動的に割り当てられます。



● PC リンク

マシンとパソコンを USB ケーブルで接続し、パソコンの刺しゅうデータを読み込むことができます。

付属のアクツールズ S CD-ROM をパソコンに入れ、「アクツールズ S」とマシン接続用の USB ドライバーをパソコンにインストールします。

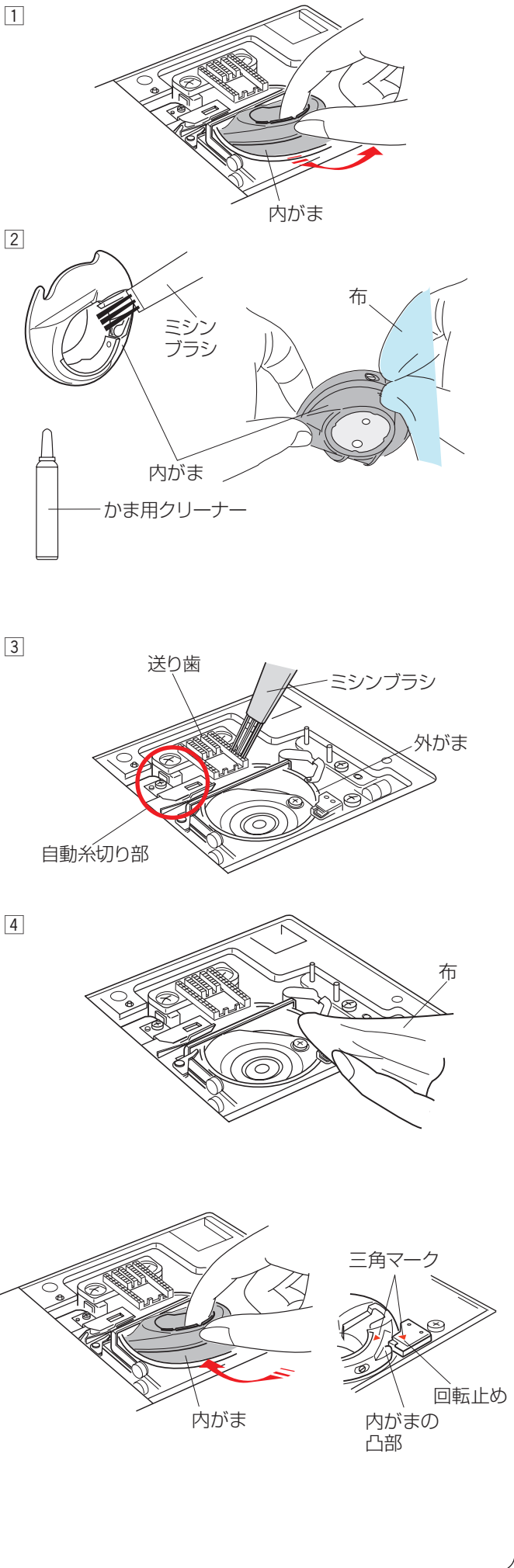
マシンとパソコンの電源を入れ、タイプ A 端子をパソコンに、タイプ B 端子をマシンに差し込み接続します。USB ケーブルは市販品も使用できます。

「ステッチコンポーザー」や「エンプロイダリーエディター」で作成した模様データをパソコンからマシンに読み込むことができます。

詳しくは、付属の CD-ROM アクツールズ S に含まれる「ステッチコンポーザー」や「エンプロイダリーエディター」のヘルプをごらんください。

注意：

データ転送中はマシンやパソコンの電源を切ったり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。データが破損するおそれがあります。



◎ ミシンのお手入れ

● かまと送り歯、糸切り部の掃除

最低月に一度はかまの掃除をしてください。

⚠ 注意：

- お手入れのときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 説明されている場所以外は、分解しないでください。感電・火災・けがの原因となります。

針と押さえを取り外します。針板を外し（21 ページ参照）、ボビンを取り出します。

- 1 内がまの手前を上へ引きながら外します。
- 2 内がまを付属のミシンブラシで掃除します。
やわらかい布に付属のかま用クリーナーを少量含ませて、全体を軽くふきます。

- 3 送り歯と自動糸切り部をミシンブラシで掃除し、さらに外がまを掃除します。

※ ミシンブラシで掃除しにくい乾いた糸くずやほこりは、掃除機などで吸い取ってください。

- 4 かがみ用クリーナーを少量含ませたやわらかい布で、外がまのまわりや内部全体を軽くふきます。

【内がまの組み付け】

内がまを取り付けます。

内がまの三角マークと回転止めの三角マークを合わせ、内がまの凸部が、回転止めの左側にくるように取り付けます。

針板、押さえ、針を取り付けます。

お願い

ミシンの使用頻度が高い場合、上記お手入れでは取りのぞけない部分に糸くずやほこりがたまり、ぬい不良の原因となります。

ミシンの使用頻度が高い場合、定期的にミシン内部の掃除をすることをおすすめします。

お買い上げの販売店にご相談ください。

●糸道の掃除

糸調子部に付いている糸くずやロウを紙で掃除します。
糸道の掃除は通常ぬいモードで行います。

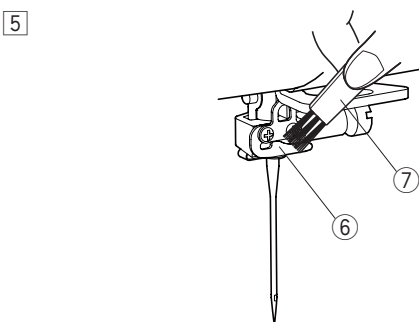
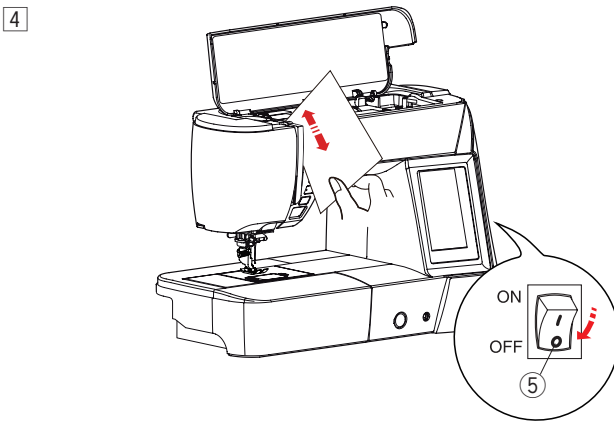
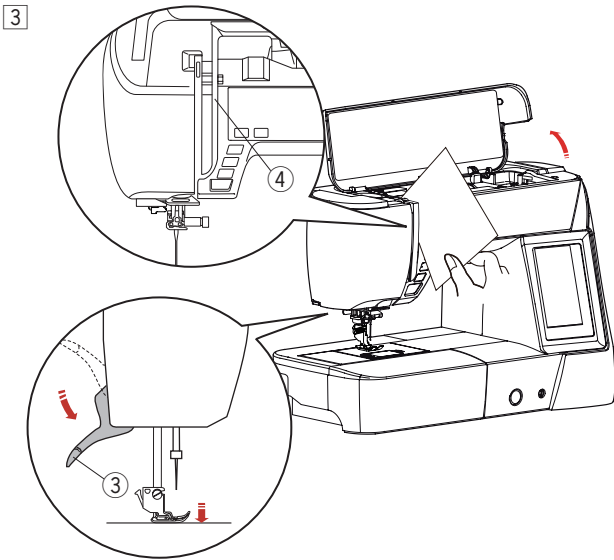
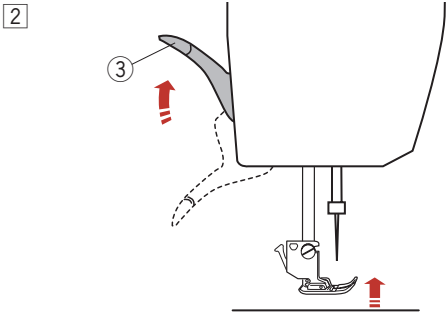
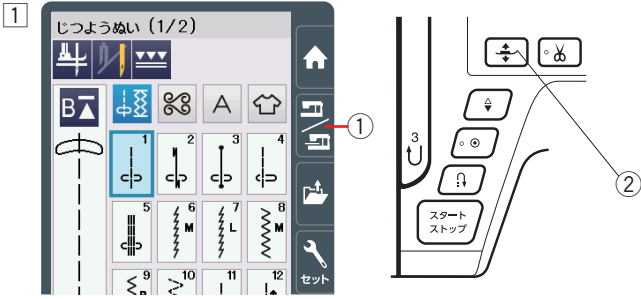
- 1 通常ぬいモード/刺しゅうモード切りかえキー①を押し、通常ぬいモードにします。
電源を入れた状態で、押さえ上下移動ボタン②を押して押さえをさげます。

- 2 押さえ上げ③をあげます。

- 3 右上部のみぞ④（糸調子部）に紙を入れ、押さえ上げ③をさげます。

- 4 電源スイッチ⑤を切ります。
紙でこするように掃除します。

- 5 針棒糸かけ⑥をミンシブラシ⑦で掃除します。

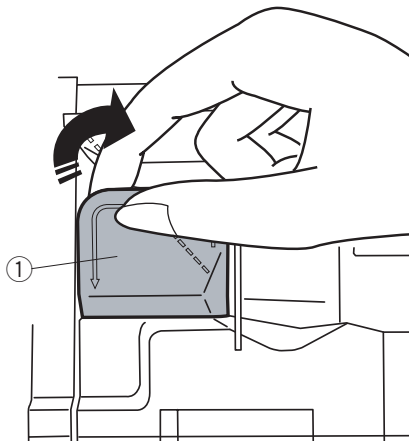


● 糸ガイド内側の掃除

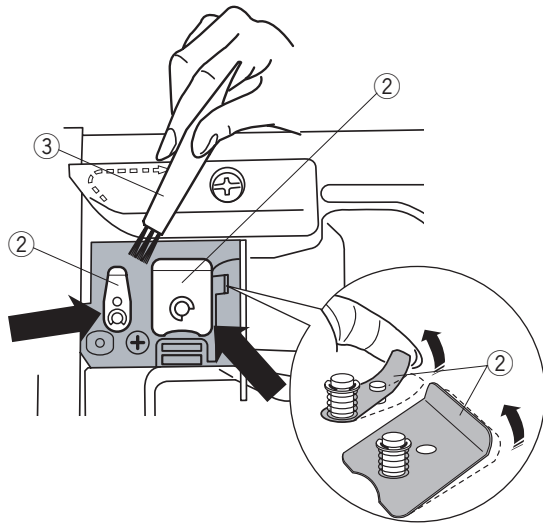
天板内の糸案内カバー①の内側を月に一度、掃除してください。

- ① 天板を開け、上糸を外します。
糸案内カバー①を上へ引いてミシンから外します。

①



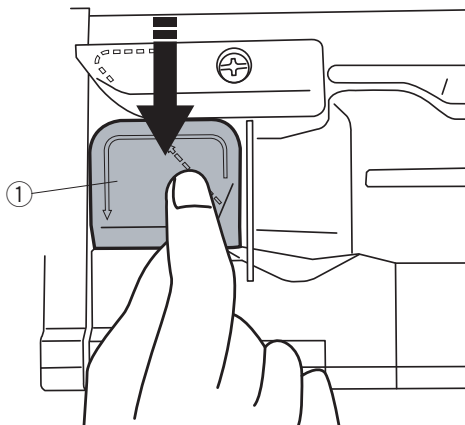
②



- ② プリテンション板②の下とまわりを付属のミシンブラシ③などで掃除します。

※ プリテンション板②の先端を軽く持ち上げて、内側も掃除してください。

③



- ③ 糸案内カバー①をパチンと音がするまで押しつけ、ミシンに取り付けます。

◎メッセージ画面一覧

警告音とともに画面（タッチパネル）に表示が出た場合、下記の解決法に従ってください。

メッセージ画面	原因	解決法
 <p>フットコントローラーを外してください。</p>	フットコントローラーが接続された状態で、スタート/ストップボタンを使用したときに表示されます。	フットコントローラーを外し、スタート/ストップボタンを使用してください。
 <p>警告</p>	フットコントローラーが故障しているときに表示されます。	お客様相談窓口（巻末に記載）もしくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
 <p>糸巻き中</p>	糸巻き軸が右にセットされている場合に表示されます。	糸巻きが終わったら、糸巻き軸を左にセットしてください。
 <p>BHレバーを下げてください。</p>	ボタンホール切りかえレバー（BHレバー）をさげずにミシンをスタートさせると、少しだけぬってミシンが停止し、表示されます。	ボタンホール切りかえレバーをさげ、ミシンを再スタートさせてください。
 <p>針を確認してください。 2本針設定をキャンセルしました。</p>	2本針設定から1本針設定に変更したときに表示されます。	2本針を1本針に付けかえてあることを確認し、OKキーを押してください。
 <p>送り歯を下げてください。</p>	送り歯をさげないとぬえない模様るとき、送り歯をさげずにミシンをスタートさせると表示されます。	送り歯をさげてください。
 <p>送り歯が下がっています。 ぬいを行ないますか？ “スタート/ストップ” ボタンを押してください。</p>	送り歯がさがった状態でぬい始めたときに表示されます。	送り歯をさげてぬいたい場合以外のときは、送り歯をあげてください。
 <p>警告</p>	針板が外れているときに表示されます。	針板を取り付け、このメッセージ画面が消えることを確認してください。 消えない場合、もう一度取り付け直してください。
 <p>警告 物がはさまっていませんか？ 布が厚すぎませんか？ 針が曲がっていませんか？ 確認後スタートしてください。</p>	ミシンのモーターに高い負荷がかかったときに表示されます。	15秒程待ち、その後、天びん、外がま、糸切り部などからみついている糸くずを取り除きます。
 <p>Error</p>	ミシンが故障しているときに表示されます。	お客様相談窓口（巻末に記載）もしくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

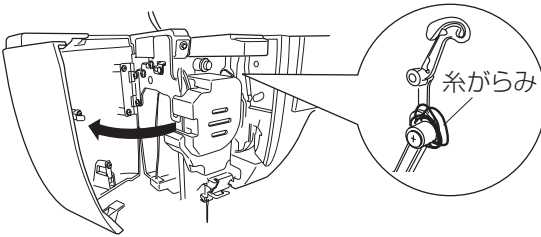
◎ミシンの調子が悪いときの直し方

〔通〕 …… 通常ぬいの場合の項目です。

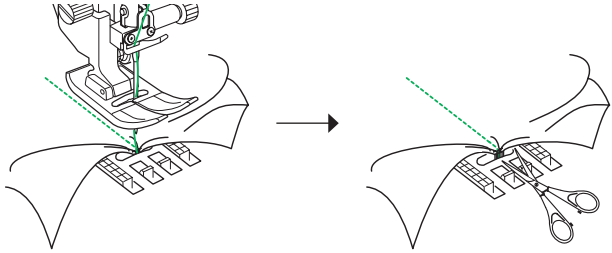
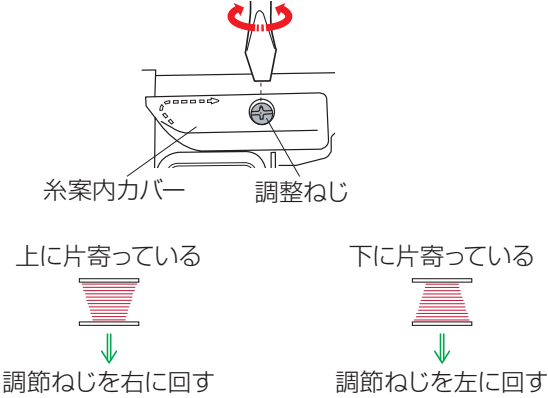
〔刺〕 …… 刺しゅうの場合の項目です。

何もなし… 通常ぬいと刺しゅう共通の項目です。

調子が悪い場合	その原因	直し方
音がうるさい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 外がまや内がまに糸くずがたまっている。 2. 糸が外がまにからまっている。 3. 電源投入時、制御モーターからわずかな共鳴音がでる。 4. 送り歯にごみがたまっている。 	<p>200 ページ参照</p> <p>200 ページ参照</p> <p>異常ではありません</p> <p>200 ページ参照</p>
上糸が切れる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸のかけ方がまちがっているか、糸が必要以外のところからみついている。 2. 上糸調子が強すぎる。 3. 針が曲がっているか、針先がつぶれている。 4. 針の付け方がまちがっている。 5. 針に対して糸が太すぎるか、細すぎる。 6. 糸がかまなどからまっている。 7. 糸こまに上糸が引っかかっている。 <p>〔通〕 8. ぬい始めに上糸を引き出して、押さえで押さえていない。</p> <p>〔刺〕 9. 刺しゅうをスタートさせたときに、面板の糸切り / 糸押さえに上糸をかけていない。</p>	<p>28 ページ参照</p> <p>36 ページ参照</p> <p>22 ページ参照</p> <p>22 ページ参照</p> <p>22 ページ参照</p> <p>200 ページ参照</p> <p>糸こま押さえを付ける</p> <p>40 ページ参照</p> <p>150 ページ参照</p>
下糸が切れる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 下糸の通し方がまちがっている。 2. 内がまの中にごみがたまっている。 3. ボビンにきずがあり回転がなめらかでない。 4. 下糸の巻き方がゆるい 	<p>27 ページ参照</p> <p>200 ページ参照</p> <p>ボビンを交換する</p> <p>巻く速度を速くする</p>
針が折れる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 針の付け方がまちがっている。 2. 針が曲がっているか、針先がつぶれている。 3. 針止めねじのしめつけがゆるんでいる。 4. 上糸調子が強すぎる。 5. 布に対して針が細すぎる。 <p>〔通〕 6. ぬい終わったとき布を手前に引いている。</p> <p>〔通〕 7. 模様にあった押さえを使用していない。</p> <p>〔通〕 8. QC：フリーキルト押さえ（丸穴）を使用している場合に布を手前に引っ張っている。</p>	<p>22 ページ参照</p> <p>22 ページ参照</p> <p>22 ページ参照</p> <p>36 ページ参照</p> <p>22 ページ参照</p> <p>布を向こう側に出す</p> <p>模様にあった押さえに交換する</p> <p>125 ページ参照</p>
ぬい目がとぶ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 針の付け方がまちがっている。 2. 針が曲がっているか、針先がつぶれている。 3. 布に対して針と糸が合っていない。 4. 伸縮性のある布や薄い生地など、ぬい目がとぶようなときに、付属のブルー針やパープル針を使っていない。 5. 上糸のかけ方がまちがっている。 6. 押さえ圧が弱い。 7. 伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。 8. 針が不良品である。（針穴や針先の錆びや、バリがある。） <p>〔刺〕 9. 刺しゅう枠が正しく取り付けられていない。</p> <p>〔刺〕 10. 刺しゅう枠に布がきちんと張られていない。</p> <p>11. 厚い布をぬうのにパープル針を使用していない</p>	<p>22 ページ参照</p> <p>22 ページ参照</p> <p>22 ページ参照</p> <p>22 ページ参照</p> <p>28 ページ参照</p> <p>36 ページ参照</p> <p>芯地を貼る</p> <p>針を交換する</p> <p>150 ページ参照</p> <p>149 ページ参照</p> <p>22 ページ参照</p>
ぬい目がしわになる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸調子が合っていない。 2. 下糸・上糸のかけ方がまちがっているか、糸が必要以外のところからみついている。 3. 布に対して針が太すぎる。 4. 布に対してぬい目があらずすぎる。 5. ぬい幅が大きすぎる。 6. 押さえ圧が合っていない。 7. 薄い布や伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。 	<p>36 ページ参照</p> <p>27、28 ページ参照</p> <p>22 ページ参照</p> <p>ぬい目を細かくする</p> <p>ぬい幅を小さくする</p> <p>36 ページ参照</p> <p>芯地を貼る</p>

調子が悪い場合	その原因	直し方
送りがすべる	[通] 1. 滑りやすい素材をぬうのに上送り押さえを使用していない。	上送り押さえを使う
布送りがうまくいかない	[通] 1. 送り歯に糸くずがたまっている。 [通] 2. 滑りやすい素材をぬうのに上送り押さえを使用していない。 [通] 3. ぬい目が細かすぎる。 [通] 4. 押さえ圧が弱い。 [通] 5. 厚手の布のぬい始めに布が送れない。 [通] 6. 送り歯があがっていない。	200 ページ参照 上送り押さえを使う ぬい目をあらくする 36 ページ参照 40 ページ参照 24 ページ参照
ミシンが動かない	1. 電源のつなぎ方がまちがっている。 2. かまに糸やごみがたまっている。 3. 上糸が外れ、ボビンにからまっている。(ガチャガチャ音がする) 4. 押さえ上げがさがっていない。 5. 上糸が天秤から外れ、他の部品にからまっている。  6. フットコントローラーが故障している。 [通] 7. フットコントローラーが接続された状態で、スタート/ストップボタンを使用している。 [刺] 8. フットコントローラーで刺しゅうをぬおうとしている。	10 ページ参照 200 ページ参照 上糸かけを確認する 23 ページ参照 電源を切り、からまっている糸を取る [からまっている糸の取り方] ① 電源スイッチを切る ② 面板をあける ③ からまっている糸を取る ④ 上糸をかけ直す (28 ページ参照) ⑤ 面板をしめる フットコントローラーを外す 10 ページ参照 スタート/ストップボタンで行う
フットコントローラーを踏んでも動かない	1. フットコントローラーを踏んだ状態で電源スイッチを入れた。	電源スイッチを入れてからフットコントローラーを踏む
刺しゅうのとき、ミシンから異音が出る	[刺] 1. キャリッジに何かはさまっている [刺] 2. キャリッジが何かにぶつかっている。	はさまっているものを取り除く 142 ページ参照
模様がきれいにぬえない	1. ボビンのセットがまちがっている。(ボビンの入れる方向・下糸が内がまのばねに入っていない) 2. 上糸調子が強すぎる 3. ぬい目があらず [通] 4. 指定の押さえを使用していない。 [通] 5. 布の種類や厚さ、ぬい速度などに対してミシンの送り調整が合っていない。 6. 薄い布や伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。 [刺] 7. 刺しゅう枠のつまみがゆるんでいる。 [刺] 8. キャリッジ移動時に、ミシン周辺に置いてある物にあたっている。 [刺] 9. キャリッジ移動時に、布がミシンに引っかかっている。 [刺] 10. 刺しゅう枠に布がきちんと張られていない。 [刺] 11. 刺しゅう時に布が何かにひっかかっている。 [刺] 12. 刺しゅう押さえが渡り糸にひっかかっている。 [刺] 13. 刺しゅうの盛りあがりに押さえがひっかかっている。	27 ページ参照 36 ページ参照 35 ページ参照 指定の押さえを使用する 141 ページ参照 芯地を貼る 150 ページ参照 142 ページ参照 布を張り直す 149 ページ参照 ミシンを止め、布を張り直す 渡り糸を切る 押さえ高さを調整する (164 ページ参照)

調子が悪い場合	その原因	直し方
ボタンホールがうまくぬえない。	〔通〕 1. 布に対してぬい目のあさが合っていない。 〔通〕 2. 送り調整ねじが正しく調整されてない。 〔通〕 3. 伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。 〔通〕 4. ボタンホール切りかえレバーがさがっていない。	59 ページ参照 141 ページ参照 芯地を貼る 57 ページ参照
模様選択キーが反応しない	1. キーの位置が正しく調整されていない。	133 ページ参照
画面（タッチパネル）が見にくい	1. 画面のコントラストが合っていない。	132 ページ参照
画面（タッチパネル）がふくらむ	1. ミシンが高温多湿の場所に置かれている。	ミシンを涼しく乾いた場所に保管する
USB メモリが機能しない	1. USB メモリのデータが壊れている。 2. 対応していない USB メモリを使っている。	フォーマットをする (134 ページ参照) USB メモリを交換する
うすい布、伸縮性の布が食い込む	1. 布に対して針と糸が合っていない。 2. 左針位置でぬっていない。	22 ページ参照 左針位置でぬう
上糸が抜ける	1. 上糸のかけ方がまちがっている。 2. ぬい始めに上糸を押さえで押さえしていない。	28 ページ参照 40 ページ参照
かまに糸がからまる	1. 上糸のかけ方がまちがっている。 2. かまにキズがある。 3. 内がまの入れ方がまちがっている。	28 ページ参照 かまの交換 200 ページ参照
音がして糸がからまる	1. 上糸のかけ方がまちがっている。 2. 天びんの糸穴に糸が入っていない。	28 ページ参照 28 ページ参照
糸通しができない	1. 針が上にあがっていない 2. 糸が糸通しのみぞに入っていない。 3. 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。	29 ページ参照 29 ページ参照 22 ページ参照
ぬい終わりに下糸が二重に出てくる	1. 針が上まであがっていない。	上下停針ボタンを押して針をあげる
ぬい目に下糸がでる	1. ボビンのセットがまちがっている。 2. 糸こまのセットがまちがっている。 3. 上糸のかけ方がまちがっている。 4. 上糸調子が強すぎる。 5. ジャノメのボビンを使用していない。	27 ページ参照 25 ページ参照 28 ページ参照 36 ページ参照 25 ページ参照
ぬい始めの糸がらみ	1. 上糸のかけ方がまちがっている 2. ぬい始めに上糸を押さえで押さえしていない。	28 ページ参照 40 ページ参照

調子が悪い場合	その原因	直し方
布裏で糸がからまる	1. 上糸のかけ方がまちがっている。	28 ページ参照 [からまっている糸の取り方] ① 電源スイッチを切る ② 押さえ上げと針をあげ、ハサミで布裏の糸を切る  ③ 針板を外す (21 ページ参照) ④ ボビン、内がまを外し、からまっている糸を取る (200 ページ参照) ⑤ 内がま、ボビンをセットし、針板を取り付ける (21、27、200 ページ参照) ⑥ 上糸をかけ直す (28 ページ参照)
ボビンにうまく下糸が巻けない	1. 下糸のかけ方がまちがっている。 2. ボビンの上または、下に巻きが片寄っている。	26 ページ参照 調整ねじをまわす 注意： 調整ねじをまわす範囲は 1 回転までにしてください。 部品が外れます。 

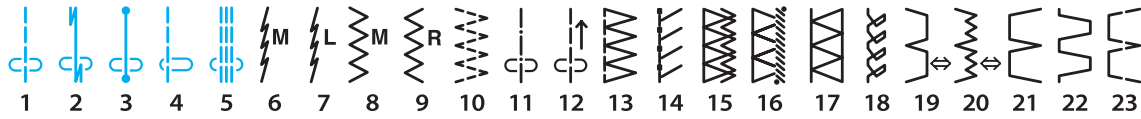
※ 静かな部屋で使うと「ウィーン」という小さな音がする場合があります。内部の制御モーターから発生しているもので、ぬい作業上はとくに問題はありません。

※ 長時間使うと操作ボタンやタッチパネル付近の温度が少し高くなります。内部の制御部の発熱によるもので、ぬい作業上はとくに問題はありません。

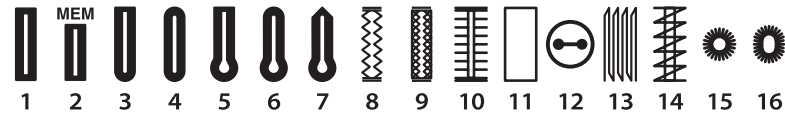
◎ 模様一覧表

● 通常ぬい

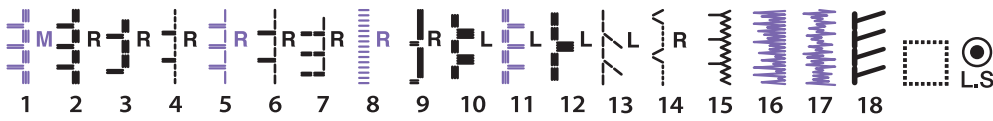
じつようぬい



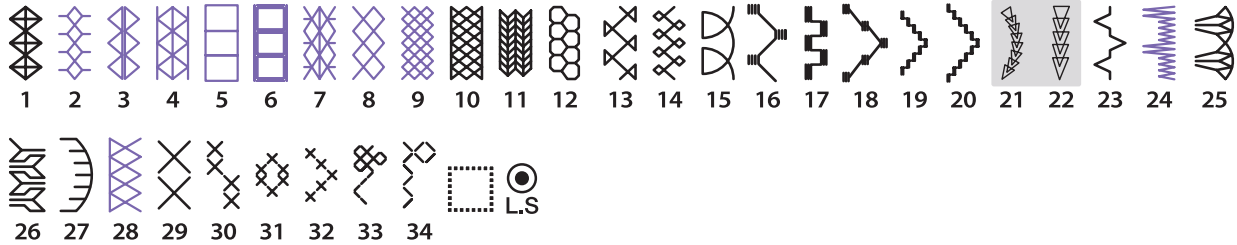
ボタンホール



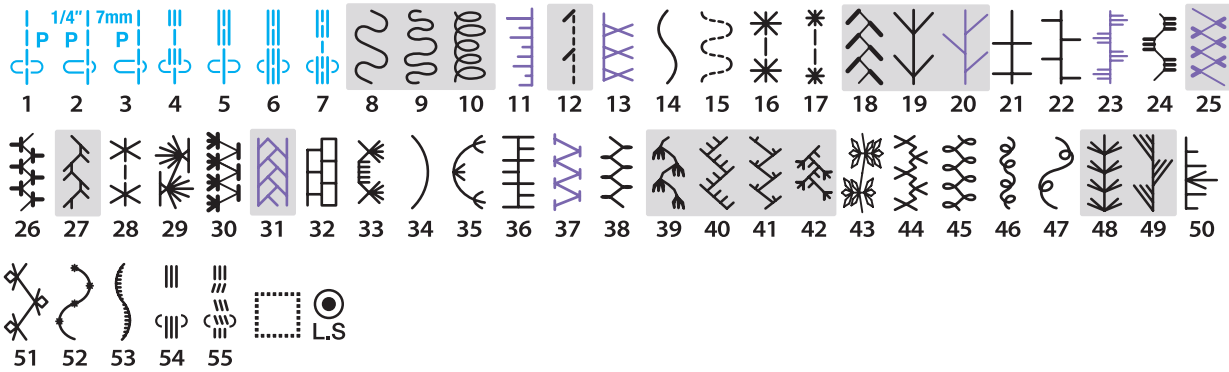
アップリケ



かざりもよう 1



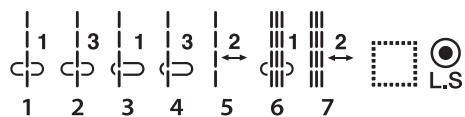
キルト



サテン



つなぎもよう

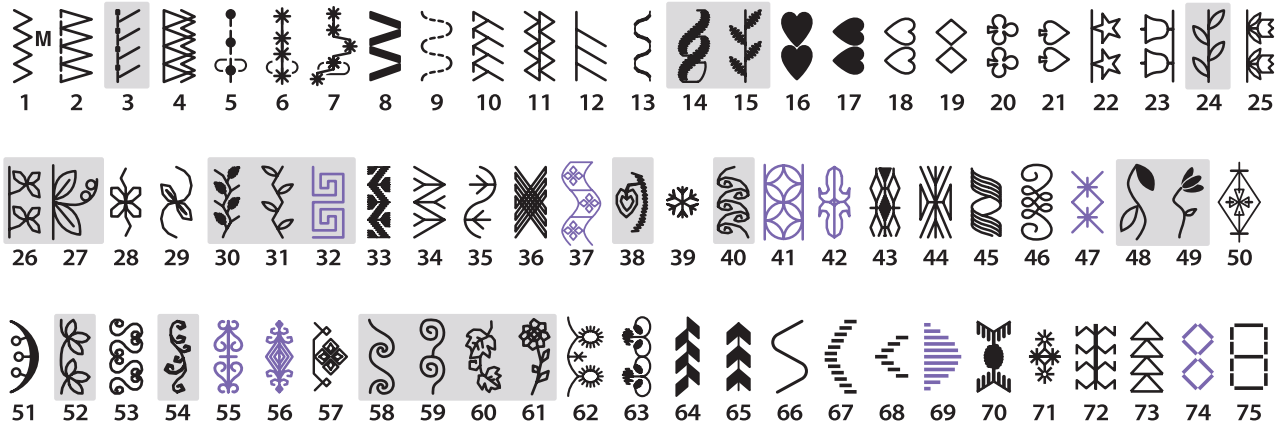


- ※ 青い表示の模様は、直線針板対応模様です。
- ※ 紫色で表示の模様は、テーパリングが可能です。
- ※ グレーに塗って表示している模様は、上下反転ができます。

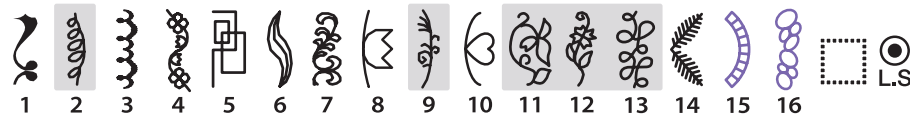
◎模様一覧表

●通常ぬい

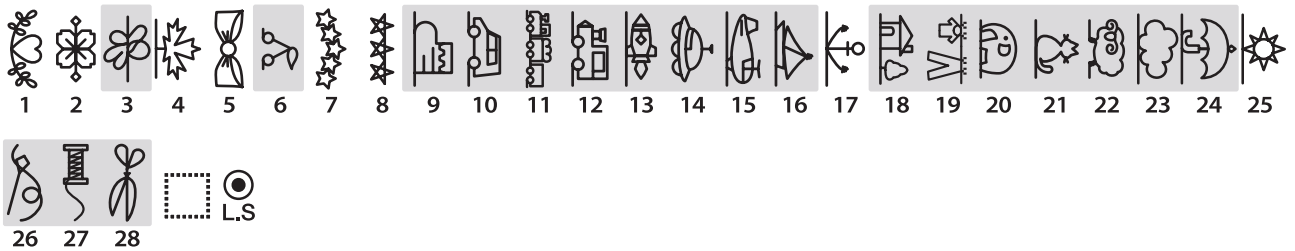
かざりもよう2



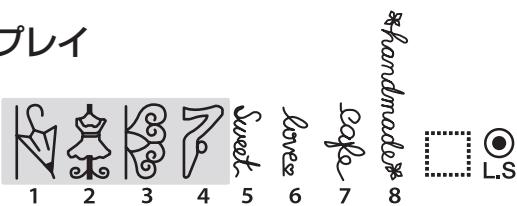
ロングステッチ



ワンポイント



プレイ



※ 紫色で表示の模様は、テーパリングが可能です。
 ※ グレーに塗って表示している模様は、上下反転ができます。

◎模様一覧表
●通常ぬい文字

ブロック

A B C D E F G H I J K L M N
O P Q R S T U V W X Y Z . □ □ □
a b c d e f g h i j k l m n
o p q r s t u v w x y z . □ □ □
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & - \$ @ . .
, ? ! i ' ' < > () - + = / // % ~ :
À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï Ñ
Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü ß À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï Ñ
Ł Ń Ņ Œ Š Ś Ÿ Ž ž ž ž

à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï ñ
ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ß à á â ã ä å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï Ñ
ł ń ŋ œ ś ś Ÿ ž ž ž ž

スク립ト

A B C D E F G H I J K L M N
O P Q R S T U V W X Y Z . □ □ □
a b c d e f g h i j k l m n
o p q r s t u v w x y z . □ □ □
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & - \$ @ . .
, ? ! i ' ' < > () - + = / // % ~ :
À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï Ñ
Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü ß À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï Ñ
Ł Ń Ņ Œ Š Ś Ÿ Ž ž ž ž

à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï ñ
ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ß à á â ã ä å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï Ñ
ł ń ŋ œ ś ś Ÿ ž ž ž ž

ブロードウェイ

A B C D E F G H I J K L M N
O P Q R S T U V W X Y Z . □ □ □
a b c d e f g h i j k l m n
o p q r s t u v w x y z . □ □ □
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & - \$ @ . .
, ? ! i ! i ' ' < > () - + = / // % ~ :
À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï Ñ
Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü ß À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï Ñ
Ł Ń Ņ Œ Š Ś Ÿ Ž ž ž ž

à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï ñ
ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ß à á â ã ä å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï Ñ
ł ń ŋ œ ś ś Ÿ ž ž ž ž

ブロック (9 mm)

A B C D E F G H I J K L M N
O P Q R S T U V W X Y Z . □ □ □
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & - \$ @ . .
, ? ! i ' ' < > () - + = / // % ~ :

◎模様一覧表
●通常ぬい文字

キリル文字

А В Г Г Д Г Ъ Е Є Ж З С И І Й Ы К Л Ъ
М Н Ъ О ө П Р С Т Ъ У Ё Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы
Ь Э Ю Я . : ; []

а б в г г д г ъ е є ж з с и і й ы к л ъ
м н ъ о ө п р с т ъ у ё ф х ц ч ш щ ъ ы
ь э ю я . : ; []

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & _ \$ @ . , ? ; ! ' ' '
< > () - + = / // % ~ :

明朝体 (9 mm)

あ い う え お か き く け こ さ し す せ そ
た ち つ て と な に ぬ ね の は ひ ふ へ ほ
ま み む め も や ゆ よ ら り る れ ろ わ を
ん 、 。 あ い う え お つ や ゆ よ — [] []
が ぎ ぐ げ ご ざ じ ず ぜ ぞ だ ぢ づ で ど
ば び ぶ べ ぼ ぱ ぴ ぷ ぺ ぽ う
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ
タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ
マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ フ
ン 、 。 ア イ ウ エ オ ツ ヤ ユ ヨ — [] []
ガ ギ グ ゲ ゴ ザ ジ ズ ゼ ゾ ダ チ ヅ デ ド
バ ビ ブ ベ ボ パ ピ プ ペ ポ ヴ

まるもじ (9 mm)

あ い う え お か き く け こ さ し す せ そ
た ち つ て と な に ぬ ね の は ひ ふ へ ほ
ま み む め も や ゆ よ ら り る れ ろ わ を
ん 、 。 あ い う え お つ や ゆ よ — [] []
が ぎ ぐ げ ご ざ じ ず ぜ ぞ だ ぢ づ で ど
ば び ぶ べ ぼ ぱ ぴ ぷ ぺ ぽ う
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ
タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ
マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ フ
ン 、 。 ア イ ウ エ オ ツ ヤ ユ ヨ — [] []
ガ ギ グ ゲ ゴ ザ ジ ズ ゼ ゾ ダ チ ヅ デ ド
バ ビ ブ ベ ボ パ ピ プ ペ ポ ヴ

ワンポイント

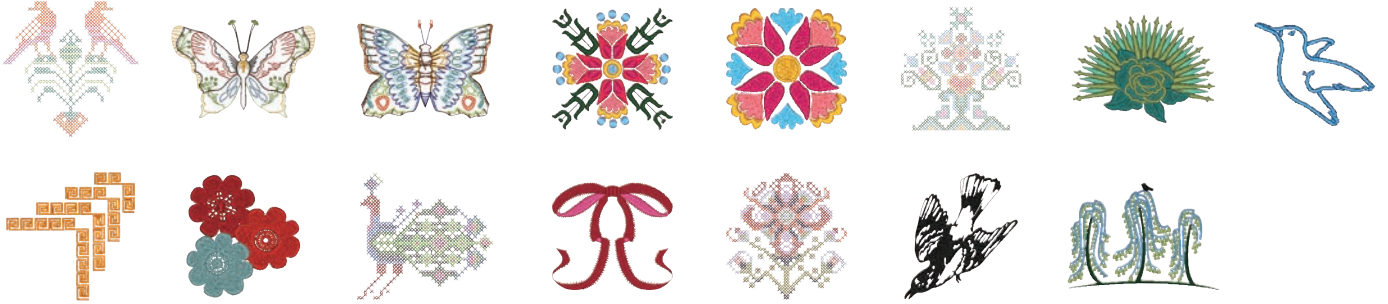
✦ ✧ ♥ ◇ ♣ ♠ ☩ ☆ ☆ 🔔 🔔 ○ 🌸 ✨
☀️ # ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ✨ 🌸 🌸 🌸 .

◎ 刺しゅう模様

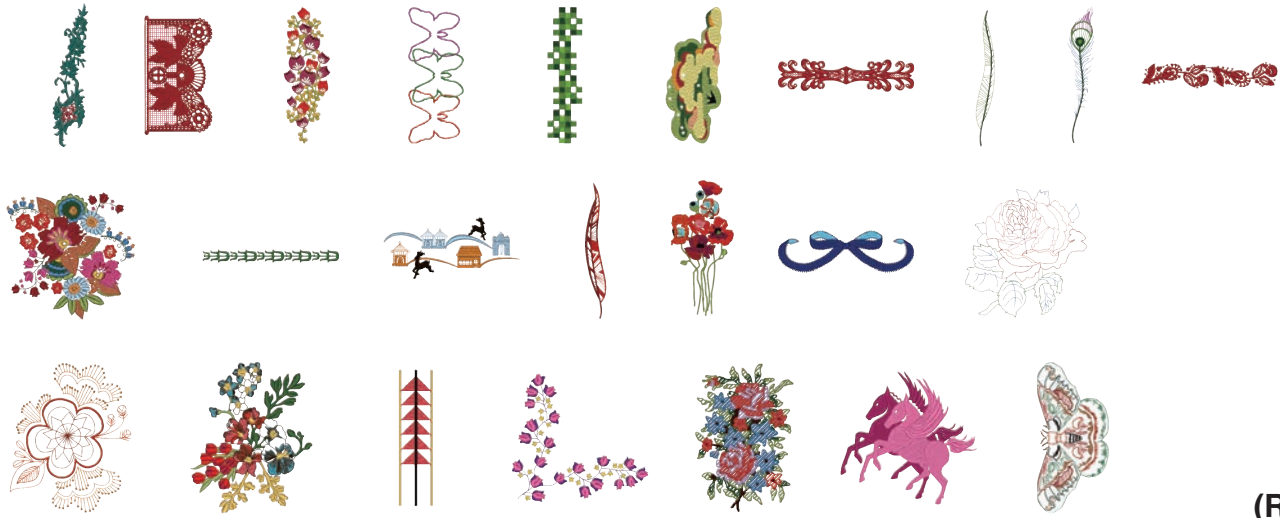
模様画像の縮尺は異なります。

● 刺しゅう

Anna Maria Horner コレクション



(SQ14a)



(RE20a)



(FA10a)

花文字



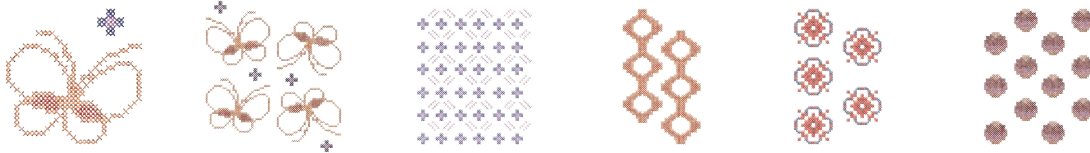
(SQ14a)

◎刺しゅう模様

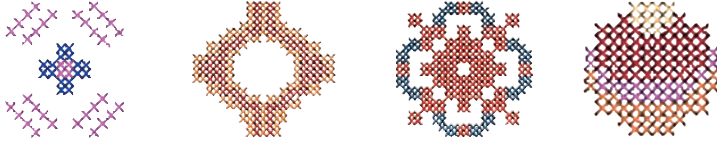
模様画像の縮尺は異なります。

● 刺しゅう

クロスステッチ



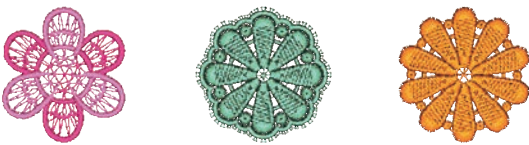
(SQ14a)



(FA10a)

レース刺しゅうデザイン

溶ける芯地用デザイン



(SQ14a)



(RE20a)



(FA10a)

布地用デザイン



(SQ14a)



(RE20a)

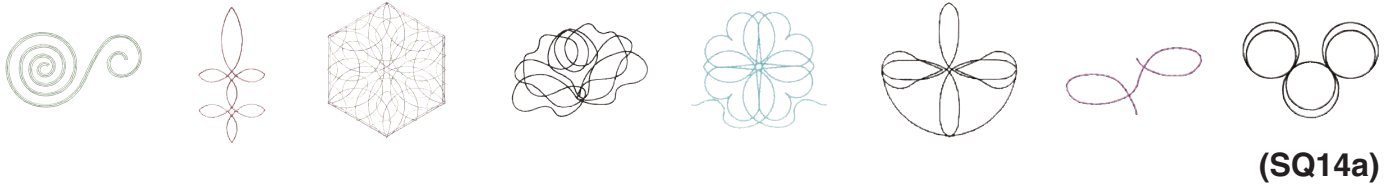


(FA10a)

◎刺しゅう模様
●刺しゅう

模様画像の縮尺は異なります。

カウチングデザイン



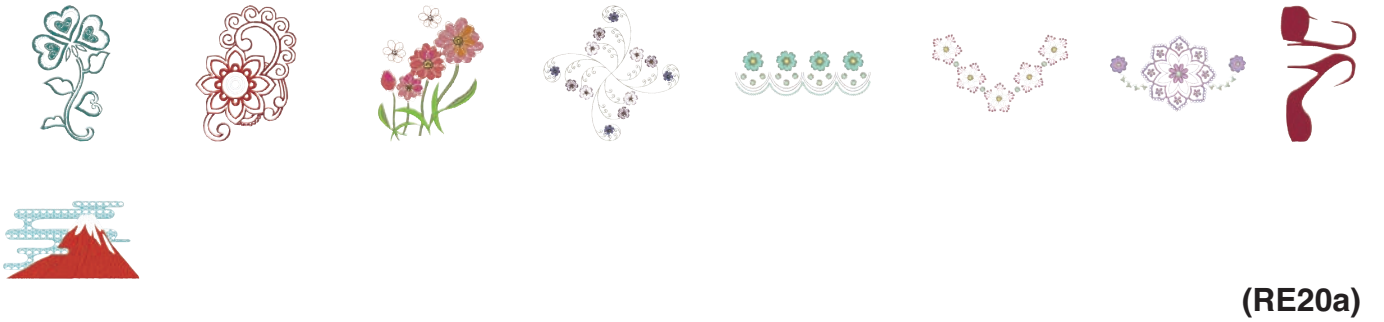
デコパーツデザイン



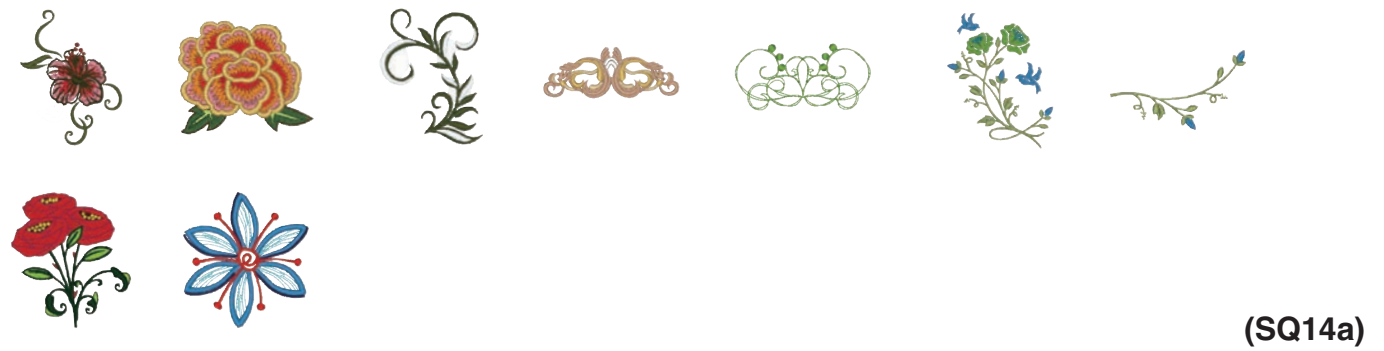
◎刺しゅう模様
●刺しゅう

模様画像の縮尺は異なります。

デザインセレクション



コンビネーションデザイン

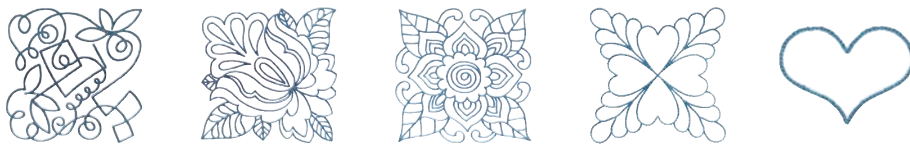


HANA アルファベットデザイン



(SQ14a)

キルティング

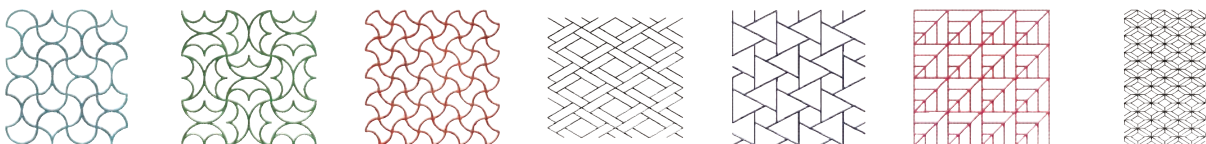


(SQ14a)

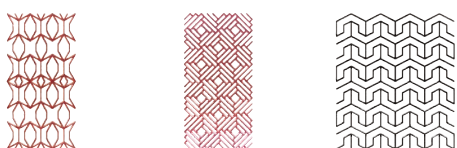


(RE20a)

刺し子デザイン



(SQ14a)



(RE20a)

書道コレクション

美 忍 福 笑 蛇 龍
味 門

(SQ14a)

秋 春 風 花 旅 一 哲 一 鳳 凰
冬 夏 月 鳥 立 日 命 生

(RE20a)

クロスセッター模様



(SQ14a)

◎刺しゅう模様
●刺しゅう文字

ゴシック

A B C D E F G H I J K L M N
O P Q R S T U V W X Y Z . □ ▨ ▩
a b c d e f g h i j k l m n
o p q r s t u v w x y z . □ ▨ ▩
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & _ \$ @ .
. , ? ! i ' ' < > () - + =
/ // % ~ :
À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î
Ï Ñ Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü ß À Ć
Ę Ğ Ĩ Ĵ Ľ Ł Ń Ņ Æ Š Š Ÿ Ž Ž Ž
à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î
ï ñ ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ß à Ć
ę ğ ĩ ĵ ł ł ń ņ œ š š Ÿ ž ž ž

バウハウス

A B C D E F G H I J K L M N
O P Q R S T U V W X Y Z . □ ▨ ▩
a b c d e f g h i j k l m n
o p q r s t u v w x y z . □ ▨ ▩
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & _ \$ @ .
. , ? ! i ' ' < > () - + =
/ // % ~ :
À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î
Ï Ñ Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü ß À Ć
Ę Ğ Ĩ Ĵ Ľ Ł Ń Ņ Æ Š Š Ÿ Ž Ž Ž
à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î
ï ñ ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ß à Ć
ę ğ ĩ ĵ ł ł ń ņ œ š š Ÿ ž ž ž

スクリプト

A B C D E F G H I J K L M N
O P Q R S T U V W X Y Z . □ ▨ ▩
a b c d e f g h i j k l m n
o p q r s t u v w x y z . □ ▨ ▩
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & _ \$ @ .
. , ? ! i ' ' < > () - + =
/ // % ~ :
À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î
Ï Ñ Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü ß À Ć
Ę Ğ Ĩ Ĵ Ľ Ł Ń Ņ Æ Š Š Ÿ Ž Ž Ž
à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î
ï ñ ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ß à Ć
ę ğ ĩ ĵ ł ł ń ņ œ š š Ÿ ž ž ž

ギャラン

A B C D E F G H I J K L M N
O P Q R S T U V W X Y Z . □ ▨ ▩
a b c d e f g h i j k l m n
o p q r s t u v w x y z . □ ▨ ▩
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & _ \$ @ .
. , ? ! i ' ' < > () - + =
/ // % ~ :
À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î
Ï Ñ Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü ß À Ć
Ę Ğ Ĩ Ĵ Ľ Ł Ń Ņ Æ Š Š Ÿ Ž Ž Ž
à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î
ï ñ ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ß à Ć
ę ğ ĩ ĵ ł ł ń ņ œ š š Ÿ ž ž ž

チェルトナム

A B C D E F G H I J K L M N
O P Q R S T U V W X Y Z . □ ▨ ▩
a b c d e f g h i j k l m n
o p q r s t u v w x y z . □ ▨ ▩
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & _ \$ @ .
. , ? ! i ' ' < > () - + =
/ // % ~ :
À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î
Ï Ñ Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü ß À Ć
Ę Ğ Ĩ Ĵ Ľ Ł Ń Ņ Æ Š Š Ÿ Ž Ž Ž
à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î
ï ñ ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ß à Ć
ę ğ ĩ ĵ ł ł ń ņ œ š š Ÿ ž ž ž

タイピスト

A B C D E F G H I J K L M N
O P Q R S T U V W X Y Z . □ ▨ ▩
a b c d e f g h i j k l m n
o p q r s t u v w x y z . □ ▨ ▩
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & _ \$ @ .
. , ? ! i ' ' < > () - + =
/ // % ~ :
À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î
Ï Ñ Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü ß À Ć
Ę Ğ Ĩ Ĵ Ľ Ł Ń Ņ Æ Š Š Ÿ Ž Ž Ž
à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î
ï ñ ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ß à Ć
ę ğ ĩ ĵ ł ł ń ņ œ š š Ÿ ž ž ž

◎刺しゅう模様
●刺しゅう文字

ブラシ

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	
O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	.	□	■
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	
o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	.	□	■
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	&	-	\$	@	.
.	,	?	!	~	'	'	<	>	()	-	+	=	
/	//	%	~	:										
À	Á	Â	Ã	Ä	Å	Æ	Ç	È	É	Ê	Ë	Ì	Í	Î
Ï	Ñ	Ò	Ó	Ô	Õ	Ö	Ø	Ù	Ú	Û	Ü	Ý	À	Ć
Ę	Ĝ	Ĩ	Ĵ	Ķ	Ł	Ń	Ņ	Œ	Š	Š	Ÿ	Ž	Ž	Ž
à	á	â	ã	ä	å	æ	ç	è	é	ê	ë	ì	í	î
ï	ñ	ò	ó	ô	õ	ö	ø	ù	ú	û	ü	ý	à	ć
ę	ĝ	ĥ	ĵ	ķ	ł	ń	ņ	œ	š	š	ÿ	ž	ž	ž

ジュピター

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	
O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	.	□	■
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	&	-	\$	@	.
.	,	?	!	~	'	'	<	>	()	-	+	=	
/	//	%	~	:										
À	Á	Â	Ã	Ä	Å	Æ	Ç	È	É	Ê	Ë	Ì	Í	Î
Ï	Ñ	Ò	Ó	Ô	Õ	Ö	Ø	Ù	Ú	Û	Ü	Ý	À	Ć
Ę	Ĝ	Ĩ	Ĵ	Ķ	Ł	Ń	Ņ	Œ	Š	Š	Ÿ	Ž	Ž	Ž

ファーストグレード

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	
O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	.	□	■
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	
o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	.	□	■
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	&	-	\$	@	.
.	,	?	!	~	'	'	<	>	()	-	+	=	
/	//	%	~	:										
À	Á	Â	Ã	Ä	Å	Æ	Ç	È	É	Ê	Ë	Ì	Í	Î
Ï	Ñ	Ò	Ó	Ô	Õ	Ö	Ø	Ù	Ú	Û	Ü	Ý	À	Ć
Ę	Ĝ	Ĩ	Ĵ	Ķ	Ł	Ń	Ņ	Œ	Š	Š	Ÿ	Ž	Ž	Ž
à	á	â	ã	ä	å	æ	ç	è	é	ê	ë	ì	í	î
ï	ñ	ò	ó	ô	õ	ö	ø	ù	ú	û	ü	ý	à	ć
ę	ĝ	ĥ	ĵ	ķ	ł	ń	ņ	œ	š	š	ÿ	ž	ž	ž

マイクロシック

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	
O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	.	□	■
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	
o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	.	□	■
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	&	-	\$	@	.
.	,	?	!	~	'	'	<	>	()	-	+	=	
/	//	%	~	:										

ホローブロック

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	
O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	.	□	■
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	&	-	\$	@	.
.	,	?	!	~	'	'	<	>	()	-	+	=	
/	//	%	~	:										
À	Á	Â	Ã	Ä	Å	Æ	Ç	È	É	Ê	Ë	Ì	Í	Î
Ï	Ñ	Ò	Ó	Ô	Õ	Ö	Ø	Ù	Ú	Û	Ü	Ý	À	Ć
Ę	Ĝ	Ĩ	Ĵ	Ķ	Ł	Ń	Ņ	Œ	Š	Š	Ÿ	Ž	Ž	Ž

◎刺しゅう模様

●刺しゅう文字

キリル文字 1

А Б В Г Д Е Ё Ж З И Й К Л М Н О П Р
 С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю Я . □ ▨ ▩
 а б в г д е ё ж з и й к л м н о п р
 с т у ф х ц ч ш щ ъ ы ь э ю я . □ ▨ ▩
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 - , . : ! ? < >
 () = - + / %

キリル文字 2

А Б В Г Д Е Ё Ж З И Й К Л М Н О П Р
 С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю Я . □ ▨ ▩
 а б в г д е ё ж з и й к л м н о п р
 с т у ф х ц ч ш щ ъ ы ь э ю я . □ ▨ ▩
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 - , . : ! ? < >
 () = - + / %

キリル文字 3

А Б В Г Д Е Ё Ж З И Й К Л М Н О П Р
 С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю Я . □ ▨ ▩
 а б в г д е ё ж з и й к л м н о п р
 с т у ф х ц ч ш щ ъ ы ь э ю я . □ ▨ ▩
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 - , . : ! ? < >
 () = - + / %

明朝体

あいうえお かきくけこ さしすせそ
 たちつてと なにぬねの はひふへほ
 まみむめも やゆよらりる れろわを
 ん、。あいうえお つやゆよー□▨▩
 がぎぐげござじずぜぞだぢづでど
 ばびぶべぼばびぶべぼう
 アイウエオ カキクケコ サシスセソ
 タチツテト ナニヌネノ ハヒフヘホ
 マミムメモ ヤユヨラリルレロワヲ
 ン、。アイウエオ ツヤユヨー□▨▩
 ガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデド
 バビブベボバビブベポウ
 小 中 学 校 幼 稚 保 育 園 年 組 部 係 班 子
 供 父 母 入 卒 式 会 社 祭 男 女 名 前 住 所
 春 夏 秋 冬 元 気 晴 雨 曇 雪 結 婚 御 見 舞
 待 引 越 札 知 慶 新 誕 様 交 通 安 全 祝 休
 株 生 才 時 分 曜 日 月 火 水 木 金 土 東 西
 南 北 平 成 第 上 下 左 右 花 山 川 百 千 万
 ○ 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

まるもじ

あいうえお かきくけこ さしすせそ
 たちつてと なにぬねの はひふへほ
 まみむめも やゆよらりる れろわを
 ん、。あいうえお つやゆよー□▨▩
 がぎぐげござじずぜぞだぢづでど
 ばびぶべぼばびぶべぼう
 アイウエオ カキクケコ サシスセソ
 タチツテト ナニヌネノ ハヒフヘホ
 マミムメモ ヤユヨラリルレロワヲ
 ン、。アイウエオ ツヤユヨー□▨▩
 ガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデド
 バビブベボバビブベポウ

◎刺しゅう模様
●刺しゅう文字

ボーダー 1



ボーダー 2



2-レター



3-レター



♥ MEMO ♥

仕 様	
使 用 電 圧	100 V 50 Hz / 60 Hz
消 費 電 力	60 W
外 形 寸 法	本体 幅 50.8 cm × 奥行 23.7 cm × 高さ 31.6 cm
	刺しゅうユニット取り付け時 幅 50.8 cm × 奥行 35.0 cm × 高さ 31.6 cm
質 量	本体 11.9 kg 刺しゅうユニット取り付け時 15.3 kg
使 用 針	家庭用 HA X 1
最高ぬい速度	通常ぬい：毎分 1000 針 刺しゅう：毎分 800 針

仕様および外観は改良のため
予告なく変更することがあり
ますのでご了承ください。

修理サービスのご案内

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 無料修理保証期間内およびそれ以降の修理につきましても、お買い上げの販売店が承りますのでお申し付けください。

修理用部品の保有期間

- 当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後 8 年間を基準として保有し、必要に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

無料修理保証期間経過後の修理サービス

- 取扱説明書にしたがって、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過したあとも、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスをします。
ただし、次のような場合は修理できないときがあります。
 1. 保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
 2. 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
 3. お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
 4. お買い上げ店または当社の指定した販売店以外で修理、分解、改造をしたために不調、故障または損傷したとき。
 5. 職業用等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
- 有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げ店が別に定める技術料の合計になります。

お客様の相談窓口

修理サービスについてのお問い合わせやご不審のある場合は下記にお申しつけください。

蛇の目ミシン工業株式会社

〒 193-0941 東京都八王子市狭間町 1463 番地

お客様相談室 TEL. 0120-026-557 (フリーダイヤル)
042-661-2600

受付 平日 9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

メールでのお問い合わせは、ホームページ <https://www.janome.co.jp>
問合せフォームをご利用ください。

JANOME